

Trilobin · Homotrilobin · Trilobomin · Kolumbamin  
 · Jateorhizin · Palmatin · Sinomenin · Disinomenin  
 · Stephanin · Metaphanin 等), 苦味質 (Pikrotoxin · Anamictin  
 Pikroretin · Columbin · Colombosäure 等), 其他ノ物質  
 (Saponin · 脂肪油 · 含水炭素 · 林檢酸等)ヲ含有ス。藥用ノ外 =  
 觀賞用 · 工藝用(蔓莖) = 供スルモノアリ。本科 = ハ藥用植物不  
 分布及属種數 - 世界 = 凡56属 380種ヲ産シ主 = 熱帯至熱帯  
 = 分布シ少數ハ温帯 = 産ス。日本 = 自生又栽培スルモノ凡  
 6種 15種アリテ南日本 = 多産シ琉球 = 最多シ。

本科ノ藥用植物 :-

△ (1) おぼつづらふち(つづらふち; 漢防己)及其变种  
*Sinomenium acutum* Rehd. et Wils. (分生) 本(中  
 南部) · 四九ノ山野 = 自生スル蔓草ノ藤本(生藥) 漢防己  
*Radix Sinomenii* ハ根ヲ採乾シ輪切セルモノ = テ形南天  
 藥 = 似テ断面病紋ヲナス。熊本 · 宮崎縣産多シ。〔成分根及木  
 部 = *Sinomenin* C<sub>14</sub> H<sub>23</sub> NO<sub>4</sub> · *Disinomenin* C<sub>38</sub> H<sub>44</sub>  
 N<sub>2</sub> O<sub>8</sub> · *Acutumin* C<sub>20</sub> H<sub>25</sub> NO<sub>8</sub> · *Sinactin* C<sub>19</sub> H<sub>21</sub> NO<sub>4</sub> (以  
 上結晶性) · *Diversin* C<sub>20</sub> H<sub>27</sub> NO<sub>5</sub> (無晶形) 等ノ塩基ヲ含有  
 ス。尚石川氏ハ *Paralysin* (麻醉性塩基) *Convulsin* (痙攣  
 性塩基) 又高柳氏ハ果實中 *Parasinomenin* (落合氏 = 據  
 ハ *Diversin* = 外ナラズ) 及 *Metasinomenin* ナル塩基ヲ記  
 スルモ化學的性狀不詳。〔藥效〕 漢: 鎮痛(神經痛 · リウマチ

ス) 藥及利尿(水腫 · 便秘) 解熱藥トシテ著名也。1回 3~5g. 1  
 日 5~8g. 煎服ス。蔓莖 = テ籠 · 葛籠等ヲ編ミ, 物ヲ卷キ, 土瓶敷  
 土瓶提梁ヲ造ル, 效用あけハ蔓 = 似タリ。〔新藥〕 根ヨリ有效  
 成分ヲ抽出シ塩酸シのめニル(洋局 *Sinomenium Hydro-*  
*chloricum*) 及塩酸はらゝのめニル(全Parasi. *Hydroch.*  
 共 = 大阪塩野)ヲ製出ス, 共 *Alkaloid* 塩酸塩ノ水溶液 = テ筋  
 肉及關節リウマチス · 神經痛 · 肩凝 · 腰痛等 = 注射シテ奏效確實  
 也。是特殊消毒藥ナルカ故也。

〔藥理〕 a) 1) *Sinomenin* 1多量ヲ動物 = 注射セハ神經  
 中枢 = 作用シ, 反射亢奮性機能ヲ亢進シ, 劇シキ全身痙攣ヲ起  
 シ蓋 = 中枢性麻痺(呼吸及隨意運動) = 陥リ呼吸困難 = 依テ  
 死ス。2) 人工發熱ノ家兔 = 下熱作用アリ。3) 心筋ヲ麻  
 痺スルモ弱キ心臓毒 = 非ス。4) 末梢血管ヲ拡張シ血壓ヲ下  
 降セシム。5) 骨路筋ヲ麻痺セシム。6) 微生物 = ハ原形質毒  
 トシテ作用シ撲滅ス。7) 藥理作用モニル = 類シ之ヲマラリ  
 ヲ患者 = 用ヒ何レモ臨床的治療ヲ見タリ。8) 白鼠及家兔ノ  
 背部長毛皮膚 = 芥子油 = テ炎症ヲ起シ塩酸(のめニル)ヲ皮下  
 注射シ其過半数ハ炎症ヲ抑制スルヲ認ム。9) 家兔ノ毛様神  
 経節ヲ抽出シ中枢連絡ヲ遮断シ, 其配下タル眼球 = 芥子油 =  
 テ炎症ヲ起サシメ, 其皮下注射 = 依テ消炎作用ヲ認ム。10) 臨  
 床上ノ應用ハ神經痛 = 對シ奏效確實 = シテ鎮痛及消炎作用  
 ヲ認ム。1) 塩酸シのめニルハ末梢血管ヲ著ク拡張シ且淋巴  
 形成ヲ旺盛ナラシム。是炎症組織 = 血液並淋巴ノ循環ヲ佳



良ナラシメ以テ卓效ヲ現スモノナラン。(b) *Diversin*モ亦其作用 *Sinomenin* = 類似シ、主ナル全身中毒症状ハ呼吸障碍及反射機能亢奮=アリ。(c)高折氏 *Parasinomenin* ハ其作用 *シメニ* = 一致シ唯作用強カナルノ差アリト云フ。

〔療方例〕 1) 神経痛及リウマチス藥... 漢防己 8.0 甘草 1.0 水 200.0... 以上ノ日量煎劑 3 介服。 2) 全... 漢防己 5.0 茯苓 2.0 桑白皮 2.0 木香 1.0 水 200.0... 同上。

(2) あま-つづらふち(つづらふち, 木防己) (126四) *Cocculus trilobus* DC. (分生) 北・本・四・九・朝・琉・台・ノ山野=自生スル蔓草~藤本。(生藥) 木防己 *Lignum Cocculi trilobi* ハ秋季木部及根ヲ採リ輪切乾燥セルモノニテ断面有紋ヲナス。〔成分〕根及莖 = *Trilobin*  $C_{19}H_{19}NO_3$ ・*Homotrilocin*  $C_{20}H_{21}NO_3$ ・*Trilobamin*  $C_{35}H_{36}N_2O_6$  及融点  $223^{\circ}C$ ノ塩基  $C_{22}H_{21}NO_4$  (以上皆結晶性) 等ノ *Alkaloid*ヲ含有ス。*Trilobin*ヲ望美氏ハ *Trilobin A* 及 *B* = 2 介セリ。其他澱粉粒多ク蛋白樣物質モ含有ス。〔藥效〕木防己ハ利尿藥(水腫・淋病・膀胱炎), 鎮痛(リウマチス・神経痛・痛風・膀胱炎), 解熱(瘧疾・感冒)藥トシ又便秘・消化=有效, 1日 4~5g. 煎服。又特殊消毒藥 = 鎮痛・消炎ノ效アレハ癰・面疔・尿道症・褥瘡・感冒・喘息・中風等=有效也。〔藥理〕1) *Trilobin*ハ温血動物ノ呼吸中枢及心臟ヲ麻痺セシム。家兔ノ致死量ハ体重 1Kg. = 付心靜脈内注射 0.05g. 口皮下注射 0.05g. 也 2) トリらふチ = ハ利尿作用ナシ。 3) 温劑 = ヨリ発熱セル家兔 = 對シ

解熱ス。4) 本毒物ノ原虫 = 及ボス毒力ハ塩酸基に一ねに同様一定濃度ニテ滴虫等ヲ死滅セシム, 而テ其毒力ハヒキ一ね = 優ルカ如シ。5) 塩酸トリラふチ A 及 B ノ兩者ハ其毒性全ク同一也。〔處方例〕 1) 防己茯苓湯(脚氣・水腫 = 用フ)... 防己 黃耆 桂枝 各 7.0 茯苓 15.0 甘草 5.0... 以上煎劑 200 トシ 1 日 3 回温服。 2) 木防己湯(浮腫 = 利尿劑トス)... 木防己 又 石膏 20.0 桂枝 5.0 人參 12.0... 以上煎劑 トシ 200, 1 日 3 回温服。 3) 利尿解熱鎮痛劑... 防己 4.0 甘草 1.0 水 200.0... 以上 1 日量煎劑 介服。 〔藥效〕 *Zinomin* (大阪邊野ハ本生藥ノ總成分 = ヲリガる酸劑 (*Salicylsäure*)ヲ配合セルリウマチス及神經痛治療藥也。

(3) ほうざん-つづらふち(ほうざん-つづらふち・鉄牛入石) *C. sarmentosus* Diels (分生) 台 = 自生スル草, 平野 = 生ス。(成分) 根 = *Trilobin*・*Isotrilocin*・*Menisarin* 等ノ塩基ヲ含有ス。〔藥效〕根ヲ煎服セバ止渴劑, 鎮痛消毒劑(リウマチス), 強壯劑(衰弱疲勞回復), 消炎劑(打撲傷)トナル。

(4) かふし-うらく(こめこめ[ん・衛州烏藥) *C. laurifolius* DC. (分生) 四・九・琉・台・自生ノ常綠草。(生藥) 衛州烏藥 *Radix Cocculi laurifolii* ハ秋季根ヲ採リ日光乾セルモノナリ。有芳香。〔成分〕根・樹皮・葉 = ハ *Cocclaurin*  $C_{19}H_{19}NO_3$  (結晶性塩基, 塩酸鹽トシテ含量 1.6~2.0%ヲ含有ス。〔藥效〕漢: 特殊消毒藥 = 根ハ鎮痛鎮痛ノ目的ニテ神經痛・リウマチス, 霍亂・中風・喘息・自發性痙攣等 = 煎服シ, 尚驅虫及利尿ノ效アリ, 1日 2~5g. 煎服。〔藥理〕(1) *Cocclaurin*ハ其藥理作用極チ良ク *Curare* (マチン) = 類



以ス 2) 主ニ 神経中枢ヲ弛メ 痙攣毒ニテ 温動物ノ 着シキ 症  
 状ハ 全身ノ 間代性痙攣呼吸及 隨意運動ノ 麻痺也。 3) 家兔  
 ノ 静脈内適用ニ 依ル 最小致死量ハ 体重1 Kg.ニ 付0.07g.也。 4)  
 又 家兔血球ニ 對シ 著明ナル 溶血現象ヲ 呈セズ。 5) 本物質ノ  
 原虫ニ 及ス 毒作用ハ 滴虫ノ 種類ニ 依リ 種々ナルモ 運動停止  
 停止後 崩壊等ニ 其作用ハ キルニ 稍方レリ。 6) *Sinomenin*  
 ト 本藥ハ 殆全ニ 依用ヲ 有ス。

〔處方例〕 1) 鎮痛利尿藥... 衡州烏藥 6.0 甘草 1.0 水 200.0... 以上 1  
 日量煎劑分服。 2) 神経痛藥... 衡州烏藥 5.0 茯苓 白朮 當歸 芍藥  
 甘草 各 1.0 水 200.0... 以上 1 日量煎劑分服。 3) リウマチス藥...  
 衡州烏藥 5.0 山雀子 陳皮 茯苓 芍藥 沢瀉 甘草 各 1.0 水 200.0... 以上  
 1 日量煎劑分服。

(5) からもり-かつら (126 回) *Menispermum dauuricum* DC.  
 (分生) 北本・四・九・朝ノ 山野ニ 自生(不多)。〔成分〕根 = *Dauricin*  
 $C_{30}H_{44}N_2O_6$ ヲ 含有ス。〔藥效〕根ヲ 利尿藥ニ 兼用ス。

(6) はすの-かつら(いぬ-かつら, 千金藤)及其変種(けはすの-はか  
 づら, 台) *Stephania japonica* Miers. (分生) 本・四・九・朝  
 琉・台ノ 瀕海地及 平野ニ 点生・粗生。〔生藥〕千金藤 *Lignum Ste-*  
*phaniae* ハ 根及莖ヲ 秋季採斫セルモノニテ 褐色有縦溝。〔成  
 分〕根及莖 = *Stephanin*  $C_{34}H_{36}N_2O_5$ ・*Protostephanin*  $C_{39}H_{51}N_6O_8$ ・  
*Epistephanin*  $C_{19}H_{21}NO_3$ ・*Metaphanin*  $C_{18}H_{29}NO_3$ ・*Pseudoepi-*  
*stephanin*  $C_{19}H_{21}NO_3$ ・*Stephanolin*  $C_{31}H_{42}N_2O_7$ ・*Homostepha-*  
*nolin*  $C_{32}H_{44}N_2O_7$  及  $C_{31}H_{36}N_2O_6$  ナル 8 種ノ 結晶性塩基ヲ 含有ス。

〔藥效〕古來 瘧疾・瘧瘧・腹痛・風邪・下痢止等ニ 一回 1~3g. 煎服ス。其他 莖  
 ヲ 搗碎シ 酒水 各等量ヲ 混シ 煎服シ 或ハ 煎汁ヲ 局部ニ 塗布セ  
 ハ 毒蛇咬傷ヲ 治スト云フ。

(6) たまごき-つづらふち *S. Cephalantha* Hayata (分生) 台  
 ニ 自生ス。〔成分〕根 = *Isotetradrin*  $C_{38}H_{42}N_2O_6$ ・*Cepharanthin*  
 $C_{37}H_{39}N_2O_6$  等ノ 塩基ヲ 含有ス。〔藥效〕根ヲ 搗碎シテ 局部ニ 貼  
 布シ 同時ニ 生藥ヲ 煎服シ 毒蛇咬傷ヲ 治ス。

(7) はすの-はかづら(かんばすい, 独地茨) *S. tetrandra* S.  
 Moore. (分生) 台ニ 自生ス。〔成分〕根 = *Tetrandin*  $C_{38}H_{42}N_2O_6$   
 ヲ 含有ス。〔藥效〕毒蛇咬傷ヲ 治スルニ 根ヲ 細ク 嚙碎キ 半分ハ  
 患部ニ 貼布シ 半分ヲ 煎服ス。又 全草ヲ 胃腸藥トス。

(8) みやこじま-つづらふち *Paracyclea insularis* Kudo et  
 Yamam. (分生) 本(南部)・四・九・琉・ニ 自生ス。〔成分〕根 = *Insularin*  
 $C_{37}H_{38}N_2O_6$  ナル 塩基ヲ 含ム。〔藥效〕あま-つづらふちト 同様  
 リウマチス藥トス。

(9) ふさぎき-つづらふち *P. Ochiaiana* Kudo et Yamam.  
 (分生) 台ニ 自生ス。〔成分〕根 = *Insularin* ヲ 含有ス。〔藥效〕同前  
 種。

(10) せいやう-つづらふち(新種) *Cissampelos pareira* L. (分  
 生) 歐洲産。〔成分〕根 = *Pelasin* ナル 塩基ヲ 含有ス。〔藥效〕根ヲ  
 利尿劑トシテ 膀胱炎等ニ 兼用ス。

(11) ころんぼ(古倫僕) *Jateorrhiza* Columba Miers. (分生) 亞非  
 利加東海炭地方(セガンビク・ツァン・ジバル)産ノ 回車ノ (生藥)



ころんぼ根 *Radix Colombo* ハ根ヲ採乾セルニ、ニテ輪切シ、褐色硬乾也。(成分)根 = Berberin 類似) 塩基 *Columbamin*  $C_{21}H_{23}NO_6$ 、*Palmatin*、*Jateorhigin* ト苦味質 *Columbin* 及コロムボ酸 *Colombosäure* 等ヲ含シ、味苦シ、其他澱粉及粘液質ヲ含有ス。〔藥物〕根ハ收斂性苦味健胃整腸(又苦味健胃藥及止瀉藥)兼又粘澱性苦味藥トシテ消化不良、慢性下痢嘔腸ノ機能不良嘔吐等ニ用ヒ消化及止瀉ニ奏效ス、局方右倫僕根ハ澱粉ニ含ム故苦味健胃及粘澱藥トナル、1日0.5~1.0~2gヲ散劑又煎劑トシ消化不良下痢殊結核患者ノ下痢赤痢嘔吐等ニ用フ。右倫僕丁癩ハ健胃及收斂藥トシテ1回1.5~3.0gヲ用フ。  
 (藥理)ころんぼ根ハ慢性胃腸加答兒ノ治療ヲ促進スル效アリ、是令根中ニ粘澱質澱粉等ヲ含シ其端ニ刺激緩和作用ヲ發揮スル外粘澱性物質ハ吸收ヲ妨ケタル效吸收チレズニ腸迄送り得ル作用アル端ナリ。故ニ胃加答兒ノ外、慢性腸加答兒、結核患者ノ慢性下痢、赤痢ノ赤痢等ニ用ヒテ奏效スベシ。〔處方例〕消化不良 = 下痢ヲ伴フ者...ころんぼ末0.5g 大黃末0.1g 及末1.0以上散藥6包トシ1日3回2回分服。


(12) あまみらだ(こつメリウチ樹) *Anamirta paniculata* Colebr. (= *A. cocculus* Wight. et Arn. *Menispermum Cocculus* L.) [分布]東印度・セイロン島・マレー半島地方ノ産。性藥]果實ヲ藥用トス。(成分)果實 = *Pikrotoxin*  $C_{30}H_{49}O_{13}$  (有毒) 及無毒 *Menispermicin* 脂肪澱粉等ヲ含ム。(藥效) 毒ニ果ヲ與奮劑ニ用フルコトアリ。(藥理) a) 1) びくろとまじん 0.1% 溶液

液  $0.5^{0.0}$  ヲ蛙皮下ニ注射セバ、後肢ハ屈曲シ蹠蹠ハ着シテ伸展シ、前肢亦伸展、蹠蹠シ得ズ、一連持有ノびくろとまじん姿勢ヲ呈ス。又心臟ハ搏動緩徐トナリ、拡張期停止ヲ來ス。2) 本藥ハ延髄ノ延中核ニ作用シ (1) 延髄中核ヲ刺激シ劇烈ナル強直性痙攣ヲ起シ、(2) 呼吸中核ヲ興奮シテ呼吸ハ頻且大トナリ、(3) 血管運動中核ニ作用シ血管收縮血圧上昇ヲ見、(4) 迷走神経中核刺激ニ依リ脈膊緩徐トナル。(5) 而テ人ニ用テハ不安、意識消失等ノ腦症狀現レ、死ノ直前ニ於テ痙攣ヲ見ルコトアリ。

(13) こんどうんどうん *Chondrodendron tomentosum* Ruiz. et Pavon. [分布]南米ブラジル及ペルー産ノ木。(藥效) 根ヲ英米諸國ニ於テ利尿劑トス。

附言一以上つづらふ科諸藥草ノ生藥學的顯微鏡検査ノ詳細委曲ハ藤田直市博士ノ研究(藥學雜誌46卷)ニ詳カ也。而テ其全化學研究ハ近藤平三郎教授一門ノ業績(47, 48卷)ヲ指サス。

Fam (VII) もくれん(木蘭)科 *Magnoliaceae* (27, 31回) 参照。

形質一考又ニ、全株油細胞ヲ有ス。葉ハ、單葉無裂・概全縁・葉波縁・齒牙縁・稀分裂葉(ゆりのき)、葉草質托葉(葉大形包)有又無。花器ハ擬傘形雌、擬具腋生同被、小~大形花。花序ハ稀枝頭ニ單立又腋生單立、少~多花。花ハ  概 3 數性雄 3 數性不規則、傘形(♀含)又♀含、 $F.f = K_{3-4} a_{6-10} \sim 12 \sim 15$



G6~9~12~18~21 A20~∞ G6~8~12~14~∞; 即ち K3~5 C6~21 A20~∞ G(6~8); 一般 = ハ K3 2. 3+3 C3+3 3+3+3 A∞ G∞ r(∞) =

(127 圖) をがたまのミ属ノ花武圖 (Baillon氏) K2-3 C3+3 A∞ G∞

≡ K3 C3+3 A∞ G∞ 稍多シ; ♀♂ = P6~9~12~15

A6~20~∞ G∞ = P6~15 A6~∞ G∞; Pハ KC1

境界不明漸減的ノモノ = ≡ K.Cト共 = 芽

中層瓦状 ⊙ 又 ⊙ 排列; Aハ概 ∞, 稀定数 (5-15)

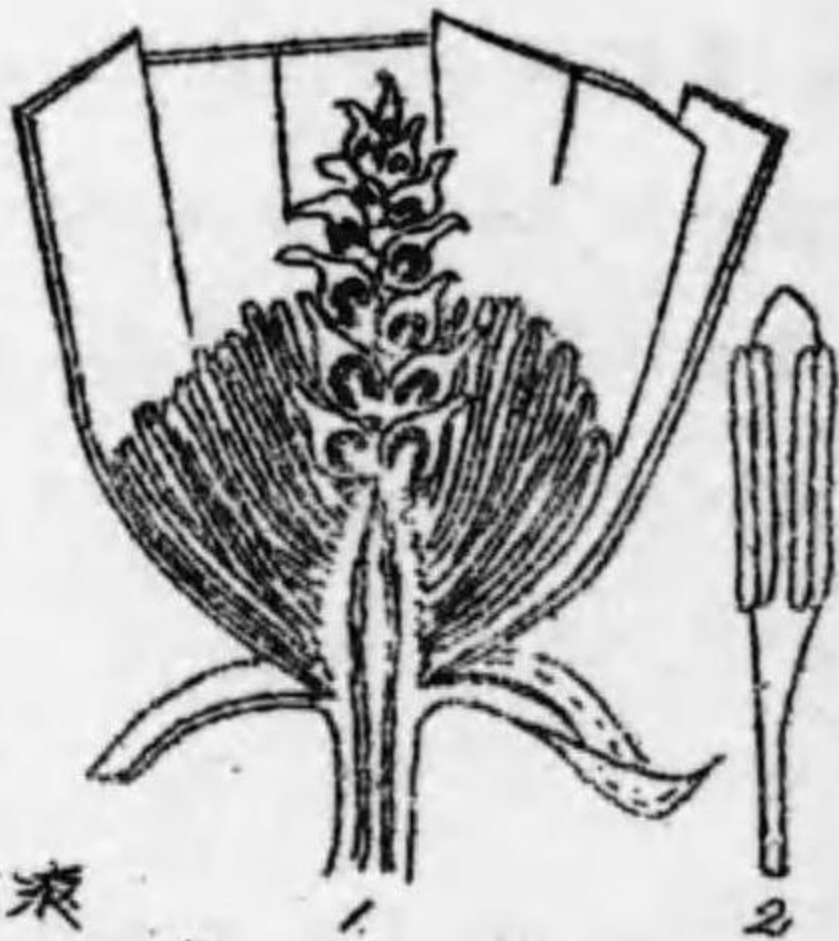
⊙; 心皮不足数 ⊙ 離生稀多少合生, 各心皮ハ 1 子室中ノ 腹維

= 1~2 稀 ∞ 卵子(固生)ヲ 嚙ス; 花柱ハ心皮ト同数, 其内面 = 柱頭有

又無. 果実ハ 管莢又 漿果或 翅果, 種子ハ有胚乳, 胚乳ハ多量且

菱積ヲ有セズ, 胚ハ小形.

(128 圖) = 3. 花ノ解剖 圖(原圖) 1 花ノ解剖及 縱斷 圖 K3 C3+3 A∞ G∞ 2. 雄蕊 1 個



成分及效用— 木科植物ハ

各部 = 揮發油ヲ 含(油細胞) 又 粘液

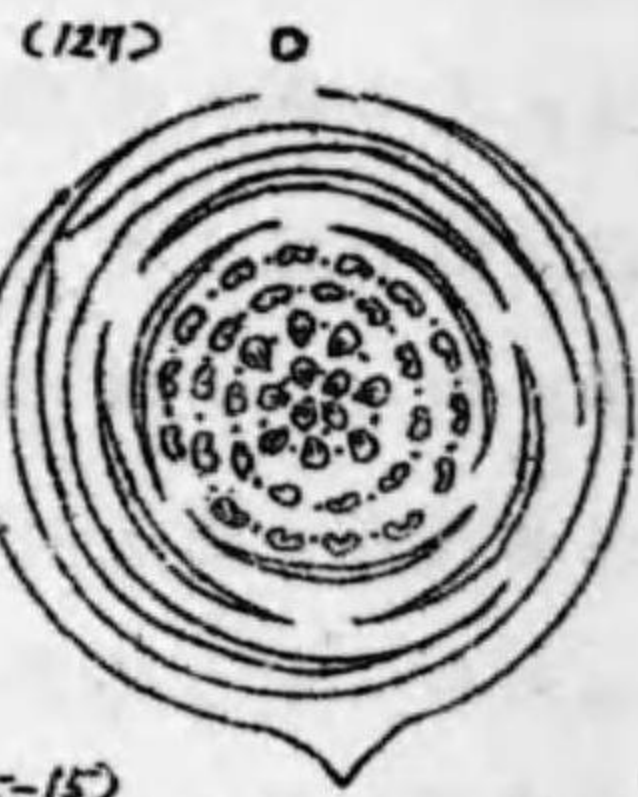
細胞ヲ有ス. 成分如次. 揮發油ノ主ナルモノハ大茴香油辛

英油等 = ≡ Sapol. Cineol. Eugenol. Anethol. Geraniol

・ Terpineol. Nerol. Phellandren. Pinen. Dipenten

・ Sesquiterpen. Amisaldehyd ヨリ 成ル. 配糖体(Magnolin),

塩基(Tulipiferin), 其他物質(Cumarin. Magnosol. Shikimik)



Shikiminsäure. Protokatechusäure. Drimyn.

Drimynsäure. Cholesterin. Xylan. Araban. Galac-

tan 等也. 木科ハ 藥用植物不 多, 又 木材料 藥用器具科 = 供

スルモノアリ.

分布及 属種數— 世 界 = 10 属 約 100 餘 種ヲ 産シ, 主 = 亞 細 亞 及 亞

米 = 分布シ 亞 熱 帶 ~ 温 帶 = 多 産 ス. 日 本 = 自 生 又 裁 植 ス ル モ ノ

凡 6 属 30 種ヲ 下 ラ ス, 標 本 台 間 = 本 邦 ス ル モ 南 方 = 漸 増 ス.

本科ノ 藥用植物:— 次ノ 3 亞 科 = 分 類 ス.

Subfam. 1) もくねん(木蘭)亞科 Magnolieae 等又 5, 葉ハ

托葉又 托葉鞘(両片癒合 = 取リ 次 位 葉 芽ヲ 保 護 ス)ヲ 具シ, 花ハ

♀, F. f = K3 r, 3+3 C3+3 r. ∞ A∞ G∞, 突 出 柱 狀 花 托 上 = A. G 共

= ⊙ 着.

(1) もくねん(はくねんが, もくねん, 紫木蘭, 木蘭, 木蓮)

Magnolia liliflora Desr. [分布] 支 那 原 産. 日 本 裁 植. [生

藥] 樹 皮 及 花 等ヲ 藥 用 ト ス. [成 分] 樹 皮 = Magnolicurarin 含 有

ス, 本 成 分ノ 性 質ハ 末 詳 ナ ル モ 運 動 神 經 末 梢ヲ 麻 痺シ, Curare

ト 同 様ノ 作 用ヲ 有 ス ト 云 フ. [藥 效] 樹 皮 及 花 芽ハ 舌 味 芳 香 成

分ヲ 含シ, 頭 痛 及 眩 暈ヲ 治シ, 且 利 尿ノ 效アリト 云 フ. 1 回 3~9g.

煎 服 ス. 又 觀 賞 用 ト ス.

(2) はくねん(はくねんが, はくねん, 白木蘭, 白蓮玉蘭) M.

demudata Desr. [分布] 支 那 原 産. 日 本 裁 植. [生 藥] 樹 皮 及 花,

花 芽 及 果 実ヲ 蒸 乾シ 藥 用 ト ス. 花ハ 八 分 咲ノ 時 採 リ 陰 干 ト ス,



樹皮ハ6~9月ノ間採取ス。〔成分〕味甜、向甜、前種ナラン。〔藥效〕果  
実及花ヲ煎服セバ痰ヲ解熱ニ效アリ。花ヲ煎服セバ頭痛並  
上ニ有效。樹皮ハ健胃・腹痛・止吐・疝氣ニ有效、1回3~9g、煎服ス。  
又觀賞用トシテ栽培ス。

(3) コナシ(ヤサシクネン、辛夷)(128四) *M. Kobus* DC. 〔分布〕北本  
四・本・琉ノ山野ニ点生。\*<sup>ニ</sup>コナシ(急ぎコナシ、ひもかくら) *V.*  
*borealis* Sarg. 〔分布〕北 本(北部)ノ山野。〔生薬〕辛夷  
*Flos Kobus*ハ早熟花蕾ヲ採乾セルモノ也。葉毛密生ス。有芳香。  
〔成分〕花蕾(及樹皮葉等)ニ精油ヲ含ム、其ニ成分ハ Citral・Safrol  
ナリ、其他 Anethol・Eugenol・Cineol・Methylchavicol;  
 $(p)\text{-CH}_3\text{-O-C}_6\text{H}_4\text{-CH}_2\text{-CH=CH}_2$ , Pinen。カブリン 酸・油酸等ヲ含ム。  
又樹皮ニハ有毒成分ヲ含有シ、操作用ヲナス、即運動神経末梢  
ヲ麻痺スル物質(Kobushicurare)ヲ含ム外、Strychnin(Curare  
マチ)ニ類薬ヲ起ス 根基 Magnoliacurareヲ含有スト云フ。  
〔藥效〕漢; 辛夷(蕾)ハ芳香性鎮痛消痰薬トシテ頭痛・蒼毒・眩暈・鼻  
痂(注ニ肥厚性鼻炎ニ煎汁ヲ塗布ス)ニ1回0.5~2g、煎用ス。樹皮  
ハ頭痛・骨痛ノ鎮痛鎮痙薬トシテ1回3~5g、煎用ス。〔其他效用〕  
辛夷油ヲ採リ香料トス。材ハ建築用・器具用トシ、又觀賞用ト  
シテ栽培ス。

〔藥方例〕辛夷湯(鼻病ヲ治ス、又鼻感胃ニ良シ)---辛夷防風細  
辛川芎白芷各30以上ヲ煎服200g、トシテ1日3回分服。

(4) ほぼノ\* (厚朴和厚朴・浮爛種對) *M. obovata* Thunb. 〔分布〕  
北(南部)・本・四・本・琉ノ山地ニ点生スルシ、葉ハ大形。〔生薬〕和厚朴

*Cortex Magnoliae obovatae*ハ春秋二季ニ樹皮ヲ剝取シ  
生薑水ニ浸シ初1日位日光乾燥シ後陰干ス、半管狀、外面灰色。  
味苦辛収斂性也。和厚朴実 *Fructus Magnoliae Obovatae*ハ  
果実ヲ採乾セルモノニテ、円柱形、管莖ノ球狀果也、内蔵白色種  
子有芳香、和厚朴共ニ熊本・岐阜・豊多産ス。〔成分〕樹皮ハ Magnolol  
 $\text{C}_{18}\text{H}_{18}\text{O}_2$  (0.03%)・精油約1%ヲ含有ス。精油ハ重ニ Menthylol  
 $\text{C}_{18}\text{H}_{26}\text{O}$ ヨリ成ル。其他 *Ho-Curare* (記載アルニ運動神経麻痺物  
質ナル外不詳也。〔藥效〕和厚朴ハ特殊健胃薬トシテ腹痛・吐  
吐下痢ヲ治シ、又驅虫劑トシテ腸寄生虫ヲ駆除スル效アリ。  
又漢種厚朴ニ代用シ食毒又食毒兼水毒ニヨル胸腹部ノ膨滿・  
腹痛等ニ用ヒ、或ハ薑朮中署ニ用ヒテ吐下痢並胃部膨滿ヲ  
治シ、腹痛ヲ緩解シ、又頭痛並上ヲ治ス、1回3~9g、1日15~20g、煎  
服ス。又祛痰利尿劑トナリ、痰壅ヲ煎汁ニテ洗滌シ有效、尚淋  
病消渴ヲ治スト云フ。和厚朴実ハ淋病・瀉痢・風邪・吐下ヲ治スル  
ニ煎用ス。厚朴ハ沢菴・黑豆及硝石ノ配合ヲ忌ム。〔其他效用〕  
木材ハ建築用・器具用・印刷・刀鞘・木屐・炭用(白炭トテ物ヲ磨ク  
ニ用フ)トシ、葉ヲ乾燥シテ物ヲ包ム竹皮代用トナル。

〔藥方例〕1) 厚朴七物湯(健胃整腸ニ有效)---厚朴9.5甘草・大黃  
各3.5大棗3.0枳實生薑各6.0桂皮2.5以上煎劑200トシテ1日3回分  
服。2) 厚朴三物湯(瀉疾特ニ効リ腹ニ有效)---厚朴6.0枳實3.0大  
黃3.0以上煎劑200トシテ1日3回分服ス。3) 大承氣湯(大黃ノ  
條ニ参照)。4) 胃腸痙攣腹痛藥---厚朴6.0大黃枳實各2.0芒硝  
1.0水200---以上1日量煎劑トシテ3回分服。







注射ハ薬作性差率ヲ起スモ、著キ作用ハ注射体ニ無害量ニテ著キ血液凝固性作用ヲ受スルニアリ。

〔備考〕樹皮ヲ剥キ、精油ヲ製シ、葉ヨリ芳香ナル精油ヲ製ス。葉ヲ搗キ、鹽シ淡水ニ流セバ魚死ス、以テ捕。古昔「質問本草」曰ク…其核ヲ搾リ油臍トス、香氣アリ、髪ヲ滑沢ナラシメ、能ク虫ヲ殺ス、蚤蝗咬ヲナス、亦此ヲ用テ之ヲ除ク云々…民間核葉ヲはカト秋シ第節又基部ニ供ス。

(7) カンパウイミヤラ(大茴香、八角茴香) *verum* J. D. Hooker  
〔分布〕華領東京ノ諒山及隣接セル廣西省龍州附近ニ限ルト云フ。〔生薬〕大茴香 *Fructus Anisi stellati* ハ果ヲ採乾セルモノ、6.8心皮腹線破綻シ、種子氣味特異芳香性稍苦シ。〔成分〕果ニハ *Protocatechusäure*, *Shikiminsäure* 等、外精油3.5%ヲ含ム、大茴香油是也。木精油ハ *Anethol*  $C_{10}H_{12}O$ , *Saprol*  $C_{10}H_{10}O_2$ , *Anissäure*, *Anisaldehyd*, 砂糖、粘液、脂肪油ヲ含ム、又 *Shikiminsäure* ヲ含ムモ有毒ナル *Shikimin* ヲ不含、又 *Pinen*, *Phellandren*, *Methylchavicol* ヲ含ムト云フ。葉ハ精油(*Anisaldehyd*, *Anethol*)約1%ヲ含有ス。〔藥效〕漢：果ハ茶劑トシ興奮驅風藥トス。又浴湯料(果ヲ細切シ、花ノ芳香性生薬ト配伍シ煎シテ浴槽ニ投ジ湯浴ス)トシ需要多シ。大茴香油ハ重要香料トス、但於原産地ニ往テ蒸精油ヲ混和スルハ常也。又菓ヲ香料トス。

*Sulfam.* (iii) カンパウイ(木藤)亞科 *Schizandraceae* 常緑又

落葉木、單葉無葉有齒牙緣、無托葉、花ハ♀♂又(♀♂)、花托ハ凸狀、花被球狀又長橢圓狀ニ膨大又延長ス、♀♂ =  $P_6 \sim 9 \sim 15 A_{100} G_{100}$ 。

(8) さねかづら(びなんかづら、とろろかづら、ふのりかづら、南五味子)(130圖) *Kadsura japonica* Dun. 〔分布〕本(中南部)、四九、琉、潮、台、ノ山野ニ自生花三四月〔生薬〕南五味子 *Fructus Kadsurae* ハ熟果ヲ採乾セルモノニテ徑3cm、暗赤色、甘酸臭也。

<p>(130圖) さねかづらの葉・果(原圖)</p> <p>1. 花軸・花梗・含花 = <math>P_{60} A_{100}</math></p> <p>2. 葉果(果托膨大ス)</p> <p>3. 葉(常緑單葉)</p>		<p>(131圖) ころせんごみしの花果(原圖)</p> <p>1. 含花 = <math>P_6 \sim 9 A_{100}</math></p> <p>2. 葉果(果托延長ス)</p>
--	--	---

〔成分〕莖ニ多量ノ粘液(*Galactan* 及 *Araban*)ヨリ成ルヲ含有ス。〔藥效〕漢：果ハ滋養強壯鎮咳祛痰及收斂藥トス、1回3~5g、1日6~15g、煎服ス。外皮ノ水浸液ハ粘性强ク、古來此粘汁ヲ頭髮ニ塗り醫付トシ又養髮藥トセリ(男女共)、美男かづらノ名此ニ基ク、又製紙ノ糊料トス、觀賞用トシテ栽植スルコトアリ。

(9) ころせんごみ(北五味子、五味子)(131圖) *Schizandra Chinensis* Baill. 〔分布〕樺北、本、四九、潮、滿、ノ山野ニ自生、花六七月、果熟八九月。〔生薬〕北五味子 *Fructus Schizandrae* ハ熟果ヲ採乾セルモノ、橢圓形、包2種子、暗



赤紫色・甘酸味・有酸臭。(成分)未詳。粘液ハGalactan及Arabanヲ含ムト云フ。〔藥效〕痰; 果及莖葉ヲ滋養・強壯藥, 鎮咳祛痰止瀉・收斂性鎮咳藥(但感冒=因ル咳嗽=ハ使用セズ)(南五味子ヲ代用スルモ本品ヲ優良トス), 1日5~15g煎服ス。

〔氣方例〕 苓甘姜味辛夏仁黃湯(補強鎮咳祛痰止瀉)……茯苓5.0甘草・乾姜・細辛・大黃各3.5 五味子6.0半夏・杏仁各7.0以上煎劑200トシ1日量3分服。

(6) まつぶさ(らしぶせう, 松藤) *S. nigra* Max. (分生) 北・本・四・九・朝ノ山野=自生スル藤本花五六月果九月熟。

〔生藥〕 松藤 *Lignum Schizandrae* ハ木部ヲ採乾セルモノ屢輪切ス。(成分) 莖=精油(*Methylundecylketon*)ヲ含ム。

〔藥效〕 松藤ヲ浴湯科トシ寒ヲ皮膚病ヲ治ス。

Fam. (VIII) にくわく(肉豆蔻)科 *Myristicaceae* (132圖参照)

形質一帯縁有又互, 全株全油細胞。葉ハ $\gamma$ , 單葉無裂・全縁。無托葉花器ハ♀♂, 單被, 總狀~複總狀花序ハ腋生。花ハ⊙, ⊕

⊙, 雌3數性, ♀♂ = P(3)A(3-18)G1, 常トス,

(132圖)にくわくの葉花果ヲ示ス(Karsten氏ノ一部)  
1. 腋生花序及葉ヲ有スル枝, 2. ♀(伴1雄)  
3. ♂(伴1雌) 4. 果(但片方腹片ヲ除去シ果皮内ノ種子及子衣ヲ示ス。



果体(一果)A, 外向蒴, 1子室, 1ヶノ側生卵子ヲ藏ス。果實ハ紫痛ニテ2裂開ス。種子ハ六形被肉質赤色子衣・胚乳(内外胚乳)ハ廢積ヲ具フ。

成分及效用一精油及脂肪油(特=種子)ヲ含有ス。藥用・香味料或ハ脂肪料ヲ供セラル。

分布及属數種一世界=凡ソ4属260種ヲ産シ, 主=熱帯=多産シ, 南米熱, 亞弗熱之=次, 現今ハ熱帯各地日本=1属2種(台)ヲ産ス。

水料) 藥用植物:-

○ (1) にくわく(肉豆蔻) (132圖) *Myristica fragrans* Houtt. (分生) 馬來群島中ノモロツコ島原産(或東部モルツケン諸島其他馬來諸島産トモ云フ)=シテ現今ハ熱帯各地(東西印度・アラビヤ, 喜望峯, マダガスカル, ヒリッピン諸島)=栽培セラル。高10m. 内外常緑也。(生藥) 肉豆蔻 *Semen Myristicaceae* ハ子衣ヲ被ル種子(種仁ヲ主トス)ヲ採乾セルモノニテ卵形褐色也, 有芳香, 味辛シ。肉豆蔻花 *Macis* ハ肉豆蔻子衣トモ稱シ子衣ヲ採乾セルモノニテ黄赤色, 脂肪光沢有リテ苦シ。(成分) 肉豆蔻ヲ蒸溜シ肉豆蔻油(精油) *Aleum Myristicae aetherium* 約8%ヲ得。其成分ハ  $l\text{-}\alpha\text{-Pinen}$ ,  $Dipenten$  共= $C_{10}H_{16}$ , *Myristicol*  $C_{10}H_{16}O$ , *Myristicin*  $C_{11}H_{12}O_3$ . 其他一種ノふ系ノ一ニ性物質及 *Myristinsäure*  $C_{14}H_{22}O_2$  等ヲ含有ス。子衣ヨリ製スル肉豆蔻花油(香味料及藥用)モ成分同一



也。又肉豆蔻ヲ通及擦セバ混精油ノ脂肪約25%ヲ得。之ヲ肉豆蔻脂又肉豆蔻略(Oleum s Butyrum Nucistae)ト云フ。Myristicin, Linolein 等ヲ含ム。〔藥效〕生藥(二種共)ヲ芳香性健胃藥又矯味矯臭藥及助香藥トス。又驅風藥及消化藥トス。歐洲ニテハ広ク香料料ヲ使用ス。吾方-肉豆蔻ハ芳香性健胃藥トシテ0.5~1.0gヲ用ス。但大量ハ起中毒。民間ニ通經藥又ハ墮胎劑トシテ應用ス。脂肪油(肉豆蔻脂)ハ刺激性ノ軟膏・硬膏・擦劑トシ、揮發油(肉豆蔻油)ハ0.05~0.15gヲ驅風藥トシ又外用ニハ皮膚刺激性藥トス、又化粧品等ノ香料トス。

〔處方例〕 1) 芳香性健胃・驅風藥... 肉豆蔻末1.0 樹皮末0.5 白糖末2.0 以上混和1日量3分服。 2) 驅風・消化・通經藥... 肉豆蔻末・サマシ末 桂皮末各0.5 丁香末0.2 白糖適宜... 以上1日量3分服

(2) ちよくさい。にくづく (長形肉豆蔻) *M. argentea* Warburg [分布] 南洋 (=ニューギニア) 産。〔藥效〕 揮發油ヲ含有シ肉豆蔻代用トシテ用フ。

Fam (x) くす(樟)科 Lauraceae (133~135 圖参照)

形質一之又互。概常緑全株(特樹皮及葉)油細胞及粘液ヲ有シ揮發油ヲ含シ氣芳香。葉ハ概常緑革質。葉縁無裂。葉2~3次ニ深裂。全縁無毛ハ有毛。有柄。葉3行脈無托葉。花器ハ傘又早合。同被。概細小。花序ハ繖形・繖房・繖狀。円錐花序。繖頭狀極稀單生ス。花ハ中、◎、◎、概3數性稀2

數性(原種樹屬 *Laurus*) 花(原)托ハ土肉質蓋狀~皿狀、

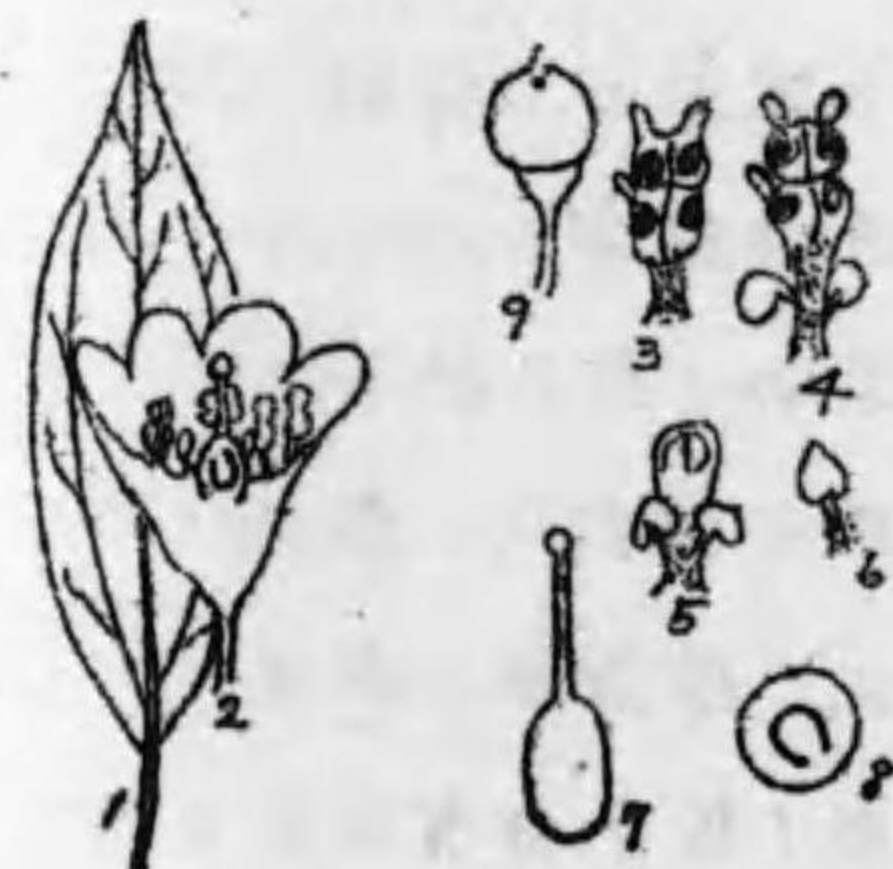
(133 圖) くす(樟) 種ノ葉ノ形態ヲ示ス(原圖) 1. 左ノ葉ハ、2. しろまじ 3. しろたじ 4. やまににくけり 5. たぶのみ 6. はまのみ 又 やまかばはし 8. まるま. にくけり。

134 圖 くすノ葉・花・果・及其解剖 (1. 2. 7. 8. 原圖) (3~6. 下山-柴田氏) 1. 葉(3行脈) 2. 花ノ縱斷面 P<sub>3+3</sub> A<sub>3+3</sub> + 3 + 3 G<sub>1</sub> 3. 外輪 A. 4. 中輪 A. 5. 中輪蜜腺 A 6. 内輪蜜腺 A 7. G<sub>1</sub> 8. G<sub>1</sub>ノ横斷面(蓋ノ卵子) 9. 果實(有肉質果托)

133 圖



134 圖



F. f. = P<sub>3+3</sub> A<sub>3+3+3</sub> V. 3+3+3 + 3 V. 3+3+3 + 3 + 3 G<sub>1</sub> - V. (3); 花被ハ2花輪; Aハ3~5花輪其中第3輪列ハ外向藥他ハ内向藥、而テ第四又第五輪列者ハ概退化シ葉Aトナリ蜜腺1双又1ヶヲ有ス。葉2輪列モ有蜜腺;



萼ハ2又4ヶノ蓋瓣ヲ反捲開綻ス即瓣開也瓣ハ宿存ス；花柱ハ單体，Gハ中位(周位)ニシテ凹形ノ花托底ニ立ツ。1子室ハ1ヶノ側生卵子ヲ藏ス。果實ハ擴張果(石果)ニシテ肉質杯狀ノ花托其基部ヲ圍攪ス；種子ハ無胚乳，薄種皮ヲ具ハ，胚ハ大子葉ヲ有ス。

成分及效用- 本料ニハ樟腦油(Kampher, Zimmtaldehyd, Eugenol 等)及脂肪油ヲ含有スルモノ多ク，Alkaloid(糖ニBerberin)ヲ殆ど不含。藥用ノ外，香味用，油料，染料，木材用，器具用，觀賞用ニ供シ，又食用果實ヲ生ズルモノアリ。

分布及屬種數- 世界ニ凡40屬，1000餘種ヲ産シ，主ニ熱帶(特ニ亞細亞熱帶)ニ分布シ，種數ハ亞熱〜暖溫帶ニ差ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡16屬90種ヲ下ラス，主ニ台灣ノ産ニ係リ，種數ハ本(中南部)・琉・間ニ分布ス。

本料ノ藥用植物:-

○ (1) くす(くすのき，樟)(134回) *Cinnamomum Camphora* Sieb. (分生) 本(中南部)四九朝・琉・台(最多産ス)ノ山野生，花五・六月，成果12月。〔生藥〕樟木(*Lignum Cinnamomi Camphorae*)ヨリ樟腦及樟腦油ヲ採集ス。樟腦 *Camphora*, *Kamfer*ハ樟材ノ切片ニ水蒸氣ヲ通シ蒸溜シ得ル昇華物ニシテ，白色結晶性ノ塊片ナリ，特異ノ芳香ヲ有シ，約175°Cニテ熔融シ，水ニ不溶，酒精又エーテルニ容易ニ溶解ス。樟樹ノ最樟腦ニ富ムハ根幹部ニシテ上部漸減ス。樟腦油ハ高溫度ニ溜出ニシテ液狀也。〔成分〕本料ニハ精油約1%ヲ含有ス，其主成分

ハ樟腦(*Camphora*又*Kamfer* 50~60%  $C_{10}H_{16}O$ )ナル結晶性固体ニシテ精油ノ酸化ニ依リ生ジ萜材際ニ蓄積ス，他ハ液狀ノ樟腦油也。樟腦油ハ尚分溜ニ依リ樟腦・樟腦白油(輕油)及樟腦黑油(赤油)ニ分ル。白油トハ175~200°Cニ溜出スル部分ニシテ片樟油トモ称シ *Pinen*, *Camphen*, *Cineol*, *Limonen*, *Phellandren*, *Dipenten* 等ヨリ成ル。赤油ハ270~300°Cニ溜出シ *Safrol*, *Eugenol*, *Carvacrol*, *Camphor*, *Caprylsäure* 等ヨリ成ル，又藍油ト稱スルハ *Sesquiterpen* 及 *Sesquiterpenalkohol* ヲ含有ス。葉ニモ精油1%内外ヲ含有シ，樟腦30%，*Pinen*, *Cineol*, *Terpineol* 等ヲ主成分トス。果實ハ脂肪油49%ヲ含有シ，主ニ *Caprinsäure*, *Laurinsäure* ノグリセリドヨリ成ル。(以上ハ廣松博士ノ研究ヲ主トス，藥誌22卷)。〔藥效〕樟材ヨリ得タル樟腦及樟腦油(多クノ藥品ヲ含ム)ハ醫藥上ノ工業上極テ重要ニシテ藥品，防兵，防腐，工業原料等用途頗ル多ク，局方かんみる(精製樟腦 *Camphora depurata*)ハ内服藥トシテ強心興奮(呼吸器及心臟)藥トシテ極テ重要也，即心臟及呼吸器疾患(痔ニ肺炎等ノ熱性病)，何片中毒，麻痺性中毒ニ用(0.03~0.3g)ヒ又合煎藥トシテ盜汗ヲ治ス；注射藥トシテハ急性虚脱ノ場合，強心及興奮劑トシテ皮下注射(10~20%オリーブ油溶液)即カンフルオリーブ油，1日數回迄0.01~0.6g.)藥トス。其他プロムカンフル，カンフル酸，カンフル軟香，カンフル丁酸(カンフル精)等ヲ製ス。又樟腦ハ衣服類，書置，標本類ノ防虫劑トシ，せるら



いと製造工業上不可缺ノ材料也。外用薬トシテハカンフル軟膏及カンフル丁酸ハ神経痛・リウマチス・打撲・凍傷・乾癬等ノ塗擦料薬トス。其他樟腦(カンフル)ハ局所刺激及殺菌・防腐作用ヲ有スルニ依リ吸入・噴引・織布洗口・合嗽塗布等ニ用ヒラル。消樟腦油ノ高温ニ溜ルヨリ生ズル *Sesquiterpenalkohol* ハ治蚊薬トシテ白樟油ニ代用ス。此目的ノ爲ニ造ルル〔新薬〕ニ *Novonol* (大阪藤沢), *Mibunol* (京都・日本新薬), *Kusunol* (神戸・日本香料薬品), *Sescol* (横浜・ハマ化学研) 等也。樟腦ノ工業(セルロイド製造)上ニ採用セラル。吾ハ全産額ノ過半ニ達ス。其他龍腦製造原料ニ供スル。樟腦製造ノ副産物タル片腦油即白油ハ防臭(候所等)・防虫ノ目的ニ用フ(瀝滯・白芷・其他)一類ニ貯藏中虫・發生シ易キ生薬類ニハ此片腦油ヲ撒布シ密閉スルヲ最良トス。樟腦ハ本邦重要輸出品ニテ年産六七百万円、日本政府ノ專賣ニ属ス。

〔藥理〕 1) かんふる注射ハ大脳ニ作用シ初之ヲ興奮セシメ、即呼吸量ノ増大・血壓ノ亢進・柱々利尿及發汗ヲ見ル。縮起ル中蓋ハ治癒速也。極量ハ4.0~15.0又以上、小兒ハ0.75~1.0ニテ至ス。2) 内服セバ血壓及呼吸亢進スルコトアルニ差違ヲ奏スルコトナク、殆無害ニシテ能ク制汗ノ目的ヲ達ス。其效暫時持續ス。3) 從來かんふるハ強心並興奮薬トシ、急性心臓衰弱ニ對シ最多ク使用セラル。例ハバ深麻酔ノ際血管中樞が麻痺セシ時、かんふるヲ投合セバ顯著ナル血圧亢進アリ。是かんふるが全體ヲ興奮セシムル爲ニ血管收縮ヲ起スト共

ニ心臓ノ收縮ヲモ恢復セシムルガ故ナリ。然トモ血時ノ研究ニ依レバ樟腦ノ強心作用ハ其生体酸化物中唯レびたかんふるニシテ強キ強心作用アリト云フ。即レびたかんふるニハ心臓ニ對シかんふるニカ麻酔作用ノ後、時ニ強心作用ヲ現ス異、直ニ強心作用ヲ現スノ差アリ。4) びたかんふるハ局所刺激微弱且吸收良好、吸收後ハ主ニ心臓ト神経中樞ノ諸中樞ニ興奮、微量ニテモ心臓ノ自動中樞ノ興奮ヲ示シ、稍増量セバ強心作用著明ナル外、呼吸中樞・血管運動神経中樞ヲ興奮セシメ、大以上ノ大量ハ其過制止中樞ノ興奮・大脳機能ノ亢進ヲ來ス、而テ極大量ニ於テノミ痙攣ヲ來ス。

(2) りすのきにまし(山島樟・烏樟) *C. Camphora v. nominale Haya*. 〔分生〕台・〔中南部〕ニ群生又散生スニ、三月開花シ七月成果ス。〔生薬〕葉及材。〔成分〕木部・葉ニ *Kamfer* ノ外、多ク *l. Dinalool* ヲ含有ス。〔藥效〕葉及材ヲ樟腦製造ノ原料トス。葉ノ精油ハ樟腦含有ニ富ム。根ハ茶ノ代用(恒春地方)トシ、実ハ檳榔ノ代用トシテ咀嚼ス。恒春番人ハ樹皮焙液ニテ齒ヲ黒染ス。

〔備考〕 本樹ハ萌芽力及生活力強大故植林シ藥製樟腦ノ採集ニ適ス。

(3) きつ-しよう(しようぎょう, 牛樟・樟牛・有樟) *C. micranthum Haya*. (= *C. Kanakivai Haya*) 〔分生〕台・〔中北部〕ニ樟ト混生ス。〔生薬〕材ハ1種ノ混生アリ。〔成分〕材ニ2%内外ノ精油(牛樟油)ヲ含ム、其成分ハ *Dipenten*



パラシメール. Cineol. Terpeneol (以上主成分).  
Geraniol. Eugenol 等也。〔效用〕材ヨリ芳香性揮発油  
ヲ製出ス。其香気ハ鈴蘭・小豆蔻油・まよらん油ニ類シ、香料ト  
シテ佳良也。

(4) ヨブキマケイ (くすたぶ, 天竺桂) 及其变种 (133 四4)

*C. japonicum* Sieb. 〔分布〕本(中南部)・四九・琉・  
小笠原ニ自生スル常緑也。〔生薬〕樹皮ヲくすかは又い  
かト称ス、備桂皮也。〔效用〕次記ノ桂皮ノ備物ニ用フ。不  
使用。

○ (5) ケイ・ヒメケイ (けい, ケイノ桂樹) *C. Cassia* Blume

〔分布〕印度及南支那ニ分布シ又栽培セラル常緑也。〔生薬〕  
桂皮(支那桂皮) (133 四4) *Cortex Cinnamomi* ハ6~10年樹ノ  
幹皮及枝皮又根皮ノ地層ヲ多少除去シ春季剝取乾燥セルモ  
ノ也。皮薄又褐色ヲ呈シ、気味ハ特異芳香性微甘也。桂枝  
*Ramulus Cinnamomi* ハ有葉小枝ヲ採乾セルモノナリ。  
〔成分〕桂皮ハ精油(桂皮油)約1.5%ヲ含有ス、主成分ハ桂ア  
ルデヒド (*Zimmtaldehyd*  $C_6H_5-CH=CH-CHO$ ), 醋酸桂  
エステル *Zimmtsäure* 也、其他 *Essigsäurezimmetester*、  
*Essigsäurephenylprophlester*、*MethylorthoCuma-*  
*raldehyd*、*Cumarin*、*Salicylaldehyd* 等ヲ含有ス。其  
他鞣酸・粘液・樹脂・澱粉等ヲ含ム。〔薬效〕局方桂皮ハ芳香性  
健胃薬・矯味矯臭薬トス、又興奮薬トシ嗜好品トシ、外用粉劑ニ  
モ附加ス。全桂皮油 *Aleum Cinnamomi* ハ0.025~0.1g.

ノ日殺白鼠風素矯味薬トシ 又月経困難ニ用フ、外用ニハ齒科  
用製劑、化粧品、酒類ノ香料トス。全桂皮水 *Aqua Cinnamomi*  
ハ盲腸炎・痲痛ニ半~1茶匙ヲ内服ス、概苦味性又芳香性合劑  
ノ矯味矯臭薬トス。全桂皮丁癸 *Tinctura Cinnamomi* ハ  
健胃薬又子宮止血薬ニ内服シ外用ニハ洗口水齒科用丁癸  
劑ニ和ス。全桂皮精 *Spiritus Cinnamomi* ハ驅風薬トシテ  
白糖ニ酒下シテ使用ス、主用途ハ合劑ノ矯味矯臭薬トス。全  
桂皮しちつぶハ苦味性及芳香性合劑ノ矯味矯臭薬トス。

桂枝ハ発汗・驅風・通經等ニ煎服ス。

〔處方例〕桂枝湯(頭痛咽喉痛・祛痰・化膿症ニ内服ス)・桂枝  
芍薬・生姜・大枣・各9g 甘草6.0...以上五味煎劑200トシ1日3回温  
服。桂枝湯ハ重要漢方薬ニテ症ニ應ジ (1) 桂皮加桔梗湯  
(鎮咳・祛痰), (2) 桂枝加芍薬湯(桂枝湯症ニシテ腹部滿、時  
々腹痛アルモノ), 下痢消化不良・有熱性腹痛) (3) 桂枝加葛根  
湯(麻疹・眼疾), 其他ニ多變化ス。

○ (6) ケイ・ケイ (肉桂・日本桂) *C. Laureirii* Nees. 〔分布〕本(南  
部)・四九・琉ノ山地ニ自生スル常緑・花大月・高知・熊本・和歌山諸  
縣ニ産出ス。〔生薬〕肉桂又肉桂皮(日本桂皮) *Cortex Cinnamomi*  
*Laureirii* ハ年2回(3~5月, 9~12月) 主ニ根皮及幹皮ヲ採乾セル  
モノ、半環状赤褐色気味特異芳香性辛烈微ニ收斂性也。細小  
根皮ヲちりちり桂皮ト称シ最上等品也。〔成分〕植物体各  
部ニ精油ヲ含有ス、水蒸気蒸溜ニ依テ採集ス、慶松博士ニ採レ  
バ根皮ノ精油中ニ主成分 *Zimmtaldehyd* 副成分 *Campher*。





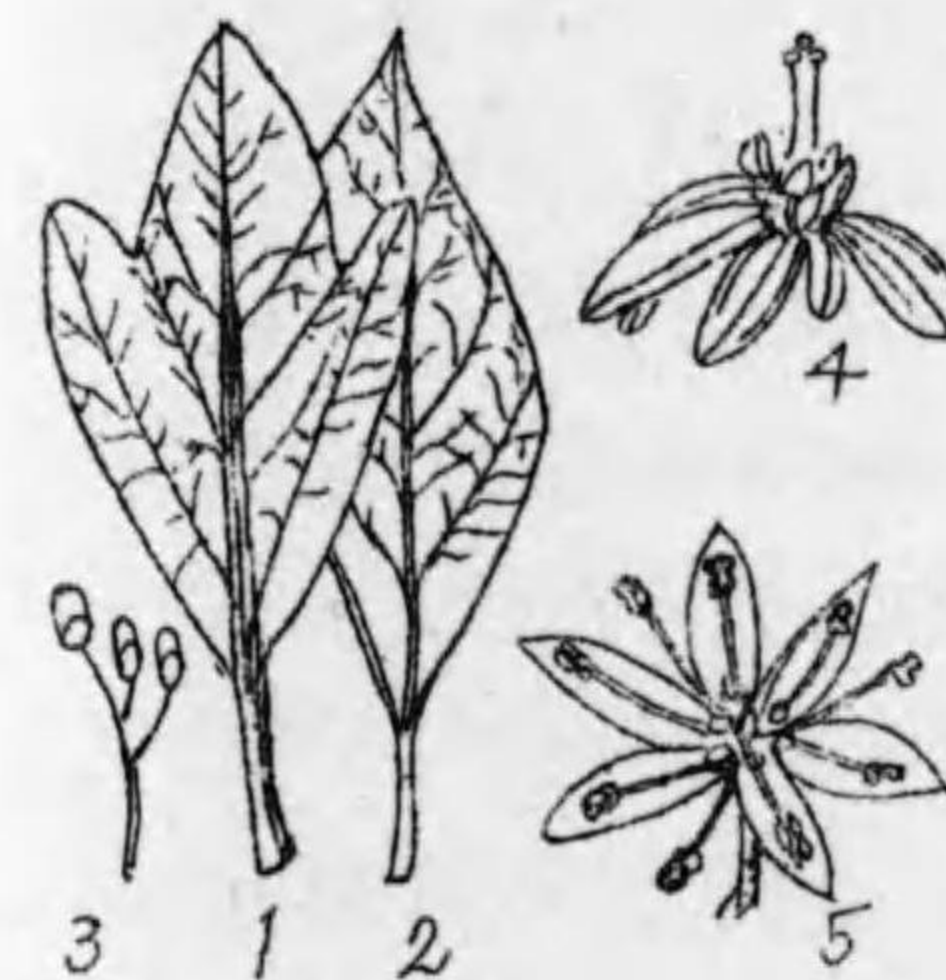


*Radix Rinderae* ハ根ヲ採乾セルモノニテ稍直球状、灰褐又紫黑色、気味樟腦様稍苦シ。支那ヨリ輸入ス。〔成分〕根ニハ精油1外、*Linderan*  $C_8H_{10}O_2$  (融点  $187^\circ$ )、*Linderen*  $C_{11}H_{14}O_2$  ( $\Delta 145^\circ$ )、*Linderol*  $C_{11}H_{22}O$  ( $\Delta 200\sim 201^\circ$ )、*Linderasäure*  $C_{14}H_{17}O-COOH$  ( $\Delta 205\sim 206^\circ$ ) 等ノ結晶性物質又 *Linderasäurelinderolester* 及  $C_{15}H_{18}O_2$  ナルケヒトシヲ含有ス。〔藥效〕漢：根即烏藥ヲ煎用シテ喘息・胃逆・中風・小兒腹ノ虫・痢病・瀉氣・霍亂ヲ治シ、又輕症ノ腦溢血・充血性頭痛ニ有效。漢方ハ專ラ芳香性健胃藥トス。〔處方例〕  
 1) 腹痛...烏藥當歸各20...以上1日量末トシ分服。2) 芳香性健胃藥...烏藥6.0 沈香、人參、甘草各1.0 水200...以上1日量煎劑トシ分服。  
 △ (11) げんけいじゆ (ろーれる, 月桂樹, 若利兒) *Laurus nobilis* L. (糸布) 南欧及亞亞ノ原産常緑木。日本植栽。〔藥用〕月桂葉 *Folium Lauri* ハ葉ヲ採乾セルモノ。月桂実 *Fructus Lauri* ハ果実ハ採乾セルモノ、黒褐色、長1.5cm、楕円形也。〔成分〕葉ハ精油1~3% 含有、其成分ハ *Cineol*、*Eugenol*、*Geraniol*、*Pinen*、*Terpinen*、*Sesquiterpen* 及低級脂肪酸等也。果実ハ25%ノ脂肪油及精油1%ヲ含ム。脂肪油ハ主ニラウリン酸ノグリセリドヨリ成ル。精油ハ *Cineol*、*Pinen*、*Laurinsäure* 等ヨリ成ル。〔藥用〕華局一月桂実(被・佛局方)ハ芳香性健胃藥トシ1回1g、1日數回内服ス。又月桂油ヲ採製ス。華局月桂油 *Aleum Lauri*

(續局方)ハ其區又軟膏ニ和シ疥癬腫物リウマチス等ニ塗布藥トス。月桂葉ハ西洋料理ニ賦香料ヲ供ス。果ノ煎汁ヲ腫物・疥癬・リウマチス等ニ外用シ、葉ハろーれる藥ト称シ矯臭藥トシテ料理及菓子製造ニ用ヒ芳香ト佳味ヲ添加ス。往古南欧ニテ勇士ノ冠ヲ飾ルニ桂葉ヲ用ヒシハ著名也。又觀賞用トシテ栽培ス。

△ (12) さつさふらす (サツサフラス樹) (135四) *Sassafras officinale* Nees et Eberm. (糸布) 北米産ノ木。〔生藥〕さつさふらす木 *Lignum Sassafras* ハ根木ヲ採乾セルモノ、気味芳香性微甘也。〔成分〕根木ニ精油ヲ含有ス。主成分ハ *Safrol* ナリ、其他ニ *pinen*、*Phellandren*、*Borneol*、*d-Campher*、*Eugenol* 等ナリ。

〔藥效〕サツサフラス木(根木)ハ発汗藥及利尿藥トス、古クハ取微藥トシテ驅蟲療法ニ應用セリ、又香氣ノ香絶セルニ依リさつさふらす油ト共ニ粉粧料トシ、



135四 さつさふらす樹ノ葉。  
 花・果(下山・茶田氏ヨリ変寫)  
 1. 瓶裂葉 2. 無分裂葉  
 3. 果序一ケ 4. 子 = P<sub>3</sub>+3  
 A÷3+3+3 G<sub>3</sub> 5. 子 = P<sub>3</sub>+3 A<sub>3</sub>+3  
 +3+3+3 G<sub>3</sub> (3)



香料トス、又さつさふらす油ノ製造原料ニ供セラル。

(3) かんからばい(うこんばい、やまがき、いはかさ)(133図1.)  
*Lindera obtusiloba* Blume [分生]本[中南部]、四・九  
朝ノ山地ニ点生スル若葉互ニモ。[藥效]小枝、黄梅木ト似シ  
腹痛ニ内用シ又ハ茶代用トス。材ハ薪炭用、又觀賞用トス。

(4) あぶらち×ん(むらだち、かしや) *Parabenzoïn*  
*praecox* Nakai [分生]本・四・九ノ山地ニ散生スル也。  
[效用]木材ヲ器具用又薪炭料トシ、果実ヨリ採取セル油ハ燈  
用ニ供ス。

### 第十三目 けし(罌粟)目 *Rhoeadales*

特徴一 概 ① ~ ④ 葉互ニモ、葉脈 Y、單葉又複葉、托  
葉有又無。花序ハ概總狀、複繖狀、繖房狀又繖形或繖房、稀單  
生又聚繖(けし科)花序也。花ハ散生稀半合(むくせ)さう科  
*Resedaceae* ⑤ (極稀 Aハ ⑥、外國産) ⑦ ⑧ ⑨ 或 (*Morin-*  
*gaceae*)、 $\oplus$  ⑩  $\Phi$ 、 $F.f = K_2 V. 2+2 G_4 U. 2+2 A_2+0 V. 2+2 U. 2+2^2 V. \infty$   
 $G(2-\infty)$ 、稀(*Resedaceae*)  $K_4 \sim \infty C_0 \sim 8 A_3 \sim 40 G(2 \sim 6)$ 。果ハ角果  
(短~長角)又蒴果、稀漿果又核果、極稀管莢狀果(*Resedaceae*)；  
卵子ハ2 卵膜概無胚乳、稀有(けし科)内胚乳ハ核狀。本目ヲ科中  
藥用ニ關スルニハ次ノ4科也。

- { 概  $K_2 r. 3$ 、種子ハ有胚乳..... *Fam. (I) HL(罌粟)科 Papaveraceae*
- {  $K_4 \sim 8$ 、種子ハ概無胚乳..... 1

花ハ無苞、四強 A、角果也..... *Fam. (II) あぶらな (十字花)*  
科 *Brassicaceae*

花ハ概有苞、Aハ四強 A=非ス..... 2

H=掌狀複葉又 D=複葉又單葉、花ハ有苞、 $A_0 \sim A_1$ 、概1室  
ノ蒴果(稀 $\infty$ 室又核果)也..... *Fam. (III) さうてらさう*  
(白花菜)科 *Capparidaceae*

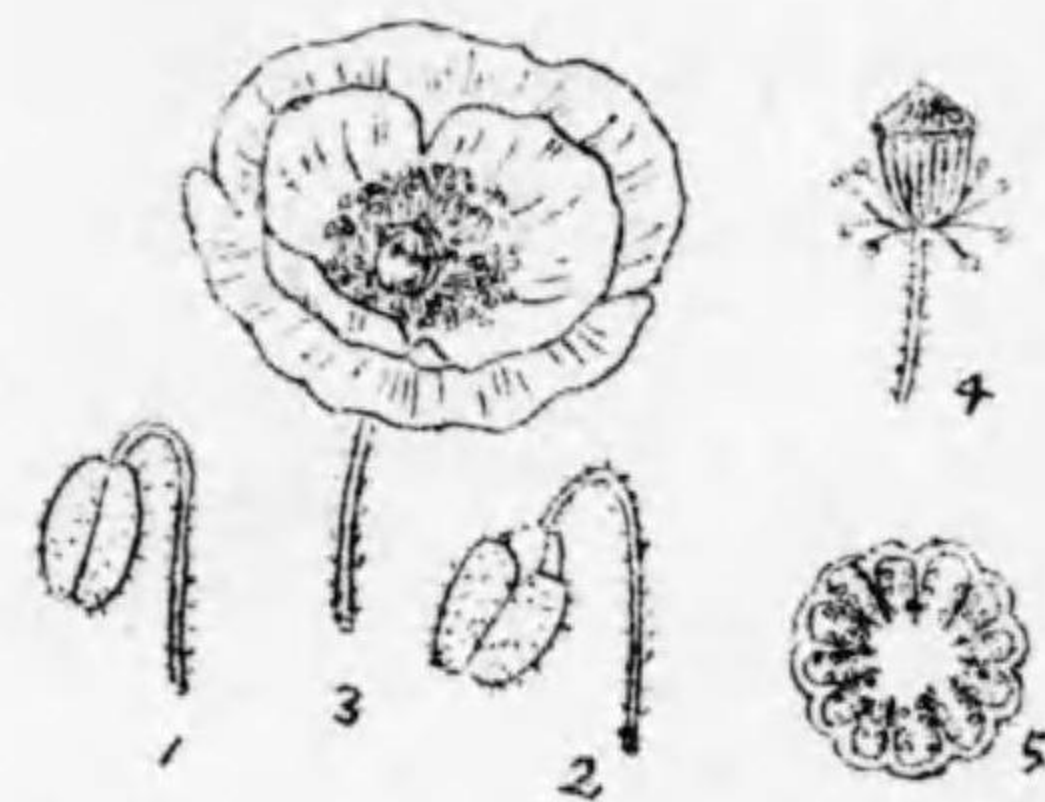
H=葉ハ無分裂又3裂或羽緣..... *Fam. (IV) もくせいさう*  
(木犀草)科 *Resedaceae*

### *Fam. (I) HL(罌粟)科 Papaveraceae (136~146 図参照)*

形質一 ① ~ ④ 葉地下ニ球莖ヲ有ス、全株連合乳管有又無。  
葉ハ稀(外國産)、有短~長柄稀無柄、單葉~複葉、無裂~掌  
狀又羽狀深裂~全裂、齒牙緣~缺刻緣。花冠ハ半、小~大形美、  
異被、花序ハ概總狀又單生、稀円錐又繖形或聚繖花序也。花ハ  
概2 數性稀3 數性(外國)  $\odot$ 、 $\oplus$ 、 $\ominus$ ； $F.f = K_2 r_3 U_2+2 r_1 6 \sim \infty$   
 $v. 0 A_2+0 v. 2+2 v. \infty G(2 \sim 16)$ 、Kハ小形早落性、Cハ芽中覆瓦  
狀、Cハ1~2ヶ層有距藏蜜腺、 $A_2+0$ ノ場合ハ單ニ外輪 A、3 分  
裂、原ニニハさく馬及(けまんさう)又其複體ニさく馬ニセルモ  
ノニテ、内輪 A 2 分裂シ外輪 A=癒合セリト説クハ誤ナラン；  
子房1室、2~16 箇、個膜胎、卵子ハ概 $\infty$  稀1箇、基立生卵子  
ヲ有ス、側生又穹生。果実ハ概蒴果稀閉果；胚ハ小、胚乳ハ含  
油性也。



(136 回)



(136回) ひまげしの花果

(原図)

- 1. 花蕾 (伴 K<sub>2</sub>)
- 2. 全花 (K<sub>2</sub> 脱落中)
- 3. 剖開花 K<sub>2</sub>C<sub>2</sub>+2A<sub>2</sub>G<sub>(2-∞)</sub>
- 4. 切果 (伴 A 殘物)
- 5. 蒴果 (G<sub>∞</sub>) 横断面

成分及效用—本科成分ノ特徴トシテ Alkaloid 抽出ナレシモ、配糖体及揮發油ハ未抽出ナリハ奇也、成分分類系統研究上注意ヲ要ス、其他脂肪及有機酸ヲ含ム。糖基ハ Opium-alkaloide. (Morphin 外ノ類 23種見セラル)。  
 Corydalis-a. Chelidonium-a. 等ニテ何レモ其成分中ニ Isochinolinkern ヲ含ム。Alkaloid (Morphin. Narkotin. Codein. Papaverin. Narcein. Thebain. Chelidonin. Chelerythrin. Protopin. Berberin. Dientram. Homochelidonin. Bulbocapnin. Rhoeadin. Sanguinarin 等) 其他ノ物質 (Chelidoxanthin. Monomethylquercetin. Chelidonsäure. Fumarsäure. Mekonin. Mekonsäure. Lecithin. Diastase. Lipase. Emulsin. 林檎酸. 枸橼酸. 酒石酸. 琥珀酸. Mecocyanin 等) ヲ含有ス。本科植物ニハ藥用植物(有毒ニ)甚多ク、又食用或觀賞用ニ供セラルルモノ不尠。

分布及属数—世界ニ 28属 600 餘種ヲ産シ、主ニ北半球ノ

温帯及亜熱帯地ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡ソ 11属 40 種ヲ下ツズ、北・南・台・間ニ分布ス。

本科ノ藥用植物—次ノ 3 亞科ニ分類ス。

Subfam. (i) ささばぐさ(莨菪草)亞科 Hyecosoideae ③, 無乳管葉ハ羽全裂花ハ⊕, 無距, F. f. = K<sub>2</sub>C<sub>2</sub>+2A<sub>2</sub>+2G<sub>(2)</sub>.

(1) ささばぐさ(莨菪草) (137 回) *Heridophyllum racemosum* S. et Z. (寄生) 本(中北部)ノ山岳亞寒地帯ニ根ニ密群生, 寒地帯ニ不進入。[生薬] 莨菪草 *Herba Heridophylli* ハ花後全草ヲ採乾セルモノニテ根莖稍肥大ス, *Gentiana* 様苦味アリ。[成分] 未詳ナルニ藥學者ノ研究ニ據リバ 2 類ノ結晶性 Alkaloid ヲ含有スルカ如シ。苦味質, 配糖体有機酸等ノ有無ハ不明ナリ。[藥效] 未詳。



(137回) ささばぐさノ

- 花序及葉・花果(原図)
- 1. 花序(總狀) 2. 花 (伴花梗)
- 3. 蒴果 (伴果梗・苞及果軸)
- 4. 羽狀全裂葉

Subfam. (ii) けし(罂粟)亞科 Papaveroidae ①~③, 乳管有葉ハ單葉~複葉(羽狀又掌狀)花ハ⊕, 2 数性極稀ニ 3 数性(外國), F. f. = K<sub>2</sub>C<sub>2</sub>+2A<sub>2</sub>G<sub>(2-∞)</sub>, C<sub>1</sub>ニ無距也。

Tribus 1) ささのわら族 (138~140 回) *Chelidoniaceae* 乳管ハ



帯黄〜帯赤色、花ハ2数性、F.f. =  $\sqrt{K_2 C_{2+2} A_{\infty} G_{\infty}}$ .

(2) くさのわら(たむし-かさ, 白屈菜)(138回) *Chelidonium majus* L. *U. grandiflorum* A.D. DC. (外生) 樺北本四九朝・統ノ平地山麓園圃路傍=点生〜稍群生。せりばくさのわら *U. laciniatum* Koch. (外生) 本(中部)=点生〜稍群生。  
〔生薬〕白屈菜 *Herba Chelidonii* 全草ヲ花時採斫セルモノ也。〔成分〕全草中 = *Chelidonium*  $C_{20}H_{19}NO_5$ . <sup>レリトリン</sup>*Chelerythrin*  $C_{21}H_{17}N_4O$ . *Protopin*  $C_{20}H_{19}NO_5$ . 3種ノほもへりどにル  $\alpha$ -,  $\beta$ -,  $\gamma$ -Homochelidonin (新糖 Homochelidonin  $C_{21}H_{21}N_4O$ .  $\alpha$ -Allokryptopin  $C_{21}H_{23}N_5O$ .  $\beta$ -Allokryptopin  $C_{21}H_{23}N_5O$ ). *Berberin*. *Sparteïn*  $C_{15}H_{26}N_2O$  (?)等ノ所謂 *Chelidonium-alkaloide* ヲ含有ス。而テ是等ハ *Chelidonsäure*. *Äpfelsäure* (林酸) 等ニ結合シテ存在ス。乳管中ニハ *Chelidoxanthin* (黄色素) ヲ含有ス。



(138回) くさのわらノ  
花序及花式図  
1. 花序(黄花、蒴果)  
(下山、紫田氏)  
2. 花式図(原図)..  
 $B_1 K_2 C_2 + 2 A_{\infty} G_{\infty}$

〔薬效〕根莖ヲ白屈菜根ト称シ、胃癌ノ妙薬トシ又黄疸・肝臓病・胃潰瘍等ヲ治ス、其用法ハ根莖ヲ細切搗碎シ其5分ヲ酒精6分ニ浸出セシメ、数日後濾過シテ丁幾劑トシ、1回5〜6滴1日数回水ニ添キテ服用ス、又白屈菜(乾全草)4g. ヲ水2分ニ煎シ1分トシ1日3回2日分トスルニ可也、(東本博士曰、本生薬ガ胃癌ニ有效確實ナレド鎮痛ヲ主トシ根治ハ不可能ナラント)、又此目的ニ莖葉ノ燻蒸ヲ用フルモ可。全草蒸出ハ鎮咳薬及鎮痛(胃及腸ノ疼痛・胃腸痛)トシ、又膽汁分泌ヲ促進シ且利尿ノ效アリ。莖葉生汁(黄赤色)ヲ塗抹シ疣ヲ除(おはぬ人古来行フ)キ田虫・疥癬・毒虫刺傷腫物ヲ治ス。莖葉ヲ落葉等ニ包ミ藪灰中ニ入レ蒸燥シ腫物ニ塗布セバ即效アリ。〔大和本草辨正〕= 曰ク... 葉ヲ採ミテ付レバ腫物ニ和グ、尤モ田虫ニ妙也。一名たむしやまト云ふ...トアリ。

〔新薬〕1) 磷酸ハリどにル *Chelidonium phosphoricum* (独・Merck) ハ鎮痛劑(1回0.1-0.2g. 内用)ニテ胃腸ノ疼痛及潰瘍ノ痛ヲ治ス。即阿片劑ノ代用藥トス。

〔藥理〕ハリどにルノ神經中枢ニ對スル作用ハモルヒネニ類似シ、痛覚脱失・嗜眠・瞳孔ヲ來シ、且知覚神經ノ末梢ヲ麻痺スル作用アリ。其毒性ニ就テハ家兔ニ其0.36gヲ注射スルモ顯著症狀ヲ不起。2) 人ニ在テハ間代性痙攣・痙攣ノ粘膜炎・心臓虚脱又血便・血尿・瞳孔反應鈍麻・無感覺・嗜眠状態等ヲ來スト云フ。3) 本植物塩基ノ生理作用ハけし類塩基(*Opium-alkaloide*)ノ作用ニ類似シテ、本生薬ガ胃癌ニ用ヒラルル

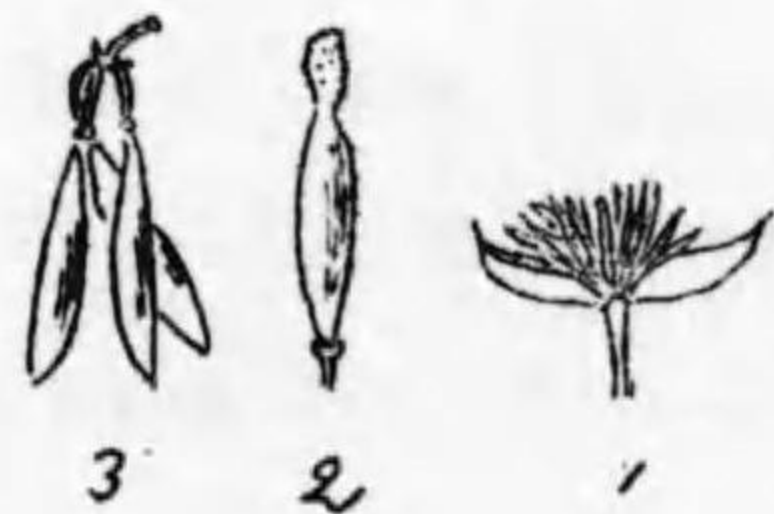


藥理 $\Leftarrow$ 其鎮靜作用及知覚神經末梢ノ麻痺作用ニ基クモノ也。  
*Sanguinarin*モ弱キ麻痺作用ヲ有シ運動神經中樞脊髄呼吸中樞血管運動中樞等ノ刺激ヲ來スモ、大量ハ麻痺ヲ來ス。  
*Protopin*ハ*Morphin*ト同様麻痺及痙攣ノ所作用ヲ有スルモ之ヨリ弱シ。猫ニ與ハレバ瀉シキ痙攣ヲ起ス。

〔處方例〕 1) 胃腸ノ鎮痛藥... 白屈菜水製工キス 1.5~5.0 薄荷水 60.0 シコップ 30.0... 以上混和毎日6茶匙宛口服。 2) 冷... 白屈菜水製工キス 10.0 蒸溜水 10.0... 以上混和 2~5日毎ニ0.5cc. 宛注射。

(3) ぢやんぱぎく (たけにやぎ, 博落狸) (139 四) *Macleaya Cordata* R. Br. [寄生] 本・四・九・流台ノ原野・陽傍山麓ニ散生~稍群生、花九月。〔生藥〕博落狸ハ花時莖葉ヲ採乾セラルモノ也。〔成分〕全草中ノ有毒成分ハ Alkaloidニテ *Protopin*  $C_{20}H_{19}NO_5$ ヲ主成分トシ、他ニ  $\beta$ -及  $\gamma$ -*Homochelidinin*, *Chelerythrin*  $C_{21}H_{37}NO_4$ , *Sanguinarin*  $C_{20}H_{15}NO_4$ ノ少量(痕跡)ヲ含ム。〔藥用〕生藥ノ煎汁ヲ皮膚病藥(田虫・毒瘡ニ塗布)ト

139 四



(139 四) ぢやんぱぎくノ花果  
 (原四) 1. 花 =  $K_2 P_0 A_{\infty} G_{\infty}$   
 2.  $G_{\infty}$  3. 蒴果 (伴小果軸)

ニテ有效、又之ヲ殺虫劑トシ種々ノ害虫驅除ニ使用ス、内服ヲ戒ム。莖葉煎汁ヲ牛馬ノ寄生虫驅除ニ塗布ス。葉ヲ便

堂中ニ投入セバ蛆ノ發生ヲ防グ。〔備考〕たけにやぎハ竹似草ニテ竹藪草ニ非ズ從テ竹ヲ自由ニ曲ケ細工ニ利用シ得トノ俗説ハ誤リナリトノ説アリ。

(4) やまぶきさう (くまやまぶき) 及其諸變種 (140 四)

*Hylomecon japonica* Brantl [寄生] 本(中南部)・四・九・朔ノ山地山麓ニ散生~群生ス、陰地~半陰地生也。〔成分〕毒草ナレバ Alkaloidヲ含有スルコト必定ナランモ未研究ナルカ如シ。待此後研究。

140 四



Tribus 2) はなびしさう族 *Eschschol-*

(140 四) やまぶきさうノ花及 G  
 (原四) 1. 花萼 2. 花 =  $K_2 C_2 + 2 A_{\infty} G_{\infty}$   
 3. K.C.A.ヲ除去シ  $G_{\infty}$ ヲ示ス (廓大)

*stjicae* ①又②或③, 葉ハ3回葉狀深ハ全裂、花ハ大美、F.f. =  $K_2 C_2 + 2 A_{\infty} G_{\infty}$ 。  
 (5) はなびしさう (きんえいくわ花菱草)

*Eschscholtzia Californica* Cham.

〔分布〕北米原産、日本栽培。〔成分〕根莖 = *Protopin*,  $\beta$ -*Chelidrin*, *Appelsäure*, *Citronensäure*, *Bernteinsäure*等ヲ含ミ、全草ニハ  $\beta$ -及  $\gamma$ -*Homochelidinin*, *Protopin*, 其他微量ノ *Chelerythrin*, *Sanguinarin*等ヲ含ム。〔生藥〕全草採葉製用トス。

〔藥效〕毒草ナレバ要注意水圖ニテ催眠藥及麻痺藥ニ使用ス。

Tribus 3) けし草族 (136 四) *Papaveraceae* ②又①, 乳液ハ



白又黄色。葉ハ單葉，細裂，花2数花極稀3数花(外國産)，  
F.f =  $K_2C_{22}A_{20}G_{(2-16)}$ ，但このかし屬ハG也。

(6) のかし(罌粟) *Glaucium luteum* L. (= ? *G.*  
*flavum* Crantz.) 【分布】 歐洲原産。日本栽培。  
【成分】 全草 = Protopin, Glaucin 等ヲ含ム。【藥效】 未詳。

(7) ひなげし(びじんさる、虞美人草、麗春花) (16回)

*Papaver Rhoeas* L. 【分布】 歐洲原産。

日滿支栽培，①又②。【生藥】 花又花冠ヲ採乾シ藥用トス。  
之ヲ麗春花 *Flos Rhoeados* ト称ス，花及全草ヲ稱ス。【成分】 全  
草各部 = <sup>ロイアチン</sup>*Rhoeadin*  $C_{21}H_{21}NO_6$  ナル塩基ヲ含ミモるひねヲ  
不含，種子皮 = ハ *Paramorphin*, *Narkotin*, *Morphin* ヲ  
含有スト云フ。花(佛・英・佛局方) ヲ煎劑又茶劑トシテ粘着性  
含嗽劑トス，又之ニ砂糖ヲ加ハ麗春花しろのぶヲ製シ鎮咳  
藥トス，又黃疸ヲ治スト云フ。【藥理】 ちいあちんハ動物ノ頸部  
= 輕度ノ筋弛緩。知覚鈍麻等ノ症状ヲ起シ，弱キ散瞳作用アリ。  
重症時ハ嗜眠・痙攣ヲ起シ，遂ニ昏睡ニ陥リ，終ルルニ至ル。  
【處方例】 1) 鎮咳藥... 虞美人草 5.0 木 100.0 ... 以上 1 日量前  
劑トシ分服。 2) 全... 虞美人草 8.0 甘草 7.0 木 100.0 ... 以上  
1 日量煎劑トシ分服。

(8) かし(罌粟) *Papaver somniferum* L. 【分布】 南歐原  
産，日滿支栽培，①~②，花色種々ナルニ白花ヲ良藥用  
トス。印度支那・滿洲地方ニ多産シ，日本ハ大阪府・和歌山縣多  
産ス。【生藥】 阿片 *Opium* (生阿片 *O. Crudum*) ハ未熟果ニ

少ク切揚ヲ附ケ乾燥セル乳液ヲ60°C以下ノ溫度ニテ乾燥精末  
トセル者也，是ヲ阿片末 *Opium pulveratum* ト稱シ至  
過色深醇臭及苛烈苦味アリ，局方ハ此モるひね含量ヲ10~11  
%ト規定ス。罌粟殼 *Fructus papaveris* ハ阿片ヲ糝リ種子  
ヲ除キシ熟果殼ニテ楕圓形・頂柱頭・内有多數肋壁。罌粟子  
*Semen Papaveris* ハ熟種子ヲ採取セルモノナリ，微小腎  
形，鏡下現網紋，味脂肪様甘シ。【成分】 阿片ノ塩基總量10~25%  
ヲ含ミ，メコン酸 (*Meconisine*) 塩トシ含有ス，其種類如次。  
主成分 - *Morphin* (モルヒネ)  $C_{17}H_{19}NO_3$  5~24%。 *Narcotin*  
 $C_{22}H_{23}NO_7$  4~7% *Codein*  $C_{18}H_{21}NO_3$  0.4~1%。 *Thebin*  
 $C_{19}H_{21}NO_3$  0.4~0.8%。 *Papaverin*  $C_{20}H_{21}NO_4$  0.4~0.7%。  
*Narcein*  $C_{23}H_{27}NO_8$  0.2~0.5%，副成分 - *Gnoscopin*  
 $C_{22}H_{23}NO_7$ 。 *Kodamin*  $C_{20}H_{25}NO_4$ 。 *Lanthopin*  $C_{23}H_{25}NO_4$ 。  
*Laudamidin*  $C_{20}H_{25}NO_4$ 。 *Mekonidin*  $C_{21}H_{23}NO_4$ 。 *Oxymar-*  
*cotin*  $C_{22}H_{23}NO_8$ 。 *Pseudopapaverin*  $C_{21}H_{21}NO_4$ 。 *Proto-*  
*papaverin*  $C_{19}H_{19}NO_4$ 。 *Rhoeadin*  $C_{21}H_{21}NO_6$ 。 *Xanthalin*  
 $C_{20}H_{19}NO_5$ 。 *Hydrocotarnin*  $C_{12}H_{15}NO_3$ 。 *Kryptopin*  
 $C_{21}H_{23}NO_5$ 。 *Laudamin*  $C_{20}H_{25}NO_4$ 。 *Laudanosin*  
 $C_{21}H_{27}NO_4$ 。 *Neopin*  $C_{18}H_{21}NO_4$ 。 *Oxydimorphin*  $C_{34}H_{36}N_2O_6$ 。  
*Papaveramin*  $C_{21}H_{25}NO_6$ 。 *Protopin*  $C_{20}H_{19}NO_5$ 。 *Iritopin*  
( $C_{21}H_{27}NO_3$ )<sub>2</sub>O ... 以上26種，Alkaloideヲ含有スル阿片ハ  
此也。樹脂ニハ質等ヲ含有ス。

種子ハ脂肪油約50%ヲ含ミ，主 = *Stearin*, *Pamitin*，



Linob, Lanolen, Isolinolensäure-glycerid  
等諸酸一からセリとヨリ成ル, 其他蛋白質・Pectin 質ヲ含  
ミ及余約7%也。

〔藥效〕漢: <sup>アヘン</sup>罂粟殼(けしから)粉末又舍利別)ハ鎮痛劑  
トシ煎服シテ腹痛・腸加答兒止瀉・鎮咳藥トス又鎮咳藥トシ  
回5~10g.ヲ煎服ス。 <sup>アヘン</sup>罂粟子ハ痢病ノ止痢藥トス,又製果用  
ニ供シ,尚罂粟油ヲ製ス。阿片末(局方)即乾乳液末ハ鎮痙鎮痛鎮  
靜藥・睡眠藥トス,其應用ハ腸蠕動ヲ鎮靜シ下痢ヲ制止シ,腸出  
血・盲腸炎・腹膜炎・痙攣下痢ヲ治スル爲ニ内服ス。其他局方製  
劑ノ阿片丁錫・ドロール酸・阿片エキス・芳香阿片酒・Morphin・  
Kodein・Papaverin等諸藥ノ製造原料トス。局方...阿片末  
(Opium Pulveratum)ハ<sup>アヘン</sup>塩基ノ協力及粘液ノ存在ノ爲  
依用緩和,特止瀉ニ奏效大,其他鎮痛鎮靜等ニ1日數回  
0.03~0.05g.宛ヲ内服ス,1回極量0.15g.1日全0.5g.阿  
片製劑ニ阿片越幾斯,阿片坐藥,阿片丁錫,阿片吐根錠等ヲ  
リテ局方ニ收載ス。

局方あるからいと塩酸塩(Aekzloidum Opii hydro-  
chloricum)=Pantopon・Narkopon, Kamopon  
(日本新藥)・Basiopon(株)等ノ新藥アリ。皆鎮痛藥トシ  
テ無痛出産其他ニ注射用トス,1回極量0.03g.1日全0.1g.  
也。

局方...塩酸モルヒネ又モルヒネ(Morphinum hydrochlo-  
ricum)ハ鎮痛・鎮靜劑トシテ凡テノ疼痛・就中胃痙攣ノ發

依・膽石病・腎石痛・胃潰瘍又脊髄癆ノ胃痙攣・心臟痛ニ  
依ル痙攣・肋膜炎性疼痛等ニ注射ヲ行フ。1回極量0.03g.1  
日全0.1g.也。

局方...<sup>アヘン</sup>磷酸ニハハロム(Codenum phosphoricum)ハ鎮  
痛・鎮靜依用,特鎮咳劑・呼吸鎮靜劑・肺出血・氣管枝炎・肺結核・氣管  
枝喘息等ノ<sup>アヘン</sup>極量0.1g.1日全0.3g.也。

局方...<sup>アヘン</sup>塩酸ハハロム(Papaverium hydrochloricum)  
ハ鎮痛・鎮痙劑トス,1回極量0.2g.1日全0.6g.也。血管放  
大(血圧降下)藥ニテ狭心症・動脈硬化症・喘息・慢性腎炎等ニ於ケ  
ル高血圧症ニ用フ。局方...阿片坐(坐藥)ハ1箇中ニ0.03g.1阿  
片ヲ含ム,痔疾・肛門裂傷ニ用フ。局方...ドロール酸ハ阿片  
吐根末各1分,硫酸カリウム8分ヲ混和ス。氣管枝炎ニ  
0.1~0.51日數回服用,極量1回1.01日全3.0g.也。

局方...阿片吐根錠ハ1箇中ニ阿片吐根各0.05g.ヲ含ム。

〔新藥〕オピール Opieel (大阪・富松)ハ罂殼成分ニ Saponin  
劑ヲ配伍セル鎮咳祛痰藥也。

〔處方例〕1) 百日咳藥...罂粟殼20g. 車前草12g. 甘草5g.  
水2合ニ煎詰メ1日數回咳間ニ分服。2) 氣管枝喘息...<sup>アヘン</sup>磷酸  
コチン0.02g. 乳糖0.5以上ヲ1包,咳嗽時頓服。3) 急性  
氣管枝炎...<sup>アヘン</sup>磷酸コチン0.3塩規0.6...以上ヲ30丸,1日3回1  
丸宛。4) 畢丸腫...罂粟子末少量ヲ酢ニテ練リ布ニ延ハ陰  
囊ニ貼付ス。

〔備考〕日本ノ阿片年産額ハ4~5千貫内外ニテ,栽培上



上ノ管理其他取扱ハ地方長官又厚生省衛生試験所ノ許可ヲ要ス。支那ニ於ル悉用ハ其害甚シ而シテ輸出入生産共ニ阿片取締令ニ基キ各國協力シテ行フ。

〔其他效用〕 種子ヲけしのみト称シ食用(香味料)トシ菓子ニ用ヒ、又油ヲ搾リテ食用・薬用・油蓋用・石鹼製造用トス。嫩莖葉ヲ食用(浸シ物等)トス。又觀賞用トス。

〔藥理〕 *Opiumalkaloide* ハ各類似作用アリ、各過基又其總合藥理作用如次。 1) 阿片 (*Opium*) ノ作用ハモルヒネ (*Morphin*) ノ作用ト近似スモ不同、是阿片中ニモルヒネ 10%内外ノ外ニ過基ヲ含ム為相殺緩和サルルニ因ル。然レモ阿片中ニハ膠質(蛋白・粘液等)ヲ含ム故其吸收ヲ妨ゲ過基ヲ腸深部ニ到達セシメ蠕動ヲ制止セシム、是阿片ノ腸管靜止藥トシテ兼效スル所以也。 2) モルヒネ (*Morphin*) ノ体内吸收後ハ選択的ニ中枢神経系ニ作用シ、順次大脳・小脳・延髄ヲ麻痺シ、次ニ脊髓ノ興奮性ヲ亢進セシ後之ヲ麻痺シ、且独立神経中枢ヲ興奮ス、故ニ鎮痛藥ニ賞用ス。(イ) 今其少量ヲ與フル時ハ中枢神経系ノ疼痛感受性ヲ減退シ、激痛不感ニ至ル。即意識混淆スル事ナク運動中枢末犯サレザルニ單独ニ痛覺ヲ麻痺ス。此作用ハ  $0.005g.$ ニテ既ニ発ス。(ロ) モルヒネハ呼吸中枢ニ作用シ之ガ鎮靜ト同時ニ咳嗽ヲ制止ス、故ニ呼吸困難ニ有效也、即呼吸中枢ノ興奮性ヲ減退シ以テ呼吸ヲ安靜ナラシム。應用ニ過酸モルヒネ... 1% 溶液半~1 筒皮下注射又 1日  $0.001 \sim 0.03$  ヲ散水・錠劑トシテ内服ス。

處方例—呼吸鎮靜藥(心臟病又呼吸器病ノ呼吸困難並激痛ニ用フ)... α) 過酸モルヒネ  $0.05$  白糖  $2.0$ ... 以上研和散爲 5 包 毎 3 時 1 包(急性気管枝炎藥)。 β) 過酸  $0.01$  莖葉エキ  $0.06$  白糖  $0.5$ ... 以上爲 1 包 與 3 包 發 作 時 1 包(気管枝喘息)。 γ) 過酸  $0.03$  ヒヨクエキ  $0.2$  杏仁水  $5.0$ ... 以上咳嗽甚時 10~20 滴(鎮咳藥)。(モルヒネ(鎮痛藥)ノ致死量ハ  $0.05g$  以上、 $0.1g$ ニテ  $0.2g$  以上ハ確實ニ死ス。

3) ニコチン (*Kodein*) ノ大脳麻酔作用ハモルヒネノ約 1/2 也、故大體ニ唯鎮靜ノミニテ不麻痺、然レモ鎮靜作用ハ不方ノ外習慣性ヲ起ス危險少ク、且對腸・催眠酒作用ニ弱ク、而モ鎮咳作用強大也、(イ) 故臨床ニ主ニ鎮咳藥トス。致死量ハモルヒネノ 5~6 倍量也。處方例—主效... ニコチンハモルヒネト共ニ鎮咳劑トシ肺出血・気管支炎・結核等ニ用フ。 α) 磷酸ニコチン  $0.02$  乳糖  $0.5$ ... 以上爲 1 包・咳嗽時頓服(気管枝喘息)。 β) 磷酸コチン  $0.3$  龍膽末反エキ  $2$  ヲ適宜... 以上爲 30 丸 1 日 3 回 1~2 丸 宛(急性気管枝炎)。 (ロ) ニコチン及モルヒネノ如キ鎮咳藥ハ咯血ニ使用セバ呼吸ヲ安靜ニシ、呼吸器ノ急激ナル血圧変化ヲ防ギ、其端血栓ノ形成ヲ容易ニス、又阿片ハ腸出血ニ對シ腸ヲ安靜ニシ血栓形成ヲ促進ス、故是等ハ間接的止血劑也。

4) パパバリン (*Papaverin*) ノ大脳麻酔作用ハモルヒネトニコチンノ中間強度也、麻酔藥トセズ、平滑筋・腺體ノ痙攣緩解ノ目的ニ用ス。毒性甚弱シト雖モ能ク亢進血圧ヲ降下セシム、是本成分ハ平滑筋・特動脈ヲ弛緩スル作用アル故也。



使用= 當り學經便秘ヲ來スモ他ノ副作用ナク、作用數時間持  
續シ且療效確實也。(1)主效...血管拡大(血圧降下)藥(脊髄癱  
瘓心症、動脈硬化症、氣管枝喘息、慢性腎臟炎、高血症、小兒下痢  
等)→塩酸ハハバリン 0.005~0.04 静脈注射、0.005~0.05  
1日2~3回皮下及内服。(2)胃・腸・子宮等ノ平滑筋ノ緊  
張ヲ本藥ニ依テ緩和セバ妊娠性嘔吐ヲ學鎮靜ス(長ハモルヒ  
ね又チコホラミルノ皮下注射ニ依リ嘔吐中枢ヲ麻痺セシメ、  
原因不明ノ嘔吐例ハ妊娠嘔吐、船暈嘔吐等ヲ抑制スル如ク)。  
主效...ハハバリン(すこほらみん・モルヒネ)ハ制吐劑也。  
塩酸ハハバリン 0.005~0.04 静脈内注射、1回0.1...1日量0.2  
迄皮下注射又内服。蘇方例→塩酸メルヒネ 0.06 グレオソート  
15滴 醋酸30滴 糖水 60.0...以上1日數回1茶匙ヲ水ニテ服用  
(患阻ニ用フ)。

5) なるちん (Narkotin) 及なるつえいん (Narcein) 共ニ  
麻酔作用弱ク、臨床上稀用スルノミ。

6) ニタルニン (Cotarnin) ハなるちんヲ分解セシムル  
際生ス、其作用ひとらすチズニ類シ子宮並血管收縮ヲ亢進ス、  
其他輕度ノ消炎<sup>ニ</sup>及鎮靜作用ヲ有ス。主效...子宮緊縮藥トシ  
テ月經過多、子宮出血、肺出血、膀胱出血、膀胱炎等ニ用  
フ。塩酸コタルニン 0.025~0.1 宛1日4回内用、錠劑又散藥  
トス。又5~10%液皮下注射。

Subfam. (iii) 魚んごせ(ヤブ-けまん) 延胡索 亞科 (141~146 圖)  
Fumariaideae ⊕ 球莖有又無。葉ハ掌狀複葉 1~3 回掌

狀淺~深裂・縮全裂。花序ハ總狀。花ハ  $\phi, \odot, \ominus$ 、外輪 C、  
1~2ヶハ有胚・蜜腺ヲ容ル。F. f. =  $K_2C_2+2A_2+0G(2)$ 、Aハ各  
3分裂、内側2ヶハ藥1室・中央者2室。全草中又特ニ球莖  
(Cormus) 中ニ *Corydalisalkaloide* ヲ含有ス。

141 圖



(141 圖) ヤブ-けまん (モル  
ヒネ) ノ花・果 (原圖)  
1. 花莖 (伴  $K_2$ ) 2. 花 ( $K_2$   
脱落, 伴苞) 3. 分裂 A  
ノ内側 (3 分裂) 4. 内  
側 5. 莢果 (伴果梗)

142 圖



(142 圖) みやま-けまん  
ノ花・果・種子ヲ示ス (原圖)  
1. 花ノ縱斷面...  $K_2C_2+2$   
 $A_2+0G(2)$  2. 念珠狀莢  
果 3. 種子 (有微小突起)

143 圖

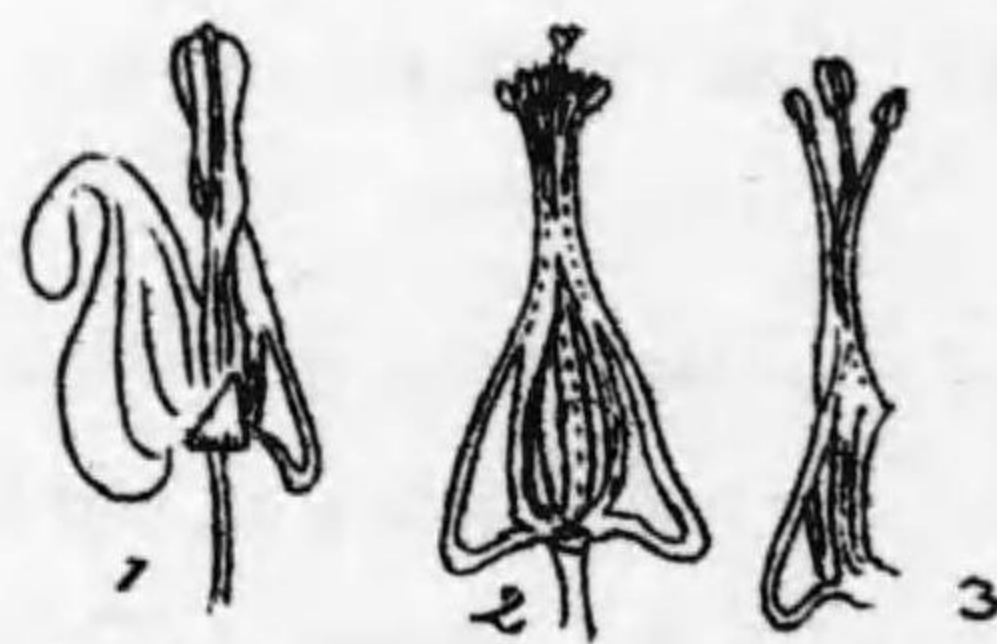


(143 圖) けまん類ノ花  
式圖 (原圖)  $K_2C_2+2A_2+0$   
 $G(2)$



(9) こまぐさ(きんきん・さう・駒草)(144回) *Dicentra pusilla*  
 S. et G. (分生) 樺・南千・北・本(北中部). 寒地帯(500~3200m)  
 ノ砂礫地(特火山)=散生~群生ス。花七・八月 (生薬) 駒草  
 Herba *Dicentrae* ハ花時全草ヲ採乾セルモノ也。(成分)全草中  
 = 2種ノ塩基 *Dicentrin*  $C_{20}H_{21}NO_4$ . *Protopin* (以上主成分) 其  
 他 *Quercetin monomethyläther* ヲ含有ス。(薬效) 全草ヲ  
 煎劑トシ鎮痛薬(頭痛)トス, 蓋上記主成分ノ麻酔作用ニ依ルベシ。

144回



(144回) こまぐさノ花ノ解剖  
 図(下山一紫田氏) 1. 右  
 側ノCヲ除去ス, 2. C全体  
 即  $C_{2+2}$  ヲ除去シ 3. 分裂A  
 2ヶ(即  $A_{2+0}$ ) 及  $G_{(2)}$  ヲ示ス  
 3. 片側1ヶノAカ3裂後  
 1部合着セルヲ示ス。

其他利尿通經) 效アリト云フ。(薬理) *Dicentrin* 少量ノ麻  
 酔作用ヲ, 中量ハ麻酔作用ニ次ヲ特異ノ痙攣様痙攣作用ヲ呈  
 ス。其0.2gヲ温血動物ノ皮下注射スルニ *Antipylin* 0.5gニ  
 相當スル解熱作用起リ常温又其以下ニ下リ数時間後元ノ高  
 温ニ復ス。是ニ依テ十分ノ下熱ヲ欲セバ軽度ノ呼吸促進ヲ  
 伴フモノノ如シ。(備考) 民間特木曾地方ニテハ一種信仰的  
 靈藥トシテ珍重ス, 御岳百草集ニテハ駒草合入ヲ貴重スル  
 習慣アリ。乱採ノ結果御岳駒ノ岳(駒草ノ名ノ起原)ニ絶滅シ  
 或セントスルハ蓋シ故ナキニ非ズ。駒草ノ成分研究ハ主ニ

薬学博士長田博士ノ研究ニ依リ。

(10) けまん・さう(ふぢぼたんやうらくぼたん)(145回)  
*D. spectabilis* Mig. (分生) 支那・滿朝ノ山地, 日本栽培。花  
 三・四月 (成分) 根莖 = *Protopin* 約10%ヲ含有ス, (薬效) 同前種ヲ  
 ラシ。未詳。

145回



(145回) けまん・さうノ花ノ  
 解剖図 (Masut d Desaisne)  
 1. 花ノ解剖  $K_2C_2$  及  $A_{2+0}G_{(2)}$   
 2.  $C_{+2}$  即Cノ内輪2片

(11) ちらさきけまん . ちら  
 けまん・ちらせり地錦苗(紫重)(14回)  
*Corydalis incisa* pers. (分生)  
 北・本・四・九・朝・琉ノ平地・山麓・園圃ニ  
 散生~群生ス。花四・五月。(1) し

ちらさきけまん *V. pallescens* Mak. 本(中部). 2) りらきらち  
 らさきけまん *V. liuchiuensis* Nakai 琉. (生薬) 紫重ハ全  
 草ヲ花時採乾セルモノ也。(成分) 長田博士ノ研究ニ據レ  
 バ全草 = *Protopin*  $C_{20}H_{19}NO_5$  及 *Corydalin* ヲ含ムト云フ。  
 (薬效) 葉ノ煎汁ハ脱肛ヲ巻法スルニ用ヒ, 根莖ヲ鎮痛・鎮痙  
 薬トス。(備考) 嫩莖葉ヲ煤ヲ汁ヲ捨テ菜トシテ食スト云フ。

(12) きーけまん(はまきけまん) 黄重, 断腸草) *C. platycar-*  
*pa* Mak. (分生) 本(中南部). 四・九・琉ノ海岸地ニ散生~群  
 生ス。花三・四月。(成分) 未詳。(薬效) 根莖ヲ鎮痙・鎮痛劑



146 図



(146 図) からくさ・けまん属  
*Fumaria* 1 花式圖ヲ示ス。  
 $K_2C_2+2A_2+O_5$  (参考圖)

トス。

(13) みやまきまん (142 図) *C. pallida*

*pers.* (分生) 北・本・四・九・朝・琉ノ山地・山麓ニ散生〜群生ス。

花四・五月。(成分)未詳。(藥效)未詳ナルニ同前種ヲシ。

(14) 蒸せきけまん (鐵英貢重) *C. speciosa* Max. (分生) 樺  
 南千・北本(北部・羽前・陸前以北)ノ山地〜山麓ニ散生〜群生ス。  
 花四・五月。(成分)長田博士ノ研究ニ據レバ前種同様 *Protopin*  
 及 *Corydalin* 系統ノ塩基ヲ含有スト云フ。(備考)以上2種ハ  
 惡臭強烈不可食有毒也但乾燥後ハ全ク臭氣無シ。

△(15) じろばえ〜うんごさく (つぶく延胡索, 玄胡索) *C. de-*  
*cumbens* Persoon (分生) 本(中南部)・四・北台ノ山地〜  
 山麓ニ群生〜散生ス。花三・四月。高10~30cm。塊莖ハ多  
 角形、莖ハ1~3立。性莖下部無鱗苞、花ハ淡紅色、白花品ヲしろ  
 ばな〜じろばうえんごさく(新種) *f. albescens* (Takeda)  
 H. Koidzumii Comb. nov. ト云フ。本州中部ノ産地。(生藥)  
 延胡索 *Tuber Corydalis* ハ花時〜果時ニ塊莖(実ハ球莖、徑  
 2cm. 内外)ヲ其儘或蒸テ乾燥セルモノニテ、やぶ〜えんごさく  
 ノ球莖(球狀非多角形)ヲ混スルコトアリ。上面ニ1~3ヶノ  
 莖痕(瘤突起)アリ、外面帶黃灰色、破面ハ鮮黃色、角質、微苦無臭  
 也。糊化澱粉充滿ス。産地ハ九州北半多。(成分)朝比奈長

田・馬越諸博士ノ研究ニ據レバ球莖ニ *Protopin*  $C_{20}H_{19}NO_5$ 。  
*Bulbopin*  $C_{19}H_{19}NO_4$ 。d-Tetrahydropalmatin  $C_{21}$   
 $H_{25}NO_4$  及融点228~230°ノ非ふゑのーる性塩基ヲ含有ス。(藥  
 效)漢：瘀血ヲ破ル要藥トシ解毒劑、又鎮痙通經劑トシ婦  
 人病(月經痛・不順・子宮諸病)要藥トス。尚鎮痛藥(腹痛・頭痛等)  
 トス。1日用5~8g。煎服ス。準高延胡索 (*Tubera Cory-*  
*dalis*)ハ *Corydalis* 属諸種ノ球莖ニテ鎮痛・鎮痙藥トシ1  
 日8g。煎服ス。(新藥)塩酸カルボニ、フニ (*Bulbocapnin*  
*hydrochlorid*, 独・Merck社)ハ震動性痙痺ニ内用又注  
 射ス。(2)えんふしん *Enfusin* (東京・三共)ハ延胡索總塩基  
 ノ1%水溶液ニテ神經痛・腰痛等ニ注射藥トス。

△(16) やぶ〜えんごさく (びつちり・やま〜えんごさく, 延  
 胡索) *C. remota* Fisch. = *C. bulbosa* DC. 高10~20cm。  
 球莖ハ球狀非多角形、莖ハ單立、下部有鱗苞、花ハ青紫色  
 ~青色又淡色。花四・五月 (分布) 滿・朝・日(本・四・九・朝) 交種、  
 函種多シ。1)やま〜えんごさく *v. genuina* Max. 葉2  
 ~3回掌狀3出、淡〜深刻 (分生) 本(北中部)ノ山地〜山麓  
 ニ散生〜群生、小形者ヲびつちり(分)ト云フ。2)さきば〜えん  
 ごさく *v. linealiloba* Max. 葉裂片廣線形〜線形、鈍  
 尖頭。(分生) 本(北中部)。3)さくば〜えんごさく *v. flabellata*  
 Mak. et Nem. 葉裂片更ニ羽分裂。(分布) 本(中部)。4)ひめ  
 えんごさく *v. Capillaris* Mak. et Nem. 葉3~4回掌狀  
 全裂、裂片ハ鈍頭有長線狀柄、全株概小形。(分) 本(中南部)・四・九・朝  
 5)しろばな・や



魚んごさく *v. alliflora* H. Koidzumi ハ白花種也。  
 [分布] 本(中部)。 6) おほば-元んごさく(元んごさく, たん魚んごさく, 延胡索) *v. ternata* Mak. 葉3全裂, 裂片鉤状粗齒縁。支那原産, 日本栽培(或別種ナラン, *C. ternata*)。 [生薬] 延胡索 *Tuber Corydalis* ハ花又果時=球莖ヲ採乾セルモノ也。白花ヲ上品トス。地下球莖ハ球形, 徑1~2 cm. 内外, 他ハ前同。 [成分] 吳場氏ハ朝鮮産=試テ研究(藥誌49卷)= $l$ -Corydalin  $C_{22}H_{27}NO_4$  · Protopin (以上主成分) ·  $\beta$ -Homochelidonin  $C_{21}H_{23}NO_5$  ·  $l$ -Camadin  $C_{20}H_{21}NO_4$  ·  $l$ -Corydin  $C_{20}H_{23}NO_4$  · Iso-corydin ·  $l$ -Glauцин  $C_{21}H_{25}NO_4$  · Tetrahydrocopsisin  $C_{19}H_{17}NO_4$  (以上副成分)ヲ含有ス。 [藥效] 全ク全種ト同様ナルカ如シ, 即チ球莖煎劑ヲ主=婦人病(血ノ道・調血・血閉・瘀血即不順産前後, 眩暈産後腰痛, 胸悶, 目眩痛, 分娩後陣痛, 子宮出血, 子宮諸病)=鎮痛・鎮靜鎮痙藥トシテ實用ス。又産後ノ肥立ヲ良好=シ, 皮下出血(瘀血)ヲ消散セシメ, 痲痺ヲ治ス。1回2~3g. 1日5~8g 煎服ス。本品ハ水冷ノ飲食物=因ル腹痛・痲痺・月經痛・腰痛等=實用サルルハ鎮痛兼痲痺性塩基ヲ有スル=依ル。 [藥理] Protopin ハ 蛙=對シ少量(0.002)ナレバ阿片塩基ト同様=痲痺作用ヲ起ス, 大量ハ筋肉及末梢神經痲痺ヲ來ス, 哺乳類=對シテハ樟腦中毒位以ノ症狀ヲ呈スルモ痲痺性ノ痲痺ヲ來ス=依リ區別ス。猫=0.008~0.01ヲ皮下注射セバ劇烈ノ間歇性痙攣ヲ起ス, 大量ナレバ痲痺様痙攣ヲ起テ

藥ル。人間=マハまらリノ病=用ヒ痙攣及呼吸麻痺ヲ來セシコトアリ。 [薬方例] 腹痛(持産後)・頭痛・月經痛藥... 延胡索 5.0 乾姜・桂枝各1.0 當歸2, 水200.0以上1日量煎劑ヲ分服。  
 (17) しな-元んごさく(新種)(おほば-元んごさく, 延胡索, 玄胡索) *C. ternata* Nakai (= *C. Vernyi* Fet S. = *C. remota v. ternata* Mak). [分布] 鮮・滿・支=分布シ日本内地=不産。 [生薬] 漢方ノ延胡索ノ眞正品ハ長ナルカ如シ。支那産延胡索ハ球形=マ稍扁平セラレ直径1cm. 内外汚黄色。多縱皺アリ, 切面角頂鮮黄色胞ヲ味苦シ。鏡下=檢セバ和産=比シ維管束少ク且有空隙。 [成分] 未詳ナルモ愚問前種ナラン。 [藥效] 同前種。 [備考] 朝鮮=於テ本種ハ山野=丘キ水田中=生ジ *C. remota* (= *C. bulbosa*) ハ山野ノ林下=生ジ生態ヲ異ニスル別種ナリ。而テ各地漢方醫ノ用フルハ本品ナル=採藥者ハ彼是混合シ採集混合シテ市場=盛ルヲ常トスト云フ。  
 (18) 魚んごさく(おほば-元んごさく, 元胡, 蝦夷延胡索) *C. ambigua* Cham. et Schlecht. [分布] 樺南千北・本(北中部, 眉州以北)・其他鮮・滿・黑・西北=モ分布ス。変種変形多キコト *C. remota* = 似タリ。即チ魚んごさく *v. glabra* Takeda 2) ま-魚んごさく(新種) *f. genuina* (Takeda) H. Koidzumi (樺・南千北・奥羽北中部)。  $\beta$ ) ほろ-魚んごさく *f. lineariloba* (Tak.) H. Koidzumi (北)。  $\gamma$ ) くしは-魚んごさく(新種) *f. pectinata* (Tak.) H. Koidz.



(北). 8). まるばし元ごさく *f. rotundiloba* (Tak.).  
*H. Koidzumii* Comb. nov. (北.) 2) しらげ元ごさく  
*V. papillosa* Takeda 2) ましらげ元ごさく(新種)  
*f. vulgaris* (Tak.) *H. Koidzumii* (標北・本州中部).  
 β) まるばし元ごさく *f. lineariloba* (Tak.) *H.*  
*Koidzumii* (北). γ) まるばし元ごさく *f. rotundi-*  
*loba* (Tak.) *H. Koidzumii* Comb. nov. (北.). [生薬] 花  
 ~果時球莖ヲ採乾シ蟻夷延胡索ト称ス. 扁球~球形屢横円  
 形破面稍角質黄色(赤=シテ球莖ハ多少長ミアリ), 又球形脆  
 ク粉質(最多シ)也. 薬用=ハ此黄色種ヲ貴バコト前種同様也.  
 [成分] 本種ノ成分ハ長田博士数年来研究中=テ *Protopin*,  
*Corydalin* 等ノ外=新塩基ヲ発見シ *Genuinin* ナル名致  
 ヲ用意セラル, 詳細ハ此後ノ発表ヲ待ツ. [薬效] 球莖ヲ婦  
 人病的鎮痛鎮痛藥(月經不順. 分娩難産後. 胎毒.) トシ又痲痛ヲ  
 治ス.

[備考] 支那人ノ研究 [Chon. Chu u. Pak. Chines. Journ.  
 Physiol. Peking. 2. p. 203 (1928)] = 概シテ *Cory-*  
*dalin*. *Protopin*. *Corybulbin*. *Dehydrocorydalin*  
 等ヲ含有スト云フ.

[薬理] *Corydalisalkaloide* 一般薬理: 一 是ハ *Opium-*  
*alkaloide* ト同様, 麻酔作用ト痲痺作用トヲ有ス. *Peters*  
 氏=據シテ *Corydalin* ハ弱キ麻酔作用ヲ有シ, 且一過性血  
 管痲痺及心筋運動ノ障害ヲ来ス. *Corybulbin*. *Isocory-*

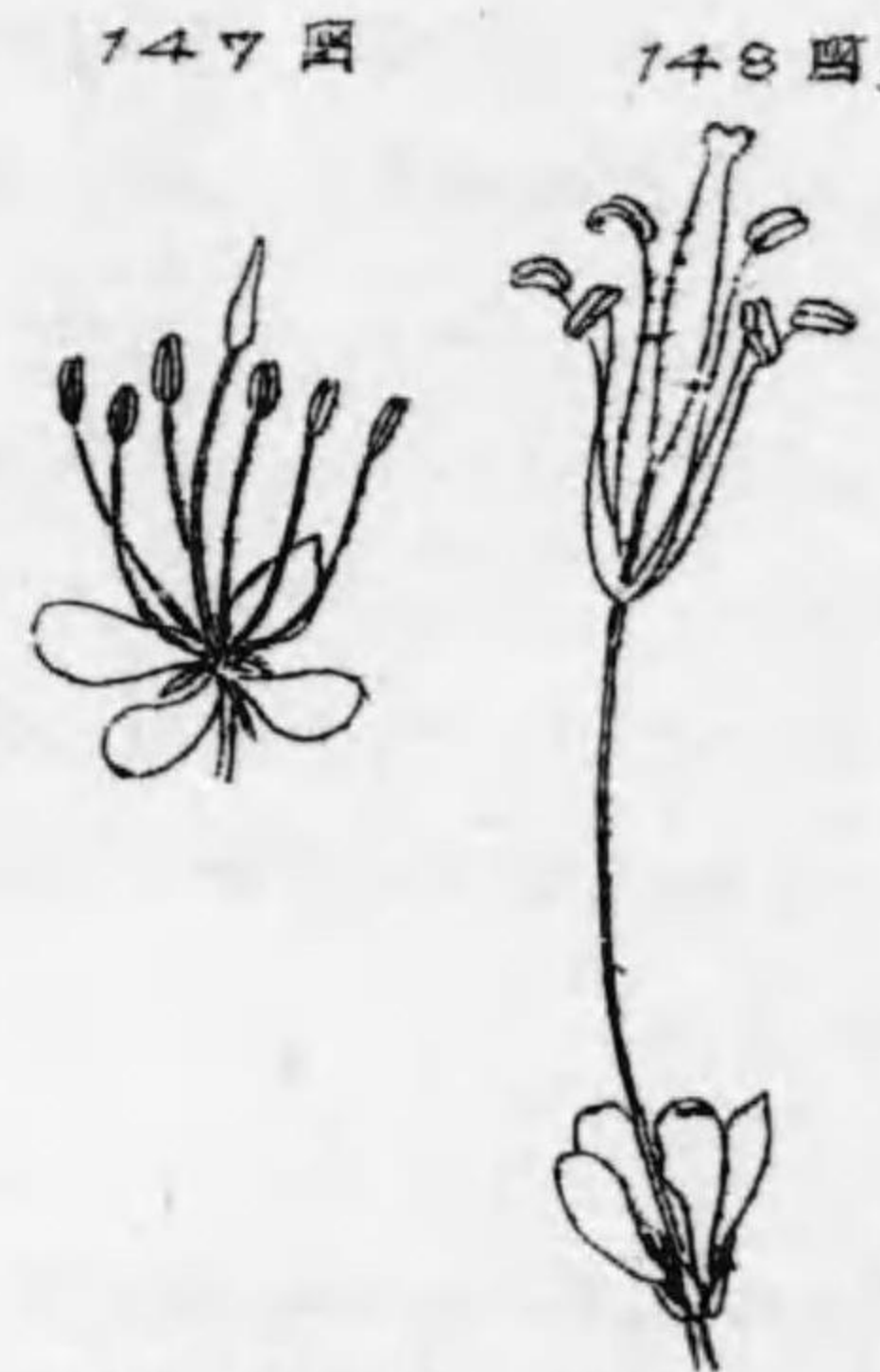
*bellin* ノ作用ハ殆 *Corydalin* ノ作用=同シ, *Coryca-*  
*vamin* ハ反射機能ノ亢進ヲ伴又痲痺痲痺. 心筋ノ運動  
 器障害. 痰液及唾液分泌増加ヲ来ス. *Corycarin* ノ作用ハ  
*Corycavamin* ト殆同シ, *Bulbocapnin* ハ筋緊張,  
 反射衝ノ保持並ニ知覚刺激ノ感受アルモ恰ニ痲痺ヲ見ル  
 カ如キ随意運動及反射運動ノ消失ヲ来ス. 而テ諸種ノ原因  
 =ヨル痲痺=應用セラル. 例ハ痲痺痲痺. 流行性腦炎. 慢性舞  
 蹈症. 多发性硬化症等=用ヒラル.

Fam. (II) ふらくらさう(白花菜)科 *Capparidaceae*  
 (147~148 図参照).

形質—①又②, 或③, 全株水浸汁液ヲ含ム. 葉ハト, 單葉又掌  
 狀複葉, 屢有托葉. 花冠ハ傘形被, 伴苞葉, 總狀花序=排列ス.  
 花ハ ⊙, ⊕ 又 ⊖, ⊗, 花心軸即花托ハ種々ノ程度=延長シ  
 子房柄トナリ更ニ西藥柱ヲ生ズルモノアリ. 一般花式ハ  
 $F. f. = K(4 \sim 8); C(4 \sim 8); \overline{r. O} A 4 \sim 6 \sim \infty G(2 \sim \infty)$ ; 概  $K 4$   
 $C 4 A 4 \sim 6 \sim \infty G(2 \sim \infty)$ ,  $C$  時中覆牙狀. 回旋狀. 稀齒白狀. 子  
 房ハ1~數室, 側膜胎座, 卵子ハ概  $\infty$  稀1ヶヲ生, 花柱ハ短~  
 缺如稀=細長或3ヶ有. 果實ハ蒴果. 漿果或核果也. 種子ハ腎  
 形無胚乳, 胚ハ彎曲ス.

成分及效用—*Rutin*  $C_{27}H_{30}O_{16} \cdot 3H_2O$  ナル配糖体, 其他  
*Quercetin*. *Saponin* 等見出サラル. 薬用ノ外食用. 嗜好料.  
 觀賞用等=供スルモノアリ.





(147圖) はりふらてうさ  
うノ花(原圖) *Cleome*  
*pungens* Willd.  
K4 G4 A6 G(2)... 花式

(148圖) ふらてうさうノ花  
(Warming)  
花式... K4 G4 A6 G(2)  
子房柄及西藥柄(柱)ヲ  
有ス。

分布及属数—世界=凡35属650種ヲ産シ主ニ熱〜亞  
熱帶地方ニ分布ス。日本ニ自生シ又栽培スルモノ5属凡13  
種ヲ下ラズ、自生ハ1種(九流台)ヲ除キ他ハ總テ台湾ニ分布ス。

本科ノ藥用植物:—

(1) ふらてうさう(白花菜) *Pedicularia pentaphylla*  
*Schrank* [分布] 熱帯原産①。[成分] 未詳。[藥效] 葉ヲ煎服  
シテ下痢ヲ止メ、打撲傷ヲ治シ、根ハ酒・水各等量ニテ煎服シ  
淋病藥トス。又骨折ニハ一條根及鶏肉ト混シ煎服シ、煎滓ハ  
局部ニ貼付ス。

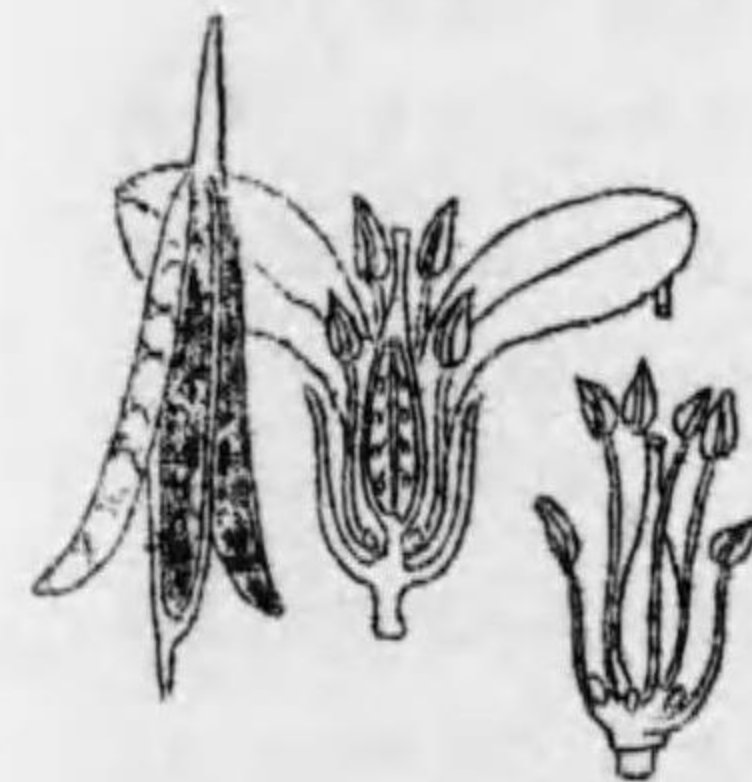
(2) きまほく(あまきん木) *Crataeva religiosa* Forst. f.  
[分布] 九流台ノ山野ニ自生スル也。[成分] 樹皮ニ鞣酸 *Gerf-*  
*stoff*。全株ニ *Saponin* ヲ含有ス。[藥效] 莖葉ヲ煎服又ハ  
搗碎シテ局部ニ貼リ、腹痛・頭痛・止瀉・風湿及刀傷ニ效アリト

Fam. (II) あぶらな(なたね, 油菜, 十字花)科

*Brassicaceae* (*Cruciferae*)... (149~155圖参照)

形質 ①又②或③, 極稀④(外圖); 根或ハ根莖ハ肥大; 全  
株無乳管, 組織中ニ蛋白質 *Eiweisschläuche* 有リ, 概單〜  
又分岐セル單細胞性毛(尋星狀毛)ヲ有シ, 稀ニ腺毛アリ; 尚水  
様ノ汁液ヲ含ム。葉ハト, 無托葉, 屢④(根生葉又基立葉)  
有柄又無柄, 單葉無裂又羽淺〜深裂屢全裂, 或1〜3回羽狀  
複葉, 全縁〜鋸牙〜缺刻縁。花球ハ瓶小形, 全異被。花序ハ

149 圖



(149圖) あぶらなノ花・果  
ト其ノ解剖(原圖)  
1. 花ノ縱断面 2. A及G  
(K及Cヲ除去シ)ヲ示ス。  
K2+2 G4 A2+2 G(2)  
3. 長角果ノ下方ヨリ裂開  
スル狀

150 圖



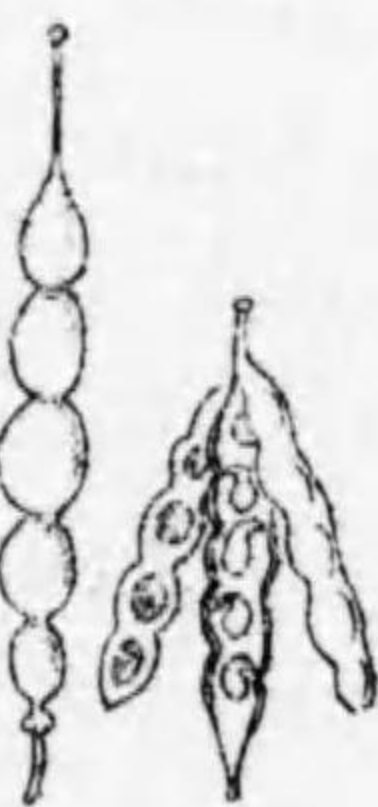
(150圖) あぶらな科ノ  
花式圖(原圖)  
Bo K2+2 Cx4 A2+2 G(2)  
蜜腺4ヲ有シ、Gニ隔膜アリ

無苞, 無小苞, 瓶蓋狀屢複總狀又繖房花序稀單頂花序也。花ハ  
⊕極稀①, ②, ③, 花輪ハ2種G輪・即2數性輪5, 4數性輪  
1+(C)是也; F.f. = K2+2 Cx4 A2+2 G(2), 萼4片交互排



列, C4 片輪生十字形花冠・x 排列・芽中覆瓦排列, A 6 本ハ四強 (四長) A. 内輪ノ2本ハ各後期2分裂=依リ4本トナリ且長大ス, Gハ2心皮癒合其面線(背縫及腹縫線)=交互=1列宛卵子附着シ中央縦=菲薄ノ隔膜(擬隔壁)アリテ假2房(子室)ヲ形成ス, 稀1子室, 柱頭ハ橢圓体稀2裂ス; 卵子ハ $\infty$ ~1ヶ 旁生又側生也。果実ハ概長角等短角(横角), 稀閉果(堅果)又節果(節長角)或介果也。種子ハ概無胚乳; 胚ノ形態即胚軸ト子葉トノ位置關係=次ノ3態アリテ本科分類ノ規準ト

151 圖

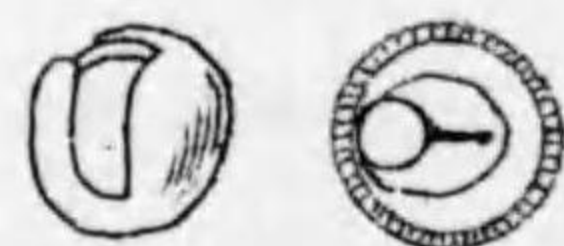


(151 圖) あぶらな科ノ  
長角果(原圖)  
1. くろがらしノ長角  
2. だいこんノ節長角  
(各小介果トナル)



(152 圖) あぶらな科ノ  
短角果(原圖)  
1. いぬなづなノ短角  
2. 側設即果皮1片ヲ  
除去ス。  
3. 全果ノ横断面  
4. ぐんはいなづなノ  
有翅短角

153 圖



(153 圖) くろがらし  
ノ種子(Engler)  
1. 種子, 2. 其横断面  
o>>ナリ。

ナル, 即チ(1)對位(011)---トハ子葉ハ胚軸ト對立ス, (2)曲位 (0>>)---トハ子葉ハ内曲シ胚軸ヲ圍繞ス, (3)側位(0=)---トハ子葉ハ胚軸ノ側方ニ位ス(尚詳細ハ上巻 323~324 頁参照)。

成分及效用—種子= 芥子油配糖体 (Senfölglycosid)ヲ含有シ、傍ヲ Myrosin ナル酵素ヲ含ム, 此酵素ノ作用=ヨリ種々ノ揮發芥子油ヲ生ズルヲ特異トス。尚多量ノ脂肪油ヲ含有ス。成分總体如次。

配糖体 (Sinigrin, Sinalbin, <sup>カリコトロペチリン</sup>Glycotropaeolin, <sup>グルココホレアリシ</sup>Glucosochlearin, Nasturtin, Gluconasturtin, <sup>ヘイランチン</sup>Cheiranthin, Indican 等) 酵素 (Myrosin, Lipase, Oxydase, Diastase, Peroxydase 等) 其他ノ物質 (Glutamin, Cholin, Arginin, <sup>レチチン</sup>Lecithin, Phytosterin, Stigmasterin, Phytin, Pentosan, Inosit, Methylpentosan, Quercetin, Isochamnetin, Diosmin 等) 其他 塩基 (Sinapin, Cheiralin, Cheirinin 等) ヲ含有スト称セラル。效用トシテ藥用ノ外食用・染用・観賞用等=供セラル、モノ不効。特=本科植物ノ殆皆無毒ナレバ食用=供シ得バク、就中重要蔬菜甚多ク人類ヲ益スルコト莫大也。

分布及属種數—世界=又 210 属 3000 種ヲ産シ, 主=北半球ノ温~寒帯=分布シ寒地植物亦不効。日本=自生又栽培スルモノ凡 36 属 160 種ヲ下ラズ, 千・韓・台・閩=本布ス。

本科ノ藥用及有用植物:- 本科ハ果実ノ形状=依



リ次ノ4亞科= 分チ, 更= 其胚ノ形態= 依テ 數族= 分類ス.  
(De Candolle氏式)

Subfam. (i) 長角(果)亞科 *Siliquosae* 果実ハ長角果 (*Siliqua*)也。

Tribus 1) はたがほ族 *Arabideae* 胚ハ側位 (=)也。  
(1)にほひ-あらせいとう (き-あらせいとう, きばな-) *Cheiranthus Cheiri* L. {分布} 歐洲原産, 日本栽培。{生薬} 葉・花・種子 = 善余ヲ含有シ 就中花ヲ藥用 = 供ス。{成分} 葉 = 揮發油 (*Nerol.*, *Geraniol.*, *Linalool.*, *Benzylalkohol.*, *Anisaldehyd.*, *Iron* 等ヨリ成ル)ヲ含有ス。花 = *Glucoscheriolin* (→ *Cheiriolin*), *Isorhamnetin* 等ヲ含ム。種子 = *Cheiranthin* ト称スル心臟毒配糖体ヲ含ミ, 其0.0001g.ハ蛙心臟ヲ收縮性靜止ヲ來サシム。又塩基 = ハ *Cheiriolin* 及 *Cheirinin* ナル *Chinin* 類似ノ解熱作用ヲ有スル物質ヲ含有ス。{藥效} 花部ヲ通經・鎮痛・解熱・瀉下藥 = 使用ス。種子ハ解熱劑トスベキカ。

154 図



(154 図) やま-はたがほ, *Arabis nipponica* Boiss.) 花器  
(原四)  
 $K_2 + z C_4 A_2 + z^2 G(2)$

(2) いぬからし (いぬからし・おとこ-なづな 草) *Nasturtium sublyratum*

F. et S. {分布} 本・四・九・朝・琉・台ノ路傍・園圃・畦畔等ニ点

生 花春, 夏。{成分} 未詳。{藥效} 全草ヲ犬芥草・水芥藥ト稱シ, 内臟諸種ノ熱ヲ散シ, 終汗ノ效アリ。又莖葉ハ腫物 = 妙效アリトシ 其揉汁ヲ塗布ス。莖葉ハ辛味アリ 燻テ食用 = 供スルコトアリ。

(3) おらんだ-からし (おらんだ-みづ-からし, 水石龍苣) *Roripa Nasturtium* G. Beck. = (*N. Officinale* R. Br.) {成分} 歐洲原産, 日本各地 = 帰化自生状, 水流又河畔 = 群生。{生薬} 全草及種子ヲ藥用トス。{成分} 種子 = *Glukonasturtin* (キハ *Kaliumsalz*  $C_{15}H_{20}O_9N_2K$  トシテ含有シ, 加水分解 = ヨリ → *Phenyl-aethylsenföhl* トナル)ヲ含有シ 木子ト同様ニ用ヒラル。{藥效} 全草ヲ清血・解熱・鎮痛藥トシテ 腺病・腎臟病 = 用ヤ。

(4) やま-からし (みやま-からし, いぬ-き-からし, ちりめん-やま-からし) *Barbarea Cochlearifolia* Boiss. {成分} 南干・北本ノ山岳地方ノ亞寒地帯 ~ 寒地帯, 溪畔 = 散生 ~ 粗群生ス。いぬ-やま-からし (しべりや-やま-からし, おぼ-やま-からし)

B. *Arthroceras Ledeb.* {成分} 樺・干・北・朝ノ寒地帯 ~ 亞寒地帯ノ全上。以上2種ハ成分藥效未研究ナルモ恐クハ(3)ノ如キ成分ト效用アランカ, 此後ノ研究ヲ要ス。

Tribus 2) かきね-からし族 *Sisymbriaceae* 胚ハ對位 (=)也。

(5) かきね-からし (おに-なづな) *Sisymbrium officinale* Scop. {成分} 樺太 = 自生? 歐洲原産, 北日本各地帰化自生



生状。はまからし *V. leiocarpum* DC. (分生) 種。南千北。本(北部・陸中系)ノ海濱= 散生〜族生。(生薬) 莖葉及種子ヲ薬用トス。(成分) 未詳。(藥效) 莖葉及種子ヲ肺炎= 用ス  
 (Tribut 3) あぶらな族 Brassicaceae 胚ハ曲位(077)也。  
 (6) あぶらな (なたねは、なたね、雲苔、油菜)(149圖) *Brassica chinensis* L. var. *Oleifera* Mak. = *B. Campestris* L. subsp. *Napus* Hook. f. et Anders. var. *nippo-oleifera* Mak. (分布) 支那原産、日本各地栽培。(生薬) 種子及莖葉ヲ薬用又ハ製油用トス。(成分) 種子= 菜種油 38~44%ヲ含ム。其主成分ハ *Arachinsäure*  $C_{19}H_{39}COOH$ . *Lignocerinäure*  $C_{23}H_{47}COOH$ . *Behen-säure*  $C_{21}H_{43}COOH$ . *Palmitinsäure*  $C_{15}H_{31}COOH$ . *Stearinsäure*  $C_{17}H_{35}COOH$ . *Linolensäure*  $C_{17}H_{33}COOH$ . 等也。又 *Crotonylsenföhl* ヲ含ムモ、之ガ *Senföhl*、如キ強キ皮膚刺戟作用ヲ有セズ、僅ニ粘膜炎ヲ刺戟スル程度ニテ發泡セズ。(藥用) 葉ノ煎汁ニテ痔疾ヲ洗滌ス。生薬ヲ揉ミ患部ニ貼布及覆シテ丹毒ヲ治ス。種子ノ煎汁ヲ緩和利尿劑トシ、又遺精ヲ治シ、諸瘡ノ利尿劑トシ1回1~3g.煎服ス。種子ヨリ種油(菜種油)ヲ搾取(40~50%)シ食用、燈用(昔時)、工業用、番機油等薬用= 供ス。種油ヲ漆瘡ニ塗布シテ有效。油粕ハ園藝又農作上最良好肥料トナリ、又養鶏飼料トス。若葉及春ノ莖ハ食用トス。  
 (備考) 本種ノ変種変形甚多ク、<sup>ダイナ</sup>体菜、<sup>マツナ</sup>松、<sup>ヒラフチナ</sup>山東菜、白菜、王地菜。

<sup>インゲンナ</sup> <sup>スイカタ</sup>  
 鹽元菜・葵菜・縮繭菜・青葉・赤菜・漬菜・江江菜・蘇鉄菜等アリ。

(7) からしな。(なからし、元とな、芥菜、芥) *B. Cernua* Forbes et Hemsl. (分布) 支那原産、日・韓・滿支栽培。(生薬) 芥子 *Semen Sinapis* 卷ヲハ邦産芥子 *Semen Sinapis cernuae* ハ種子ヲ採乾セルモノニテ、結実後根際ヨリ刈取り向陽ニ乾シ種子ヲ揀別ス。種子ハ円形、黄色〜黄褐色、徑 1.5mm, 百粒= 約 0.21g. (成分) 種子= 配糖体 *Sinigrin*  $C_3H_5N=C-CO-SO_3K$ -( $S-C_6H_{11}O_5$ ) 及加水分解酵素 *Myrosin* ヲ含ム。今種子粉末ニ加水放置セバ *Sinigrin* ハ *Myrosin* 1 依用ニ依リ加水分解シ揮發芥子油 *Allylsenföhl*  $CH_2=CH-CH_2-N=C=S$  約 1% ヲ生ズ、其変化如下式。  

$$C_{10}H_{13}KNO_{10}S_2 = \overset{\text{Glucose}}{C_6H_{12}O_6} + \overset{\text{Kaliumbisulfat}}{KHSO_4} + \overset{\text{Allylsenföhl}}{C_3H_5NCS}$$
 又脂肪油約 37% ヲ含ミ、主ニ <sup>エルカ酸</sup> *Erucasäure*  $C_{22}H_{41}COOH$  及 <sup>アヒン酸</sup> *Arachinsäure*  $C_{20}H_{40}O_2$  (又  $C_{19}H_{39}COOH$ ) 等ノ <sup>グリセリド</sup> *Glycerid* ヲリ成ル。(藥用) (a) 局方... <sup>カイシ</sup> 芥子ハ巴布刺トシテ引赤誘導(皮膚刺戟引赤藥)又興奮(藥)ノ目的ニテ其粉末ニ微温湯(50°C位)ヲ加ヘ捏テ芥子泥及芥子油(此際泥中ニ *Myrosin* 依用ニヨリ強烈刺戟臭アル揮發芥子油ヲ生ズ) 等トナシ外用ス。其法 (1) 失神假死等ニハ 100~250g. ヲ全身浴シ、(2) 局所充血ニハ 50~120g. ヲ部分浴シ (3) 月經閉止ノ脚浴 (4) 心臓水腫等ノ手浴等ニ供ス。而テ主ナル用途ハ (5) 気管枝肺炎ニ貼用スルニアリ、即等量〜2倍量ノ温湯ト和シ芥子泥トシ、



或ハ局方脱脂芥子(芥子ヲ粉碎シ冷圧脱脂シ更ニ粉末トセルモノ)ニテ芥子泥トシ布片ニ拓布シ胸部ニ貼付シ、灼痛ヲ起スニ至リ除去シ、微温湯ニテ皮膚ヲ拭フニアリ。其他(6)肺炎、気管支炎、リウマチス、神経痛等ノ局療ニ貼付シ反射的ニ疼痛ヲ軽減スル效アリ。又(7)淡キ芥子泥中ニ湿布ヲ浸シ破リテ患部ニ纏ヒ痛ミヲ覚エシ時中止ス。(8)咽頭腫張疼痛時外部ニ貼付ス。(b)局方芥子糖 *Spiritus Sinapis* ハ引赤誘導用ノ外用劑トシテ10~30滴ヲ吸取紙ニ撒布シ5~10分間皮膚ニ貼付ス。又刺激性塗布料トス。(c)局方揮發芥子(芥子油)ハ卒倒、假死、失神、虚脱等ニ刺激性トシテ其少量ヲ吸入セシム。芥子油ハ粉末ト同目的ニ使用セラル、1~4%酒精溶液トシテ塗布シ、或吸取紙ニ滴下シ貼付ス、又軟膏、擦劑トシテ用フ。(d)局方芥子精ハ芥子油1分ヲ酒精4分ニ混ゼル無色透明芥子油臭アリ、以上同一目的ニ用フ。即其20~30滴ヲ紙ニ濡シ局部ニ貼用シ皮膚引赤紫トシテ外用ス。(e)其他一滴行性感胃、肺炎等ノ豫防トシテ熱キ芥子湯ヲ塗布シ其上ヲねる布等ニテ胸當ス。又湿布ニ浸シ何度モ取換レバ例令発熱スルモ除去スバク、肋膜炎等ニモ之ヲ應用シテ效果アリ。感冒ニハ一回ニテ奏效ス。又婦人冷性ノ人ハ腰湯ニ用ヒテ效能顯著也。民：粉末20g。(5匁)ヲ酢1合ニ添キ5匁ニ煎ジ頰ノ頰下ニ貼布セバ中風ニ因ル言語不能、飲食不能、治ス。劇キ腹痛、骨筋肉痛、關節痛ニ鎮痛、鎮靜、消炎ノ目的ニテ芥子泥又芥子油ヲ帛布ニ貼付セバ特效アリ。他藥品ニテ不治ノ場

合使用トヨ。特ニ急性症ニ可也。(芥子油トハ種子ヲ壓搾シ得タル油也)。芥子粉ハ香辛料トシテ食慾増進藥トス。芥子菜ノ漬物モ暑同效アリ。又防腐劑トス。

芥子粉ハ芥子漬(茄子等)、カレ一粉、其他嗜好品トシテ重要品也。芥子末又揮發芥子油ヲ醫油防腐劑トス。注意…芥子類ハ凡テ痔疾者及妊婦ハ是ヲ不可食。(兼理)カ芥子紙ヲ動物ノ皮膚ニ作用スルニ其部ニ炎症化膿ヲ生ジ、治療後ハ痕癢ヲ結ブ。2)又上膊皮膚ニ作用セバ10~15分後赤灼熱感ヲ惹起ス、時間長キニ失スレバ水泡ヲ發ス(發泡現象)。3)芥子泥ハ宏大ナル部分ニ使用スバカラス、又時間モ數分ニ十數分ニ置ス、是其作用ハ瞬間的ニシテ刻スガ如キ寒痛、潮紅充血、灼熱感等ヲ惹起シ疼痛劇烈ナルガ爲也。而シテ長時間長キニ失シ尚ニ發泡シ化膿ヲ起スコト不勤。4)本植物又香辛味トシテ迴食セバ胃腸炎ヲ起シ流涎、下痢、痲痺(痔病ハ再發又出血)等起シ、重症ノ場合ハ呼吸困難、体温降下、血尿、痲痺、中枢神経系麻痺等ヲ起ス、其他肺浮腫、腎炎、虚脱等ヲ來スコトアリ。(新藥)芥子バスター(三共)、シナップ(龜田)、マスタークリーム等ハ何レモ芥子ヲ原料トシテ製造セルモノナリ。(處方例)1)芥子湯法(急性肺炎ニ用フ)…芥子末1握リヲ洗面器ニ取リ熱湯ヲ注ギ攪拌シたおる(布)ヲ浸シテ攪リ之ヲ胸部ニ纏フ(時々更代スルモ疼痛ヲ訴レバ止ム)。2)カレ一粉(香辛料)トシテ食慾亢進ニ用フ、カレ一ら、いす用…芥子、白胡椒、乾薑各100、胡椒子(コエンドロ、建胃)麴金各300、小豆蔻50、薑椒、丁



香クミン子各25, 以上細末トシ混和ス。3)カレー粉(△)…  
 薑黄 80, 生薑 90, 芥子 40, 桂皮 20, 蕃椒 6. 小豆蔻, 月桂葉, <sup>コシ</sup>胡椒  
 子, 肉豆蔻, 丁香, 各少量。…以上粉末トシ混和ス, 但シ此中ヨリ適  
 宜香料ヲ省畧スルモ可也。〔備考〕からしなハ無毛平滑, 之ニ2  
 品種アリ, 白芥子, 黒芥子是也, 甲ハ莖葉共ニ辛辣強烈, 乙ハ辛辣  
 弱ク普通食用トシ, 菜柄, 菜量ヲ帶フ。局方ハ此白芥子ト吹産  
 黒芥子ヲ採用セリ。又一種ハからし(からしな)ト云フア  
 リ, 種子ハ赤褐〜灰褐色吹産黒芥子ニ類シ稍大也。

○(8) くらからし(吹産黒芥子, 黒芥子)(151回 及 153回) *B. nigra*  
*Koch.* (分布) 吹洲, エジプト 原産, 各國栽培。〔生薬〕黒芥子 *Semen*  
*Sinapis nigrae* (成分) 〔薬效〕全同前種。〔備考〕からしなニ  
 近似スルモ別種ニシテ原産地, 分布ヲ異ニシ種子ハ赤褐色,  
 径ハ1.5mm. ヨリ小形也日, 米, 波, 瑞, 局方薬トス。

(9) かばら(かばらな, 無菁) *B. Rapa* L. = *B. Campestris* L. subsp.  
*Rapa* Hook. f. et Anders. (分布) 原産地不明(支那? 吹洲?) 各國  
 ニ栽培。〔生薬〕根及種子ヲ薬用トス。〔成分〕根 = *Rhodanwasser-*  
*stoff, HSCN.* ヲ含ムニ葱クハ介解生成物ナラン。種子 = 0.3%  
 1 *Sinigrin* ヲ含ム, 蕪菁油ニハ *Arachinsäure, Erucasäure,*  
*Rapinsäure, Linolensäure* 等ヲ含有ス。〔薬效〕種子ハ  
 煎服シテ黄疸, 腹瀉, ヲ治シ, 癢毛ヲ助ケト云フ1回2g. 煎用, 又  
 磨リ碎シタル, <sup>ホクロ</sup>黒子, <sup>シバカス</sup>雀斑等ニ毎夜塗抹スレハ治ス。根部ヲ磨  
 リ搾シ, 液ニ解キ凍傷部ニ塗布シテ有效。根汁液ヲリヂ皮ト  
 共ニ煮若メハバ, あかみれニ塗布シテ有效。根部ヲ煮食セバ

鎮咳薬トナリ, 又冷腹痛ヲ治ス。根莖ヲ消化促進劑トシ又發  
 酵ヲ良クスト云フ。其部汁ヲ凍傷又蜘蛛咬傷ニ塗布ス。

(10) たまぼこ(きやべつ, はぼたん, 甘藍) *B. Oleracea* L. (分布)  
 吹洲原産, 各國栽培。〔生薬〕葉ヲ薬用トス。〔成分〕葉 = 脂肪油  
 ヲ含ム, 其中不飽和物中ノ飽和酸ノ主成分ハ80%以上ノ  
*Palmitinsäure* = 其他 *Arachinsäure, Myristin-*  
*säure,* 不飽和酸ノ主成分ハ約95%ノ *Linolsäure,* 約1%  
 1 *Linolensäure,* 約10%ノ *Oleinsäure* 也。〔薬效〕食用  
 トセバ血液ヲ精鮮ニシ(淨血劑), 以テ敗血症ヲ治シ, 梅毒ヲ強  
 減ニシ, 疫病ノ如キ病毒ニ對スル抵抗力ヲ強大ニシ, 瘰癧 = 流  
 行病等ニ効ナレザルニ至ルト云フ。

(11) おぼがらし(おぼがらし, たかな, 大葉芥) *B. juncea*  
*Czern. et Coss.* (分布) 原産地不明(支那? 吹洲?) var.  
*edona* Mak えとはハ其変種也。〔生薬〕芥子菜 = 同シ。  
 (成分) 種子 = 精油 (*Allylsenföhl, Crotonylsenföhl*) ヲ含有ス。  
 (薬效) 芥子ト同様ニテ其代用品也, 其他同様。葉ハ長大長  
 50~60cm. 深緑色, 此葉ヲ乾燥シ粉末ニシタルヲ苜蓿粉ト稱  
 シ, 菓子屋ニテ餅ヲ蒸ム, 又漬物トス。種子ハ辛辣少ク辛味料  
 ニ不適。

(12) しろがらし(きくはがらし, 白芥子菜, 白芥子) *Sinapis*  
*alba* L. (分布) 吹洲原産, 各國(特. 英, 南吹, 印度多産)栽培。〔生薬〕  
 白芥子(吹洲産白芥子, 種子) *Semen Sinapis albae*  
 (*Semen Erucae*) ハ黄色ノ大粒, 径2mm. (成分) 菜子菜



同様種子中= 脂肪油, 塩基 (Sinapin), 配糖体 (Sinallin) → 加水分解… 酸性硫酸ジナルビン + ジナルビン + 芥子油 + 葡萄糖) ヲ含有ス。〔藥效〕 芥子ト全ク同様ニテ皮膚引赤藥其他, 香辛料, 食用トス。佛, 瑞, 局方藥トス。〔備考〕 果ハ線狀披針形有毛, 下葉ハ羽全裂ス。

(13) わさび (山蓴, 山蓴菜) *Wasabia japonica* Matsumura (= *Eutrema Wasabi* Max. 及からふとわさび var. *sachalinensis* Miy. et Miya. (種)). 〔分生〕 本, 四, 九ノ山地清水溪畔ニ散生〜群生。〔生藥〕 山蓴根 *Rhizoma Wasabi* ハ新鮮ナル根莖ヲリ。氣味峻烈, 揮發性, 粘液性也。根莖ヲ藥用, 嫩葉ヲ食用トス。〔成分〕 根莖= 精油 (揮發芥子油) 0.051~0.098% 含。之ハ劇烈ナル揮發刺戟性ノ香氣ヲ放チ落涙セシメ, 皮膚ニ引赤發泡ス, 有效成分ハ *Allylsenföl*  $C_3H_5NCS$  揮發油ニテわさビノ配糖体 *Sinigrin* ヨリ抽出ス。外ニ澱粉充滿シ一部結化ス。〔藥效〕 根莖ヲ香辛料トシ食慾増進藥トシ調味料トシ使用頗廣シ又防腐, 殺菌ノ效アリテ健胃藥トナリ消化不良ニ有效, 即チハ魚毒中毒ノ外ニセバ, うどん, 馬肉等ノ鮮番藥トナル。常食スレバ風邪ヲ預防ス, 又胃腸内殺菌消毒ノ效アリ。莖葉ノ搾汁ヲ飲用シテ胸支ヘ, マツリヤ病等ヲ治ス。又根莖煎汁ハ解熱, 清血劑トナル。根莖ヲ搗碎シ紙ニ延ベ患部ニ貼布シ神經痛, レウマチスヲ治ス。歐洲ニテハ葉ヲ茶料トシテ油及丁麩トナシ醫藥ニ用フ。〔其他效用〕 莖葉共ニ煤ヲ食シ, 又わさビ漬, わさビ羊羹, わさビ菓子, わさビ味噌漬トシ

食料及香味料トス。群岡, 山口, 島根, 奈良, 東京, 長野縣多産ス。

(14) わりわさび *Wasabia tenuis* Matsum (= *Eutrema tenuis* Makino). 〔分生〕 本, 四, 九, 台ノ山地ニ散生〜粗族生ス。〔成分〕 未詳。〔效用〕 わさび同様根莖ハ香辛料トシ食用トシ, 藥效亦同様ナルモ弱シ。

Subfam. (ii) 短角(果) (楨角果) 亞科 *Siliculosae* 果實ハ短角(果) *Silicula* 也。Tribus (1) 廣隔膜族 *Latisepatae* 擬隔膜ハ廣闊也。subtribus (1) には一なつな族 *Alysseae* 胚ハ側位 (0=) 也。

(15) セイヨウ-わさび (わさび-だいこん 西洋山蓴) *Cochlearia Armoracia* L. 〔分布〕 歐洲原産, 日本栽培又半野生狀。〔生藥〕 根莖ヲ藥用トス。〔成分〕 根莖= *Sinigrin* ヲ含ムコト芥子ト同様也。〔藥效〕 根莖ハ一箇ノ芳香ト辛味ヲ有シ香辛料トシ, 健胃, 食慾亢進藥トナル。摺削シテ引赤藥, 熱泡藥トス, 外用 (食用又煎服) セバ利尿, 興奮ノ效アリ。又健胃藥トシテ消化不良症ヲ治シ, 尚水腫, 麻痺症ヲ治ス (用量適宜)。其他慢性リウマチスニ引赤鎮痛藥トス。又合利別, 丁麩等トシテ前記ノ目的ニ使用ス。

(16) コホリアリア-わさび *C. officinalis* L. 〔分布〕 歐洲。全草= *Glucocochlearin* (*Butylsenföl*) ヲ含有シ, 健胃・利尿・瀉下藥トス。

(17) いぬ-なつな (公膏, 葶藶) (152<sup>頁</sup>-3) *Draba nemurosa* L. var. *hebecarpa* Ledeb. 〔分生〕 北, 本, 四, 九, 朝, 1 山麓。



~平地(路傍, 田圃, 原野等) = 粗~群生。〔生薬〕 種子ヲ公菴子(蔞子) *Semen Drabae* ト称シ, 褐色ノ小粒也。但シ朝鮮産ハたねツケハなノ種子ヲ支那産ハ *Draba, Cardamine, Lepidium* 諸属ノ種子ヲ混用スルモノノ如シ。〔成分〕 未詳。〔療效〕 漢; 種子ハ利尿薬(浮腫, 水腫, 膀胱カタル)トシ, 又咳逆喘鳴スルニ用フ。呼吸困難ニモ有效。朝鮮ニテハ喘嗽, 腹痛ニ内用, 消炎ノ效アリト云フ。1回1.5~3g, 煎服ス(又粉末)。〔處方例〕 1) 利尿薬-- 葶藶子, 大棗 各5,0 水100,0--以上1日量煎割3分服。2) 全, 葶藶子5,0 猪苓, 沢瀉 各2,0 水100,0--以上1日量煎割3分服。

Subtribus 2) あまなつな亜族 *Camelineae* 胚ハ對位(011)也。日本=あまなつな属 *Camelina* ヲリ。輸入。

Subtribus 3) はりなつな亜族 *Subulariceae* *Subularica* はりなつな属。

Tribus (2) 狭隔膜族 *Angustiseptae* 狭隔膜ハ狭細也。

Subtrib 1) めんはいなつな亜族, 胚ハ側位(0-)也。めんはいなつな属 *Thlaspi* まかりはな属, *Isberis* (輸入)

Subtrib 2) ニせうさう亜族 *Lepidineae* 胚ハ對位

2) こせうさう亜族 *Lepidineae* 胚ハ對位(011)也。めらくさ草ガ全属 *Hutchinsia* 伊勢園, 高山ニ産スト云フ? ヲリ。

(18) ニせうさう(セルレチー) *Lepidium sativum* L.

〔分布〕 歐洲原産ノ①日本舶來。〔生薬〕 種子ヲ藥用トス。

〔成分〕 葉ニ精油ヲ含シ, 其主成分ハ *Benzylcyanid* (*Benzylessigsäurenitril*) = 他 = *Glykotropaeolin* ヲ含有ス, 是ハ分解ニ依リ *Benzylsenföl* トナル。種子ニモ

*Glykotropaeolin* ヲ含有ス。〔療效〕 果実又ハ種子ヲ粉末トシ酢ニテ練リ患部ニ塗布シ疥癬ヲ治スルニ用フ。又葉ヲ蔬菜トシ食用トス。

(19) なつな (へんはん, ぐさ, しやみせん, ぐさ) (155 圖) *Capsella Bursa-pastoris* Moench, なつな, *V. auriculata* Mak. (分布) 本, 四, 九, 朝, おほ, なつな *V. pin-nata* Mak. (分布) 種, 北, 本, 四, 九, 朝, 琉, 台, 原野, 路傍 = 散生~群生。〔生薬〕 全草ヲ花時採集シテ膏ト称シ藥用ニ供ス。〔成分〕 全草 = *Cholin*  $C_5H_{15}NO_2$ , *Acetylcholin*, *Fumar Säure*, *Inosit* 等ヲ含有ス。Bombelon 氏ハ止血有效成分

155 圖.



(155 圖) なつなノ花・果ノ解剖圖 (原圖) 1. 花器ノ側面圖, 2. 果ノ正面圖, 3. 果 (短角又横角) ノ正中断面 = 狭隔膜及種子ヲ見ル。

*Bursinsäure* ヲ認スルモ性状不詳。果皮中 = *Diosmin* (一名 *Hyssopin*)

$C_{34}H_{74}O_{21}$  配糖体, *Rhamnoseglukoside*) ヲ含有ス, 是ハ加水分解ニヨリ葡萄糖1分子, *Rhamnose* 1分子,

*Luteolinmethylether*  $C_{16}H_{12}O_6$  ヲ生ス。〔療效〕 根: 全草(膏)ヲ利尿薬, 解熱薬, 止瀉(胃加答兒, 赤痢症状等)薬, 止血薬(子宮出血, 肺出血, 腸出血, 咯血, 月経過多症, 流産, 出血等)トシ1回5~10g. ヲ煎服ス。又婦人病一切ニ有效。Grimme 氏ニ據レハ膏ハ止血作用ヲ有シ子宮肺出血ニ對シ *Hydrastis*



根又麥角 = 代用スル價值アリト云フ。其流動急キす1回  
20滴 1日3回服用ス。〔新藥〕 <sup>ビスチアルジン</sup> *Viscibursin* (抽. Horstein  
& Co) ハ本植物及やどりキ有效成分ヲ抽出配伍セシモノ  
ヲ上記ノ諸出血ニ用フ。〔藥理〕 1) 全草ノ乾葉期ヲ温血動物  
ニ注射スルニ血圧ノ下降呼吸筋ノ弛緩等ヲ惹起シ其症狀  
*Acetylcholin*ノ作用ニ一致ス。又切離セル腸管又子宮ヲ  
著ク緊縮セシム。2) 莖ノ總テノ成分ハ麥角ニ似タル成分ヲ  
有ス、故ニ同效アリ。而テ其流動急キすハ止血作用ヲ有ス、故  
ニ麥角又 *Hydrastis* 根 = 代用スベシ。止血有效成分ハ  
<sup>ブルジン酸</sup> *Bursinsäure* 也。3) *Wasicky* 氏ハ本生藥ノ子宮作用ハ  
ト塩類ニ歸スベキモノトス (生藥中成分 10~15%, K<sub>2</sub>O 40%)。  
〔藥方例〕 莖 10.0 水 100.0 以上 1日量煎劑ヲ分服、上記ノ效アリ。  
〔備考〕 莖ハ春ノ七草ノ一ニテ岩田ヲ七草粥ニ入レ又浸物ニシ  
テ食ス、佳味也。

Subfam (iii) 堅果豆科 *Nucamentese* 果実ハ堅果也

Tribu 1) だいせい族 *Isatideae* 胚ハ對位 (011) 也。  
たまからし屬樺太産。

(20) だいせい (はとくま、大青、菘藍) *Isatis japonica*  
Miq. (本生) 樺、南千、北、本 (北部)、ノ濱海地ニ産シ散生ハ群  
生ス。〔成分〕 葉 = *Indican* (染素) ヲ含有ス、加水分解シテ  
*Indoxyl* トナル。〔效用〕 葉ヲ菘藍ト称シ、藍ヲ製シ藍染料ニ  
供ス。

(21) まいだいせい (ほそはだいせい) *I. tinctoria* L. (本新)

歐洲原産、各地栽培。〔成分〕 葉 = *Indican* ヲ含ミ且遠藤ノ  
*Indoxyl* ヲ含ム。根 = *Senzöglycosid* ヲ、種子 = *Sini-*  
*grin* ヲ含有ス。〔效用〕 同前種。

Subfam (iv) 節長角 (節裂果) 亞科 *Lomentaceae* 果ハ節長角也。

Tribus 1) *Cakileae* 胚ハ側位 (0=) ナリ。  
*Cakile* 属。欧産。Tribus 2) *Raphaneae* だいこん族 胚  
ハ曲位 (0>>) 也。

(22) だいこん (大根、菜菔、蘿蔔) (151 圖 2) *Raphanus*  
*sativus* L. var. *macropodus* Mak. (本新) 原産  
地支那ニハまだだいこんヨリ及北セルモノナリ。〔生藥〕 根及  
葉ヲ藥用トス。〔成分〕 根ハ水分 94%、液中 = *Glucose* ヲ含  
ムモ他ノ糖類ハ未證明也。根ノ固組織ハ配糖体ヲ、中央部  
ハ蔗糖ヲ貯テ、葉中ニハ配糖体ハ蛋白質ヲ蓄フ。大根油中ニ  
*Methylmercaptan*  $\text{CH}_3\text{-SH}$  ヲ含ム。葉ニ精油ヲ含ミ其中ニ  
 $\alpha$ - $\beta$ -*Hexanol*  $\beta$ - $\gamma$ -*Henemol* ヲ含有ス。種子ニ脂肪  
油 (*Stearin*, *Eruca-Säure*), *Sinigrin*, *Myrosin*, *Rhodan*  
等ヲ含ム。〔藥效〕 種子 (菜菔子、蘿蔔子) ヲ健胃劑トシ又祛痰藥  
トス。1回 1.5~2g。其極又煎服 (漢方) ス。又脚氣ニハ1回  
4g。服用。又食傷ニ因ル腹痛ニ10粒宛服用 (英産) ス。  
圧搾シテ蘿蔔油ヲ搾リ皮膚病ニ外用シ、工業用トス。大根餅  
シハ古來若明ナル辛味料ニテ食慾亢進藥ナリ、之ヲ朝夕2回  
宛食後ニ用フレバ慢性胃腸カタルヲ治癒ス、又餅ノ食後ニ  
消化劑トス、是皮部及内部ニ *Diastase* ヲ含有スルニヨリ澱粉



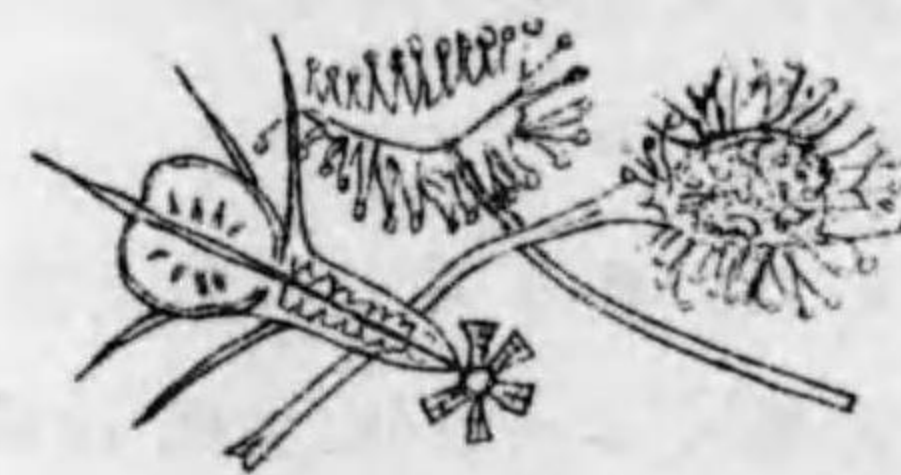
消化ノ效ヲ寒ヲ健胃ノ目的ヲ達ス。大根御シヲ香茶ニ入レテ服用セバ胃酸過多症ヲ治ス。大根御シハ胃弱・遺食・二日酔・魚・酒・豆腐ノ中毒ニ服用シテ治ス。是ニ煎湯ヲ加ヘ又ハ梅干・生薑・味噌・葱等ヲ細切シ相混和セシヲ加ヘ煎湯ヲ注ギテ飲下セバ痰汗解熱ニ依リ寒胃ヲ治スルコト殆確実也。大根御シハ音聲ヲ良クシ。田虫・打身・リウマチス等ニ局部ニ塗布シテ治ス。又寒胃ヨリ起ル目下腺炎・痰咳・リウマチス患部ニ大根御シニテ湿布ス。又<sup>ハンカ</sup>疥癬ニハ生姜汁・醬油・砂糖ヲ加ヘ温湯取スレバ發疹ス。其搾汁ハ止瀉劑・痰汗劑・鎮咳劑トナリ又胃腸ニ内服ス。大根ハ其上部葉ノ發生部就中空氣露出ニヨリ帶軟部ヲ以テ最藥效大ナリトス。乾花ノ煎汁ハ下痢ニ特效アリ。煎種子モ亦全效アリ。乾葉ヲ<sup>クシバ</sup>干葉ト称シ食用ニ供シ堅腸藥・温体藥トスル外浴湯料トシ痲瘋又糖尿病(身体痒キ場合)等ニ有效。又産後ニ煎汁ニテ局部(外陰部)ヲ巻込(腰湯ヲ使フ)セバ恢復速也。又浴湯用トシ入浴セバ婦人腰痛ヲ治ス。干葉ト牛肉トヲ煮食セバ滋養強壯劑トナルコト顯著也。又干葉ヲ水中ニ沈メ小魚ハ其集合ヲ待チ一挙ニ捕獲スル法アリ。大根御シハ沃度丁鶏又芥子泥ト同様引赤誘導藥トナル故諸熱病及諸疼痛(リウマチス・神經痛・目下腺炎等)ニ貼布シ治癒ス。(備考)大根ニ品種(form)甚多ク練馬・宮重・守口・方領・細根・櫻島・細名・鼠・辛味・聖護院・地大根等其一也。

第十四目 <sup>ヘインサツ</sup> 瓶子草目 Sarraceniales

本目ハ總テ食虫植物(Insectivorous plants)ニシテ  
 (1)ヘイジサウ科 Sarraceniaceae (2)うつぼかつら科  
 Nepenthaceae (3)いしもちさう科 Droseraceaeノ3科  
 ヨリ成ル。就中藥用植物ヲ含ムハ(3)ノミ也。

Fam. (1) いしもちさう科(葶薺菜)科 Droseraceae  
 (156~158回)参照。形質——⑤、<sup>⑤</sup>湖沼浮游生水草又湿地生  
 小草皆食虫植物。葉ハ<sup>ノ</sup>、<sup>ノ</sup>、<sup>ノ</sup>、葉芽ハ<sup>ノ</sup>盤状  
 内曲(羊齒状)ス。葉面ニ腺毛ノミ(もうせんごけ属)又之ト感覺  
 毛ヲ(はへちごく属・むじなも属)併有ス。葉有托葉。單葉無裂。  
 円形約子状又半月形。有長柄。葉柄ハ<sup>ノ</sup>葉状扁平。全縁。多少有腺  
 毛。花器ハ<sup>ノ</sup>。小形白色稀淡紅又綠色。膜被。花序ハ<sup>ノ</sup>單生

156 回。



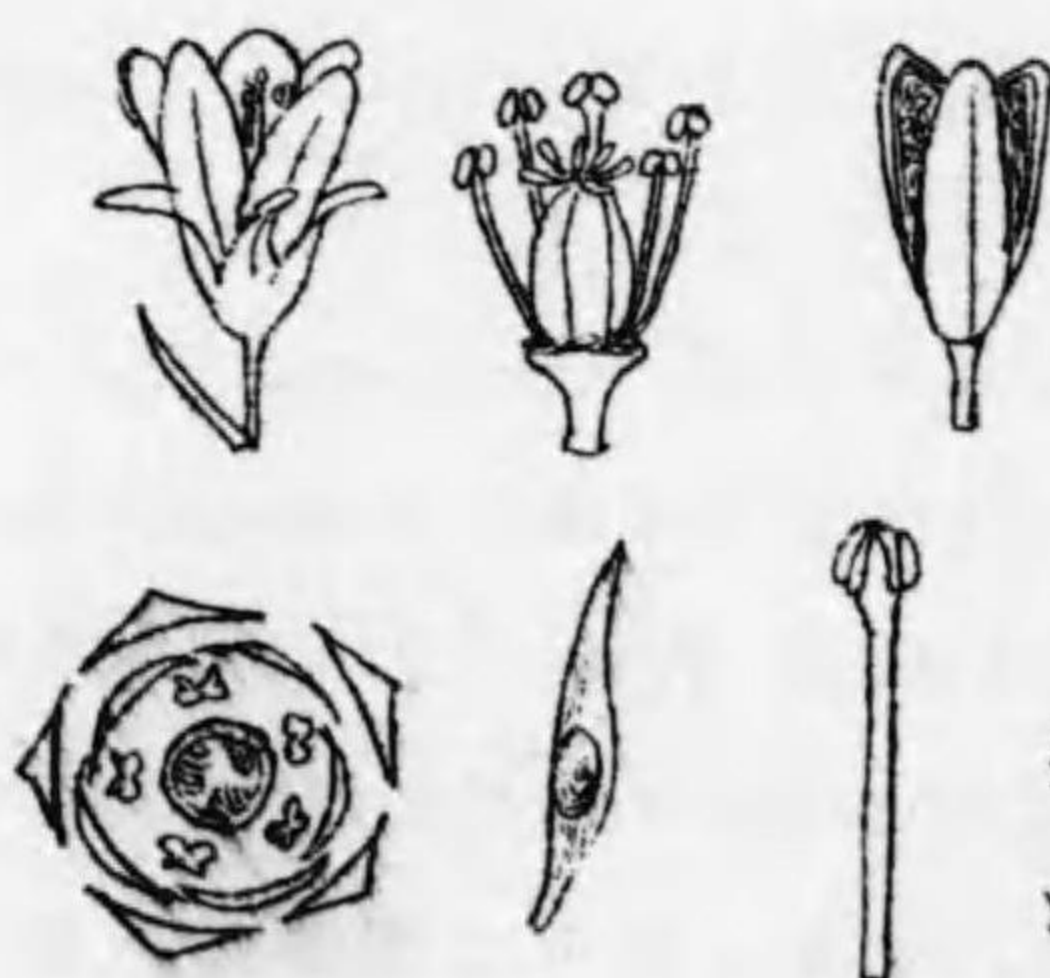
- (156回)いしもち草科  
 諸種ノ葉即捕虫器(原四)  
 1. むじなもノ  
 捕虫器(葉)----ノ  
 2. いしもちさうノ  
 全上(全)---ノ  
 3. もうせんごけノ  
 全上(全)-----ノ

(Aedysvanda)又總狀或偏側假軸性總狀即尾卷状花序也。  
 花ハ<sup>ノ</sup>⑤、⑥、5~4数性花；一般花式ハ $K_5A_4C_5A_5A_5 \sim 4$   
 $\gamma_5 \sim 20$   $G_{(5-3)}$ 。日本産ハ $K_5C_5A_5G_{(3 \vee 5)}$ 。Cハ芽中覆瓦状。  
 AハCト同種稀其2~4倍数。子房1室3~5ヶノ側膜胎



座端中軸又特立中央胎座，卵子ハ側生3~∞，花柱ハ5~3，柱頭ハ時ニ分裂ス（むじなむ属），花粉粒ハ概4ヶ宛結合ス。

157 回



(157回) まうせんごけ  
花, 果ノ解剖及花式圖  
(原回) 1. 花(伴1苞)  
2. K.Cヲ除キA.Gヲ示ス  
K<sub>5</sub>C<sub>5</sub>A<sub>5</sub>G<sub>5</sub> 3. 蒴果(開裂ス)  
4. 花式圖 5. 種子 6. 雄蕊体

果実ハ蒴果，種子ハ有胚乳，内乳ハ核状。

成分及效用——木科ノ成

分トキチ Ameisensäure, Citronensäure, 外, 赤色  
158 回

色素 Trioxymethylnaphtochinon

(158回) いしえちさうノ種子(原回) 廓大回

C<sub>11</sub>H<sub>8</sub>O<sub>5</sub>?ヲ發出セルモノ。薬用ノ外, 染料或觀賞用ニ供スルモノアリ。



分布及属種数——世界ニ6属凡130種ヲ産シ，熱，亞熱，温帯地方ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡3属12種アリ。

木科ノ薬用植物:-

(1) まうせんごけ(まうせんごさ, うしのはひとり, まごのく, 毛氈苔, 毛氈草) *Drosera rotundifolia* L. (寄生) 標本北, 本, 四, 九, 朝ノ山野湿地, 山野ニ群生~密群生, 北日本ハ概寒地帯ノ湿原ニ群生ス。(生薬) 毛氈苔 *Herba Droserae*

ハ全草ヲ採斫セルモノ也。〔成分〕全草中ニ *Oxynaphthochinon* C<sub>10</sub>H<sub>6</sub>O<sub>3</sub>ヲ含有シ，腺毛分泌物ハ *Pepsin* 様ノ蛋白質分解酵素ヲ含ム。又全草中ニ紫色々素ヲ含有ス，故植物体ハ濃赤褐化ス。〔薬效〕全草ヲ祛痰薬トス，昔ハ肺病及眼病ヲ治スルニ用ヒタリ。現時ハ哺乳動物ノ乳液分泌ヲ閉止シ，又發泡作用ヲ有ストシテ用ヒラル。1回0.5~1g. 煎用，外用ハ10% 塗抹トス。〔備考〕本種ハ佛局方，水準局方藥トス。

(2) なかばこまうせんごけ *D. longifolia* (= *D. anglica* Huds.) (寄生) 標本北, 本(中部) 朝ノ寒地帯ノ湿原ニ群生ス。此他ハ同前種(?)ニ未研究也。

(3) さじばこまうせんごけ *D. obovata* Mert. et Koch (?), *D. intermedia* Hayne.) (寄生) 本(中部)ノ亞寒地帯ノ湿原ニ(2)ト混生ス。其他ハ(1)ト同様(?), 未研究。

(4) ごまうせんごけ *D. spatulata* Labill. (寄生) 本(中南部), 四, 九, 琉, 台ノ湿地ニ群生ス。其他ハ未詳前全ナラン?

### 第十目 薔薇目 Rosales

特徴—H又D. 葉ハ多種多様。單葉~複葉。花ハ概全稀罕合(とべら科, まんさく科, まめ科ノ一部), 概中(ゆきのした科, まめ科ノ一部); ◎稀◎(ばら科ノ一部); ◎稀◎(ばら科ノ一部) 稀◎(かはごけまり科); 概 F. f. = Kn CnAn v. n+n v. ∞ G: 1~n~∞; -, n=5 r. 4; 附座ハ曼肥



厚, ∞ 卵子附着。本目ノ諸科間ノ區別ハ屢不判明也。本目  
中日本ニ自生又栽培セラル、モノ9科目中藥用ニ關係アル  
モノハ次ノ6科也。

- 1. 心皮ハCト同数又ハ少シ, 種子ハ概豊饒ノ胚乳ヲ有ス(但  
景天科・金縷梅科ハ少シ)----- 1.
- 心皮ハ1~∞, 卵子ハ有2卵膜, 種子ニ僅少ノ胚乳  
アルガ又無シ----- 4
- 1. 概H. 屢5也, 種子ハ小形也----- 2
- 概5又5也----- 3
- 2. 心皮(G)ハ概Cト同数; 種子ノ胚乳ハ僅少---(I)ハム  
けいさう(景天)科 *Crassulaceae*  
心皮(G)ハ概Cヨリ少シ; 種子ノ胚乳ハ饒多  
(II)ゆきのした(虎耳草)科 *Saxifragaceae*
- 3. 葉ハ無托葉, 果実ハ胞背裂開, 篩管部ノ外側ニ離生樹脂道  
ヲ有ス。(III)とべら(海桐)科 *Pittosporaceae*  
葉ハ有托葉, 果実ハ胞背ト同時ニ胞間裂開ヲナス, 篩管部  
ノ外側ニ離生樹脂道ヲ有セズ  
(IV)まんさく(金縷梅)科 *Hamaelidaceae*
- 4. 葉柄基部ハ膨大シ中ニ芽ヲ包藏ス, 卵子ハ直生-----  
すずかけのみ(藤懸木)科 *Platanaceae*  
葉柄基部ハ前着ト異ル, 卵子ハ非直生----- 5
- 5. Aハ蕾中内弯曲, 托葉ハ土葉柄ハ合着ス, 花ハ中---  
(V)はら(薔薇)科 *Rosaceae*

Aハ蕾中非内曲, 托葉ハ葉柄ト合着セズ, 花ハ概中---  
(VI)まめ(莢)科 *Leguminosae*

Fam. (I)ハムけいさう(景天)科 *Crassulaceae*

形質一概H(⊙, 稀①), 稀5, 全株土多汁肉葉質。葉ハ概  
肉葉質, 無托葉, 葉ト屢少, 稀少, 單葉, 無裂, 概全縁鋸齒牙縁, 極稀  
複葉(とうろうそう屬)。花冠ハ概傘, 異枝, 概小形, 白又黃  
或紅紫色。花序ハ概聚繖ニ複聚繖花序。花ハ⊙, ⊕, ⊙,  
3~5数性又5~30数性花, F.f.=K:n; C:n; An v. n+nG:n;

159 図



(159 図)きりんさう(花)景天  
解剖圖(原圖)  
1. 花  $K_5 C_5 A_5 + 5 G_5$   
2. C&A, 外輪AハCト對立  
3.  $G_5$  (片鱗片)

$n=3 \sim 4 \sim 5 \sim 6 \sim 30$  ナレドモ概  $K:n; C:n; An v. n+nG:n$   
也。而テ重輪Aノ場合ハ概  $K:n; C:n; An+nG:n$ ,  $n=4$  v.  $5$ .  
 $n=6$  也。Cハ芽中覆瓦狀又鍔合狀, Kハ概鍔合狀, Cハ稀=  
0, 心皮ハ概分離シ屢基部稀上部迄結合ス, 各心皮ハ概∞ノ  
側生卵子ヲ縱線ニ2列ニ排列ス。卵子ハ2卵膜, 基部ニ1  
鱗片アリ。果実ハ概管莢, 稀蒴果也; 種子ハ少量ノ胚乳ヲ含  
ム。

成分及效用—化學成分トシテ *Calcium malat. Glucose,*  
*Rutin, Gerbstoff, Schleim, Harz.* 林檎酸及其塩類。  
鞣酸粘液等知ラル、ノミ。藥用ノ外觀賞用ニ供スルモノ不



動。

分布及属種數—世界=界 15属 1300 種ヲ産シ、熱帯へ温  
帯地方=分布ス。日本=自生又栽培スルモノ凡 9 属 70 種  
ヲ下シズ。採、干、台、間=分布ス。

本科ノ藥用植物:-

(1) ベンケいさう (景天) *Sedum alboroseum* Baker  
〔分生〕支那原産、日本栽培又半野生状。変種---しろべんけい  
さう var. *albatum* Mak. 〔分布〕日本栽培。〔生薬〕生  
葉及莖葉ノ採乾品ヲ藥用=供ス。〔成分〕ベンケいさう屬トシ  
テノ成分ハ *Calciummalat*, *Glucose* 等也。〔藥效〕生葉  
ヲ煤チ上皮ヲ剝除シ、之ヲ腫物又諸瘡=貼布セバ濃汁吸出藥  
トシテ大效アリ。又毒虫解毒藥トシテ毒蛇咬傷=貼用ス。又  
止血藥トス。尚消炎、鎮痛藥トシテ昔ハ丹毒=用ヒタリ。尚  
莖花部ノ採乾セルヲ煎シ痔疾=温湿布(巻法)シテ有效也。(備  
考) 牧野博士=據レバ漢種ノ景天ハ *S. spectabile* Boissier

(2) つめれんげ (まこのつめ) *S. japonicola* Mak.  
〔分生〕本(中南部)・四、朝ノ山地岩石上、岩壁=点生又簇生。〔成  
分〕未詳。〔藥效〕同前種代用ス。(3) いはれんげ (石蓮華)  
(3) いはれんげ (石蓮華) *Orostachys Swarunge* Hera (= *Cotyledon*  
*Swarunge* Mak.) 〔分生〕本(中部)・山中ノ岩上生。〔成分〕  
未詳。〔藥效〕生葉採汁ヲ毒虫ノ咬傷又火傷=塗布シテ有效。  
又ベンケいさうノ代用トシ得ベシ。

Fam. (II) ゆきのした (虎耳草) 科 *Saxifragaceae*

(160~166 四参照)。形質—①, ち又ち。葉ハ塊シ、②着、稀シ  
又シ、有短へ長柄、無托葉又葉柄=托葉状隆起ヲ具ス。概單葉  
無裂又掌状 2~13 浅へ深裂、齒牙縁へ缺刻縁、極稀全縁、稀掌  
状複葉又再三掌羽状複葉、鋸齒縁へ齒牙縁へ缺刻縁。花器  
ハ概傘、細小へ中形、概異被。花序ハ總状、複總状、円錐状、繖房  
複繖房、聚繖、複聚繖花序、稀=單生又單頂花序(うめばちさう  
屬等)也。花ハ概 ⊕ 稀 ⊖ 又 ⊗, ⊙ 概 ⊕ 稀 ⊙ 極稀 ⊙, 概  
5 数性稀 4 又 6 数性花; F. f. =  $K_4 \sim 6 C_5 \sim 6 P_0 A_4 \sim 5 v. 4+4 \sim 5 v.$   
 $5+5 \sim 6 v. 6+6 r. \infty G: 2 v. 3 \sim 5 r. 6 \sim 12$  一般花式ナルモ、

160 図



(160 図) ゆきのした属及たんぢよう  
さう(いはれんげ)属ノ花・果(原四)  
1. たいもんじさうノ花,  
 $K_5 C_5 A_5 + 5 G_{(2)}$   
2. 同上ノ蒴果(伴宿存K)  
3. くらくもさうノ蒴果  $G_{(2)}$   
4. たんぢようさう(*Aceriphy-*  
*llum Rossi Engler*)ノ花,  
 $K_6 C_6 A_6 G_{(2)}$

多クハ  $K_5 C_5 A_5 v. 5+5 G_{(2)}$  又  $K_4 v. 5 C_5 v. 0 A_4 v. 4+4$   
 $\sim 5 v. 5+5 G_{(2)}$  也。Cハ芽中覆瓦状又頷合状、Gハ概土  
結合、稀介離ス、子宮ハ概 2 室稀 1 室或 3~5 室極稀  $\infty$  室、概  
肥大セル胎座 =  $\infty$ ノ側生卵子ヲ着生ス; 花柱ハ概離生、心皮  
ト同数。果実ハ概蒴果稀蓇葖果也; 種子ハ小形、鏡多ノ胚乳



ト細小ノ胚ヲ含ム。内乳ハ基底層ヲ有シ、一部球状、取柄ハ吸  
痕状突起ヲナス。

成分及效用—成分トシテ 2.3ノ配糖体並ニ果実ノ有機酸  
糖類ニ就テ知ラル、モ極基及精油ハ未檢出也。配糖体  
(<sup>チクロイン</sup> *Dichroin*, *Umbelliferon-glykosid*, *Phyllo-  
licin-glykosid* 等)。有機酸 (林檎酸、枸橼酸、酒石酸、  
琥珀酸、没食子酸、鞣酸、サリチル酸)、其他ノ物質 (*Hydran-  
genol*, *Isohydrangenol*, *Phyllo-  
dulcin*, *Isophy-  
lodulcin*, *Emulsin*, 粘液、糖類等) 等也。

分布及属種数—世界ニ凡ソ70属 1200種ヲ産シ、熱〜寒帯  
ニ分布ス。日本ニ自生又栽培スルモノ凡ソ22属 180種ヲ下ラ  
ズ、標本台間ニ分布シ、平地〜高山頂ニ分布ス。本州以北ノ寒  
地帯ニハ本科植物鏡多ナルモ台湾ノ寒地帯ニハ殆ト分布セ  
ザルハ分布系統ノ異ナルヲ證スル一現象也。

本科ノ薬用植物:— 本科ヲ次ノ4亞科ニ分類ス。

*Subfam. (i) ゆきのした亞科 Saxifragoideae* ②稀  
5葉ハト③着, 花ハ概5稀4又6数性花, F. f. =  $K_5 r. 4 v. 6$   
 $C_5 r. 4 v. 6 v. 0 A_5 v. 5 + 5 r. 4 v. 4 + 4 v. 6 v. 6 + 6 G_{(2r. 3v. 6)}$ ;  
Gハ稀ニ分離, 土下部合着, 花柱ハ心皮ト同数, 中軸又側  
膜胎座, 卵子ハ有2卵膜; 蒴果, 種子ハ $\infty$ , 小形。

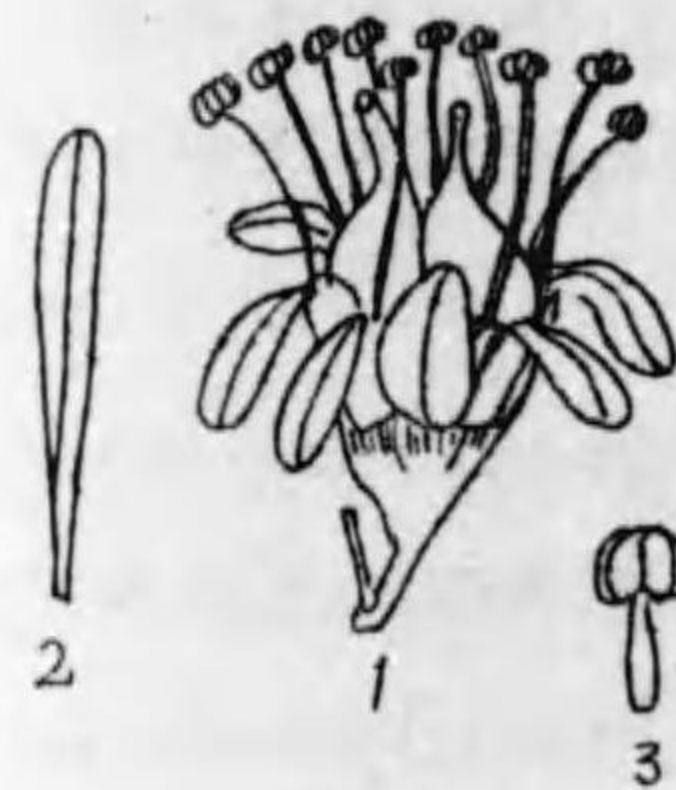
*Tribus (i) ゆきのした族 Saxifrageae* 葉ハ單葉〜複  
葉, 歯牙〜缺刻縁; 花序ハ總状, 複總状, 円錐, 聚繖花序; 花  
ハ概 $\oplus$ 稀 $\ominus$ , 4〜6数性, F. f. =  $K_{4\sim 6} C_{5\sim 6} r. 0 A_{4\sim 6}$

r. 8 ~ 12  $G_{(2-6)}$ 。概  $K_5 C_5 A_5 v. 5 + 5 G_{(2)}$ , 心皮ハ稀離  
生, 花柱ハ凡テ離生; 蒴果ハ概2裂, 概中軸胎座。

*Subtribus (i) ちたけさし亞族 Astilbinae* ②稀5,  
葉ハ掌状又掌羽状複葉極稀單葉 (ウトクハシヨウマ), 有托葉,  
花序ハ複總状〜円錐花序, F. f. =  $K_5 C_5 r. 0 A_5 + 5 G_{(2)}$ ; 果葉ハ稀離性。

(1) ちたけさし (升麻) *Astilbe microphylla*  
Knoll, [分生] 本・北ノ山野, 山麓ニ粗〜密群生ス。[生薬]  
根莖ヲ採乾シテ升麻ト称シ藥用トス。[成分] 未研究。

161 圖



(161 圖) とりちし. 1. は. ま. ノ. 花. 及  
解剖圖 (原圖)  
1. 花ノ側面  $K_5 C_5 A_5 + 5 G_{(2)}$  -  
2. 花瓣 1ヶ 3. 雄蕊 1ヶ (上部)

[薬効] 根莖ヲ煎服シテ解熱 (熱毒)

鎮痛 (頭痛, 咽喉炎, 咽痛, 口瘡等) 藥  
トス, 1日4〜5-8g 煎用。解毒及

消炎劑也。煎汁ヲ皮膚炎症ニ塗布ス。

(2) からけだけさし (しな. あわもりさう, 外麻) *A. Chinen-  
sis* F. et S, var. *typica* Fr. [分生] 支. 北. 朝. 台. おほちだ  
けさし var. *Davidii* Fr. [分生] 北 (對島), [生薬] 外麻,  
(乾根莖)。[成分] 未詳。[薬効] 同前種。

(3) あわもり-しヨウマ (あはもりさう 升麻) *A. japonica*  
Miq. [分生] 本・四・九ノ山地溪潤ニ粗〜群生。[生薬] 升麻



(紫根莖) [成分]未詳. [藥效] 同前種. (4) とりあししよま(あか-しよま, 赤外麻, 烏足外麻) *A. Congesta Nakai* (分生) 南千北, 本, 四, 九, ) 山地 = 叢生 ~ 群生ス. [生薬] 外麻 (紫根莖) [成分] 根莖 = 澱粉ト蛋白質濃布シ, 莖葉ハ皮層 = アリ. [藥效] 根莖煎汁ヲ強壯藥トシ, 又解熱及解毒, 効アリ. 其他, 同前種, 若葉ヲ食用トス.

(5) あか-しよま (赤升麻) *A. Thumbergii Mig.* (分生) 北, 本, 四ノ山地生, 葉ハ心脚, 重銳鋸齒縁, 花序ハ有毛. 生薬其他同前種. [備考] 本属ハ以上ノ外もみぢはしよま(北), みやまぢだけ(本, 中部), ありさんあはもり(白), はなぢだけ(本, 中部)等種類多ク支滿鮮日, = 本種シ一括シテ升麻(藥方)ト称セラレ, 藥效皆同一視セラルト雖モ, 成分研究ヲ経ザル故断言シ得ズ, 要此後研究.

*Subtribus 2) カミのした亞族 Saxifraginae* ⊙; 單葉, 無裂 ~ 掌狀淺 ~ 深裂, 托葉有又無. 花序ハ前亞族様及聚繖花序, 花托ハ壺狀又扁平, 花弁ハ一輪 = ハ.  $F. f = K_{4n} C_{5n} r. 0 A_{4n} v. 4+4 v. 5v. 5+5 G_{(2)}$ , 稀  $G(3 \sim 5)$  ハ畸形ナラン. *Tanakaea*  $\in C_0$  也,  $K_5 C_5 A_5 + 5 G_{(2)}$  最多ク, 時 =  $K_4 C_0 A_4 v. 4+4 G_{(2)}$  (ねこのめさう属). 或  $K_6 C_6 A_6 G_{(2)}$  (たんちよさう属) 也.

(6) 中さうした (虎耳草) *Saxifraga stolonifera* Meerb. (分生) 本(中南部), 四, 九, ) 山地 = 粗 ~ 群生ス. [生薬] 虎耳草葉ヲ藥用 = 供ス. [成分] 無機塩ノ外不詳. 但シ本属ノ成分トシテハ *Bergenin* (苦味質), *Gerbstoff*, *Gallussäure*, *Glucose* 等ヲ含有ス. [藥效] 生薬ヲ焙リ諸瘡及凍傷

又腫脹 = 貼付シ又煎汁巻法シテ有效. 漆かぶれ = 葉ヲ塩漬シテ貼付シテ治ス, 又毒虫(蜂, 蛇, 蜈蚣, 蟻, 蜘蛛等) 其他毒虫一般ノ



(162 図) つだやくしやノ花系(原圖)  
1. 花冠,  $K_5 C_5 A_5 + 5 G_{(2)}$   
2. 花弁 1 枚. 3. 果実(伴  $K$  及花縁)

整傷 = 塗布シ毒虫解毒藥トス. 感冒ノ解熱 = 生薬 4.5 枚ヲ地龍(蚯蚓ノ乾品生薬) 1 匹ト混煎服用セバ特效アリ. 湿疹, 諸瘡(ふき, 心もの) = ハ生薬増汁ヲ白粉又亞鉛

華 = 泥ニ軟膏トシテ塗抹ス. 小児疫痢, 又ひきつけ, 腹痛 = 生薬 28 枚ヲ塩漬シセル煎汁ヲ飲マシメ有效. 耳疾 = ハ生薬 2, 3 枚ヲ塩漬シ汁ヲ耳 = 滴下シテ有效(此場合葉ハ水洗シ煎汁ハ布 = 濾過ス). 小児ノ疳(胃腸熱) = ハ葉ノ煎汁ヲ服用ス. (新藥) シュメルツ(高橋理科学)ハ葉ヲ原料トス. [備考] 花ヲ塩漬トシ湯 = 入れ湯花トシテ客 = 接濟セバ佳効アリ. 葉ヲ食用(煎又油揚)トス. 觀賞用トシテ植栽セラル, 花形葉態頗風趣 = 當ム. 山民ハたはもんじさうノ如ク食用トス.

(7) なかはしよまのした(長葉虎耳草) *S. arassifolia* L. (分生) 北及西比利亞原産, 日本栽培. [成分] 根莖及莖皮 = *Bergenin* (神經強壯藥)ヲ含ム. [效用] 鞣皮用 = 供セラル.

(8) ふき, 中さうした *S. japonica* Boiss. (分生) 北, 本, 四ノ寒地帯下部 ~ 亜寒地帯上部ノ溪間 = 群生ス. 好冷水地. [生薬] 全草ヲ露雪下ト秋シ利尿(腎臟病, 脚氣等)藥トス. 特 = 地下莖 1 回



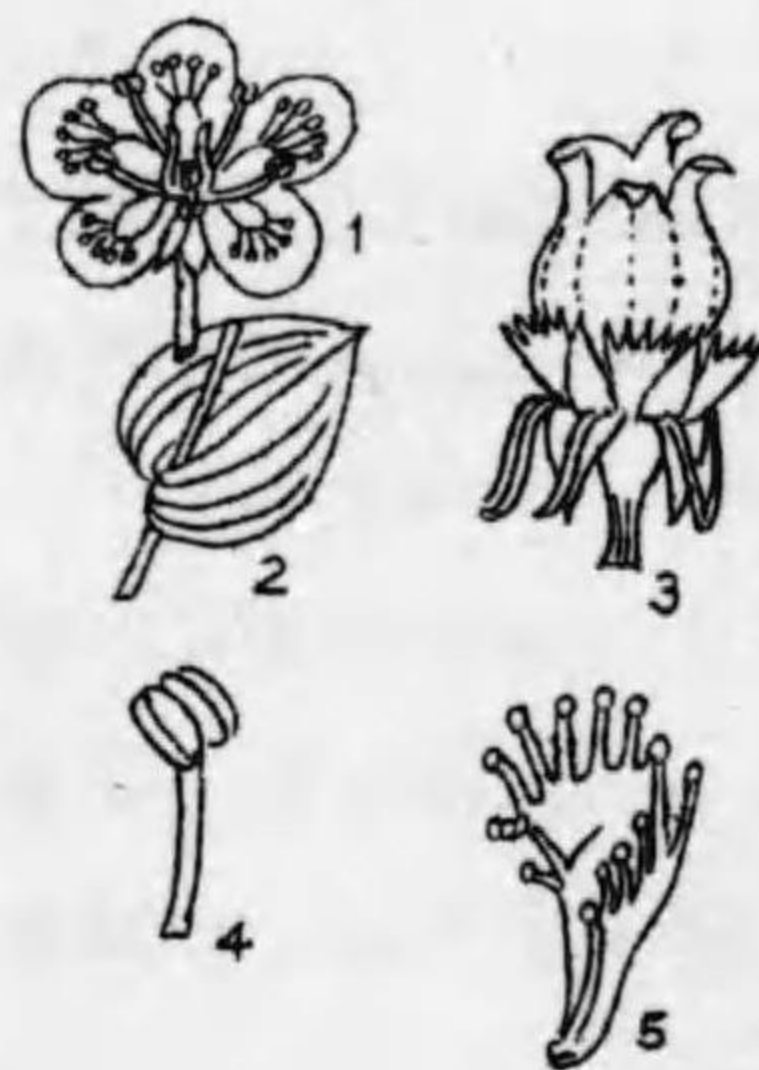
3~5g煎服ス。〔備考〕若葉ヲ山民煮食又味噌和トス。  
 (9)くろくもさう(いはぶき, きくぶき)及其諸変種 *S. fusca* Max.  
 (分生)北本四九、深山幽谷(主=亜寒地帯)、溪畔=群生ス。(生薬)黒  
 雪草ノ全草特=地下莖ヲ薬用トス。〔成分〕前種ト共=未詳。  
 〔薬效〕同前種。

(10)だいもんじさう(大文字草) *S. Fortunei* Hook, f. (分生)樺南千  
 北、本四九、朝ノ山地=粗〜密群生ス。(生薬)全草特=根莖乾品ヲ大文字  
 ト云フ。〔薬效〕生薬ヲ煎服セバ腎臓病=有效。山民ハ全草ヲ食用ス。

(N)つたまくしゆ(頭陀薬種) *Tiarella polyphylla* D. Don.  
 (分生)北、本四九、朝台ノ山地(寒地帯最下部以下)=散生又簇生ス。(生薬)  
 頭陀薬種葉ハ葉ノ乾物也。〔成分〕未詳。〔薬效〕葉ヲ喘息=煎服ス。〔備考〕  
 信州方言=喘息ヲつたト云フ。此草ハ喘息ノ薬效アル故ツタを藥種ト云  
 フト謂ハル。

*Tribus* (2)うめばちさう族 *Parnassieae* ⑤、單葉、全縁、無托葉、  
 單生又單頂花序、F. f. =  $K_5 C_5 A_5 + \div 5 G (3 \sim 4)$ ; 内 A ハ 假 A = 変化シ

163 四



(163四)うめばちさうノ花果(原四)  
 1. 花器  $K_5 C_5 A_5 + \div 5 G (4)$   
 2. 莖ノ一部(伴全縁單葉)  
 3. 蒴果(伴 K, A,  $\div A$ )ノ胞背裂開  
 4. A 1 片 5. 假 A 1 片  
 分蘖ス、葉ハ 3~4 胞背裂開、網膜胎座  
 3~4 花柱ハ無又頗短形。

(12)うめばちさう(梅鉢草) *Darnassia*  
*palustris* L. (分生)樺南千、北、本四九、朝  
 台ノ山野=散生〜群生ス。〔成分〕

164 四

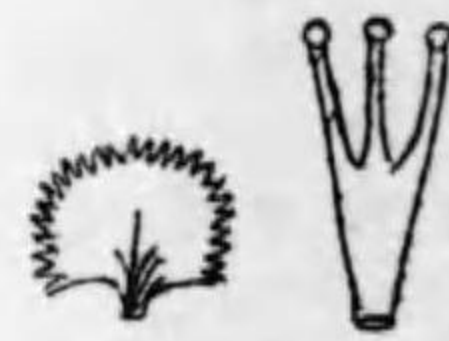


(164四)うめばちさうノ花式圖(原四)  
 $K_5 C_5 A_5 + \div 5 G (4)$

未詳。〔薬效〕未詳。觀賞用トス。

*Subfam.* (II) あぢさゝの里科 *Hydrangeoi-*  
*deae* 概 5~5 稀 5, 稀 ⑤; 葉ハ  $\gamma$ , 稀  $\gamma$ , 單葉,  
 無裂, 稀 2 裂, 無托葉; 花ノ概 孕 無 性; 花序  
 ハ總狀, 聚繖狀, 繖房狀又其複式或ハ円錐花序,

165 四



(165四)しらびげさうノ C 及 A ノ  $\gamma$   
 1. 花瓣 1 片 2. 假 A 1 片

其外縁花ハ大形、無性花(飾花); F. f. =  $K_4 \sim 5 C_4 \sim 5 A_4 + 4$   
 $\gamma. 5 + 5 \gamma. \infty G_2 \sim 3 \gamma. 4 \sim 5$  - 1 卵膜。

*Tribus* (1)はいくわ、ろつき族 *Philadelphaeae* 概 5 稀 ⑤;  
 葉ハ  $\gamma$  花ハ皆同一型、花序中 = 無性花無シ; F. f. =  $K_4 \sim 5$   
 $C_4 \sim 5 A_5 + 5 \gamma. 5 + 5 + 5 \gamma. \infty G (3 \sim 5)$  - ; 其中はいくわ-ろつ  
 き (*Philadelphia*) 属 =  $K_4 C_4 A_5 \infty G (4)$ , ろつき属 *Deutzia*  
 =  $K_5; C_5 A_5 A_5 + 5 \gamma. \infty G (3 \sim 4 \sim 5)$  -, きれんげ-しようま属 =  
 $K_5 C_5 A_5 + 5 + 5 G (3 \sim 4)$  - ; A ハ 概 扁 平 變 有 翼, C ハ 旋 列,  
 花托ハ歪狀〜壺狀, 翰葉ハ胞圍裂開シ各果皮ハ内方=向ヒ  
 胞背裂開ス。

(13)ろつき(ろのはな楊梅, 溲疏), *Deutzia crenata*  
*S. et G.* (分生)北、本四九、朝台ノ山野=点生〜簇生ス。  
 (生薬)樹皮(夏時採取)及果実(君子仙ト云フ熟時採集)ヲ薬用=  
 供ス。〔薬效〕和方: 果実ヲ粉末トシ糯米ト混和シ咳嗽=肉



服(鎮咳劑)×, 7回 0.5~1g. 煎用。(備考)木部中空也故空木(ウツキ)ト云。木理細賦器トシ又木釘トス, 品量多シ。

Tribus(2)あかさい族 Hydrangeaceae 5又5. 稀④, 葉ハ少 稀ト(くさあかさい属), 花序ハ周辺花ハ屢無性不登花Cハ 微小, 屢A, G.ヲ缺キC狀ノ大Kヲ具フ; F. f. = K; 5; r. (4~5); C5 r. 4~5 r. 6~7 A5+5 v. ∞ r. 5+5+5 G(2~3~5)-, 概 K; 5; C5 A5+5 v. ∞ G(2~5)-, 常山屬ハC6~7 A20, あかさい 屬=ハ屢C4~5 極稀A5+5+5, ばいくわ-あまぢや屬, くさ あかさい屬, かんばいさう屬ハA∞; 不登花ハK+n2~3 v. 5 C 全數微少, A, Gハマ又0; Cハ銀列又互列, 花綴ハ蕨形又錐 形, 蒴果稀漿果〔常山〕

(14) じやうざん(常山) *Dichroa febrifuga* Lour. (分布) 印度, 交趾支那支(四川, 雲南), 原産, 日本栽培。(生薬)常山(苗ヲ周濠 ト云)ハ根ヲ採乾セルモノ也。(成分)根=配糖体 *Dichroin* ヲ含有ス。(薬效) <sup>マラリヤ</sup> 回腸熱ノ解熱薬トス。

(15) きんばいさう(きんがさう) *Deinantha bifida* Max. (分生)本(中南部). 四. 九.ノ山地=散生~簇生(生薬)花ヲ採 乾シ薬用トス。(薬效)乾花ヲ煎服シテ解熱薬トス。

(16) あかさい (くまりはな, 紫陽花) *Hydrangea macrophylla* DC. f. *Otakusa wils.*, (分布)栽培品。(生薬)葉及花ヲ採乾シ 薬用トス。(成分)葉ノ主成分ハ *Hydrangenol* C<sub>15</sub>H<sub>12</sub>O<sub>4</sub> 及 *Isohydrangenol* C<sub>15</sub>H<sub>12</sub>O<sub>4</sub> ナル2種ノ結晶性物質ニテ共 = 甘味ナシ。(薬用)乾葉(或乾花ト共)ヲ煎服シテ間歇熱ヲ治 ス(蕨ノ特效薬)。乾花ハ古来解熱薬, 心臓病薬=煎服ス, 1回4g.

又まらりあ病ノ解熱劑トス。(備考)白井博士曰ク *Otakusa* ハ大類草ノ誤字ナラン。皆類狀ヲナス<sup>1</sup>ト。(1)

(17) あまぢや(あまぢやのき, 土常山, 甘茶) *H. Thunbergii* Sieb. (= *H. Opuloides* Steud. v. *Thunbergii* Mak.) (分布) おほあまぢや (大甘茶)ト共=栽培ス。又朝本州=野生ス。(生薬)甘茶 *Fo- lium Hydrangeae dulce* ハ葉ヲ採乾蕪シ搗揉シ膏汁 ヲ去リシモノ也。特異ノ甘味アリ, 水=浸シテ使用シ又茶= 製シ飲用ス。長野, 奈良, 山口縣=多産ス。(成分)甘味成分ト シテ *Phyllodulcin* C<sub>16</sub>H<sub>14</sub>O<sub>5</sub> 及 *Isophyllodulcin* C<sub>16</sub>H<sub>14</sub>O<sub>5</sub> ナル2種ノ結晶性物質ヲ含有ス。(薬效)甘茶ハ調味料トシ テ汎用セラル。糖尿病患者ノきつかりルノ良代用品也。古 来旧四月八日ノ灌佛=供シ, 子女=介與セリ, 氏; 濃煎汁ヲヤ に服, しぶり眼(結膜炎等)=点眼ス。又醬油=混シ味付トシ又 防腐ノ效アリ。嗜好品(甘茶)トス。(

(18) のりのき(のりつき, とろのき, さびた) *H. paniculata* Sieb 及其变种 (分生)樺南千, 北本, 四, 九, 山野=点生稀簇生ス。(生薬)樹内皮 粘液ヲ使用ス。(成分)幹枝ノ内皮ヨリ生ズル粘質物ハゴモ 質及粘液ヲ含ム, 内皮水浸液ノ粘性ヲ失フヲ防グ=ハ5%硫酸 亞鉛ヲ加フ(細菌及 *Amoeba* 等ノ寄生=因ル)。全株=*Um- belliferonglykacid*, 及粘液ヲ含有ス。(效用)糊ヲ製紙 ノ原料樹枝皮ヲ細切シ水槽中=浸シ糊トス。特=和紙ノ抄 造=不可缺品也。此ノ水ねり液ハ初夏=至ルモ腐敗セズ, 北海道ヨリ市場=供給ス, 普通ハ安價ナル水ねり液ノ原料即黄



蜀葵根ヲ使用ス。材ハ硬ク木釘スニハ<sup>10</sup>11<sup>3</sup>ニ使用ス。

Subfam. (iii), すいな亞科 Escallonioideae 5, 葉ハ單葉, 4, 無托葉; F. f. =  $K_5C_5A_5G_{(2)}$ , 卵子ハ $\infty$ 多列, 1 卵膜, 鞘果, すいなの外ハ總テ台。産地。

(19) すいな(よめなのき) *Itea japonica* Oliv. [分布] 本 [中南部] 山 = 自生ス。[效用] 材ヲ薪用トシ, 嫩葉ヲ食用トシ, 莖ノ髓ヲ燈心ノ代用トス。(熊野地方)。新葉ノ苦味ヲ去リ(煮汁除去)乾燥シ食ス。

Subfam. (iv) すぐり亞科 Ribesioideae 5, 葉ハ4, 單葉, 無托葉, 總狀花序; F. f. =  $K_5C_5A_5G_{(2)}$ , 子房ハ1室2ヶノ側 聯胎座ヲ有ス, 漿果。 (20) すぐり *Ribes grossularioides*

166 四

Max. [分布] 本(中部, 信州), 山地 = 散生, 又栽培。[薬用] 果実ヲ清凉 止渴劑トシ又果実酒ヲ造ル。



(166 四) すぐり属ノ花ノ縦斷  
(Baillon)  $K_5C_5A_5G_{(2)}$

(21) まるすぐり(グースベリー) *R. grossularia* L. [分布] 欧州原産, 日本栽培。[成分] 果 = Äpfelsäure, Citronensäure, Weinsäure 及糖類ヲ含有ス。[薬效] 果ヲ生食シ, 又ちえりーヲ製シ又すぐり酒ヲ造ル, 他ハ同前種。

(22) やしまべしや(てんばい, 葛) *Ribes ambiguum* Max. [分布] 本・四・九ノ山地ノ樹上 = 着生ス, 稀少。[生薬] 萼実ハ果実ヲ乾燥セルモノニテ有毛也。[成分] 未詳。[薬效] 果実ヲ婦人病藥トシ産前産後 = 煎服シテ有效。又煎用シ痲痺ヲ治ス,

又胃座ノ治效アリト云。觀賞用トス。

Fam. (v) とべら(海桐)科 Pittosporaceae

形質一互又互, 葉<sup>6</sup>, 莖皮部 = 樹脂道アリ。葉ハ4, 單葉, 無脈, 全縁無托葉, 革質。花器ハ $\infty$ 。又 $\infty$ , 小形。花序ハ繖形, 總狀, 雌花序, 稍密花。花ハ $\oplus$ ,  $\odot$ ,  $\ominus$ ; F. f. =  $K_5C_5A_5G_{(2)}$  (2 V. 3-5), Cハ互列; 子房ハ1又3~5室, 1卵膜,  $\infty$ ~少数ノ側生卵子ヲ含ム, 花柱ハ単体, 柱頭ハ裂。果実ハ $\infty$  又漿果也, 種子ハ有縁胚乳。

成分及效用一揮發油及鞣酸類知ラルルノミ。藥用ノ外觀 質用。木材用 = 拱ムルモノアリ。

分布及属種数一世界 = 9属 200種ヲ産シ, 熱〜温帯 = 分布ス。日本 = 自生スルモノ 1属 12種ヲ下ラズ, 主 = 琉球ノ産 = 本(中部), 以南 = 分布ス。

本科ノ藥用植物:—

(1) とべら(とべらのき, 海桐花, 海桐) 及其諸変種 *Pittosporum tobira* Ait. [分布] 本(中南部), 四・九・琉球, 小笠原, 台ノ海 岸 = 自生スル常緑 $5 \sim 15$ 。[成分] とべら属ノ成分トシテ精油 (*d-Limonen*, *d-d-Pinen*, *Sesquiterpen*)ヲ含有ス。[薬效] 樹皮ヲ火傷, 皮膚病等 = 煎用シ, 葉ヲ仙気, リウマチス等ノ疼痛 = 鎮痛劑トシテ煎服シ, 又搗碎シテ瘡, 腫物 = 貼付ス。[備考] 昔大臨日ノ夜靡 = 埃ミ厄除ケトスルヨリとべらのキト称シとべらニ轉訛セリ。材ハ樹脂トス, 又觀賞用トス。



Fam. (IV) まんさく(金縷梅科 Hamamelidaceae)

形質一互又互, 概葉葉端常縁。葉ハト◎着, 單葉無裂又常狀3~數裂, 全縁又鋸齒~波~缺刻縁, 有托葉。花序ハ傘又(♀♂), 異被~裸花, 小~中形, 概黄色, 早咲。花序ハ穗状, 總状又小頭状花序。花ハ⊕, ⊙, ⊙, 又 ⊙ 稀., 4~5 数花也; F. f= K<sub>2</sub>5 C<sub>4</sub>25 A<sub>1</sub>25 G<sub>2</sub>; Cハ縁合羽又互列, 要線形; A<sub>4</sub>25ハ是ヨリ稀=増減ス, 子宮ハ2, 1~∞ノ懸垂卵子ヲ含ム, 花柱ハ2ヶ, 果実ハ蒴果, 要木質胎背裂開又之ト同時=胞間裂開ス, 種子ハ有少胚乳, 胚ハ直生, 内乳ハ核状。

成分及效用一成分トシテ芳香性樹脂 Storax, 揮発油, 鞣酸, Phytosterin 等也。藥用ノ外木材用, 器具用, 觀賞用等=供ス。

分布及屬種數—世界=凡 18 属 100 種ヲ差シ, 熱帯~温帯=分布ス。日本=自生又栽培スルモノ凡 6 属 18 種ヲ下ヲス, 北, 台, 閩=分布ス。

本科ノ藥用及有用植物:-

(1) すのみ (ひよんのみ, 蚊母樹) *Distylium racemosum* S. et G. [分布] 本(中南部)・四・九・朝・琉・台・ノ山地=自生スル常緑木, [效用] 材ヲ建築用, 器具用, 薪炭用トス, 材堅硬緻密ナルハ藥器, 櫛等造ル=適ス, 灰ハ陶器製造用トス, 又觀賞用=栽植ス。[備考] 葉ノ虫癭ハ鰐魚形硬シ, ひよんのみノ名之ヨリ出ヅ小児ノ玩物トシ又墜子トス。

(2) まんさく(金縷梅) *Hamamelis japonica* S. et G. (分布) 北, 本, 四, 九, 山地=聚生稀簇生ス。(生藥) 金縷梅葉ハ採乾セルモノ也 [取

分] 葉= *Tannin* ヲ含有ス。[藥效] はまめりす葉(次製)ノ水用トシテ收斂性止血藥トシ, 咽喉加答児(急慢性)ノ含嗽料(煎汁)トス。[備考] 早春ノ黄花ハ桂燻アル故觀賞用=植栽シ又生花用トス。

△(3) はまめりす *H. virginiana* L. [分布] 北米=分布シメシシッパー河流域ヨリ南ハめきとト=及ハ北ハかなだ=分布ス。まんさく=近似ス。[生藥] はまめりす葉 *Folium Hamamelidis* ハ葉ヲ採乾セルモノ也。[成分] 葉=鞣酸(Gerbstoff), 没食子酸(*Gallusäure*)ヲ含有ス。[藥效] 葉ヲ煎服シテ收斂, 止血藥トス, 即慢性咽喉加答児=專ヲ含嗽用トシ, 内用トシハ内部器官, 出血, 赤痢, 痔(出血等)疾, 其他加答児性疾患=使用ス。準局---はまめりす葉ハ收斂藥トシ概含嗽料トス。今はまめりす流動煎液新 *Extractum Hamamelidis fluidum* ハ收斂及止血藥トシテ痔疾, 咯血, 月經過多, 下痢, 白帶下等=用ヒ良效ヲ奏ス。用量ハ 20~30 滴也。

[用法例] 痔出血又下痢(出血性等)=用ス。ハマメリス流動エキス 半~1 茶匙宛, 1 日數回内服。又 0.25g. ヲ坐藥トシテ外用ス。

(4) ふう (楓, 風香樹, 楓仔) *Liquidambar formosana* Hance [分布] 台, 山地=自生スル落葉木。[生藥] 楓香脂(白膠香)ハ樹皮ヨリ流出セル樹脂ヲ採乾セルモノニテ, 淡黄透映ノ脆塊ニテ, 嚼ハ砂様無味。[成分] 脂ハ *Zimtalkohol*, 桂皮酸, 桂エスアル *Zimtsäure zimt ester*, 桂皮酸。







数ノ2倍稀3~4倍数又∞  $G: \overline{1V, 2V, 3V, 4V, 5V, 6V, 8V, \infty}$   
 工数ノ2又3倍又∞ 之ヲ要約セバ  $K: 3 \sim 4 \sim 5 \sim 8;$   
 $C: 3 \sim 4 \sim 5 \sim 8$   $r: C$   $v: \infty$   $A: 1 \sim 3 \sim 4 \sim 5 \sim 8 \sim \infty$   $G: \overline{1 \sim 5 \sim 8 \sim \infty}$  トナル。更ニ要約セバ  $K: \overline{3 \sim 8}; C: 3 \sim 8$   $r: 0$   $v: \infty$   $A: 1 \sim \infty$   $G: \overline{1 \sim \infty}$  トナル。或モ曰ホニ最大ナルハ  $F: f = K_5 C_5 A_5 \sim \infty$   $G: \overline{1 \sim \infty}$  式ニテ一般的ニハ  $K: 4 \sim 8; C: 4 \sim 8$   $r: 0$   $A: 5 \sim \infty$   $G: \overline{1 \sim \infty}$  式也。以上ノキ4数花ハしろやまぶき属, われもかう属, 6数花ハろくべんしものけ属, 7数花ハのろごいちご, 8数花ハちよらのすけさる属ニ見ルベシ(但シA, Gハ除外)。花中K片ハ屢合着シテ萼筒ヲ作り(さくら属), 又花托ト癒合シ(われもかう族, ばら族), 或モ花托素片ノ交互癒合ニヨリKト同数ノ外萼ヲ造ル場合(おらんごいちご属, きじむしろ属, へびいちご属等)ハ萼輪ハ重板ノ觀アリ, 花式 =  $SK_n Kn C_n \dots$  トシテ表現ス(註, SKハCalyces stipulae 托葉萼ノ義), 概観合列稀互列。Cハ互列, 概  $C_n 5 \sim 8$ , 稀  $C_0$  (Spiraea), 屢凹頭概美麗。又ハ重咲ハ  $Kn C_n A_n$  ノ場合多クC増加シA減少ノ傾向アリ。AハKノ2~4倍数又∞(不定数), 稀1~5, 花托面又其内面又K片基ニ附着, 要之ばら科ハ概5萼5瓣多(∞)雄蕊ノ植物ニシテGト果実ニ於テ変化極リナシト云フベシ。GハK片ト同数又2~3倍数又∞, 稀1~4, 屢ト状花托ニ結合ス, 各心皮ハ概2ヶ稀1ヶノ側生卵子ヲ含ム; 子室ハ各心皮ノ室宛, 故複子房ハ2~∞室; 花柱ハ心皮ト同数, 皆分離又1部ニ全体結合

果実ハ頗多型, 梨果, 核果(石果), 漿果, 蒴果, 蓇葖, 閉果, 及其変果也, 屢果皮又花托ノ発達良好ニテ美果ヲ供ス。種子ハ小~中形, 稀大形, 概無胚乳稀合小量又饒多也, 子葉ハ多肉质稀褶曲ス。

成分及效用一ばら科ノ化学成分ノ特徴ハ藥用植物ノ饒多ヲ以テ知テル。本科 = Alkaloids / 分布セザルコトヲ特旨トスバク, 之ニ反シ Glycosid / 豊富ナル分布就中香酸配糖体 Cyanogen-glycosid = 留ムコト, 特殊ノ成分トシテ驅虫作用アル Kosotoxin 反 Phloridzin / 含有スルコト等是也。特異成分ナル青酸及 Benzaldehyd 分解配糖体ヲ有シ鎮咳藥ニ利用スルモノ多ク, 又化学構成式類似スルモ藥物学的作用全ク異ル Sakuranin アリ。青酸配糖体中主要ナル Amygdalin, Prunasin アリ, 又 Uva ursi / 主成分ナル Arbutin / 含有スルモノ有ル等ハ特筆ニ價ス。本科ノ主要ナル化学成分如次。

配糖体 (Amygdalin, <sup>ラウロセラジン</sup> Laurascerasin, <sup>プルラウラシン</sup> Prunasin, <sup>プルナシン</sup> Prunasin (以上青酸配糖体), <sup>ガウレチリン</sup> Gaultherin, <sup>スピラエイン</sup> Spiraein, <sup>ギレンイン</sup> Gillenin, <sup>フロリヂン</sup> Phloridzin, <sup>ゲイン</sup> Gein, <sup>フラガラチン</sup> Fragarin, <sup>マルチフロリン</sup> Multiflorin, <sup>カエムペフェール</sup> Kaempferol-glykosid, <sup>サクラニン</sup> Sakuranin, <sup>キウリヤサウレ</sup> Quillajasäure, <sup>キウリヤサウレ</sup> Quillajasaponin, <sup>アールブチン</sup> Arbutin 等)。有機酸 (林檎酸, 枸橼酸, 酒石酸, 琥珀酸, 吉草酸, 安息香酸, 没食子酸, 鞣酸, <sup>キノカア酸</sup> Chinovasäure, <sup>エラガ酸</sup> Ellagsäure, <sup>クマール酸</sup> p-Cumarsäure, <sup>ソルビン酸</sup> Sorbinsäure 等)。含水炭素 (<sup>ラクトシン</sup> Lactosin, <sup>アラバン</sup> Araban,



Xalan, Galactan, Sorbin<sup>ソルホーゼ</sup> Sacchase Mannit,  
 轉化糖, 蔗糖等), 酵素(Gaultherase, Emulsin, Pec-  
 tase, Laktase, Laccase, Oxydase, Diastase  
 等), 其他ノ物質(Kosotoxin (Kosin), Sanguisorbin,  
 Heriotropin, Vanillin, Cumarin, Asparagin,  
 Cholin, Lecithin, Phytosterin, Naringenin,  
 Quercetin, Kaempferol<sup>カムペロール</sup>等)。本科ハ木ク科, しそ科,  
 ごまのはぐさ科, けし科, まめ科, きんぼうげ科, めぎ科,  
 ゆり科等ト共ニ藥用植物ノ多キヲ以テ著明ナルカ, 此外食  
 用果実ヲ供スルモノ甚多ク, 觀賞用植物モ諸科中ニ, 冠タルバ  
 ク, 其他木材用, 器具用, 薪炭用, 染料, 香油料, 石鹼代用, 等人生ニ  
 利用セラル、モノ枚舉ニ遑アラズ。

分布及屬總數一世界ニ6又3亞科凡90屬2500種ヲ産  
 シ, 熱帯ハ寒帯ニ広布シ, 垂直的ニハ海岸ハ高山頂ニ至リ, 各  
 地方産セザルナシ。日本ニ自生又栽培スルモノ凡ク亞科,  
 45屬, 460~500種ヲ産シ, 北ハ樺千ヨリ南ハ台ニ至ル迄平地,  
 山地ノ別ナク墮所ニ広布シ, 年々歳々新種ノ発表不歇。

本科ノ藥用及有用植物:- 日本産ハ科ハ次ノ6亞  
 科ニ分類スルニ, 其ノ中ノ4亞科ヲ天々独立ノ科トシテ取扱  
 フコトアリ, サレド本番ハ前者ヲ踏襲スルヲ合理的ト思惟  
 ス。

Subfam. (i) しもつけ(繡薇科, 珍珠花)亞科 Spiraeoideae  
 (167~169圖) 5又5種。葉ハ $\psi$ 着, 單葉又羽狀ハ再ニ掌

羽狀複葉, 托葉有又無。花序ハ繖形, 繖房, 繖房, 再ニ繖房, 花

167圖



(167圖) しもつけ屬 Spiraea 花,  
 模型圖(原圖)  $K_5 C_5 A_{\infty} G_5$

ハ掌, 稀 $\psi$ 着。③, 稀 $\psi$ , 稀 $\psi$ , 稀 $\psi$ , 稀 $\psi$  5數性稀  
 $\infty$ 數性, 花托ハ扁平形蓋狀, F.f. =  $K_5 C_5 A_5 + 5$

v. 5+5+5 v. 5+5+5+5~ $\infty$   $G_2 \sim 5$  r. 6. ~12 v. 1-, 花冠ハ  
 5瓣形, 10~40蕾中内出; Gハ $\psi$ 外立, 各2~ $\infty$ 卵子ヲ含

168圖



(168圖) ニごめうがも屬  
 Stephanandra 葉及  
 花, 解剖(原圖)  
 1. 花ノ縱斷圖  $K_5 C_5 A_5 + 5 G_1$   
 2. G及胚狀花托ノ縱斷圖  
 3. 單葉(羽淺~深裂)

△花柱ハ頂生。果ハ管莢又胞果, 種子ハ胚乳少又無, 子葉ハ  
 軟肉質也。種子ハ無翼 (Tribus (i) しもつけ族 Spiraceae) 又  
 有翼 (Trib. (2) やなぎ, さくら族 Quillajaceae)。

169圖



(169圖) やまぶきしよらま Arunces, 早花  
 (但ニCヲ除ク)(原圖)  $K_5 C_5 A_0 G_3$

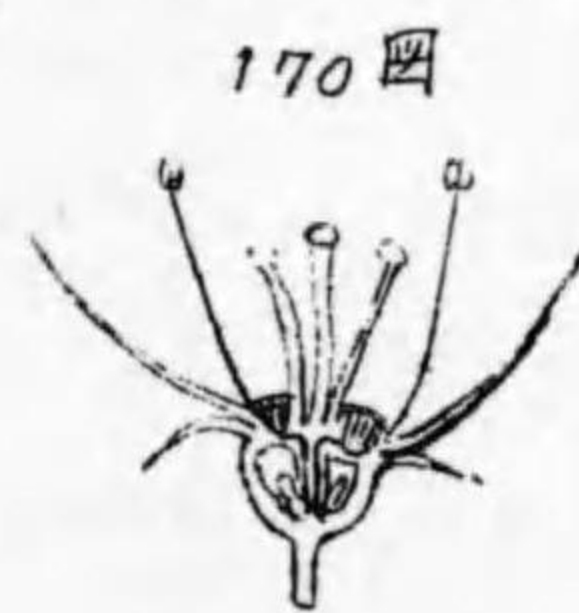
(1) しよらまのき(さほんのき, きらぎ) Quillaja  
 saponaria Molina, [分布] 南米, ベル-

チリ, ホリビヤ。[生藥] 樹皮ヲキヤラ皮 Cortex Quillajae  
 ト称シ石鹼代用トシ又藥用トス。[成分] 樹皮ニ 鞣血依用強  
 キ Quillaja-saponin 約8%, 及 Quillajasäure  $C_{19} H_{30} O_{10}$ ,  
 Sapotoxin,  $C_{19} H_{20} O_{10}$  等ヲ含有ス。[藥效] 藥良及枝條ヲ祛



痰藥 (Senega根代用)トシテ煎服ス。又煎汁及末ハ齒磨粉, 合  
嗽料, 顔毛洗條料トシ又惡臭アル分泌物, 燙疥等ニ用フ。然トモ  
主要用途ハ普通石鹸代用ニアリ。 華荷...マヤら改ハ祛痰藥  
トシテ浸劑又煎劑トシテ50:200ヲ内服ス。〔處方例〕マヤ  
煎劑 (祛痰藥)... マヤ皮20 水100.0 煎劑, 2時間毎=1食  
匙宛内服。

Subfam. (ii) なし(リンゴ)(梨)(林檎) *Pomaceae* (170回)  
5~5。葉ハ①着, 單葉ハ羽狀複葉, 有托葉。花序ハ腋生單  
立又梢枝頭單立又繖形繖房, 繖狀, 圓錐花序。花ハ傘 ①, ②,  
③, 5数性, F. f. =  $K_5 C_5 A_5 + 5 + 5 + 5$  v. 5~10 v. 20~∞  $G_{(2-5)}$   
花托ハ壺狀内面ハ心皮ニ着, 花後宿存ト下部及花托ノ肥  
大部ニテ眞果ヲ包ミ以テ梨果ヲ形成ス, 花柱2~5, 子室2~5,  
各室ニ卵子2~20+宛稀ニ1ヶ宛。果ハ梨果, 種子ハ無胚  
乳。 歐北半球及アンデス産。



170回 (170回)なし属 *Pirus* 花ノ縦斷横  
型四(原四)

(2)なし(おりのみ, 梨)(170回) *Pirus*  
*montana* Nakai v. *Rehderi*  
Nakai (余布) 日本各地栽培。〔生藥〕

梨葉及梨果梨花ヲ藥用トス, 葉ハ花時採乾ス。〔成分〕葉ニ  
配糖体 (*Arbutin* 0.3%  $C_{12}H_{16}O_7$  ト *Tannin* 3% ヲ, 果實  
ニハ糖類 (蔗糖 *Rohrzucker*, 果糖 *Fructose*) ヲ含有ス。  
〔藥效〕乾葉ヲ *Uva-ursi* 代用ノ利尿 (水腫, 治淋尿道消毒)。

藥トス, 蓋シ葉ニ *Arbutin* ヲ含ムガ故也。1日5~10瓦煎用。  
果ハ鎮咳。祛痰, 清涼, 止瀉解熱劑トス, 鎮咳ニハ果ト黑豆ノ煎  
汁ヲ用ヒ, 或ハ果トくるみ仁トヲ黑燒ニシ白湯ニテ服用ス, 又  
ハ果ヲ熱灰中ニ埋燒乘取トシ, 布ニテ搾リ汁ヲ鎮咳藥トス,  
時ニ百日咳ニ有效。果ヲ焙リテ卸汁トシ貧血者ニ用フ。又  
花汁ヲ蜂蜜ト練リ痔疾ニ塗布ス。果ヨリ化粧水ヲ採ル, 即果  
ヲ刻ミ数日ヲ経テ容器下ニ清澄水ノ蓄積スルヲ用フ。花ヲ雷  
乱, 嘔吐, 下痢ニ服用ス。〔藥理〕あるぶちん *Arbutin* ノ藥用  
量ヲ動物ニ與ハレバ一部ハ酒類及糖素等ノ作用ニ依リ分解  
セラレヒどろひのん及糖ヲ生ズルモ大部分ハ變化セズ腎臟  
ヨリ排泄セラレ, 利尿作用ハヒどろひのんニ主因スルモノ  
如ク信ゼラルルモ寧ろ弱防腐性ノ *Arbutin* ノ腎細胞刺激ニ  
依ルモノノ如シ。〔備考〕栽培梨ノ學名ヲ牧野博士ハ *P. si-*  
*mensis* Lindl. v. *Culta* Mak. ト考定シ支那渡來ト  
セラル。然ニ中井博士ハ元來日本産ナリトシヤマなし(いぬ  
なし)ヨリ出テタルモノトセラル。其品種ニ長十郎, 平四, 赤福,  
赤龍, 今村力彌, 淡雪, 大古河(古關梨), 玉水, 晚大, 王子, 最中, 中屋, 江戸  
屋初産, 世界一, 二十世紀等アリ。果ヲ食用トシ, 材ヲ建築用, 器  
具用トス。梨ハ性寒ヲ不怕, 故北國最多, 與州津經, 秋田ノ産, 池  
田産ニ倍大也。周圍一尺五寸ニ及ブ俗呼犬殺。丹後田辺ニ一  
什梨アリ一個ニ付一什ノ意也。盛岡ニたねなし一名さねな  
しアリ, 無核ノ意, 果内核子無, 故全果皆可食, 味殊美他國ニ不見。  
此他ニがなし, 水なし, 青なし, 大場なし, 二めんなし等品種多



ハ材ハ版木トシ、又箱等ヲ作ル。〔處方例〕利尿消毒藥（淋病・膀胱炎等）--- 梨葉 10.0 水 100.0 煎劑 1 日量分服。

(3) ヤマなし(いぬなし、山梨、犬梨) *P. montana Nakai* (分生) 本、四、九、朝、ノ山地ニ自生ス、果徑 3cm、内外、五。〔生藥〕梨葉、梨果、梨花ヲ藥用トス。〔藥效〕前記梨ト同様也。成分、藥理亦同シ。〔備考〕日本及ヒ朝鮮ノ山野ニ自生梨ノ種類甚多ク數十種ニ細分スルモ成分、藥理等ハ大同小異ナルベシ。果ヲ食用、材ヲ器具用、建築用、材堅ク、鉋、鉋ノ柄トス。苗ヲ梨ノ台木トス。

(4) せいよーなし(西洋梨) *P. Communis L.* (分布) 歐洲原産、各國栽培。〔生藥〕葉、果、花、樹皮ヲ藥用トス。〔成分〕なし同様、*Arbutin* 0.6~0.8%, 單寧質 8% 内外、樹皮ニ *Phloridzin*  $C_{21}H_{24}O_{10}$  ナル配糖体ヲ含有ス、果ニハ糖分(果糖、蔗糖、葡萄糖)、林檎酸、枸橼酸等ヲ含有ス。〔藥效〕葉ヲ尿路消毒藥トシテ淋病、消渴ニ用ヒラル、等其他凡テ前記梨ト同一也。〔藥理〕*Phloridzin* ハ解熱作用ヲ有スルニヨリ *Chinin* 代用セラレタルモ、現今ハ *von Mering* 氏ノ犬ノ注射實驗ニ依テ一時的ニ尿糖ヲ著増シ糖尿病ヲ誘起スル事實ヲ觀察シ、次テ人間ニ於テモ同様糖尿ヲ排泄スルヲ知り、藥理學上ノ實驗藥トシテ興味深シ、即此作用アル故腎臟機能ノ検査ニ用ヒラル。今 *Phloridzin* 0.01g. ノ注射後遲クモ 15 分間以内ニ糖尿ヲ見ハ腎臟機能ハ正常也トシ、反之腎臟ノ病的變化愈々大ナルニ從テ糖分ノ發現ハ愈々靈刺スベシ。〔備考〕なしト本種トノ區別ハなしノ果ハ畧球形石核細胞群多

ク、葉ハ芒尖鋸齒縁、心脚ナルニ反シ西洋梨果ハ倒卵狀瓢形、石核細胞少ク、細鋸齒縁心脚也。

(5) ヤマなしずみ(おほーらじろのみ、ヤマなし、ヤマリンゴ) *Macromelea Tschonoskii Koidz.* (分生) 本、四、九、ノ山地ニ点生スル也。〔效用〕梨果ハ徑 2cm、内外、紅赤熟ス。食物ニ加ハ酸味ヲ付ケ(佐州)。樹皮ヲすみト称シ黄色染料トス。材ハ器具用。果ハ食スベシ。

(6) リんご(せいよーりんご西洋林檎) *Malus pumila* Mill. v. *domestica* Schneid. (分布) 歐洲原産。各國栽培。〔生藥〕熟果(苹果)及未熟果ヲ藥用トス。〔成分〕葉、樹皮、根皮中ニハ *Phloridzin*  $C_{21}H_{24}O_{10}$  ナル配糖体(前記ス)ヲ含ス。之ハ加水分解ニヨリ葡萄糖及 *Phloretin*  $C_{15}H_{14}O_3$  ヲ生ズ。果ハ糖分(果糖、葡萄糖 12%、蔗糖 7%)、*Pentosan*、*Pectin*、*Galactaraban*、*Sorbit*、有機酸ハ遊離状態ニテ 1.2% (林檎酸、枸橼酸、葡萄糖)ヲ含ム。果皮ノ蠟質物ハ *Triacontan*  $C_{30}H_{62}$ 、*Dimyristylcarbinol*  $(C_{13}H_{27})_2$   $CH-OH$ 、*Malol*  $C_{30}H_{50}O_3$  等ヨリ成ル。而テまろーるハ *Ursol* ト全一物也。種子中ニハ *Amygdalin* (配糖体) 及脂肪油ヲ含ム。注意--- 果實ノ産地及成熟期間ノ差ニヨリ成分ニ変化アルハ勿論也。〔藥效〕苹果ヲ清涼劑ノ目的ニ食シ、止渴藥トナリ、尚消化不良、霍乱等ニ有效、又小兒消化不良及大腸加答兒ニ有效。局方--- 林檎酸、鉄越我斯ハ緩和性鐵劑ニテ補血強壯藥トシテ貧血症、尙樓病等ニ用テ、1 日數回 0.2~0.5g。



宛、又丸劑、合劑トス。局方... 林檎鉄丁癩ハ消化ヲ害セザル鉄劑ナレバ萎黄病及前記諸病ニ用ヒ強壯劑トス、1日數回0.5~2.5g. 宛。生食セバ消化、清血、増血、強壯劑トナリ血色ヲ戻クヌ、未熟果ヲ陰干セルハ腎臟病ノ妙藥(魚取)トス。果ヲ搗潰シ蜜ト葛粉ヲ合セ練交セ熱湯ヲ注ガ飲用セバ感冒、霍乱、腹痛、病後衰弱、リウマチス等ニ有效。(新藥)アプローナ(メルグ)、ポマトン(塩野)、ケダルミン(三共)... 以上増血、強壯藥。粉末林檎ハ果皮、果心ヲ除キ圧碎シ低温ニテ乾燥粉末セシモノ也。此10g.ハ生林檎ノ100g(約1箇分)ニ當ル(葡萄糖ヲ加ルモ可也)上記ノ藥效有。(藥理)林檎鉄燐癩スハ帶微黑色、水ニ澄明ニ添ケ味稍收斂性ニテ甘ク、而モ刺激性ナク、内用セバ補血強壯ノ效アリ、貧血症又大出血後ニ用フ。(處方例)林檎鉄系ミ(局方)... 林檎50分ヲ搗碎圧液ニ鉄粉1分ヲ混和シ加温後水ヲ加ハ50分トナシ數日間放置シテ製ス、1日數回0.5~1.5g.ヲ丸劑又水劑トシテ内用。林檎鉄丁癩(局方)... 林檎鉄系ミ1分、酒精2分、桂皮水7分ヲ混和シ製ス、1日數回2.0~6.0内用。(備考)品種甚多ク早熟種紅魁、初笑黄金丸、小町等、中熟種ニ紅枝、生娘、花嫁、屋山王、祝等、晩熟種ニ日出(紅斜子)、旭、紅玉(滿紅)鶴ノ卵、緋ノ衣、赤龍、鳳凰卵、柳丘等アリ。材ヲ器具用トシ、果實ヲ醸酒料トス。

(17) わーりんご (しな-りんご、和林檎、支那林檎) 及其変種変形 *M. asiatica Nakai* [分布] 支那原産、日本栽培、りんご *var. rinki Asami* (日本栽培)。(藥效) 果ヲ食セバ

不眠症ニ良ク、果ノ黒焼ニ砂糖ヲ混シ扁桃腺炎ヲ治ス、煮食セバ止痢、清血ノ效有。

(8) こーりんご (すみ、こなし、小林檎) *M. Toringo Sieb.* *var. Koringo Koidz. subv. vulgaris Koidz.* [分布] 北、本、きみ-つみ (黄実すみ) *M. Toringo Sieb.* [分布] 北、本、四、九、朝、ノ山野ニ散生蔓群生。(效用) 材ヲ松明トシ、能ク燻ユ。又薪木トス。樹皮ヲ黄色染料トス。

(9) ひは (の-ひは 枇杷) *Eriobotrya japonica Lindl.* [分布] 四、九、朝、ニ自生、南日本各地ニ栽培。(生藥) 枇杷葉 *Folium Eriobotryae* ハ葉裏毛ヲ除去シ陰干セルモノニテ味微ニ苦シ。枇杷子 *Semen Eriobotryae* ハ果ヨリ種子ヲ採取セルモノ也。福島(會津)、千葉、和歌山、長崎縣等多産ス。(成分) 果ニ糖類、林檎酸、枸橼酸、葡萄糖等ヲ含有シ、種子ニ配糖体 *Amygdalin* 及 *Amygdalin* 様物質ヲ含有ス。枇杷仁ヨリノ溜液ハ青酸0.1%以上ヲ含ミ其性質杏仁水ト大差ナシ。枇杷葉ニハ一種ノ *Saponin* ヲ含有スルモ青酸及ヒ青酸ヲ生ズル配糖体ナシ。(藥效) 嫩葉ノ煎汁ハ茶劑(古來清涼飲料トナシ) 止渴劑トス、又種子共ニ煎服シ慢性氣管枝加答兒ノ咳嗽、久不止時又熱候有テ身体衰弱者ニ奏效シ、又熱病ノ口渴ヲ止メ、喉氣、咽氣ヲ醫シ、鎮咳、祛痰、脚氣ヲ治シ、淋病等消過ニ利尿ノ效アリ、又食物停滯、余塊後ノ渴ヲ治ス。之ヲ枇杷療法ト云ヒ肺患者及胃病患者ニ有效也。1回3~5g. 煎服ス。又藥湯トシテ入浴セバ皮膚ヲ滑カニ肌目ヲ細ニシ、



夏時汗斑ヲ不愈ト云フ、又痲氣(夏時)ヲ治ス。枇杷葉湯...ハ枇杷葉、肉桂、甘草、甘茶、菝葜(*Curcuma*, 薑科)等5味ヲ細切混和セル者ノ煎汁也、暑氣拂ヒ、霍乱、痢病、泡汗ヲ防ギ渴ヲ治ス。種子ヲ煎服シテ鎮咳、祛痰藥及呼吸鎮靜藥トス。材ハ粘堅シテ杖、杖柄等トス、又觀賞用トス。〔藥理〕枇杷仁ハ *Amygdalin* 族配糖体ヲ含ム故鎮咳祛痰藥トスベシ。然ドモ嫩葉ニモ青酸及青酸ヲ生ズベキ配糖体ナク、古葉ニモ不含有。

(10) ななかまど (おま-さんせう花楸樹七竈) *Sorbus Commixta* Hedl. (分生) 樺南千北本、四九朝、ノ山地ニ自生スル者。おほ-ななかまど (るぞ-ななかまど) *V. sachalinensis* Koidz. (分生) 樺南北、北、ノ山地。おかう-ななかまど *V. Takasui* Kudo (分生) 樺(南、北)、特産。〔生藥〕果ヲ藥用トス。〔成分〕果 = Sorbit (糖族、リンゴ果ニモ含有)ヲ含有ス。〔藥效〕Sorbit 製造ノ原料トナリ、糖尿病患者ノ調味料トス。朝鮮ニテハ樹皮ヲ馬牙皮又丁公藤ト歎シ、瘧疾、中風ニ内用シ又補陰ノ效アリト云(煎服)。  
 △(11) せいやう-ななかまど (西洋七竈) *Sorbus Aucuparia* L. (分生) 歐洲産ノ者。〔生藥〕果ヨリ Sorbit 糖ヲ製シ藥用トス。〔成分〕果 = Citronensäure, Weinsäure, Bernsteinsäure, Apfelsäure, Sorbinsäure, Parasorbinsäure 及 Sorbitヲ含有ス。〔藥理〕Sorbit ハ其甘味蔗糖ノ倍ニテ其 100g が 390 Kalorie = 相當シ、其價 Glucose ト同様也。而テ Glucose ト同様克ク肝

臓内ニテ Glykogen ヲ形成スルモ Glucose ト異リ糖尿病患者ニ過血糖ヲ起スコトナク約 98% 利用セラル。故ニ糖尿病患者ノ調味料ニ用ヒラル。〔藥效〕果ヲ Sorbit 製造原料トス。“Sorbit”(準局---Hexitum, ハキシット, Soio-san "Bayer.")ハ糖尿病患者食用代用糖トシテ 1日 60~80g ヲ數回ニ分チ、砂糖同様調味料トス。

(12) しやりんばい (はま-もくこく) *Rhaphiolepis umbellata* Mak. (分生) 本(中南部)、四九朝、ハ海辺ニ自生スル常緑木。まるばい、ひめ-しやりんばいノ 2 var アリ。〔成分〕樹皮 = 單寧質ヲ含有ス。〔藥效〕樹皮ヲ染料ニ供ス。鹿児島縣下ノ大島紬ハ是ニテ染ム(樹皮ニ少量ノ木灰ヲ入レ煮出シ、液ヲ蒸發濃縮シ木型ニ入レ固結セシメ、染料トス)。又觀賞用トス。

(13) くさ-ぼけ (の-ぼけ、ち-なし、しどみ、櫛、葱子) 和木瓜) 及其变种 *Chaenomeles Maulei* Lavall. (分生) 本(中南部)、九、ノ山野平地ノ林野ニ散生又粗群生。〔生藥〕和木瓜 *Fructus Chaenomeles* ハ果ヲ横切乾燥セルモノナリ。各片 5房 6(5)、各房 2子室、種子ハ黄赤色。外面鞣縮シ強酸臭アリテ酸味強シ。長野縣多産ス。〔成分〕果ハ *Amygdalin* 及 2~3% 林檎酸ヲ含ム。〔藥效〕和木瓜ハ霍乱、暑氣中等ニ 1日 5~10g、煎服ス、又林檎酸鉄成癩斯製造原料トス、是ハ食血症ニ強壯劑トシテ 0.3~0.5g ヲ水劑トシテ與フ。果ヲ煎服シテ鎮痙、鎮咳、利尿(中暑、吐瀉、脚氣、咳嗽)藥



トシ、又下痢、悪心、及虎列刺患者ノ排腸筋ノ痙攣ヲ治ス。又濃煎汁ヲリウマチ等ニ外用ス。果2〜3竹ヲ煎出シ風呂ニ混入シ3〜4週間入浴セバリウマチ等ヲ根治スト云フ。又水腫ヲ治スルコト他ニ比類ナシト(老人話、煎服)。〔処方例〕上記ノ效アリ和木瓜9.0 水100.0以上1日量煎服分服。〔備考〕果ハ小兒、女工等ノ食用(又漬物)トシ、又觀賞用ニ栽培ス。

(14) ぼけ(から-ぼけ、木瓜) *C. extus-coccine Carr.* (分布) 支那原産、日本栽培、花淡紅色。〔生薬〕果ヲ採乾シ木瓜ト称シ藥用トス。〔成分〕同前種ナシ。〔薬效〕乾果ヲ煎服セバ中着、霍乱、脚氣(利尿)ヲ治ス、特ニ排腸筋ノ痙攣ヲ治スニ特效アリ。1回2〜5g 1日5〜10g煎用。ス林檎鉄魚ミズ製造ノ原料トス。〔備考〕木瓜ハ元來支那ノくわりンニ當ツル字也ト云フ説アリ。

(15) ひ-ぼけ(緋木瓜) *C. Cardinalis Carr.* (分布) 支那原産、日本栽培。生薬、成分、薬效等皆煎種ト同一也。故省略ス。

(16) くわりん(から-なし、き-ぼけ、木瓜、榲桲) *Cydonia senensis Thoun.* (分布) 支那原産、日鮮栽培。葉縁鋸齒アリ。〔生薬〕果実ヲ木瓜<sup>モクワ</sup>又榲桲<sup>スイザ</sup>ト称シ稍基脚筋細ス、採乾シ藥用又食用トス。〔成分〕未詳ナルモ多量ノ鞣酸ヲ含ムベク收斂味アリ。味澁シ。果肉頗硬固也。〔薬效〕果ヲ食シ又煎服シテ肺炎、肋膜炎、肺病(特結核)、癆瘵、喘息、霍乱、脚氣其他ノ呼吸氣病一切ニ大效アリ、又百日咳、祛痰、気管枝炎、腺病

質等ニ蒸制トシテ用ヒ(果ヲ細切陰干トス)大效アリ。ニニヶ月連服スベシ。又下痢ヲ治シ、排腸筋ノ痙攣ヲ治ス。1日8〜202煎服ス。又果ヲ砂糖漬トシ其汁ト共ニ用フレバ效更ニ大ナリト云フ。效用(木瓜) ぼけニ似ス。冬果熟、香氣高ク甘酸也。汁ヲ搾リ(即シテ)生薑汁及砂糖ヲ混和シテ練リ瓜漿膏ト称シ痰嗽ヲ治ス。〔備考〕木材ヲ床柱又器具用トシ、果ハ蒸シ又砂糖漬トシテ食ス、又觀賞用トス。

(17) まるめろ(まるめる、かまくら-かいどう(温標)) *C. vulgaris pers.* (分布) 南欧原産(一説ニ東洋原産)、日本栽培。〔生薬〕乾果ヲ温標<sup>テンビョウ</sup>ト称シ藥用トス。〔成分〕果ニ蔗糖、Appelsäure、Weinsäure等ヲ種子ニAmygdalin、糖液、脂肪油等ヲ葉ニNitrilglycosidヲ含有ス。〔薬效〕温標ヲ煎用シテ腹瀉トシ、生食セバ悪心、吐水ヲ治シ、酒毒<sup>サカベ</sup>去ル。果ノ砂糖漬ハ鎮咳、祛痰、着凉、清血劑トナル。種子(温標仁)ノ10%煎汁ヲ洗眼料及淋疾洗滌料トシテ外用シ、鎮咳藥トシテ内用ス、又香水及香油ヲ造ル、化粧ニ使用スルモ是也。又種子ノ葉液ヲ酒ニ浸シ凍傷ニ塗布ス。〔備考〕世人概くわりんとまるめろトヲ相互反對ニ誤稱セリ、例ハバ信州諏訪ノくわりん漬、くわりん菓子、くわりん餡等ト稱スルハ原料總テまるめろナリ。

(18) さんざし(さもも、山査子、山欝子) *Crataegus Cuneata Sieb. et Zucc.* (分布) 支那原産、日本栽培、花白色。〔生薬〕山査子(山欝子) Fructus *Crataegi cuneatae* ハ果実ヲ採乾セルモノ也、徑1〜2Cm 黄褐色、有皺、味緩和酸性也。



市賣品ハ專ヲ北支、滿洲及蒙古ヨリ輸入ス。(成分)未詳。(藥效)漢：主效ハ食物特ニ肉食物ノ消化ヲ助クルニアリ、故魚介類其他肉類中毒ノ解毒劑トナル。又之ヲ加ヘ魚類ヲ煮レハ魚骨ハ柔軟トナリ可食。漿果ヲ煎服セバ淋病ノ熱ヲ除キ利尿通經ニ有效又諸瘡ヲ治ス、尚痼疾、分娩後ノ子宮收縮ニ依ル後腹痛等ニ有效 1回 1~3g 1日 10g。内外煎用ス、又敗壞ニハ黑燒トシ 1回 2~4g。煎用ス。果實ノ核ヲ除キ乾燥セルモノ及其生葉ハ魚又鳥獸ノ毒ヲ解ス作用アリ。果ハ健胃消化藥ニテ支那ニテハ之ヲ食用トシ、殊ニ肉食後ニ此藥汁ヲ用ヒ消化ノ效多シト云フ。(備考)觀賞用トシ植栽ス。(處方例) 1) 健胃消化藥トシテ消化不良ニ用フ---山楂子 10.0 水 100.0 以上 1日量煎劑分服。 2) 全及異常酸酵(胃又胃腸内)者ニ用ス---山楂子 6.0 蘇蓮、黃蘗、各 1.0 水 100.0--- 以上 1日量煎劑分服。

(19) おぼ-さんざし(ほう-さんざし, リウきう-さんざし, 唐山査子) *C. pentagyna* Wald. et Kit. (分布) 支那原産? 歐洲原産? 日本栽培葉ハ羽深裂葉ハ赤色黒ハ紫黑色, (生藥) 藥效全前種。觀賞用トス。

(20) おぼば-さんざし *C. pinnatifida* Bunge (分布) 朝鮮北支(直隸, 山東等) 産。ほそば-, おぼ-さんざし等ノ var. アリ。(生藥) 果ヲ山査, 山査内, 紫球子等ト稱シ輸切シ乾燥セルモノニテ大小不同也。(藥效) 食積肉積, 健胃消化藥トシテ煎服ス。其他ノ效用ハさんざしト同様也。(備考)

觀賞用トシテ植栽ス。

Subfam. (iii) のちニ(莓) 亞科 *Fragarioideae* ⑩, 5~5, 莖葉ハ屢有棘刺。葉ハ Y, 極稀 Y, 單葉無裂~掌~羽狀淺~深裂, 屢掌狀~羽狀複葉, 有托葉。花ハ傘, ⑩, ⑩, ⑩, 瓣 5 數瓣 6~8 數極稀 3 又 4 數花, F. f. = K<sub>3</sub>~8 r. 12 C<sub>3</sub>~8 r. 12 v. 0 A<sub>15</sub>~30~∞ G<sub>3-4~5~∞</sub>, 一般的ニハ K<sub>4</sub>~5~8 C<sub>4</sub>~5~8 r. 12 v. 0 A<sub>15</sub>~30~∞ G<sub>4~5~∞</sub>; 又 K<sub>5</sub> C<sub>5</sub> A<sub>5</sub>~30~∞ G<sub>5~∞</sub>; 托葉ハノ外萼(副萼)アリテ屢ニ 3 K<sub>5</sub> K<sub>5</sub> (Sk. ハ 外 K 即托葉萼)也。各心皮ハ 1~2 卵子ヲ含ム。花托ハ半球狀~球狀ニ突出シ其外面ニ ∞ノ小堅果(*Fragaria, potentilla, Duchesnea, Dryas, Geum* 等)ヲ, 或ハ小核(石)果(*Rubus*)ヲ着生ス, 稀ニ G<sub>4~5</sub>ニシテ半球狀~扁平花托上(*Rhodotypos, Kevria*)ニ少数着生, 以上殆總テ假(擬)果ハ宿存萼ヲ稀 A 殘物ヲ伴フ。花柱ハ離生, 頂着ニ側着。

Tribus (1) やまぶき(山吹) 族 *Kerriaceae* ⑫。葉ハ Y 又 Y, 單葉無裂, 半疏狀~扁平花托上ニ少数心皮 ⑩ 生, F. f. = K<sub>4</sub>~5 C<sub>4</sub>~5 A<sub>∞</sub> G<sub>4~5</sub>; 花萼ハ稍鉸形, 非假果。しるやまぶき屬 = K<sub>4</sub> C<sub>4</sub> A<sub>∞</sub> G<sub>4</sub>, やまぶき屬 = K<sub>5</sub> C<sub>5</sub> A<sub>∞</sub> G<sub>5</sub>。

(21) やまぶき(山吹, 棗棠花) *Kerria japonica* DC. (分布) 北, 本, 四, 九, 山野ニ自生シ概群生又栽培, (生藥) 山吹花 *Flos Kerriae* ハ花ヲ採乾セルモノ也。(成分)未詳。(藥效) 花ヲ婦人血ノ道藥ニ煎服ス, 又陰干粉末粉ヲ塗布シ止

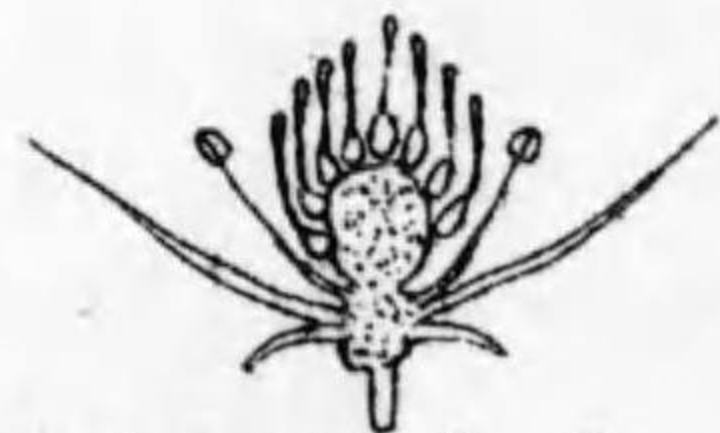


血藥トス。

Tribus (2) きじむしろ族 Potentilleae ④又5~6, 莖葉ハ屢有棘刺。葉ハ中, 單葉~複葉(掌~羽狀), 心皮ハ∞。離生, ±凸狀又肥大凸花托上=着生又半没在, F.f.=K<sub>5</sub>~8 C<sub>5</sub>~8 A∞ G<sub>∞</sub> ハ一般花式也。A15~30~∞トス。SK<sub>5</sub> K<sub>5</sub> 多シ。

Subtribus 1) きいちご(木莓) 亜族 Rubinae 5~5, 状臥~直生, 莖葉屢有棘刺。單葉~複(掌~羽狀)葉。F.f.=K<sub>5</sub> C<sub>5</sub> A∞ G<sub>∞</sub>, 缺副K, 花托ハ凸狀, 表面=∞小核果着生シ爲假果。

171 図



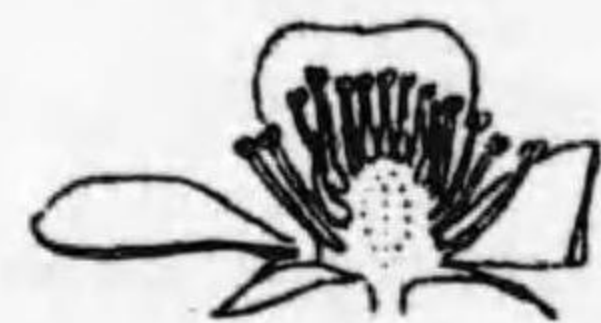
(171 図) きいちご 亜族ノ花ノ縦断模型圖(原圖)

(22) くまいちご(さんざしはのいちご覆盆子) 及其諸交種 Rubus

Wrightii A. Gray (分生) 北, 本, 四, 九, 朝ノ山地, 山麓ニ点生ハ群生スル也。〔生藥〕果ヲ覆盆子ト稱シ藥用トス。

〔成分〕諸有機酸及諸糖分ヲ含ム。〔藥效〕果実ヲ虚勞ニ内用ス, 滋養強壯劑トス。

172 図



(172 図) きいちごノ花ノ縦断圖(原圖)。

(23) きいちご(あは-いちご, もみじ-いちご, 懸鉤子) R. palmatoides O. Kuntze (=R. Palmatus Thunb.) (分生) 本, 四, 九, ノ山野ニ

点生ハ群生。(生藥) 果実ヲ懸鉤子ト稱シ藥用及食用トス。黄果ヲ上品トス。〔成分〕果= 林檎酸 <sup>リンゴウサン</sup> Appelsäure, 枸橼酸 Citronensäure, 葡萄糖 Weinsäure 等ノ有機酸, 葡萄糖 Glucose, 果糖 Fructose, 蔗糖等ノ糖分ヲ含有ス。〔藥效〕果ヲ清涼, 止瀉劑トシ, 痛風= 煎用シ, 身体衰弱者, 神經衰弱及過敏症ニ滋養強壯藥トシテ食シ, 又清血, 緩和營養劑トス。或ハ丹毒= 外用ス。1回3~5g, 煎服。又枝ヲ煎服シテ喘息ニ有效。果ヲ生食スル外, じやむ(果膏) 又合利別トシ 甚酒ヲ造ル。〔採取〕果ハ夏時黄赤熟ノ時, 枝ハ花時伐取細切シ乾貯スベシ。

(24) なはしろ-いちご(みっば-いちご, あしくだし) 及其諸交種 R. parvifolius L. (=R. triphyllus Th.) (分生) 北, 本, 四, 九, 朝, 琉, 台, ノ山野ニ点生ハ群生。(生藥) 葉及根ヲ藥用トス。〔藥效〕葉乾末ヲ喘息, 咳嗽等ヲ治スル爲メ温湯ニテ飲用又煎服ス, 1日8g, 又果ヲ食用トスバシ。根ヲ煎服シテ血行ヲ良クス, 根葉ヲ水ト少量ノ塩及礪石ヲ加ハ痒ヲ止ルニ洗滌用トス。

(25) えびがら-いちご(うらじろ-いちご, みやま-あしくだし) R. phoenicolasius Max. (分生) 北, 本, 四, 九, 朝, ノ山野ニ点生ハ粗群生。〔藥效〕果ヲ生食シテ解熱藥トシ, 又補血ノ效アリ。

(26) とつくり-いちご(うらじろ-とつくりいちご, ふくぼんし覆盆子) R. coreanus Miq. (=R. Tokkura Sieb.) (分生) 滿, 鮮, 日本。(生藥) 果実ヲ覆盆子ト稱シ藥用及食用



トス。〔成分〕きいちご=△。〔藥效〕果ハ清涼、滋養強壯藥。生食セバ身体ヲ温メ、栄養ヲ佳良ニシ、皮膚ノ麗質ヲ増シ、排尿多キヲ節シ、陰萎ヲ治スル強壯藥、覆盆子合利別ヲ依ル原料トス。本合利別ハ美赤色ノ液状、爽快味ヲ有シ、清涼劑、滋養強壯劑トス。

(27) ぶらごみやく-いちご(紫脉莓) *R. euphlebophyllus* Hayata (分布) 台ノ山野ニ自生ス。〔藥效〕莖葉ヲ煎服シテ解熱藥トス。

Subtribus 2) きじむしろ亜族 *Potentillinae* ②  
葉ハ掌状又羽状複葉, F. f. = SK<sub>5</sub>C<sub>5</sub>A<sub>∞</sub>G<sub>∞</sub>, 有副K, 各心皮ハ藏器至性ノ卵子, 無花柱ノ閉果, 前亞族同様ノ假果ヲ形成ス。〔備考〕日本ニ本属植物甚多ク120種ヲ下シズ, 而テ果ハ皆可食。成分及藥學的効用等ハ大同小異ナルベシ。

○(28) おらんだ-いちご(せいや-いちご, ストロベリー)  
*Fragaria chiloensis* Duch, var. *ananassa* Bailey (= *F. grandiflora* Ehrh.) (分布) 南米原産, 各國栽培。〔生藥〕果ヲ藥用及食用トス。〔成分〕果ニは林檢酸, 枸橼酸等ノ遊離有機酸1.2%, 轉化糖 *Invertzucker* 6.3% ヲ含ム。〔藥效〕果ハ清血, 清涼, 止瀉, 滋養強壯藥トシ, 又鉄分ヲ含ムニヨリ, 生食セバ營養不良, 貧血症, 熱性病者ニ有效也, 又小児ノ便秘ヲ治ス。局方--- 莓しろつぶ *Sirupus Fragariae* ハ矯味藥トシ, 赤ニリもば-で, 氷水等ニ添加スルニ適ス, あるかり劑ニハ汚穢紫色ニ変シ外觀ヲ損ズ。〔備考〕本属植物

ノ果ハ *Rubus* 属ト共ニ果ハ菓子じやむ, じよりー, いちご酒, じよご, しろつぶ等ヲ製造スルニ用ヒラル。

173 四



〔(173 四) おらんだ-いちごノ花  
(原四) 1. 花ノ下面, 2. 花ノ縦断面〕

(29) しろばな-へびいちご(やまいちご) *F. nipponica* Mak. (分布) 北本(中北部) 朝ノ山岳地 (亜寒地帯上部ニ寒地帯下部)ニ

散生ニ群生ス。成分藥效同前種。

(30) のうご-いちご(いぬま-いちご) *F. sinumae* Mak. (分布) 樺北本(中北部)ノ山岳地(寒地帯ニ亞寒地帯上部)ニ群生ス。成分藥效同前種ナラン。

(31) へびいちご(蛇莓) *Duchesnea indica* Focke

(分布) 北本, 四九, 朝, 琉, 台, ノ原野, 路傍ニ群生ス。しろみのへびいちご *V. leucocephala* Mak. (分布) 本, 果ハ雪白色。〔生藥〕全草ヲ藥用トス。〔藥效〕全草ヲ煎服シテ解熱, 通経藥トシ, 又火傷ニ用ヒテ效アリト云フ。果搾汁ハ痔疾ニ塗布シ

174 四



テ有效莖葉煎汁ハ腫物, 犬ノ咬傷ニ塗布シ痕癆ヲ若シ解熱ニ煎服ス, 1回0.5~1g煎用ス。

〔(174 四) へびいちごの花, 果  
(原四) 1. 花ノ上面, 2. 果実ノ側面〕

莖葉ハ開花前ニ採取陰干ス, 是



ヲ煎用セバ月経不順及胸腹ノ邪熱ヲ去ルト云フ。〔備考〕果

175 圖 (175 圖) きじむしろノ花ノ縦断面 (原四)。



ハ無毒ナルモ不美味。

(32) をへば-いちご(蛇含、五兒頭苗)

*Potentilla Kleiniana* Wight, et Arn. (分生) 本(中南部) 四、九、ノ平地、路傍= 群生ス。〔生薬〕根及葉ヲ薬用トス。〔薬效〕根部ヲ解熱、收斂、合嗽薬トシ、葉ノ煎汁ヲ蛇、蜂等毒虫ノ螫傷= 用ヒバ毒ヲ消ス效アリ。

(33) つちぐり(ぶぐりやうさう、鱸白草、鷄退兒) *P. discolor* Bunge (分生) 本(南部) 四、九、朝、ノ原野、路傍等= 自生ス。根葉ハ羽状複葉莖葉ハ三出、有匍枝。〔生薬〕塊根ヲ薬用トス、秋採取水洗陰干ス。〔薬效〕塊根ヲ煎用シテ解熱、強壯、止血ノ效アリテ諸出血又間歇熱= 1 目 2~6g 煎服ス。〔備考〕塊根ハ小指大両端尖リ、1 葉ニ数個アリ、赤皮、白肉、生食スバク味如粟、故名ク、小兒採食フ。

(34) みつば-つちぐり *P. Freyniana* Bormm. (分生) 北、本、四、九、朝、ノ原野、路傍= 点生へ群生、地下ニ塊根アリ。〔薬效〕塊根ヲ薬用(同前種?) トシ、又食用(小兒) トス。

(35) かはら-さいふ(委陵菜) 及其諸変種。 *P. chinensis* Ser. (分生) 本、四、九、朝、滿、琉、台、支、ノ原野又砂礫也。〔生薬〕秋ニ根又全草(花時)ヲ河原、紫胡、委陵菜ト稱シ採取シテ薬用トス。〔薬效〕全草ヲ解熱、通経劑= 煎服シ、根ヲ解熱、整腸

劑(時ニ下痢ヲ促ス)トシ、1 回 2~6g 煎用。

(36) 魚ざ-つるまんばい(はままんばい) *P. pacifica* Howell (*P. Anserina* L.) (分生) 樺、千、北、本、(北部) 朝、ノ海濱= 粗〜丛生ス。〔生薬〕全草ヲ陰干シテ薬用トス。〔成分〕全草= *Tormentol*  $C_{23}H_{30}O_{10} \cdot 5H_2O$ ヲ含ム。〔薬效〕中古ハ痛ヲ伴フ痙攣= 用ヒシガ現今ハ月経困難= 無害ノ鎮痛薬トス。〔新薬〕*Meliomen* (*Asta*. A. G. Brackwede)ハ本草成分ト *Hydrastis extract.* ト同シ月経困難等ノ鎮痛薬トス。

(37) せいよう-つちぐり(新薬) *P. Tormentilla* Schreb. (分生) 欧洲産。〔生薬〕塊根ヲとるめんちるら *Rhizoma Tormentillae* ハ根(根莖)ヲ採乾セルモノナリ。〔成分〕根(莖)= *Tormentillgerb-äure*・*Chinosäure*・*Tormentol* 等ヲ含有ス。〔薬效〕根ヲ煎服シテ收斂、止血、止痢(赤痢、其他下痢)薬、口腔病ノ合嗽薬トス。

*Subtribus* ミチやらのすけさう(長之助草) 亜族 *Dryadinae* ④又 5、 單葉又複(掌又羽状)葉、 $F.f = SK_3C_3A_{10}G_{10}$ 、稀  $K_3C_3A_{10}G_{10}$  (*Dryas*)、心皮ハ直生、卵子 1 箇ヲ含ム、閉果ハ槲宿存花柱(花被極土延長ス)ヲ有ス。

(38) だいにん-さう(水楊梅、大根草) *Geum japonicum* Thunb. (分生) 北、本、四、九、朝、ノ山麓、平野= 点生稀群生。〔生薬〕全草又根ヲ採乾シ薬用トス〔成分〕根= 加水分解= 依テ *Eugenol* ヲ生ズル配糖体ヲ含有ス、之ハ *G. urbanum* L. (せいよう-だいにん-さう)ニ含ム *Gein* ト同一物ナラン、即チ *Gein* (→ *Eugenol*) (薬物) 根ヲ煎服シテ利尿、防腐薬トシテ淋病、瘡毒等ニ效アルバ



ク、全草ヲ煎服シテ諸瘡及疔腫物ヲ治ス、1回2~6g、1日10g。内外煎用。根ニ收斂性アリ、又強壯劑トス。〔備考〕嗽葉苗ヲ食用トス。

(39)せいやろ・にんさろ(西洋大根草) *G. urbanum* L. [分布] 歐洲産。生薬、生成、薬效等同前種。利尿、防腐劑。

*Tribus* (3) しもつけさろ族 *Filipenduleae* ② 羽状複葉、托葉大形、F. f. =  $K_5 r. 6 C_{57} r. 6 A_{100} G_{57.5 \sim 107.12}$ 、楕  $K_5 C_5 A_{100} G_{5 \sim 10}$  (日本産)、ろくべルしもつけさろ =  $K_6 C_6 A_{100} G_{12}$ 、花托ハ扁平又稍凹形、花縁ハ稍握棒状、稍早落性。未ダ藥草ヲ不知、專觀實用トス。



176 図 (176 図) しもつけさろノ花(原図)  $K_5 C_{57.4} A_{100} G_{57.3 \sim 4}$

Subfam. (11) はら (薔薇) 亞科 *Rosoideae* ②~⑤。奇数羽状複葉、托葉ハ顯著ト葉柄ニ癒着ス。F. f. =  $K_5 C_5 A_{100} G_{100}$ 、花托ハ壺状~筒状、 $\infty$  心皮  $G$  ヲ花托内裏ニ着生閉鎖シ上孔ヨリ花柱ヲ挺出セシム、子房ノ成熟時各堅果トナリ其包圍花托ハ肥大肉質トナリ紅又黄熟シ以テ爲假果。Kハ宿存、萼管葉状。



177 図 (177 図) はら屬ノ花ノ模型図 (原図)  $K_5 C_5 A_{100} G_{100}$

△(40) のいはら (のいはら、野薔薇) 及其諸変種 *Rosa polyantha*

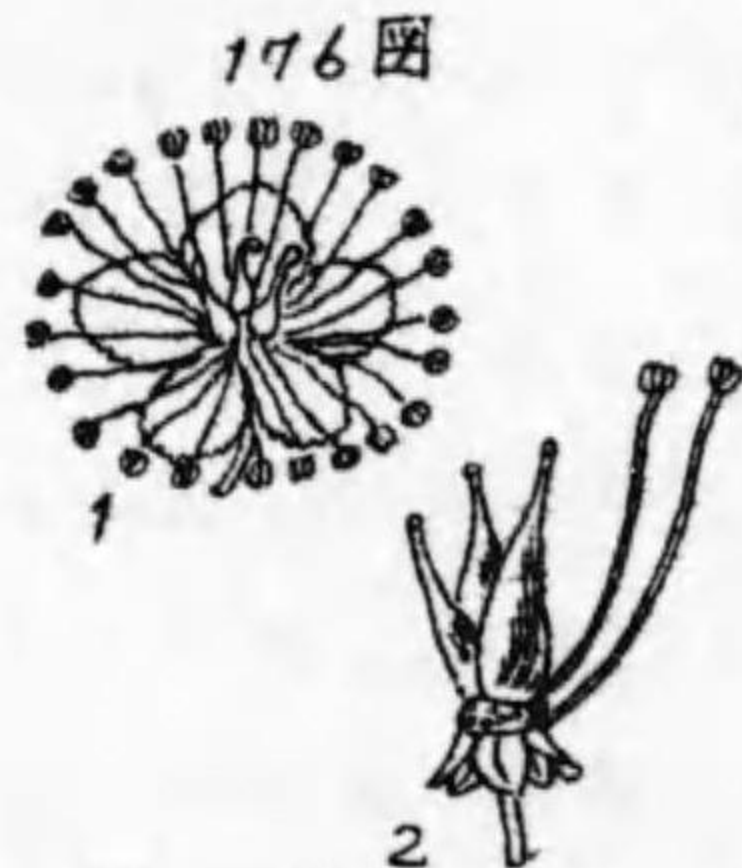
S. et Z. (分生) 木、四、丸、朝ノ山麓、平地、河岸ニ散生~群生。〔生薬〕 葉、根皮、花、種子等ヲ採乾シテ藥用ニ供ス。管実 *Fructus Rosae polyanthae* 果実或種子状ニ冬季ニ採乾セルモノ也。球形暗紅色、種子ハ鮮黄色味稍甘シ。長野、石川、徳島縣多産ス。〔成分〕 果実ノ瀝下成分ハ *Multiflorin*  $C_{27} H_{30} O_{15}$  ナル配糖体ニシテ加水分解ニヨリ下式ノ如ク *Kämpferol* ヲ生ズ。  
 $C_{27} H_{30} O_{15} + 2H_2O = C_{15} H_{10} O_6 + C_6 H_{12} O_6 + C_6 H_{12} O_9$  正時歐洲産ノ *R. Canina* L. (鼠李科)ノ果実ノ紅色素ハとまとノ色素 *Lycopin*  $C_{40} H_{56}$  ト同一物ナルコト判明セリ、管実ノ紅色素モ悉ク *クマリン* (H.H. Escher) ト云、けんふふろーるハ鼠李子及桃葉中ニ包含ス。〔薬效〕 漢：管実(將ニ種子)ヲ峻下(瀉下)藥及利尿藥トス、其法管実ヲ乳鉢ニテ磨碎シ食前ニ2~3g、煎服スレバ完全ニ目的ヲ達ス、但過量ハ赤痢症状ヲ起シ暴瀉ヲ來ス。要注意。準備... 管実 *Semen Rosae* ハ峻下及利尿藥トス1日2g 煎用トアリ。昆：根皮ヲ秋採取シ煎用シテ利尿藥トス。花瓣ヲ煎服シテ肺炎ニ有效。花ヲ蒸溜シテはら香油(薔薇油)ヲ採リ香料及藥用トス又はら香水トス。半熟果ヲ煎服シテ魚毒ヲ消解ス、松魚ノ酔等ニ最妙也。〔藥理〕 前記粉末状配糖体(果中ノ無晶形粉末状配糖体 *multiflorin* 也)ハ青蛙、甘日鼠、豚、兔等ニ於テ隨感運動障害及呼吸麻痺ヲ來シ、大量ヲ與フレバ致死セシム。靜脈内注射ニヨル豚兔ノ最小致死量ハ体重1gニ付0.2g也。犬ノ体重1gニ付、0.0005ヲ内服又其10倍ヲ皮下注射スルニ中毒症状ヲ呈セズシテ瀉下ノ效アリ。臨床



ク、全草ヲ煎服シテ諸瘡及方腫物ヲ治ス、1回2~6g、1日10g。内外煎用。根ニ收斂性アリ、又強壯劑トス。〔備考〕嫩葉苗ヲ食用トス。

(39)せいやろいこんさろ(西洋大根草) *G. urbanum* L. [分布] 歐洲産。生薬、生成、薬效等同前種。利尿、防腐劑。

*Tribus* (3) しもつけさう族 *Filipenduleae* ② 羽状複葉、托葉大形、F. f. =  $K_5 r. 6 C_{5r. 6} A_{\infty} G_{5 r. 5 \sim 10 r. 12}$ 、概  $K_5 C_5 A_{1 \sim 8} G_{5 \sim 10}$  (日本産)、ろくべルしもつけさう =  $K_6 C_6 A_{\infty} G_{12}$ 、花托ハ扁平又稍凹形、花縁ハ稍棍棒状、稍早落性。米カ藥草ヲ不知、專観實用トス。



(176) しもつけさうノ花(原図)  $K_5 C_{5r. 4} A_{\infty} G_{5r. 3 \sim 4}$

Subfam. (14) はら(薔薇) 亜科 *Rosoidae* 互~互。奇数羽状複葉、托葉ハ頭着ト葉柄ニ癒着ス。F. f. =  $K_5 C_5 A_{\infty} G_{\infty}$ 、花托ハ壺状~筒状、 $\infty$ 心皮  $G_{\infty}$ 、花托内裏ニ着生閉鎖シ上孔ヨリ花柱ヲ挺出セシム、子房ノ成熟時各堅果トナリ其包圍花托ハ肥大肉質トナリ紅又黄熟シ以テ爲假果。Kハ宿存、萼苞葉状。



(177) はら屬ノ花ノ模型圖(原図)  $K_5 C_5 A_{\infty} G_{\infty}$   
△(40) のいはら(のいはら、野薔薇) 及其諸変種 *Rosa polyantha*

S. et Z. [分生] 木、四、九、朝ノ山麓、平地、河岸ニ叢生~群生。〔生薬〕根皮、花、種子等ヲ採乾シテ藥用ニ供ス。管実 *Fructus*

*Rosae polyanthae* 果実或種子状ニ冬季ニ茶乾セルモノ也。球形暗紅色、種子ハ鮮黄色味稍甘シ。長野、石川、徳島縣多産ス。

〔成分〕果実ノ瀝下成分ハ *Multiflorin*  $C_{27} H_{30} O_{15}$  ナル配糖体ニシテ加水分解ニヨリ下式ノ如ク *Kämpferol* ヲ生ズ。  
 $C_{27} H_{30} O_{15} + 2H_2O = C_{15} H_{16} O_6 + C_6 H_{12} O_6 + C_6 H_{12} O_5$  近時歐洲産ノ

*R. Canina* L. (鼠李科) 果実ノ紅色素ハとまとノ色素 *Lycopin*  $C_{40} H_{56}$  ト同一物ナルコト判明セリ、管実ノ紅色素ニ悉ククニシテ (H. H. Escher) ト云、けんふろーるハ鼠李子及桃葉中ニ包含有ス。〔藥效〕漢：管実(將ニ種子)ヲ瀝下(瀉下)藥及利尿藥トス、其法管実ヲ乳鉢ニテ磨碎シ食前ニ2~3g 煎服スレバ完全ニ目的ヲ達ス、但過量ハ赤痢症状ヲ起シ暴瀉ヲ來ス。要注意。準局... 管実 *Semen Rosae* ハ瀝下及利尿藥トス1日2g 煎用トアリ。民：根皮ヲ軟採取シ煎用シテ利尿藥トス。

花辦ヲ煎服シテ肺炎ニ有效。花ヲ蒸溜シテはら香油(揮發油)ヲ採リ香料及藥用トス又はら香水トス。半熟果ヲ煎服シテ魚毒ヲ消解ス、松魚ノ酔等ニ最妙也。〔藥理〕前記粉末状配糖体(果中ノ無晶形粉末状配糖体 *multiflorin* 也)ハ青蛙、甘日鼠、家兔等ニ於テ隨意運動障害及呼吸麻痺ヲ來シ、大量ヲ與フレバ致死セシム。靜脈内注射ニヨル家兔ノ最小致死量ハ体重1

匹ニ付0.2g也。犬ノ体重1匹ニ付、0.0005ヲ内服又其10倍ヲ皮下注射スルニ中毒症状ヲ呈セズシテ瀝下ノ效アリ。臨床

ニ於テ瀝下ニシテはら香油(揮發油)ヲ採リ香料及藥用トス又はら香水トス。半熟果ヲ煎服シテ魚毒ヲ消解ス、松魚ノ酔等ニ最妙也。〔藥理〕前記粉末状配糖体(果中ノ無晶形粉末状配糖体 *multiflorin* 也)ハ青蛙、甘日鼠、家兔等ニ於テ隨意運動障害及呼吸麻痺ヲ來シ、大量ヲ與フレバ致死セシム。靜脈内注射ニヨル家兔ノ最小致死量ハ体重1

匹ニ付0.2g也。犬ノ体重1匹ニ付、0.0005ヲ内服又其10倍ヲ皮下注射スルニ中毒症状ヲ呈セズシテ瀝下ノ效アリ。臨床

ニ於テ瀝下ニシテはら香油(揮發油)ヲ採リ香料及藥用トス又はら香水トス。半熟果ヲ煎服シテ魚毒ヲ消解ス、松魚ノ酔等ニ最妙也。〔藥理〕前記粉末状配糖体(果中ノ無晶形粉末状配糖体 *multiflorin* 也)ハ青蛙、甘日鼠、家兔等ニ於テ隨意運動障害及呼吸麻痺ヲ來シ、大量ヲ與フレバ致死セシム。靜脈内注射ニヨル家兔ノ最小致死量ハ体重1

匹ニ付0.2g也。犬ノ体重1匹ニ付、0.0005ヲ内服又其10倍ヲ皮下注射スルニ中毒症状ヲ呈セズシテ瀝下ノ效アリ。臨床

ニ於テ瀝下ニシテはら香油(揮發油)ヲ採リ香料及藥用トス又はら香水トス。半熟果ヲ煎服シテ魚毒ヲ消解ス、松魚ノ酔等ニ最妙也。〔藥理〕前記粉末状配糖体(果中ノ無晶形粉末状配糖体 *multiflorin* 也)ハ青蛙、甘日鼠、家兔等ニ於テ隨意運動障害及呼吸麻痺ヲ來シ、大量ヲ與フレバ致死セシム。靜脈内注射ニヨル家兔ノ最小致死量ハ体重1

匹ニ付0.2g也。犬ノ体重1匹ニ付、0.0005ヲ内服又其10倍ヲ皮下注射スルニ中毒症状ヲ呈セズシテ瀝下ノ效アリ。臨床



試験=旅レバ成人=對シ0.1gヲ内用セシムル=3~9時間後=數回ノ下痢ヲ惹起セシメ、概不快ナル症狀ヲ伴フコトナシ。即本物質ハ峻下劑トシテ應用シ得バシ。〔處方例〕1)峻下劑---營実5.0 水100.0以上粉末ナシ煎劑トシテ頓服。2)△...營実2.0 大黃2.0 水100.0...以上煎劑トシテ頓服。

○(41)はま-なす(はま-なし,玫瑰)及其諸變種 *R. rugosa* Thunb. [分生] 樺千北本(北中部)類ノ海濱=粗〜密生ス。〔生藥〕玫瑰<sup>カイツ</sup>花 *Flos Rosae rugosae*ハ花ヲ採乾セシモノニテ佳快ノ芳香アリ。北海道,東北,海濱地,朝鮮多産ス。〔成分〕花ハはら香油 *Rosenöl* ヲ含シ,其中ニハ *Geraniol*  $C_{10}H_{17}OH$  ヲ主成分トシ, *Citronellol*  $C_{10}H_{19}OH$ ・*Nonylaldehd*  $C_9H_{17}CHO$ ・*Citral*  $C_9H_{16}CHO$ ・*Linalol*  $C_{10}H_{17}OH$ ・*Prenyl-äthylalkohol*  $C_6H_5-CH_2-CH_2-OH$  等ヲ含有ス。〔藥效〕花ハ萼ヲ去リ收斂藥トシ大腸加苔塊ニ止血劑トシ又咯血ノ止血劑等ニ1.5~5g煎服ス。外用藥ニハ浸劑トシテ齒齦ノ出血ニ止血及矯臭ノ目的ニ合嗽劑トス(用重適宜)。花ヲ蒸溜シテ薔薇油ヲ製ス,本種蒸油ハ西洋はら油ニ異ル無ク矯味矯臭藥トス。又薔薇蜜(玫瑰蜜)ヲ製ス。薔薇油(ろ-ず油,即局方---*Oleum Rosae*)ハ洗口水等ニ矯臭藥トス,多クハ局方---薔薇水(*Aqua Rosae*,ろ-ず水)トシ矯味矯臭藥トシ,殊ニ点眼液,洗滌科等ニ附加セラル。其他化粧品,香水,菓子等ノ芳香料トス。薔薇蜜ハ口舌諸病及小兒下痢トシテ有效。根皮ノ煎汁ハ黃褐色ヲ呈シ全色薬用トス,秋田ハ犬類ハ之ヲ以テ毒ム。〔採取〕夏日半開花ヲ摘採シ去,急速ニ日乾(旧)

シ,防水貯藏ス。〔備考〕白井博士曰シ突稍茄子ニ似テ海濱ト生ズ,故ニ濱茄子ト云フト武田博士曰「はまなす...ハはまなしノ誤稱ナルベク,北地人ノ發音シヲすニ誤レル也」ト何レヲ異トスベキヤ?也。〔處方〕局方---ろ-ず水(薔薇水)---ろ-ず油4滴ヲ微温蒸餾水1000.0ccニ混和シテ製ス。芳香性矯臭藥トス。

(42) なには-ばら(浪花薔薇) *R. laevigata* Michx. [分生] 四・九・台ノ山野ニ自生,花五・六月,花<sup>ハ</sup>白花徑6~9cm. 單立,芳香。〔生藥〕果実ヲ藥用トス。〔藥效〕果実ヲ煎服シテ及腸及淋病ヲ治シ或瘰癧及婦人白濁ヲ治ス。

○(43) せいやら-ばら及其諸變種(西洋薔薇) *R. centifolia* L. [分生] 歐洲,高加索原産,日本栽培,花ハ點頭重株,紙淡紅色。〔生藥〕花ヲ藥用トス。〔成分〕花ニ精油(*Geraniol*, *Citronellol*)ヲ含有ス。〔藥效〕花ヨリ薔薇油(淡黃色佳快ノ芳香アリ)ヲ採リ矯味矯臭藥及化粧品,香水等トシテ用フルコト前諸種ト同様也。

(44) ころすい-ばら(香水薔薇) *R. damascena* Mill. [分生] 歐洲バルカン山ノ南岬特ニ「ガザンリツク」地方ニ栽培ス。〔生藥〕花ヲ藥用トス。〔成分〕花ニ精油(主成分ハ <sup>ゲラニオール</sup> *Geraniol* <sup>シトロネロール</sup> *l-Citronellol* 等)ヲ含有ス。〔藥效〕花



ローズ  
ヨリ最上ノ薔薇油ヲ溜取シ調味料・臭薬・粉粧料・香水料等トシ  
テ賞用セラル。〔補考〕(42)-(44)全一種ナラン?

Subfam. (V) われもかう (地榆) 亞科 *Sanguisorboi-*  
*deae* 觀@ 薔苳 (外國). 概奇数 (稀斷狀) 羽狀複葉單葉,  
有托葉. 花ハ傘形半合 (外國) 一般花式ハ  $F_1 = K_4 \sim 5 C_4 \sim 5$   
 $A_4 \sim 30 G_{1 \sim 3}$  われもかう屬 =  $K_4 C_4 A_4 G_{1 \sim 3}$  ナリトス。  
*Hagenia* (苦蕒) =  $SK_5 K_5 C_5 A_{10 \sim 25} G_{(2)}$  ナリトス。  
はごろもぐさ (*Alchemilla*) 屬 =  $SK_4 K_4 C_0 A_4 G_{1 \sim 3}$   
きんみづひき屬 =  $K_5 C_5 A_5 \sim 10 \sim 12 G_{(2)}$ , 花托ハ瓶壺狀稀  
洋皿狀, 1~3ヶノ閉果ヲ包ミ, 熟スルニ違ハ概堅核トナリ  
堅果ヲ閉鎖ス, 概外K (SK) ナリ。

178 圖



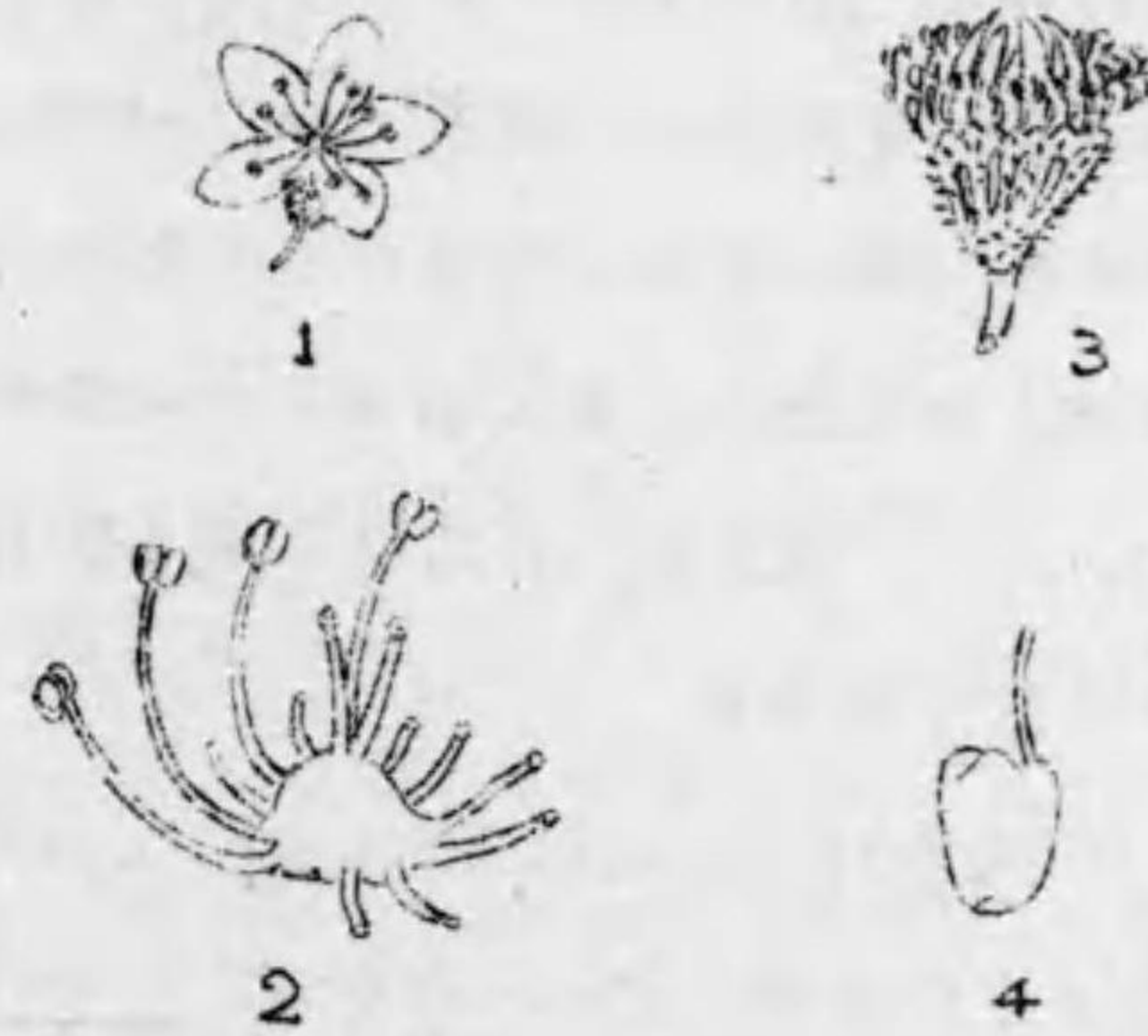
(178圖) われもかう屬ノ花ノ  
縱断面模型圖 (原圖)

179 圖



(179圖) はごろもぐさ屬ノ  
花ノ縱断面模型圖  
(原圖)。

180 圖



(180圖) きんみづひき屬ノ (1) 花, (3) 果, 及 (2) 花托  
) 上部及 A・G 一部ノ圖, (4) 果系 (2ヶノ中 1ヶ) (原圖)

(45) きんみづひき (龍牙草) *Agrimonia pilosa*.  
*Ledeb. var. japonica Nakai* (分生) 樺・南千・北・本・  
四・九・朔・滿・台・ノ原野, 路傍ニ点生へ群生。〔生草〕龍牙草  
*Herba Agrimoniae* ハ花時全草ヲ採乾セルモノ也。  
〔成余〕全草 = 精油及單寧 (鞣酸) ヲ含有ス。  
〔藥效〕全草ヲ煎用シテ止痢 (止瀉) 藥及收斂藥トシテ赤痢,  
下血下痢 = 用フ, 1日4~10g. 煎用。又朝鮮ニテハ蠶虫 (



寸白)ヲ驅除スル爲内服ス。アイヌ人ハ葉ヲ全港ニ用ヒ松前ニテハ根ヲ以テ腹痛ヲ治スト云フ。〔備考〕本岳ハげんのしよニト同様各人ノ体質ニ依テ藥效ニ差等アリト云フ。嫩葉ヲ煤ヲ浸水去苦味能ク洗ヒ調理シ食ス、歐洲ニテモ食ス。葉ヲ蚕兒ノ飼養ニ用フベシ。〔處方例〕止血藥...龍牙草 10.0 水 100.0... 以上1日量煎劑分服。

△(46) われもかろ (地榆) *Sanguisorba officinalis*.  
 L. [分生] 北本・四・九・朝ノ原野路傍ニ散生〜群生ス。元々 われも ころ var. *Carnea* Regel [分生] 北・おほわれもかろ *V. aviculata* Focke 本(中部)。〔生薬〕地榆 *Radix* (Rhizoma) *Sanguisbae* ハ秋期(花葉)根莖ヲ採乾セルモノ也。收斂性ニシテ消苦シ。〔成分〕根ニ多量ノ草率質、(鞣酸)糖類。 *Sanguisorbin*  $C_{27}H_{42}O_3$  ナル *Saponin* ヲ含有ス。〔藥效〕漢: 地榆ハ收斂藥、止血(下血、吐血、咯血、月経過多)藥トス。又止血、膀胱及腎臟出血、子宮出血ニ止血劑トシ、其他熱性下痢等ニ、又肛門裂瘡ノ出血、結膜ノ加答兒及炎症ニ有效也。内用トシテハ胃出血、胃分泌過多症、腸加答兒出血ニ用フ。1回3~5g. 1日15~30g. 煎用。煎汁ハ微温ニテ打撲症、切創等ニ洗滌シ特效アリ。

又温湯法トシテ收斂アリ。〔藥理〕草率酸ハ收斂作用アルヲ以テ局所止血藥トシテ小出血ニ效アリ。稀釈液ハ其性緩和ニシテ收斂作用顯著ナレドモ、濃厚液ハ炎症刺激ヲ與ヘ、且ツ血管收縮性ニ對スル作用ニ收斂ハ一過性トナリ、甚キ時ハ反テ初メヨリ之ヲ拡大ス。濃度大ナルハ大ナル程收縮期短ク擴大強ク、ナレド草率酸ハ胃及腸中ニ於テハ其效外用ニ於ル如ク確實ナラス。〔處方例〕1) 收斂止血藥... 地榆 10.0 水 100.0... 以上1日量煎劑分服。2) 湿疹等ノ患法... 地榆 5.0 水 100.0 以上煎出液患法。3) 痔出血藥... 地榆 5.0 阿膠 3.0 大棗 3.0 甘草 1.0 水 200.0... 以上1日量煎劑分服。〔備考〕若葉葉ヲ食用トス觀賞用ニ栽培ス。風雅也。

(47) ながほのわれもかろ *S. tenuifolia* Fisch. [分生] 華南及北本・四・九・朝・琉ノ山野ニ散生〜群生。3 var (*alba*, *glandiflora*, *purpurea*) ナリ。〔生薬〕地下莖。成分 藥效全上?

(48) たかね-たろちきろ *S. sitchensis* G.A. Mey [分生] 北・千本(北中部)、高山寒地帯ニ分布ス。4 var ナリ。〔生薬〕根莖、長大也。成分 藥效不詳。

(49) からいときろ *S. hakusanensis* Mak. [分生] 本(中部)、朝ノ寒地帯産。〔生薬〕根莖、長大也。成分 藥效不詳。



△(50) ニセのき (ニセ, くつせ, 苦蘇, 苦蘇木) *Hageria abyssinica* Willd. [分布] 亞非. アビシニア地方ノ山嶺地ニ自由又栽培スル草, 早含也. [生薬] 苦蘇花 *Flos Koso* ハ早花序ヲ採乾セルモ也. [成分] 花 = *Kossin* ナル黄色物質(無味無臭ノ結晶) 及 *Koso-toxin* ナル *Phloroglucin* ノ誘導体ヲ含ム. *Kosotoxin* (→ *Kossin*) 其他鞣酸, 揮發油等アリ. [薬效] ニセ花(草屑)ハ蠶虫駆除薬トシテ 15~20g ヲ振盪合劑又粉末トシテ内服ス. 又蜂蜜ヲ加ハ醃劑トシテ 1~2 時間内ニ内服シ後下劑ヲ與メバシ. [藥理] *Kosotoxin* ハ副作用トシテ往々悪心嘔吐ヲ見ルコトアルモ, 毒系ニ對スル作用ハ微弱ナル故, 毒馬ヨリモ中番ノ危険率少也. 然レドモ下等動物ニ對スル作用ハ毒馬酸ノ如ク強カナル筋肉毒ナレハ能ク驅虫作用ヲ發揮ス. ニセ花ハ新鮮ナル時紅色者ハ藥效確實ナルモ, 貯藏不良, 蒂濕, 腐変者ハ藥效ニ近シ. [處方例] 蠶虫駆除劑... ニセ花 20.0 精製蜂蜜 20.0 以上調和醃劑 1日3回分服.

Subfam. (vi) さくら(櫻)亞科 *Burnoideae* (*Amygdaloideae*)  
 左~右又左. 葉有疎ハ放棘. 葉ハト, 單葉, 無裂, 齒牙ハ缺刻線有托葉, 早落性. 花序ハ總狀, 繖房, 繖形, 腋生單出等也. 花ハ早含, 早含, ⊙, ⊙, 稀 ⊙, ⊕, 稀 5 数花, F. f. = K: 5; C<sub>5</sub> P: 0 A<sub>10-20</sub> ~ 30~40 Fl. r. 1~5-, 稀 K: 5; C<sub>5</sub> A<sub>10-40</sub> Gl.; 花柱ハ1ヶ頂生~側生, 1 子室中ノ底~底側ニ懸垂性 2 卵子ヲ含ム (1 卵形不熟不登): 花托ハ凡テ皿狀~杯狀, 花筒(花托トKノ△)ハ皿狀~杯狀~筒狀又壺狀或ハ倒錐狀等諸型アリ. 或

熟トK<sub>5</sub> K<sub>5</sub>ハ熟下シ不脱落, 花托ノミ殘留ス. 果實ハ披(石)果(落果), 輪開裂ス(蒴球).



191 圖

(181 圖) さくら亞屬 *Cerasus* 花ノ縱斷模型圖(原圖).



182 圖

(182 圖) もも亞屬 *Amygdalus* 花ノ縱斷模型圖(原圖).

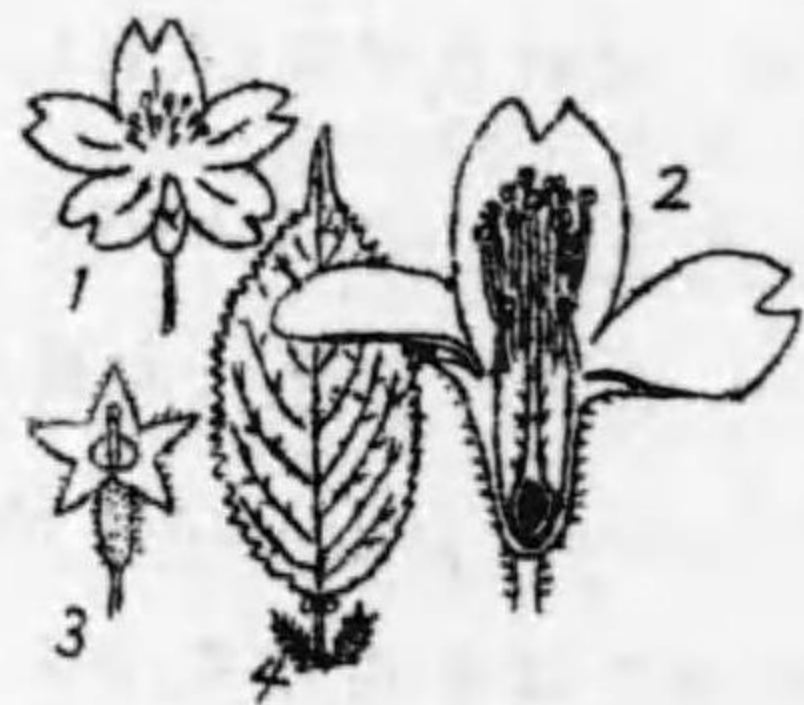
(51) よしのさくら (やまとさくら: せめいよしの, 吉野櫻, 大和櫻, 赤井吉野) *Burnus yedoensis* Matsum. [分布] 朝鮮, 濟南, 高麗原産, 日本各地栽培. [生薬] 樹内皮(吉野櫻皮), 葉ヲ藥用トス. [成分] 樹皮ハ單寧ノ外ニ配糖体 *Sakuranin*

$C_{22}H_{24}O_{10}$  ヲ含有ス, 之ハ加水分解ニ依テ *Sakuranetin*  $C_{16}H_{14}O_8$  及葡萄糖ヲ生ズ [*Sakuranin* (→ *Sakuranetin*)], さくらんにん *Phloridzin*  $C_{21}H_{24}O_{10}$  = 類似セル化學構造(世ニCノ原子量ノ不足スルノミ)ヲ有スルニ高等動物体ニ糖尿ヲ惹起セシムル作用ナリ, 以テ化學式ノ微妙正確ヲ可知. 葉ニハ *Nitrilglykosid* 加水分解ニ依テ, *Cumarin* ヲ生ズルくまりん配糖体 (*Cumarin-glykosid*), 並ニ青酸ヲ生ズル青酸配糖体 (*Bersäure-gl.*) ヲ含有ス. [薬效] 樹内皮ヲ鎮咳藥又鎮痰祛痰藥或呼吸鎮靜藥トス. 1日3~5g 煎服. 其他煎服シテ魚鱗, 菌類ノ中毒ヲ解ス, 又胃加答兒, 腹加答兒ニ有效. 民: 樹内皮乾品 50 枚



ヲ水5合=入、2合=煎シタル濃液ハ疔癰=效アリト。花ヲ塩漬=貯ハ其3~5花ヲ熱湯ヲ注ガ飲用セバ健胃興奮ノ效アリ。〔新藥〕ツロチン(赤褐色粉末...ニ共)、セラシン(田辺五)

183 圖



(183圖)よしのざくらノ花果、葉及其解剖(原田)  
1. 花群K<sub>10</sub>C<sub>5</sub>A<sub>10</sub>G<sub>1</sub>  
2. 花冠ノ縦斷面  
3. 花枝及ク裂片(花托、萼ノ合體)  
4. 葉形

共 = 鎮咳又鎮咳祛痰ノ效アリ。〔備考〕觀賞用(陽春開花ス

万葉ノ花、壯美艶麗亦極ル)、材ハ薪炭用、器具用トス。(東方例)鎮咳、呼吸鎮靜藥...吉野櫻皮 15.0 水 200.0...以上 1 日量煎劑 3 分服。

(52) やまざくら(山櫻) *P. serrulata* Lindley (分生) 本(中南部) 四九ノ山地、山麓 = 点生 ~ 粗群生。 var. form. 頗多シ。(生藥) 同前種。〔成分及藥效〕同前種。〔備考〕觀賞用(萌生) 候 = 麗花、滿枝皆美花美葉、白色微紅、遠望靉靆宛如雲又如雪、花容葉態ノ優美清艶ナル世界無比、実花木ノ魁首也。) 材ハ赤褐色堅硬、利用廣ク、金鉋、水匙、版木、器具類、鐵器、定木、床柱、建築材、薪炭材トシテ上等、樹皮ハ櫻皮ト称シ小器具 = 貼用(煙草入、印籠)シ又曲物器、金其他ヲ鍍鍍スルニ甚効シ。葉ハ櫻餅ヲ包ミ、実ハ食スバク(小児)又酒ヲ醸スベシ。

(53) よしのざくら(おほやまざくら、やまざくら)

城夷山櫻、大山櫻、紅山櫻) *P. Sargentii* Rehder (分生) 樺北本(中北部) 朝(清州島)ノ山地 = 点生 ~ 粗群生ス。〔生藥、成分、藥效〕同前種。〔備考〕花淡紅色艶美ノ特色アリ、樹皮ハ暗紫褐色、光澤強ク工藝用ノ<sup>ツツジ</sup>杯皆也。又 杖トシテ雅趣アリ。

(54) しほのざくら *P. shimaneensis* H. Koidzumi (分生) 本(中部)ノ山地 = 点生又散生ス。葉ハ有毛 ~ 密毛、花柱亦有毛、花筒、K片多毛也。〔生藥、成分、藥效〕同前種ナラン。樹皮ハ(52) = 近似ス。

(55) けやまざくら(おくさまざくら、毛山櫻) *P. pudibunda* Koidz. (分生) 北、本九(北部)ノ山地 = 生シ本州中、北部特多シ。〔生藥、成分、藥效、效用〕等(52) = 同シ。

(56) てるせんやまざくら(朝鮮山櫻) *P. devilleana* Koehne (分生) 朝鮮 = 本布ス。〔生藥、成分、藥效、效用〕等(52) = 同シ。樹皮ヲ<sup>スツジ</sup>樺皮ト稱シ中風、乳癰 = 内用ス。

(57) みざくら(からみざくら、あうたう、櫻桃、唐実櫻) *P. pauciflora* Bunge (分生) 支那原産、日本栽培。(生藥) 樹皮及果实ヲ藥用トス。〔藥效〕樹皮ノ煎汁ハ鎮咳、收斂(下痢止、止血、瘰癧等)ノ效アリ。果实ハ卵形、鈍頭、淡赤色、食用トス、清血、清涼ノ效アリ。

(58) せいようみざくら(せいようあうたう、西洋櫻桃) *P. avium* L. (分生) 欧洲原産、日本栽培。〔效用〕果ハ廣卵形 ~ 廣楕円形 ~ 鈍円頭 ~ 円頭、淡紅 ~ 暗紅紫色、食用トシ清血、清涼ノ效アリ。すみせいようみざくら *P. cerasus* L. ハ欧洲原産、果ハ球形赤



蒸、效用同様。

(59) うはみづざくら (波々迷) 及其諸変種 *P. Grayana* Max. (分生) 北、本、四ノ山地ニ点生又叢生。〔生薬〕樹皮及芽葉ヲ薬用トス。〔成分〕春ノ發芽及樹皮ニ *Amygdalin* ヲ含ム。〔藥效〕生薬ヲ杏仁水代用ニ使用シ得バシ。〔備考〕材ハ紅色梨材ノ如ク、堅硬、床ノかまちトシ、器物ヲ鑿作スバシ。又木材ヲ器具用トシ、果ヲ食用トス、根ハ藍色ノ染料ニ供ス。本種物ハ音田ヲ定ムル時ノ龜ト神事ノ御料ニ用フル故著明也。

(60) あざのうはみづざくら (あづぶざくら) *P. padus* L. (分生) 樺、北、本(中北部)ノ山地ニ点生又稀生。〔生薬〕樹皮及葉ヲ薬用トス。〔成分〕葉ニ配糖体 *Brunasin*  $C_{14}H_{11}NO_6$  ヲ含有シ、之ヲ加水分解セバ *Benzaldehyd*、青酸、葡萄糖ノ各1分子ヲ生ズ。又 *Amygdalin* ニ含ムト云フ。〔藥效〕新鮮葉ノ水煎氣液溜ニ依テ杏仁水様物ヲ得、之ヲ杏仁水又はかまち水ノ代用品トシ鎮咳薬トス、又呼吸鎮静薬トス。〔藥理〕本葉ヲ食セシ牛ハ1頭ハ數時間後ニ死亡シ、他1頭ハ瞳孔散大シ、四肢厥冷、後半身腫脹、失神等ノ症状ヲ呈セシモ施療ノ結果漸ク恢復セリト云フ。以テ葉ニ毒性アルヲ知ル。

(61) あめりからうはみづざくら *P. serotina* Ehrh. (分生) 北米合衆國産ノ落葉木。〔生薬〕樹皮ヲ薬用トス。〔藥效〕樹皮ノ粉末ヲ服用シテ鎮咳、祛痰ノ效アリ。又魚類中毒ニ煎汁ヲ服用セバ解毒ノ效ヲ奏ス、彼ノぶろちん(ニ共)ハ主ニ本品ノ粉末ナランカ。

(62) ゆすらうめ (梅桃-山櫻桃) *P. tomentosa* Thunb. (分生) 支那原産、日本栽培。〔生薬〕果皮ヲ薬用トス。〔藥效〕果ヲ生食セバ下痢止薬トナリ、清血剂トナル。又実ノ乾粉末ヲ飯粒ニ煉リ喉腫ニ用ス。〔備考〕果ヲ食用トス、又觀賞用ニ供ス。

(63) にはうめ (ニうめ、ニんめ、八重咲ハにはざくら、郁李) *P. japonica* Thunb. (分生) 支那原産、日本栽培。〔生薬〕葉枝及種子(郁李仁)ヲ薬用トス。〔藥效〕種子ヲ利尿(水腫、腹水)薬トシテ煎服ス、1箇2~4g、又小枝莖ヲ嚼ミ其汁ヲ飲メバ喉腫ヲ治スト云フ。(10%液)朝鮮ニテハにはざくらヲ便秘ノ便通薬トス。〔備考〕果ヲ食用トシ、又醬漬代用トス。觀賞用ニ供ス。

(1) にはうめ *v. typica* 萼腺無腺毛。3 var. アリ。

(2) にはうめ *v. glandulosa* Max. 狭葉、小花多腺毛。(3) にはうめ *v. multiplex* Mak. 八重咲、千重、淡紅花、其白花品ヲしるはな-にはざくら(玉蝶花)、粉紅ナルヲ喜梅ト云フ。

(64) ぬざくら (したみづざくら、しちざくら) *P. Buergeriana* Miq. (分生) 本(中南部)、四九、嶺ノ山野ニ点生ス。〔藥效〕葉珠ニ小枝及核ニ等ニ *Amygdalin* ヲ含有スル故杏仁水等ノ代用トス。〔備考〕木材ヲ版木、器具用トシ、根皮ヲ以テ郡内箱(甲州)ノ藍色ヲ染ム。うはみづざくらト同様半熟ノ黄色果ヲ塩藏シ食用トス。

(65) りんぼく (たてき、ひらきかし) *P. spinulosa* S. et Z. (分生) 本(中南部)、四九、嶺ノ山野ニ自生スル常緑木。〔藥效〕葉ニ青酸ヲ含ム故薬用ニ供スバシ。樹皮ノ煎汁ニテ紙ヲ淡紅色ニ



染ム。桃色雁皮紙(熱海)。木材ヲ小細工用トス。觀賞用ニ供ス。

○(66) はくちのき(はだかのき、けいま) *P. macrophylla* S. et Z. [分生]本(南郡)四丸、琉台ノ山野ニ自生、花九月、成果翌年五、六月。  
[生薬]はくち葉 *Folium Pruni macrophyllae*, ハ新鮮葉ヲ採取セルモノ也。之ヲ揉メバ青酸臭ヲ發ス。鹿児島、宮崎、長崎、和歌山縣多産ス。[成分]葉中ニ配糖体 *Prunasin*  $C_{14}H_{17}NO_4$  ヲ含有ス。葉ヲ搗碎シ水ト共ニ蒸溜セバ葉中ノ酸素ノ為 *Prunasin* ハ加水分解シテベンゾアルデヒド、青酸及葡萄糖ヲ生ズ。  
[*Prunasin* ( $\rightarrow$  CHN + Benzaldehyd)] 即ちあん水素ヲ生ズル故ニ之ヨリはくち水 *Aqua pruni macrophyllae* ヲ製出ス。  
[藥效]新鮮葉ヨリはくち水ヲ製取ス。局方... はくち水ハ蒸気ヲ葉ニ通シ其露液ヲ取り之ニ蒸溜水ヲ加ヘ適宜ニ稀釈シ、青酸含量ヲ 0.1% トセルモノ也。又局方... 杏仁水ト共ニ鎮咳藥及呼吸鎮靜藥トシ呼吸困難、咳嗽頻發等ニ應用ス。1日 2~3 又 3~5g. 内用(概他ノ合劑ニ配シテ用フ)。

(67) せいやう-はくちのき(せいやう-たぐき) *P. Laurocerasus* L. [分生]歐洲地中海沿岸ニ自生スル常緑木。[生薬]らうろせらす葉ヨリらうろせらす水ヲ採取シ藥用トス。[成分]葉ニ *Prunelaurasin* ヲ含有ス。[藥效]葉ヨリ蒸溜ニ依テ *Laurocerasus* 水ヲ取り鎮咳藥及呼吸鎮靜藥トスルコトはくち水又杏仁水ト同様也。

△(68) く-へんとろ(苦扁桃) *P. Amygdalus* Stokes (へんとろ)

*var amara* Baillon [分生]へんとろ(扁桃)ニ3 var ヲ分シ、(1)苦扁桃 *v. amara*, (2)甘扁桃 *v. dulcis*, (3)脆扁桃 *v. fragilis* 是也。甲ハ藥用、乙ハ藥、食用、丙ハ觀賞用トス。長年ハ形對上殆差ナク相交雜シテ波斯南部及志別亞地方ニ野生ス。苦扁桃ハ北亞弗、南佛、シシリヤ島及カナリヤ島ニ栽培産出ス。  
[生薬]苦扁桃 *Semen Amygdali amarae* ハ種子ニテ尖卵形、硬殼褐色、長 2cm, 内外。[成分]種皮ニ單寧ヲ子葉中ニ *Emulsin*, 脂肪油(扁桃油)、蛋白質、葡萄糖、ゴム様物質、水分及配糖体 *Amygdalin* (苦シ) 1.75~3.3% ヲ含有ス。苦扁桃ヲ搗碎シ水ヲ加ヘ放置セバ *Emulsin* (酵素)ノ作用ニヨリちあん水素(青酸) Benzaldehyd 及葡萄糖ニ分解ス。[*Amygdalin* ( $\rightarrow$  HCN + Benzaldehyd + Glucose)]。依テ之ヨリ苦扁桃水 (*Aqua Amygdalarum amaram*) ヲ製取ス。[藥效]種子ハ苦味甚ク有番、不可食ニ之ヲ冷圧シテ苦扁桃油(準局)ヲ製シテ藥用トシ、其滓滓ヲ良野地粉ニ使用ス。苦扁桃(準局)ニ水ヲ加ヘ放置シテ蒸溜シテ苦扁桃水(準局)ヲ製シ鎮咳藥及呼吸鎮靜藥トシテ用フ。

○(69) かん-へんとろ(あめんどろ、甘扁桃、巴旦杏) *P. Amygdalus* Stokes *var. dulcis* Baillon [分生]原産地前同、之ヲ地中海沿岸各地、中欧諸國ニ移植シ、佛、伊、希、ロツコ諸國ヨリ多産ス。  
[生薬]甘扁桃 *Semen Amygdali dulce* (*Amygdalae dulces*) ハ種子也、長 2~2.5cm 味緩和油様甘ク粘液性也。種皮ヲ除去シテ用フ。[成分]種子ニ單寧、子葉中ニ *Emulsin*, 脂肪油(甘



扁桃油),蛋白質,葡萄糖,コム様質,水, *Asparagin* 等ヲ含有シ  
*Amygdalin*ヲ不含有。〔藥效〕種子ヲ水ト共ニ搗碎シ濾過シ乳劑  
ヲ製(生薬1水10,割合)シ内用薬(主效粘滑薬)トス。又 *Emulsin*  
製造原料トス。又压榨シテ局方...甘扁桃油 (*Oleum Amyg-*  
*dalarum dulceum*, 主成分ハ *Olein*也)ヲ製シ薬用(主ニ粘滑  
薬)トス。又其搾滓(油粕)ハ蛋白質ニ富ミ汚物洗去力甚大ナレ  
ハ石鹼ニ換用シ洗粉トシテ貨用ス。又杏仁水(局方)ヲ製造ス  
ル原料トス(效用前記)。〔備考〕種子ヲ食用トス。甘シ。〔處方例〕  
1) 粘滑薬(胃腸カタル)...甘扁桃油 25.0 アラビヤコム末適宜シ  
ロツテ 50.0 水 150.0 以上乳劑トシ1日數回分服。2) 杏仁水  
乳劑...生薬1濾液10,割合...1回1茶匙〜1食匙迄。〔藥理〕  
其味甘ク,緩和油様且粘液性ナレバ緩和包圍薬トシテ胃腸加  
答児等ニ有效也。

○(10) あんす(杏,からもも) *P. ansu* Kom. (分布)蒙古原産,日  
鮮,滿支栽培。〔生薬〕杏仁 *Semen Ansu*ハ酸果ノ種子ヲ採乾セ  
ルモノ,赤褐色,長150.0m 扁尖卵形也。長野縣多産又支那ヨリ  
輸入ス。〔成分〕果肉ニハ糖分(主ニ蔗糖)5~10%,枸橼酸,林酸  
ヲ種子(杏仁)ニ脂肪油35%及 *Amygdalin*  $C_{20}H_{27}NO_{11}$ ヲ含有ス。  
杏仁ヲ搗碎水浸放置セバ *Amygdalin*ハ酸又 *Emulsin*ノ作  
用ニヨリ加水分解シテ *Benzaldehyd*  $C_6H_5-CHO$ , 青酸  $HCN$   
及2分子ノ葡萄糖ヲ生ズ。〔藥用〕局方...杏仁ヲ压榨シテ杏仁  
油 (*Oleum Ansu*...局方)ヲ採取ス,其油粕ニ水ヲ加ヘ蒸溜セバ  
杏仁水 (*Aqua Ansu*...局方)ヲ得。杏仁油ハおれーぶ油ニ代

用シ注射薬ノ添劑又軟膏ノ基礎劑トス,又膏劑,乳劑,塗敷劑製  
造ニ用ス。又胃腸加答児ニ内用(1茶匙〜1食匙迄)シ酸或  
ハカリ中毒ノ緩和劑トス。杏仁水ハおれん水素酸0.1%及  
*Benzaldehyd*ヲ含有シ水劑ニ配シテ呼吸鎮靜薬トシ又呼  
吸困難,鎮咳薬及鎮痙薬,解熱薬,制吐劑トシ1日3〜5g内用ス,  
又気管枝病,胃腸疾患ニ1回0.5〜1.0〜2gヲ用ス。極量1回ハ  
2g。1日ハ6gトス。漢:杏仁ハ鎮咳劑トシテ咳嗽,喘息ヲ治  
シ,肺熱ヲ除去ス(瀉肺),又胸苦ク息切レ,心痛,浮腫等ニ煎服  
(1日15〜25g)シテ有效。杏仁ヲ漬シ炭砂糖ヲ加ヘ乳劑ニ  
貼付ス(民間)。〔備考〕木材ヲ器具用及其他ノ用トシ,植物ヲ觀賞  
用トス。除核結果ヲ乾杏ト称シ美酒ニ浸シ又砂糖漬,砂糖煮  
又菓子ヲ製ス,皆美味也。又半煎果ヲ焼酎漬トス頗美味也。  
品類中ニ白杏ハ果白熟ス美味也,栝杏(オ-あんず)ハ酸熟ス,金  
杏(もち-あんず)ハ大形黄赤熟ス味甘微酸かるめ(南部)ト云フ。  
〔藥理〕青酸ノ小量ヲ蛙ニ注射セバ痙攣ヲ發シ強度ノ中毒症狀  
ヲ起ス。哺乳類ニ與フレバ静脈血ハ動脈血ノ如ク鮮紅色ヲ  
呈シ遂ニ窒息。又血液溶解作用ヲ起ス,即青酸ハ極テ有毒ナ  
ル瓦斯也。初呼吸中把ヲ刺戟シ後速ニ麻痺セシム。動物試  
験ニ依レバ痙攣中把,血管運動中把等ニ興奮後麻痺セラル。  
今活ニ大量ノ青酸ヲ與フレバ冷モ電擊ヲ受ケシ如ク墜倒シ  
瞬時ニ呼吸停止シ痙攣ヲ發シテ死ス。青酸ハ速ニ吸收セラ  
レ同時ニ又速ニ無害トナルガ故ニ其中毒ノ發後ハ短時間ヲ  
以テ決定セラル。一時間後尚呼吸運動存スルモノハ概恢復



ス。服用量ノ青酸ハ誣ムベキ依用ヲ呈セス、即中樞神経系統  
 就中呼吸中樞ヲ鎮靜シ呼吸運動ヲ安靜トシ且鎮痛、鎮痙ノ效  
 ヲ奏ス。(葯方例) 1) 鎮咳祛痰藥... 遠志浸(8.0)200.0, 杏仁水6.0  
 塩酸モルヒネ0.02...以上1日6回宛, 2日分服。2) 慢性気管  
 枝炎... 吐酸浸(0.5)150.0杏仁水5.0セネガシロツフ\*20.0... 以上  
 調和毎1時1食匙宛, 3) 全... 杏仁, 甘草各3.0 麻黄4.0水200.0  
 ...以上1日量煎割る分服。

(71) すもも (とがりすもも, よねもも李) *P. triflora Roxb.*  
 [分布] 支那原産, 日本栽培。[生薬] 李根皮、李葉及李果ヲ藥用トス。  
 [成分] 果実 = 林檎酸, 琥珀酸, サリチール酸, 糖余等ヲ含ミ, 種子 =  
*Amygdalin*ヲ含有ス。[葯効] 李根皮又半熟果ノ塩漬ハ解熱祛痰ノ  
 效アリ。果ノ塩漬 = テ米膏ヲ造リ酒糟漬トシ, 或種々ノ糖果  
 トシ, 又飲料醸造 = 用ス。葉ハ赤砂糖ト共ニ搗碎シテ腫物 = 貼  
 用ス。果ハ解熱利尿ノ效アリ。又果ノ黒焼ハ鎮咳咽喉痛 =  
 有效。種仁ハ杏仁ノ代用トナル。[備考] 李 = 品種頗多ク白李,  
 青(皮)李, 牛心李, 此円杏, 夏李, 西瓜李(氷李) 巴檀杏等アリ  
 白李ハ熟テ黄白, 白粉ヲ被ル。青李ハ熟テ青色。牛心李  
 (とがりすもも又はたんきよう) ハ果大形, 先尖リ稍曲リ鷹嘴  
 ノ如シ, 熟テ青白色, 美味也。牡丹杏ハ果丹大, 紅熟ス。西瓜  
 李ハ円大, 内肉皆赤紅, 美味也。麥李ハさももトモ稱シ四月  
 麥穗ノ秀ル頃紅熟ス, 果小形常李ノ半大也。赤李ハ果色胭脂  
 ノ如ク稍大形也。九州 = テ都李ト稱ス。

(72) うめ(梅) *P. Mume S. et Z.* (分生) 支那原産, 日本栽培(但シ

台湾 = 野生ス。又日向園 = 野生状者不動。[生薬] 葉、花等ヲ藥  
 用トス。(1) 烏梅 *Fructus Mume* <sup>ツバメ</sup> 未すべ-うめハ半熟果ノ果皮ヲ  
 剝除シ核ヲ去リ籠 = 入レ蒸火ノ又煤煙中 = 燻製乾燥セルモ  
 ノ = テ球形, 多皺縮アリ, 外面黒色破碎シ易ク酸味頗強シ, 蜜中  
 = 貯ヘテ藥用及食用トス。(2) 梅肉燻製斯... 半熟ノ青梅ヲ陶  
 器又硝子製卸シ = テ磨下シ布袋 = 入レ堅ク探リ其渣滓ヲ平  
 鉢 = 入レ陽干水鉋狀トナスカ或ハ文火 = 掛ケ蒸結メ煉藥ト  
 セルモノ也。(3) 梅干... ハ半熟へ半熟梅ヲ塩漬(梅1斤 = 付塩2合へ  
 3合)トシ, 後紫蘇葉ヲ入レ, 取出シ陽干スルコト數回, 更 = 元ノ  
 漬液 = 漬ケ半年以上ヲ経タルモノ也。(4) 梅焼酎... ハ未熟梅  
 ヲ切塩漬トシ次 = 焼酎ト砂糖 = 漬ケ込ミシモノノ漬汁ヲ  
 云フ。(5) 梅干黒焼... ハ梅干ヲ火上 = 黒焼トセルモノ也。(6) 白  
 烏梅... ハ梅実ヲ陽干セルモノ也。[成分] 未熟ノ果実特 = 其核  
 = ハ多量ヲ *Amygdalin*ヲ含ミ, 又果実 = ハ林檎酸, 枸橼酸ヲ含  
 有ス。梅実ヲ乾燥セバ2割トナリ枸橼酸17% 林檎酸1.5%ヲ  
 含有ス。[葯効] 烏梅ハ清涼性収斂藥 = テ止瀉, 解熱, 鎮咳(咳嗽, 咽  
 喉痛吐瀉), 祛痰, 鎮痙藥トシ, 又蛔虫駆除藥トス, 1日4g。服用  
 烏梅1~2ケヲ文火 = テ煎服シ發汗, 止瀉藥トシ, 又心腹ノ痛  
 ミヲ治ス, 又呼吸鎮靜藥トス, 蛔虫ノ口ヨリ出ル場合驅虫ノ效  
 大也。梅肉燻製斯ハ疫病性ノ吐瀉, 急性胃腸病, 中暑等 = 大豆  
 一六ノ者ヲ水 = 投シ砂糖ヲ加ハテ飲用ス, 又原因不明ノ發熱 =  
 良シ, 又コレら, ちぶす, 下痢 = 有效。黒焼梅干 = 砂糖ヲ加ハ熟  
 湯ヲ注ギ飲用セバ發汗, 解熱, 鎮咳ノ效著ク確實 = 寒胃ヲ治ス。



又及び、かじりノ中毒ヲ解ス。梅干、塩茶、蜂蜜ヲ合セ煎用セバ腹  
痛性痢疾ヲ治ス。下痢甚ク水様粘液ノ下ルニハ梅酢ヲ盃2  
杯飲下セバ治ス。梅焼酎5分、運長御汁5分ニ砂糖ヲ混シ煎  
湯ヲ加ハ飲メバ喘息、気管枝加答兒、肺炎ニ特效アリト。梅焼  
酎ヲ神庭痛、リウマチス、腰痛等ニ患法ス、又肺炎其他ニテ咳嗽  
甚キニ湿有ス。又暑氣中リニ飲用セバ治ス。葉ヲ浴湯用ト  
シムゼン、田虫等ヲ治ス。梅酢ニ砂糖ヲ加ハテ飲メバ清涼消  
化ノ效アリ。梅じゆむも全效アリ。梅干ヲ齒痛、頭痛等ニ瓶  
ニ封ハテ患部ニ貼ルカ又飯粒ト練リ合セ齒痛ニ頰部ニ貼付  
ス。梅干肉ヲ硫黄ト練リ脂ニ貼レバ船覺、汽車暈ヲ豫防ス、又  
梅干ノミニテモ可也。梅干7ヶ生薑御シヲ和シ薬油ヲ注ヤ  
煎湯ヲ加ハ成瘰癧時ニ飲用セバ瘰癧ヲ治ス。

梅焼酎前ヲ造ルニハ梅1升ヲ洗ヒ水氣ヲ去リ、甕ニ入レ2  
升ノ砂糖ヲ加ハ3日間放置セバ梅ハ表皮ト種核ノミトナリ  
テ浮ブ。之ヲ取捨テ残液ヲ瓶ニ入レ密栓シ冷所ニ貯藏ス。  
全液ハ貯藏タシキ程有效ニテ追年汁圧増大シ時ニ瓶ヲ破壊  
スル故セ合目以下容ルベシ。本液ハかるびす代用トナリ、  
夏季清涼飲用トスル外痲痺、中暑、下痢、解熱、發汗、健胃、強壯劑ト  
ナル。小盃1~2杯ヲ其儘又水ヲ和シテ飲ムベシ。

未熟果ハ枸橼酸製造原料トナル。收量約5%也。未熟果  
時ニ核ハ柔軟ニテ多量ノAmygdalin及猛毒ノ青酸ヲ含有  
シ酸味強ク中毒シ易ク、多用セバ齒ヲ損シ脾胃ヲ害ス。要注  
意。白烏梅トハ梅実ヲ干シタルモノ也。之ヲ染色家ニテ媒

染劑トス、又金銀細工等ニテ洗淨ニ用フルコトアリ。彼有名  
ナル月ヶ瀬ノ梅林ハ元、此白烏梅ヲ京都ノ染家ニ賣ル爲メ  
ニ成レリト。〔補考〕産種ス金藏トシ花ヲ賞ス。清莢無比、芳香  
馥郁。梅干又砂糖煮トス。又梅漬トス。材ハ頗堅硬、赤褐色、  
構算味、箱等器具用トス。変種変形頗多ク百餘種アリ。色ニ紅  
緋、白、黄、青、諸色、瓣ニ大小、長短、單重、ノ差アリ。又枝垂梅アリ。

①品字梅(ざらん梅、八房梅)ハG<sub>2</sub>~8也。②不斷梅(青梅)ハ至冬  
迄実不落、色青シ、野州足利学校庭前ニ1株有、又河州道明寺内  
ニアリ。③水仙梅ハC<sub>6</sub>也、円瓣、長瓣ノ2種アリ。④早咲梅(早  
梅)ハ冬至ニ花アリ。至冬梅、ハ朔梅ト云フ。此他⑤豊後梅⑥  
信濃梅(甲州梅、小梅)。野梅。⑦<sup>ノツメ</sup>杏梅、⑧<sup>モツメ</sup>青蚰梅、⑨紅梅  
⑩<sup>ハナアロン</sup>藍鶯梅等アリ。〔療方例〕1) 殺虫丸(蛔虫ヲ下ス)…烏梅、蜀椒、  
各15.0…以上2味ヲ粉末トシ米糊ニテ麻子大丸子トス。②止  
瀉、発汗、呼吸鎮靜藥…烏梅10.0 シロツブ10.0 水200.0…以上  
1日量煎劑分取。

△(73) 桃及其諸変種 *P. persica* Set Z. [分布]支那原産、  
日本各地栽培。〔生薬〕白桃花 *Flos persicae* ハ白花ヲ半開  
時ニ採乾セルモノニテ淡黄色也。毎年新雨ヲ交代スルヲ要  
ス。蕾ノミヲ採乾セルヲ本雷ト称シ良品也。産地奈良、徳島、  
神奈川縣。桃仁 *Semen persicae* ハ種子ヲ採乾セルモノニ  
テ長2cm、扁尖卵形褐色、有苦味、水ト共ニ搗碎セバ加水介解  
シテBenzaldehyd及青酸臭ヲ發ス。産地長野縣。桃葉ハ  
葉ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕白桃花 = <sup>ケンフェロール</sup>Kampferol C<sub>15</sub>H<sub>10</sub>O<sub>6</sub> ナル



黄色結晶性配糖体(紅花品ハ含量少シ, 粗製者ヲ *Albamyricetin* ト云フ)ヲ含ム。桃仁 = ハ *Emulsin* 約3%, *Amygdalin* ヲ含ム。桃葉 = *Nitrilglykosid* ヲ含ミ, 之ヲ水ト共 = 蒸溜セバベルツあるヒト<sup>アルハルシチ</sup>及青酸ヲ含ム溜液ヲ得, 尚 *Peuperitin*. (ク<sup>ン</sup> = <sup>ン</sup>)ヲ含ム。樹皮 = *Naringenin*  $C_{15}H_{12}O_5 \cdot Triacontan$ , *Pentatriacontan* 等ヲ含有ス。〔藥效〕白桃花ハ利尿藥又峻下劑トシ水腫, 秘結 = 用ヒ, 又慢性胃加答兒, 秘結性水腫 = 下劑トス, 1日2~5g, 煎劑3分服, 又煎汁ヲ胎毒(小兒濕疹) = 服用シ有效。桃仁ハ杏仁同様鎮痙鎮咳藥 = 實用ス。又心腹急痛首通經。峻下劑トシ1日2~4g, 煎用, 又解熱劑トナル。桃葉ハ(葉皮ヲ釜 = 水煎シ)夏期浴湯用トシ汗泡, 濕疹等ノ皮膚病ヲ治ス。又生葉汁ヲ汗泡 = 塗布ス, 昔ハ頭痛, 霍亂, 腹痛 = 1回3~6gヲ煎服セリ, 又生葉液汁ハ水 = 滴下シ魚類中毒ヲ治シ, 或ハ煎汁又乾粉末ハ火傷, 濕疹及諸皮膚炎 = 用フ。葉ヨリ桃葉水ヲ採リはく石水ノ代用トシ鎮咳藥トス。白桃花ト冬瓜仁各等量ヲ磨潰シ蜂蜜 = 練リにきび, 是ハかす = 塗布ス。〔新藥〕*persica* (有馬)。白桃花製 = 下劑也。〔處方例〕①桃花湯(桃花大黃湯)--- 水腫(腹滿) = 利尿劑トス, 又酒醉ヲ解ス = 速也, --- 桃花8.0 大黃4.0 --- 以上煎劑100 頓服, 1日2~3劑ヲ與フ。②桃花加芒硝湯--- 水腫性脚氣, 宿醉 = 有效, --- 白桃花8.0 芒硝2.5 --- 以上煎劑100, 頓服。③桃仁承氣湯--- 瘀血ヲ下ス = 用フ --- 桃仁7.0 桂枝, 芒硝, 甘草各6.0 大黃12.0 --- 以上煎劑200, 1日3回分服。〔備考〕植栽花ヲ

實シ又桃林ヲ造リ果實ヲ採ル。花 = 單葉, 子葉, 紅, 白, 深紅, 源平成分, 月瓣, 長瓣等ノ別アリ。一 蟻桃, 披里桃, 油桃, 白色桃 (= 色桃) 青星桃(おめんぼろ), 源氏車(煎桃), 水蜜桃等品種多シ。

○ばら科の補遺:-

(1) ひとへしじみばな (一重実薔花) *Spiraea prunifolia* S. et Z. (しじみばな) var. *simpliciflora* Nakai (= var. *typica* Schneid.) [分布] 支, 滿, 朝, 山嶽 = 散生 ~ 群生。〔生藥〕根ヲ常山ト稱シ藥用トス。〔藥效〕根ヲ蒸葉 = 煎服シ又吐劑トス。差アリト傳ス。

(2) ほぎき-しもつけ (櫻吹下毛) *S. salicifolia* L. 及其變種。〔分布〕樺, 南千, 北, 本(北中部), 朝, 滿ノ山野 = 散生 ~ 群生ス。〔生藥〕根ヲ藥用トス。〔藥效〕同煎種。

(3) かまつか (うじころし, うしのはなぎ) *Purshiana laevis* Koidz. (= *P. villosa* Decn.) [分布] 本, 四, 九, ノ山野 = 点生 ~ 散生。〔藥效〕樹皮ヲ牛殺シト稱シ煎汁ヲ殺虫劑トス。〔備考〕果實ハ生食シ得。材ハ堅硬ナル故鐵治石工用具ノ柄トシ又杖筆トス。又牛ノ糞水 = 使用シ, 或ハ練ノ柄 = 用テ適當也。

Fam. (VI) まめ (莢) 科 *Fabaceae* (*Leguminosae*)

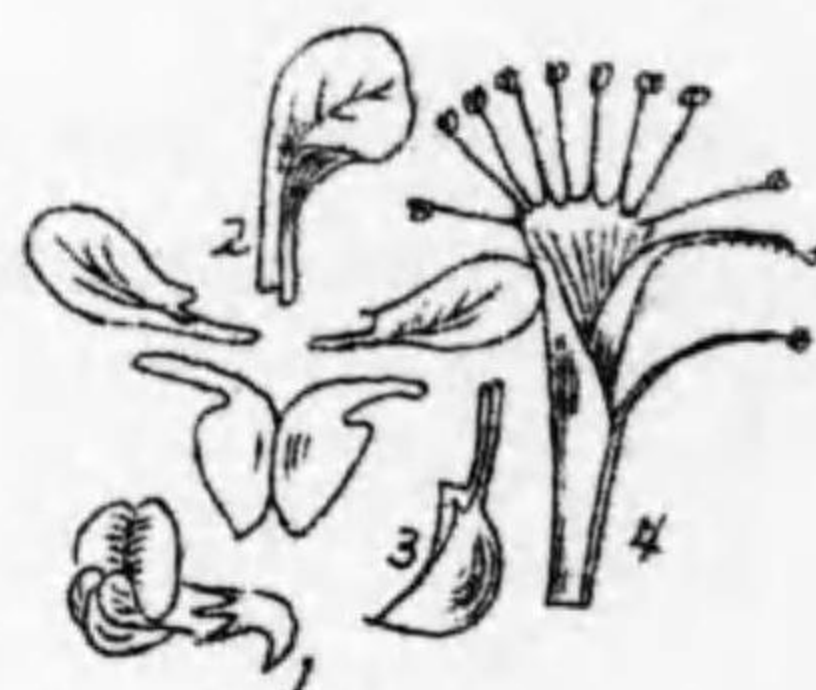
(184~191 頁) 参照。

形質 - H(①~②)又D(⑤~⑥), 莢被種有棘。葉ハ少葉中又少(外圓), 有托葉, 單葉(はな-すはう, はかま-かつら)又複葉(概1~2



同羽狀又3出性羽狀複葉,稀3出掌狀,概全緣稀鋸齒緣,學頭  
又芒端又有卷鬚。花卷ハ小~中形,傘形半含,異被。花序ハ極  
無限花序(總狀,穗狀,頭狀,繖形等),極稀有限花序,花序ハ腋生又  
頂生。花ハ $\odot$ ,  $\odot$ , 概 $\oplus$ 稀 $\ominus$ , 概5數性稀4數性; F. f. =  
 $K_{5-4}; C_{5-4} A_{(5)} V_{(5+5); r. 4} V_{\infty} G_{1} r. 2} V_{\# \sim 15}$ , 概 $K_{5}; C_{5} A_{(5)}$   
 $V_{(5+5)} G_{1}$ ; Kハ複合片K, 稀離片, 極稀 $K_{(5)}$  (外圍), 概複合  
狀稀互列不對大Kハ下方位; 概蝶形花冠稀假蝶形花冠, 芽中

184圖



互列,  $\oplus$ 花ハ複合片極稀 $C_{(5)}$ ;

2体A又單体A, 又離生A或

(184圖)れんりさろノ蝶形花  
及其解剖(原圖) 1.花器  
2.花冠ノ分解. 3. 萼片  
4. G及A (=1体A)  $K_{(5)} C_{5} A_{(5)} G_{1}$

$\infty$ 稀Aノ1部瓣化x(せんげ

属ノ中); 概1子室, 卵子ハ極

$\infty$ 稀1ヶ樹生又半樹生, 級方=反轉セル

心皮ノ腹縫線上=相互重累2列生, 花柱

ハ頂生1ヶ。果實ハ概莢稀節莢, 有緣節

莢(*Oxas nedium*)又莢莢或閉果也;

(185圖)うまごやしノ蝶形花ノ解剖圖(原圖)  
花武同上

種子ハ無胚乳, 稀有小量。概根瘤ヲ有シ

根瘤細菌ノ寄附=依テ空中ノ遊離Nヲ同化ス。

185圖



186圖



(186圖)蝶形花亞科ノ花武圖(原圖)  
花武---  $K_5 C_5 A_{(5)} G_{1}$

(187圖)2種ノ節莢(Lomentum)ヲ示ス  
(原圖) 1. くさねむノ節莢, 2. むすびと  
はきノ一種, 節莢。

187圖



188圖



(188圖)莢果(Legumen)  
ノニ形(原圖)  
1. むんどうノ莢果  
2. ぶんじゆノ莢果

成ホ及效用ニ化學成分

トシテ Alkaloids, Glycoside, Gerbstoffe,

Gummi, 磷素, 色素, 揮發油等ヲ含有ス。種子=脂肪油ヲ含ム。

詳細如次。(A)蝶形花亞科... 塩基(Cytisin, Lupinin, Lupinidin,

Luparin, Spartein, Matrin, Genistein, Saxothamin, Cytgmin, Ratamin,

Trigonellin, Galegin, Physostigmin, Eseramin,

Eseridin, Anarchin, Vicin, Convicin, 等),

配糖体(Indican, Omonin, Putin = Sophorin,

Vicianin, Trifolin, Isotrifolin, Trifolin,

Robinin, Phaseolunatin, Syringin, Acaciin,

Baptisin, Lotusin, Gaultreolin, Kaempferitrin,

Glycyrrhizin, Cumarin-glykosid 等),



酵素 (Amylase · Invertase · Mannosidase ·  
 Seminase · Lyase · Ribinase · Urease · Oxydase ·  
 Peroxydase · Coagulase · Diastase · Pectase 等),  
 其他ノ物質 (Araban, Galaktan · Mammann · Mannit  
 · Inosit · Hentriacontan · Asparagin · Lecithin ·  
 Cholin · Betain · Arginin · Zimmtsäure (桂皮酸),  
 Vanillin, Cumarin · Oxy sarobin · Protomon · Santa-  
 lin · Saponin · 鞣酸等) 等也。

(B) 决明亞科... 染料ヲ供給スルモノ多ク, 果実ハ種々ノ有  
 機酸ヲ含有ス。配糖体 (Oxymethylanthrachinongly-  
 kossid · Gleditschia-saponin 等), 酸類 (Fumarsäure,  
 サリチール酸 · 安息香酸 · 酒石酸 · 林檢酸 · 枸橼酸 · 乳酸  
 · 醋酸等), 色素 (Brasilin, Hämatoxylin · Hämatein  
 Rataniarot 等) 等ヲ含有ス。

(C) 合歡亞科... 着量ノ鞣酸 · 粘液等ヲ供給スルモノアリ。  
 藥用ノ外食用種子或食用果実ヲ給スルモノ多ク, 又藥用  
 木材用 · 纖維用 · 澱粉料 · 油料 · 肥料 · 飼料 (牛馬等) 或  
 觀賞用植物亦頗多ク藥學上重要科タリ。

分布及属種數 世界 = 凡450属 12500種ヲ産シ熱へ寒帯  
 = 分布シ各地産セザルナシ。日本 = 自生又栽培スルモノ凡  
 100属 480種ヲ下ラス。是ヲ次ノ3亞科 = 分類ス (補 =  
 1亞目3科 = 分類スル人アリ)。

Subfam. (i) ねむのき (合歡) 亞科 Mimosoideae 概5~

5. 補H. 葉ハ披針狀羽狀複葉稀掌形偏數羽狀複葉, 又單羽狀  
 複葉 (Inga属)。花ハ $\oplus$ , 4又5數性; F. f. = K:5v.4;  
 C:5v.4; A:5v.4v.5+5v.∞; G<sub>1</sub> r. 2~6 K, Cハ傾合列, Aハ唇  
 合裂 = 依テ∞。有色, Gハ稀 = G<sub>2~6</sub> (Affonsea属); 荚果  
 ハ學節莢又有線節莢 (もだま属) 也。

189 図

(189 図) おじきさうノ花・果 (原圖)  
 1. 花 = K<sub>5</sub>A<sub>4</sub>G<sub>1</sub> 2. 莢



Tribus (i) ねむのき族 Ingeae 花絲ハ  
 土癒合, 果葉1稀2~6。ねむのき属 =  
 K<sub>5</sub>C<sub>5</sub>A<sub>∞</sub>G<sub>1</sub>。

(i) ねむのき (合歡) *Albizia Julibrissin*  
 Duraz. (合生) 本, 四, 九, 朝, 台, ノ山野, 河畔 = 点  
 生又散生。花六七月。実果十月。[生藥] 合歡皮 Cortex  
*Albizia*ノ樹皮ヲ採乾セルモノ也。夏土用項ヨリ秋彼岸  
 迄 = 採取ス。[藥效] 漢: 樹皮ヲ煎服セバ驅虫(腸)ノ效アリ。又  
 強壯, 利尿, 興奮ノ效アリ, ス心身ヲ和シ鎮痛ノ效アリ。又水製  
 成癆斯ハ骨折 · 癰腫 = 外用ス, 又健胃ノ效アリ。此他ヒステ  
 リー患者 (精神障害ヨリ憂鬱病 = 陌ル者) = 用レハ快慰ヲ催サ  
 シメ氣ヲ散ジ憂ヲ消失セシム。即鎮靜 (癆瘵 · 憂鬱症) 藥也。又  
 慢性気管枝知器兒 = 於ル咳嗽及腫物ノ疼痛ヲ舒緩シ (即鎮咳  
 鎮痛藥), 又接骨ノ作用アリ, 1回3~6g. 煎用。[備考] 材ヲ忌  
 具用 (車輪, 下駄, 齒等) トシ又觀賞用 = 栽培ス。葉ノ煎汁 = テ垢  
 衣ヲ洗フ。效力著シ。



Tribus (2) あかしや (まろしじゆ) 族 *Acaciae* 花  
縁ハ分離, 稀内部者ハ下方癒合, 常1果葉即1心皮, F. f. =  
 $K_{10}C_{20}A_{10}G_1$ , 莢果。

○(2) あせんやく-じゆ (あせんやく, ペグ-あせんやく, あかしや  
あせんやく, 阿仙藥樹, 阿仙藥) *Acalia Catechu Willd.* {分布}  
亜細亜熱帯特前印度及後印度産ノ木。〔生薬〕阿仙藥 *Catechu*  
ハ心材ヲ細切シ水ニテ煮沸シ更ニ其水溶液ヲ煎稠シ後之ヲ  
日光ニ晒乾セル暗褐色塊ノ粗粒大塊也。其質堅脆, 小殻状断  
口, 有光泽, 印度<sup>ラゴ</sup>ニテ製造スル故特ニ<sup>ラゴ</sup>阿仙藥ト云フ。  
味強收斂性後稍甘シ。〔成分〕木部エキス塊阿仙藥ノ主成分ハ  
<sup>カテヒン</sup>*Catechin*  $C_{15}H_{14}O_6 + 4H_2O$  他 = <sup>カテヒン</sup>*Catechugerbsäure*  $C_{15}H_{12}O_6$   
・ <sup>カテヒン</sup>*Catechuretine*  $C_{12}H_{10}O_4$  ・ <sup>カテヒン</sup>*Oxycatechuretine*  $C_{14}H_{12}O_4$  ・  
*japoninsäure*  $C_{12}H_{12}O_5$  ・ *Mimotannuretine*  $C_{13}H_{10}O_5 + \frac{1}{2}H_2O$  ・  
*Quercetin*  $C_{15}H_{10}O_7$  ・ 阿仙藥紅色素・粘液等ヲ含有ス。  
〔藥效〕局方阿仙藥 (*Catechu*) ハ阿仙藥樹及 *Acalia Suma*  
*Kurz.* ノ2種ヨリ採ルル *Pegu-Catechu* ト茜草科 *Uncaria*  
*Gambir Roxb.* ヨリ得タル *Gambir* トノ2種類ヲ局方ニ採  
用ス。其ニ收斂藥トシテ合嗽料 (口腔・咽喉炎・歯齦潰瘍症等)  
丸劑原料トシ又鞣皮料 (工業上鞣化藥) トス。局方阿仙藥丁幾  
*Tinctura Catechu* ヲ造リ止瀉藥又收斂藥トシ又齒科ノ  
塗布料トス。又阿仙藥ヲ銅又<sup>ラゴ</sup>ニテ加ハテ褐色或黑色  
ノ液料トス。〔處方例〕①阿仙藥丁幾 (局方) --- 阿仙藥 1.0 鞣酒  
精 5.0 --- 1日數回 0.5 ~ 1.5g 内用。齦齒塗布料又 1 ~ 2% 液合

嗽料トス。②合嗽藥 (上記ノ痾) --- 阿仙藥 5.0 水 100.0 --- 以上浸  
甜トナシ合嗽料トス。

③スマ-あせんやくじゆ *A. Suma Kurz.* {分布} 前印度ノ北  
方ニ産ス。生薬・成分・藥效・凡テ前種同様也。

○(4) あらびや-ごものき (亞喇比亞護膜樹) *Acacia Senegal*  
*Willd.* {分布} 北亞非 (コルドフアン, アトヲバ地方等) 産ノ常  
緑有棘黄花莢。〔生薬〕あらびやごものき *Gummi arabicum* ハ  
乾季ニ莖皮部裂孔ヨリ滲出スル船状樹脂ノ凝固セルヲ採集  
シ或汚傷ヲ附シ滲出トシムルコトアリ。類白色不定形塊状  
破面ハ硝子光泽, 加水ニヨリ粘漿液トナル。〔成分〕主成分ハ  
*Arabin*  $C_{12}H_{20}O_{10}$  ニシテあらびん酸ノカルシウム塩類ヨリ成  
ル。〔藥效〕消化器ニ於ル種々ノ加害性疾患ニ包攝藥トシテ  
用ル。1日數回 1.0 ~ 2.0g 内用藥局方ニハあらびやごものき・ご  
ものき散等ヲ製ス, 其他丸劑, 錠劑, 乳劑等ヲ製スル粘液藥 (賦形藥) ト  
シテ使用ス。又刺軟緩和藥トシ外用ニハ撒布料・洗口・合嗽・灌  
腸等ニ用ル。局方あらびやごものきハ粘漿又賦形藥トシ局方・あ  
らびやごものき漿 *Mucilago Gummiarabici* ハ小兒ノ腸如答兒  
ニ1日數回 1茶匙 ~ 1食匙ヲ用ル, 又外用シ賦形藥トモナル  
〔製法〕①局方あらびやごものき漿 --- ごものき 1分 = 蒸溜水 2分ヲ注キ  
製ス。②局方・ごものき散 --- ごものき 5分・甘草末 3分・白糖末 2分  
ヲ混和シ製ス (散・丸劑等ノ賦形藥トス)。〔處方例〕①急性腸加  
答兒ニ用ル --- あらびやごものき末適宜・甘菊油 25.0 あるいは  
しるつぷ 45.0 水 150.0 --- 以上乳劑トシ 1日數回分服。②全



...あらひやニむ葉 20.0 ビスムト一セ 15.0 溜水 20.0 ...以上混和毎時1茶匙宛。

(5) きんかふかん (金合歡, 刺冠花) *A. Formosiana* Willd. [分布] 亞細亞熱帶原産ト云ハレ台・琉・八・歸北ナリトシス自生也トモ云ハル。[生薬] 根及葉ヲ藥用トス。[成分] 根ニハ Gerbstoff ヲ含ミ, 葉ニハ Cassieblütenöl 或 Acaciablütenöl ト称スル精油ヲ含ム。其主成分ハ 30.9% Salicylsäuremethylester 等也。[藥效] 根ヲ煎取シテ解熱劑トシマラリお及丹毒等ニ用ヒテ有效也。

*Tribus* (3) おじきさる (含羞草) 族 *Eumimoseae* 藥ノ先端無腺体, F. f. =  $K_{(2)}C_{(2)}A_4G_L$ , おじきさる (ねむりかき) 属 *Mimosa*.

*Tribus* (4) もだま (植藤子) 族 *Piptadeniaceae* 暫時藥先端有腺体, F. f. =  $K_{(2)}C_5A_{5+5}G_L$

(6) もだま (もだまづる植藤子) *Entada Phaseoloides* Merr. (= *E. scandens* Bth.) [分布] 九 (大島・屋久島)・琉・台・ノ山地自生, 藤本, 花早春。[生薬] 種子ヲ植藤子ト称シ藥用トス。[成分] 種子 = *Entadasaponin*・脂肪油線ヲ含有ス。[藥效] 種子ヲ煎取シテ變質 (腺病質) 藥トシ, 又洗滌料トス。[備考] 種子ヲ楊子入, 煙草入匙等ニ造ル。其他工藝品ノ材料トス。

*Subfam.* (ii) じゆけつ-いはら (けつめい 决明) 亞科 *Caesalpinioideae* H (①~③) 又互或互, 屢有枝又有利。葉ハ羽狀~再羽狀複葉 (觀揚數式稀奇數式), 節單葉無裂~介裂。花ハ傘,

①, 稀②, 5數性; F. f. =  $K_5C_5A_{5+5}G_L$  一般花式トスルニ  $C \rightarrow A =$  變化多ク  $K_{5+1}C_{5+1}A_{5+5}G_L$  ノコトアリ, 非蝶形花ナルモ屢假蝶形花也。  $C_5$  / 中後部 2 瓣着不發育,  $A_{10}$  / 中後部 3 瓣着離化ス,  $G$  ハ上向覆瓦列,  $C$  及  $A$  ハ屢減少又退化ス, 莢果ハ屢横隔ニ依テ介節トシテ節莢ヲ成ス, 又稀閉果アリ, 又1種子者 (コバイバ-バルサム) アリ。 概熱帯産, 少數温帯産。

*Tribus* (1) あかばのみ族 *Dimorphandreae* 互~互, 羽狀~再羽狀複葉,  $K$  片ハ番序連續。自産ノあかばのみ (*Erythrophloeum*) 属。

190 圖

[(190圖) はふさうノ花・蕾 (原圖).]



*Tribus* (2) コバイババルサムのみ族 *Cyrometreae* 互, 葉ハ偶數羽狀複葉, 円錐花序ハ腋生又頂生, F. f. =  $K_4C_6A_{4+4}G_L$

莢果ハ円球状容1種子。 南米北部中部及東部産 (熱帯~亞熱帯)。

○(17) コバイババルサムのみ (骨理波拔爾撒藥樹) *Copaifera officinalis* L. [分布] 熱帯南米北部産。[生薬] コバイババルサム *Balsamum Copaivae* ハ樹液ニ深キ孔穴ヲ穿通シ滲出セル *Balsam* 也。淡黄又褐黄色ノ澄明濃液ニテ微ニ橙色彩ヲ放テ特異ノ香気ト微苦辛辣味ヲ有ス。[成分] 本品ノ主成分ハ樹脂ノ揮發油溶液ニシテ苦味質ヲ含有ス, 揮發油ハ重 = *Sesquiterpene* = テ確查ヲ經タルハ *Cadinen*・ $\alpha$ - $\beta$ -*Caryophyllen*  $C_{15}H_{24}$  等ニテ樹脂ノ主成分ハ *Harysäure* 及 *Resene* 等



也。〔藥效〕尿道毒藥=シテ尿路ノ細菌性炎症即尿道諸器官ノ  
 疾患特ニ淋病性尿道炎及膀胱炎ニ應用ス。局方ロバイバル  
 ルサム<sup>1</sup>ハ尿路消毒ノ目的ニテ淋病・膀胱炎・腎盂炎ニ  
 液状・丸劑又乳劑トシテ1回0.5~1.0~2.0g1日(3~4回)4~8g  
 ヲ服用(カプセル使用)ス。〔處方例〕1)淋疾...コバイバルサム・  
 薑澄茄末各4.0龍膽末適宜以上煎60丸1日3回3丸宛。2)全  
 ...コバイバルサム・苦味丁義各20.0...以上1日3回30滴  
 1盞ノ水ニ和シテ服用。〔備考〕Copaivabalsamヲ生ズル藥木  
 ニ以上ノ外南米=C. guianensis Desf. (熱帶東部), C. coria-  
 cea Martius (ブラジル東部), C. Langsdorffii Desf.  
 (ブラジル中央部)等ヲ産シ皆同様ノ成分ト藥效ヲ有シ局方藥  
 トス。〔藥理〕ロバイバルサム<sup>1</sup>ヲ異ハシ尿ヲ長ク放置スル  
 ニ不發惡臭且細菌ハ殆ど繁殖セズ。而テ尿路疾患ニ有效ナル  
 ハバルサム<sup>1</sup>尿ヲ以テ洗滌トシラルル部介ノミ速ニ症狀輕快ス  
 ルヲ見テモ明也。然レモ大量使用ハ尿路ヲ強ク刺激シばら疹  
 蕁麻疹等ノ發疹・蛋白尿・血尿・腎臟ノ疼痛・急性尿停滯等ヲ起  
 スコトアリ。故急性ニハ刺激増大ス、依テ刺炎症ノ去リ亞急  
 性又慢性期ニ至リテ異ノバシ。

Tribus (3) たまりんどのき族 Amherstieae たまり  
 んどのき屬ハ互、偶數羽狀複葉、總狀花序ハ頂生、理論花式  
 ハ  $K_5 C_5 A_{(5)} G_1$  實驗花式ハ  $K_4 C_3 A_{(2)} G_1$  也。

○(8) タマリンドのき (答滿林度樹、羅望子) *Tamarindus*  
*indica* L. 〔分布〕熱帶亞非利加原産、現在ハアヲピア・ジヤバ

印度及西印度ニ移殖ス。〔生藥〕タマリンド(タマリンド果泥)  
*Pulpa Tamarindi* ハ莢果(不裂開)ヲ藥製シテ得タル果泥ニ  
 テ黒褐色柔軟ノ泥塊也、尿管及種子ヲ混在ス。微臭及酸味  
 ヲ有ス。〔成分〕果泥ハ林檢酸、枸橼酸、酒石酸(以上酸味ノ原因)及  
 其カリウム塩・粘液・砂糖ヲ含有ス。〔藥效〕果泥ハ清涼ノ目的ヲ  
 兼テ緩下劑トシテ用フ。1回50~200粒劑トシテ内服ス。局  
 方精製たまりんど *Pulpa Tamarindi depurata* ハ緩下劑  
 トシテ10.0~30.0粒服ス。〔藥理〕たまりんどノ諸成分ハ吸收  
 セテレ遊キ無機塩類ノ如キ作用アリ。是ハ植物性膠樣質ヲ  
 共含スル故ニシテ、其20.0~30.0ヲ内服セバ緩下ノ作用アリ。  
 〔處方例〕(1)緩下劑...たまりんど煎(10.0) 100.0 枸橼酸マグネシ  
 ヴム 10.0 マンナシロップ 15.0...以上調和毎2時1食匙。(2)  
 全...タマリンド煎(20.0) 100.0 硫苦 2.0 マンナシロップ 15.0  
 ...以上調和毎2時1小匙。

Tribus (4) はかま-かつら族 Bauhinieae 又ハ<sup>10</sup>葉ハ單  
 葉無裂又2浅~全裂、全縁。假蝶形花冠、 $F.f = K_{(5)} C_5 A_{5+5} V.$   
 $5 \vee 3 G_1$ 。

(9) はらけつめい (すはら-ばな、紫荊、花蘇芳) *Cercis chinensis*  
 Bunge 〔分布〕支那原産、日、鮮栽培。〔生藥〕樹皮ヲ藥用トス。〔藥  
 效〕皮部ヲ煎服セバ利尿・解毒・消腫ノ效アリ、又咬傷・膀胱炎・婦人  
 血道藥ニ煎用ス。〔備考〕觀賞用トシテ産植ス。

Tribus (5) かはらけつめい族 Cassieae H(①.③)又D(⑤.⑤),  
 葉ハ單羽狀複葉(總偶數)花ハ瓶巾唇中、 $F.f = K_5 C_5 A_{5+5} V. 5 \sim 4 \sim 3$ 。



△(10) かはらけつめい (のまめ, かうぼふ-ちや, ねむ-ちや, 山扁豆)  
*Cassia nomame* Sieb. (= *C. mimosaoides* L. V. *nomame*  
 Mak.) [分布] 本. 四. 九. 朝. 琉. 台ノ原野・嶺・路傍等ニ散生〜群生。〔生  
 薬〕<sup>マハンズ</sup>山扁豆 *Herba Nomame* ハ花ノ莖葉ヲ採乾セルモノ  
 ニテハ九月採取シ全草ヲ刈取り薬用トス。弘法茶又ねむ茶  
 ト稱スルハ全草ヲ細切セルモノニテ濃茶又豆茶トモ稱シ莢  
 果ヲ混交ス。東京, 千葉縣等多産。〔成分〕果 = *Emodin* 取リ酸  
 化メチールアントラヒノン<sup>1</sup> 0.1% 含有ス。〔薬效〕漢: 莖葉ヲ煎  
 煎<sup>コヒ</sup>炒リ茶劑トシテ飲用セバ香味頗佳ニシテ<sup>コヒ</sup>咖啡<sup>ニ</sup>似トシ  
 リ, 利尿劑トナリ腎臟病ニ煎服ス, 1日量 15~30g. 多飲セバ逆  
 エスルコトアリト云。豆茶ヲ焙ジ飲用セバ利尿 (水腫・脚氣)  
 消化不良及胃弱ニ有效。民間茶ノ代用品トス。

(11) はぶ-さ (望江南) *C. torosa* Cav. [分布] 北米原産 (一  
 説ニ熱帯原産), 日本栽培小葉 3~5 對銳頭也。坊木, 千葉, 埼  
 玉縣多産。〔生薬〕望江南 *Herba Cassiae* ハ根ニ共ニ全草ヲ  
 采期ニ採乾セルモノ也。莖葉果ヲ薬用トス。〔成分〕葉 = 極小  
 量, *Oxymethylanthracinon*ヲ含有ス。種子 = 單寧質  
*Gerbsäure*・粘液 *Schleim* (36%)・脂肪油 (2.55%)・揮發  
 油・*Emodin* 等ヲ含有シ, 又有毒性ノ *Toxalbumin*ヲ含  
 ム。〔薬效〕生薬ノ揉汁 (莖葉ハ煎汁)ヲ毒蛇・毒虫等ノ咬傷部ニ塗  
 布シ又揉葉ヲ貼付ス。或丁幾トセルはぶさ<sup>1</sup>丁幾ヲ塗抹ス。  
 葉ヲ煎服シテ下劑トス。又毘布ニ用フ。全草ヲ浴湯料トシ  
 痛風・リウマチス<sup>1</sup>ヲ治ス。種子ヲ食傷及腸痛ニ煎服ス, 1日

5~8g. 種子ヲ炒リテはぶ茶: 秋ニ建胃・利尿 (腎臟病)・補血・  
 強壯・解熱・腹痛・下痢止等ニ有效也, 又毒蛇・毒虫ノ毒ヲ消ス。1日  
 20~30g 煎服。根ハ煎服シテ水腫・脚氣ヲ治ス。

△(12) あびす-さ (决明) *C. Torae* L. [分布] 北米原産 (一説ニ南  
 亞細亞原産) 台. 琉. 自生状, 千葉, 茨城, 徳島多産。小葉ハ 2~3 對,  
 鈍ハ円頭, 葉ハ前種ヨリ細長也。〔生薬〕决明子 *Semen Cassiae*  
*Torae* ハ十月末種子ヲ採乾セルモノ, 長楕円形黄褐色, 滑沢也。  
 〔成分〕種子中 = *Emodin* (根莖 = 0.6% 莢実 = 0.7%) 及葡萄糖ヲ生ス  
 ル配糖体ヲ含有ス。〔薬效〕漢: 决明子ハ緩下又峻下熱  
 壯藥トシ又眼疾藥トス即視力ヲ増進且明確ニスル效アリ。  
 1回 5~10g. 1日 10~20g. ヲ煎服ス。决明子煎藥ハ視力ヲ  
 増進シ, 腸ノ蠕動ヲ亢進シ常習便秘ヲ治ス。体内ノ新陳代謝  
 ヲ盛ニス血液循環ヲ旺盛ニス, 胃腸病・消化不良・腸病ヲ治シ頭  
 腦ヲ明快ナラシメ, 神経痛・リウマチスヲ治シ利尿作用ニ由ル  
 白血球増加ヲ來シ, 從テ喰害作用ヲ高メ婦人經期・膀胱炎・  
 淋病・小兒永膿性消化不良ニ由ル体弱疳虫, 心臓病, 糖尿病, 脚氣,  
 水腫・水性肺膜炎・腹膜炎, 盲腸炎, 産前産後, 又妊婦ノ諸異常, 産後  
 熱・絞痺痛ノ預防産後ノ恢復線ニ顯著アリ, 又煎汁ニテ洗眼有  
 效等殆ど病良藥トナルト云フ。概焙テ煎用スルモ本質ニ依  
 リ生ノ極前服ノカ大效アリトスル者アリ。種子ヲ陰キニ蒸  
 ヲ浴湯料トス, 效用同前種。其他效用同前種。〔薬方例〕(1) 胃  
 潰瘍・胃下垂・胃痛 (*Emodin*ノ毒消作用ハ癌腫ノ進行性ヲ防グ  
 トセリ) 眼膜炎, 眼膜炎... 决明子・牻牛兒苗 20.0 重藥はまちさ(イ



ソマツ科)各12.0甘草4.0水5合...ヲ3合=煎詰メ、2巻煎ハ水4合ヲ2合=煎シ双方合セ5合煎液ヲ5勺(コップ半外)毎2-時間量=服用。(2)神經衰弱・リウマチス...決明子24.0 桑枝28.0...以上混煎分服。但チアス患者=ハ醫師ノ監督下=先ハまし油ヲ服セシメ後(1)煎液ヲ食後=與テ。(備考)根カ増進藥=3種アリ (1)草決明(蔓高のげいたろ), (2)石決明(おはひ), (3)決明子(あびすかま)是也。何レモ決明ハ明ヲ決<sup>ひ</sup>クノ意也。故下山博士ハはぶさろ及あびすかま兩種ヲ研究シ成分ハ共=Emodin化合物=ヲ最後ニ同様ノ結晶ヲ得タル旨ヲ発表(藥雜)シ双着學名異ルモ古來共=はぶさろト稱スト附記セラレタリ。効力=就テ支那産ヲ優レリトスルハ荒地又高地ニ自生又自生狀トナリ成分多合=因ル。栽培品ハ肥料多ク葉ヲ=莖葉ノミ繁茂スル=依ル。

(13) せんな (きだち-せんな, せんな樹, 桐那樹) *C. acutifolia* Delile [分布] 亞弗ナイル河中域産, アレキサンドリア港ヨリ輸出。[生藥] アレキサンドリア-せんな葉 *Folium Sennae Alexandrinae* ハ葉ヲ採乾セルモノニシテ小葉ハ楕圓形銳頭, 果ハ扁長楕圓形円頭也。[成分] 葉中=マリチ-ル酸・Rhein  $C_{15}H_{10}O_6$ ・Kämpferol  $C_{15}H_{10}O_6$  及其配糖体 (Kämpferin  $C_{27}H_{32}O_{16}$ ・Aloëmodin)・Myricylalkohol・<sup>リチ-ル</sup>Phytosterolin  $C_{23}H_{36}O_6$ ・Phytosterin  $C_{27}H_{46}O$ ・蔞酸, Mg, Ca 塩及酒石酸塩等=ヲ主成分ハ Oxymethylantrachimon-glykosid 也。[藥效] 屬方桐那葉ハ瀉利ノ效驗確實ナル故瀉下藥トシテ1日1.0~3.0

(0.5~1.5ヲ2回)ヲ浸劑・瀉劑・茶劑・粉劑・トシ觀他藥=伍シテ與テ效果大實=優ルコトアリ。屬方製劑ハ桐那含利別(センナシロップ)・複方甘草散・洋屬製劑ハ複方桐那瀉劑, 桐那浸瀉方桐那浸トス。峻下劑トシテハ2.0~4.0ヲ用ヒ, 痔=驅虫劑使用後ノ下劑トシテ賞用セラル。主效ハ急性便秘又常習便秘=用アルモ, 腸炎並アル時ハ禁忌トス。せんなしろつぷ(桐那含利別)...ハ他ノ瀉下性合劑=配伍シ1日15.0小兒ハ8.0乳兒ハ4.0ヲ内用ス。[製理]桐那ヲ楢=2~5g, 犬=5~20g, ヲ内服セシムレバ瀉下瀉。哺乳動物ノ分泌小腸標本ヲ依リ之=依用セシムルモ運動亢進ヲ不認。是あんしらせん誘導体が直接小腸=依用セザルヲ立證スルモノ也。桐那葉ハ大腸=依用シ視膜痛ヲ伴ヒ大實及ふらんぐら皮=比シ瀉下依用感シ。1~2gニテハ約6時間後=現ハレ, 依用酸和ナルモ4~5gニテハ數度ノ軟便又液狀便ヲ排泄ス。[處方例] (1)下劑...桐那浸(10.0)75.0 硫苦12.0 けちニシロップ10.0...以上調和毎2時1食量。 (2)合...桐那浸(40)60.0 茅根2.0...以上調和毎2時1食量。

(14) ながかは-せんな (長葉桐那) *C. angustifolia* Vahl. [分布] 紅海沿岸地域, 東亞弗利加海岸, 印度西南部産。[生藥] チンネツェルリー桐那葉 F. S. Tinnevely ハ葉ヲ採乾セルモノニテ, 小葉ハ披針形銳頭也。[成分] 前記諸成分ノ外=Isorhamnetin  $C_{10}H_{12}O_7$  及其配糖体ヲ含有ス。[藥效] 其他凡テ同前種。



(15)ニバのせんぼ(えくせんぼ, 安風) *C. glauca* Lam. [分布] 西印度原産, 日本栽培又帰化。[生薬] 葉ヲ薬用トス。[成分] 種子 = *Chrysophanicacide* ヲ葉 = *Anthrachinonglycosid* ヲ含有ス。[薬效] 葉ヲ痲痺素(血毒)同様に下劑又瀉下劑トシテ用ス。

(16)まんばん-さいかち(阿栗, 阿勃勒) *C. Fistula* L. [分布] 熱帯地原産, 日本帰化。[生薬] 阿栗(阿勃勒) *Fruetus Cassiae* の果実ヲ採取セルモノニテ長 50 セミ, 巾 2 セミ, 円柱形有酸澱暗褐色中 = ∞ 種子及果泥(甘ミ)ヲ藏ス。[成分] 果泥ハ蔗糖 53~66%・枸橼酸・單寧・パクチン・*Oxymethylanthrachinon* 等ヲ含ム。[薬效] 果実(英方・米準局法)及果泥ヲ瀉下劑トス。用量 4~8g. 煎服ス。

*Tribus* (6)らたにあ族 *Krameriacae* 互, 葉ハ單葉, 無柄・被毛,  $F. f. = K_4C_2A_3Gl$  (*Krameria triandra*).

△(17)らたにあ *Krameria triandra* Pursh. et Pavon [分布] 南米(ハル-, ホリビヤ)産ノ小互。[生薬] らたにあ根 *Radix Ratanhiae* ハ根ヲ採取セルモノニテ <sup>ハイマ</sup> *Payta* 産ヲ最良トス。[成分] 根ノ主成分ハらたにあ藤酸 *Ratanigerbsäure* 20%, 其分解産物タルらたにあ赤色素 *Rataninrot*  $C_{26}H_{22}O_{11}$ , ちろちんノ同列体ナル結晶性ノ *Ratanin* (即 *Methyltyrosin*  $C_9H_{10}(CH_3)NO_2$ ) ヲ含有ス。[薬效] 根ノ煎劑ハ收斂性強壯藥トシテ消化機衰弱, 慢性下痢, 赤痢, 内部出血等 = 用フ。1日數回 0.5~1.0g 粉末煎劑等トシテ與ヘ, 又其煎汁ヲ 洗口水藥トス。準局・らたにあ丁裁

(*Tinctura Ratanhiae*) ハ收斂, 内用止瀉; 外用口内塗布, 各嗽料等 = 用ス。

*Tribus* (7)じやけつ-いばら(雲實)族 *Caesalpinieae* 互~互, 葉有柄。葉ハ 1~2 回偶數羽狀複葉。 $F. f. = K_5C_5A_5+5Gl$  (*Caesalpinia*), 糖  $K_2C_4A_{4+4}Gl$  (さいかち屬)。

(18)じやけつ-いばら(かはら-ふち; はま-きさげ, 雲実) *Caesalpinia japonica* S. et Z. [分布] 本州, 九州, 朝鮮, 原野・山麓河岸 = 原生又散生, 花初夏。[生薬] 葉ハ長楕円状刀形, 褐色黒豆大種子 6~7粒ヲ容ル, 採取セル種子ヲ雲実 *Semen Caesalpiniae japonicae* ト稱シ, 薬用トス。花ハ黄色有毒也。[成分] 未詳。[薬效] 種子ヲ解熱藥(同收斂)トシ又止瀉藥(赤痢藥)トス, 又寄生虫駆除ノ效アリ, 1日量 3~5g. 煎服ス。[備考] 種子ハ甚堅重, 用ヒテ急球トス。

(19)しろつぶ *C. Bonducella* Flem. [分布] 小笠原, 琉球 = 自生。有仙枝。黄花。[生薬] 花葉及種子ヲ薬用トス。[成分] 種子 = 約 20%ノ脂肪油 *Bonducellin* ヲ含ム, 其他苦味質 *Bonducin* (*Guilandinin*)ノ外 *Saponin* 及 *Alkaloid* ヲ含ム如シ。[薬效] 種子ヲ煎服シテ解熱・消化劑トシ, 花葉ヲ 熱病及便秘 = 煎服ス。

(20)すはら(せほく, 蘇方, 蘇木, 蘇方木) *C. Sappan* L. [分布] 東印度・シヤム・ビルマ等 = 産スル大互。[生薬] 蘇方木又蘇木 *Lignum Sappan* ハ幹皮根ノ心材 = テ紅色又暗赤色又黒色也。之ヲ蘇方ト稱ス。[成分] 心材中 = 紅色色素 *Brasilin*



ヲ含ム。〔藥效〕心材ヲ削リ煎出液ヲ(赤紅色ノ液用トシ又腦面ニ用テ又根ノ木材ヨリ黄色染料ヲ採ル。樹幹ヲ削リ煎服シテ解熱藥又收斂藥トシ、産後ノ血脈・血運ヲ治シ、心腹痛・月經不順等ヲ治ス。

(21) フェルナンブッコ ほく (ゴヨシル ほく) *G. echinata* Lam. 南米(ゴヨシル中北部)産ノ木。〔生藥〕フェルナンブッコ木又ゴヨシル木 *Lignum Fernambuci* ハ其心材ニテ帶黃褐色ヲ呈シ、細切又削屑トシテ使用ス。其水煎汁ハ淡黄色ナレドあるカリニテ赤色ヲ増シ、鉛糖ニテ紅紫色ノ沈澱ヲ發ス。〔成分〕煎汁ヨリ淡黄色結晶ヲ析出ス、之ハ *Brasilin*  $C_{16}H_{14}O_5$  ナル色素ニテあるカリニテ赤液ス。〔效用〕昔時ハ水煎汁ヲ同散熱ニ應用セシモ、今ハ赤色染料又赤色墨汁、赤色假漆等ノ原料トス。

(22) わらごてふ *G. pulcherrima* Sw. 〔分布〕熱帯原産、日本栽培。〔生藥〕花葉ヲ藥用トス。〔成分〕莖葉ニ *Gallussäure* 及 *Gerbstoff*、*Benzoesäure* 及赤色々素 *Polychroit* 等ヲ含ム樹脂ヲ含有ス。〔藥效〕花葉ヲ熱病及便通ニ煎服ス。

△(23) さいかち (皂莢) *Gleditschia japonica* Mig. 〔分生〕本・元原野・河岸・山麓等ニ点生又散生。トゲなし・さいかち *v. inermis* Nakai 〔分生〕本・〔生藥〕皂莢 *Fructus Gleditschiae* ハ莢果ヲ採乾セルモノナリ、扁刀狀・長20~30cm 屢彎曲捻轉ス、赤褐色。果ヲ水ニ浸漬振盪セバ着ク泡沫ヲ生ズ。  
<sup>サカサカ</sup> 皂角子 *Semen Gleditschiae* ハ種子ヲ煎湯ニ煎沸シ乾燥セルモノニテ、扁指四形・徑1cm 黒褐色也。之ヲ破砕セバ着

ク噴嚏ヲ誘起シ、味苛酸粘液性也。長野・富山縣多産ス。  
〔成分〕莢ニ *Gleditschia-saponin*  $C_{59}H_{100}O_{20}$  約10%ヲ含有ス。〔藥效〕液：乾天反響子ハ煎服シテ祛痰藥又鎮咳祛痰藥トシ、利尿(淋病・消渴・水腫等)等トシ、交質藥(腺病、癩瘰等)トス。1日5~8~10g 煎服。種子ハ主ニ癩瘰・惡瘡等ニ1回1.5~3g 1日7g 煎服ス。空殻ノ糠ヲ皂刺文包角剝ト攪シ種子ト同一目的ニ用ヒ癩瘰・癰腫ニ1回1~2g 煎服ス。莢ハ喉痺及中風・痲瘋・消渴ニ煎服シテ有效、煎汁ハ痔ヲ洗ヒ、又粉末トシ氣絶者ノ鼻ニ吹入レ氣付藥トス。種子煎汁ヲ点眼セバ結膜炎(しほり目・いたみ眼)ニ有效。莢ヲ浴湯料(皂莢湯)トシ入浴セバ皮膚ヲ滑沢ナラシム、疥癬・水虫・田虫等皮膚病ノ痒ミヲ止メ、又石鹼ニ代用シテ洗濯料ニ使用ス。氏：莢ノ煎汁ニテ洗濯セバ石鹼代用トナリ、布帛、衣類、家具等諸物ヲ洗フニ能ク垢ヲ去リ兼質ヲ不害、又白馬ヲ洗フ時ハ毛鬣ヲ眩潔ナラシム。本樹ニ寄生スル菌類モ亦同效アリト云。津局・皂莢ハ祛痰藥トシテ1日量5g ヲ煎服ス。〔新藥〕(1) *Tusuin* (東京製藥)ハ祛痰藥。(2) *Exoxin* (東京宇津木)ニ在。〔備考〕莢ヲ煎シテ褐色染料トス。春嫩葉ヲ採リ食用トス。〔藥理〕皂莢ニハ淡黄色無晶形物ニテ初味甘ク後苛辣、着ク噴嚏ヲ誘起ス、其水溶液ハ他ノさほにん液ト同様赤血球ヲ崩壊ス。本さほにんの透血作用ハ山羊血球ニテ試験スルニ75000倍也。家兔ノ靜脈内注射ニテハ体重1gニ付40~47mgニテ致死セシム。此毒性ハさほにんノ1/100、セネギンノ1/10ニ相當ス。



[漢方] (1) 利戟性祛痰藥トシテ気管枝加答塊及喉痺ニ用フ... 皂莢子 7.0 水 100.0... 以上 1 日量煎劑分服。 (2) 皂莢 2.0 水 100.0... 以上 1 日量煎劑分服 (3) 鎮咳・祛痰・驅風藥... 皂莢 5.0 桂枝 1.0 石膏 4.0 甘草 2.0 生姜 1.0 水 200.0... 以上 1 日量煎劑トシテ分服。

(24) ロツグウード の 木 (かんへしあ木) *Haematoxylon Campechianum* L. [分布] 中米及西印度産ノ常緑木。 [生薬] カンパシア木スロツグウード *Lignum Campechianum* (*Lignum Haematoxyli*) ハ英心材ニシテ、之ヲロツグウードト稱シ、暗赤〜黒色ヲ呈シ染料ニ費用ス。香気(紫重花香)佳快。甘味収斂性也。水煎汁ハ紅紫色、あるカリニ因テ紫藍色・鉛糖ニ逢テ類藍色沈澱ヲ生ズ。 [成分] 心材ニ *Haematoxylon*  $C_{16}H_{14}O_6 + 3H_2O$  ナル赤色々素ヲ含ミ、之レガ容易ニ酸化セラレテ *Haematein*  $C_{16}H_{12}O_6$  (赤褐色々素) トナリ赤色結晶体ニテ黒色染料トシテ使用セラレ(顕微鏡實驗用生体染色劑・染液染料トシテ尊重セラル。) 心材ノ煎汁ヲ収斂劑又殺菌藥トス。

Subfam. (iii) 蝶形花(胡蝶花)亞科 *Papilionatae*  
H(①~③)又豆又<sup>ハ</sup>。 概複葉(3出羽狀~單羽狀、概奇数稀偶数、稀双出羽狀)、稀3~9出掌狀又單葉、有托葉、有柄。花ハ全稀半<sup>ハ</sup>。①蝶形花、F.f. -  $K_{(5)}:C_5A_{(5)}:r_{(5+5)}:r_{\infty}G_1$ 、宿存Kハ概 $K_{(5)}$ 、蝶形花冠(*Corolla papilionacea*)ハ旗瓣(*Vexillum*)、翼瓣(*Alae*)、龍骨瓣(*Carina*)ヨリ成ル。Cハ蕾時上向覆瓦

列、莢2体(2束)A。 概莢果瓣部莢又蝶狀莢也。

191 回

*Tridax* (1) くらら(苦参)族 *Sophoreae*



互~互稀<sup>ハ</sup>、奇数羽狀複葉、 $K_{(5)}:C_5A_{(5+5)}:r_{\infty}G_1$ 、  
[(191回) 魚んどうノ蝶形花(源因)]

莢果。

(25) くらら (くさ・魚んじゆ・まのねの・さき) *Sophora angustifolia* S. et Z. [合生] 本・四九朝・流石ノ原野・山麓ニ点生~散生  $K_{(5)}:C_5A_{5+5}G_1$ 。 [生薬] 苦参 *Radix Sophorae* ハ秋季根ヲ採斫セルモノニテ黄褐色、概横切ス、莢ヲ苦シ。其他莖・葉花(種子)ニ藥用ニ供ス。 [成分] 根ニ *Matrin*  $C_{15}H_{24}N_2O$  (塩基) 量2%ヲ含ム。種子ハ脂肪油13%及少量ノ揮發性塩基 *Cyasin*  $C_{11}H_{14}N_2O$  ヲ含有ス。 [藥效] 苦参ヲ苦味健胃藥トス、又蛔虫驅除藥煎劑(1日量4:100)トス、其他解熱利尿ノ目的ニテ胃疾患・肝臟病・癩病・熱性下痢等ニ有效、又解毒藥(野桑中香)トナル。1回1~2g 1日量5~10g。煎汁ハ朝鮮ニテハ眼疾ヲ洗フ、又皮膚病ノ因タル疥癬及皮膚寄生虫驅除藥トシテ塗布ス。全草ノ煎汁ヲ牛馬寄生虫驅除藥トシ又農作物害虫驅除ニ用フ(乾全草300g=水5立ヲ加入40~60分間煮沸シ煎汁ヲ用フ。又乾草半升ヲ水1升ニ煮詰メ使用時水ヲ加ハ倍量トス)。煎汁ヲ便所ニ注シ蛆ヲ殺ス。台湾ニテハ毒蛇咬傷ニ煎服ス。子実ヲ煎服セバ毒毒ヲ解ス。花一握リヲ水ニ合シ煎ジ2合ニ煎詰メ4回ニ分服セバ癩ヲ治ス。此目的ニハ莖葉煎汁ニ同故アリ。 民:莖葉根ヲ細切シ便量ニ



投入シ蛆ノ養生ヲ豫防ス(うじころしノ別名之ヨリ出ス)。〔藥理〕*Matrin*ノ動物ニ對スル一般中番作用ハ金線蛙ニ於テハ初一過性ノ刺戟病狀ヲ呈スルモ、次ニ麻痺作用現レ、呼吸運動ハ不規則緩慢トナル時ニ、痙攣痙攣ヲ起シ遂ニ呼吸停止ノ下ニ墜ル。而テ此際起ル痙攣痙攣ハ恐クハ脊髄反射亢進ニ基因シ麻痺作用ハ初中枢性ナルモ、後ニハ末梢ニ犯サルル如シラツク及家兎ニテハ主ニ中枢神経系統ヲ襲ヒ、麻痺的ニ作用スルモ、痙攣中痙攣痙攣ヲ呈シ呼吸運動停止ヲ以テ終ル。*マトリン*ノ皮下注射ニ依ル致死量ハ家兎ノ体量1匹ニ付約0.7g也。其作用ハ最初大腦ノ麻痺、次ニ痙攣中樞ノ興奮ニヨリ強度ノ痙攣ヲ起シ、遂ニ膈膈膜並ニ呼吸筋運動神経末梢ノ麻痺ニ依ル呼吸停止ニ依テ死ス。*マトリン*ノ生理作用ハ *Cytisin* (種子含有)ニ相似点アリ、*Dale*氏ニ據レバしちじんハ其生理作用稍 *Nicotin*ニ類スト云。〔備考〕莖ニ纖維ヲ取り織物及其他ノ用ニ供ス。

(26) えんじゆ (えんじゆ、槐) *S. japonica* L. 〔分布〕支那原産、日本栽培。〔生薬〕槐花(槐米、槐花米) *Flos Sophorae japonicae* ハ末開ノ花蕾ヲ採乾セルモノニテ、温浸セバ呈鮮黄色。(槐実又槐刺(果実)及槐葉(葉)ニ藥用トス(槐莢)。〔成分〕花ハ *Flutin* (配糖体)ヲ含有ス。是ハ加水分解ニヨリ *Quercetin*、葡萄糖及 *Rhamnose*ヲ生成ス。果実中ニ配糖体 *Sophorin*  $C_{27}H_{39}O_6$  及其分解生成物タル *Quercetin*  $C_{15}H_{10}O_7$  及 *Enisol*ヲ含有ス、原ニセ一ルハ恐クハ果実中ニ配糖体トシテ存スベシ。〔藥效〕環：槐

花ハ之ヲ炒リ煎シ又煎服セバ止血藥(止血、溶血、膀胱出血、腸出血)トナリ、又腸風下血ト欲スル便秘排出ニ先チテ出ル直腸出血及赤痢並狀等ニ一日8~10g煎服ス。槐葉槐實(種子ニ)・蜜皮等ノ煎汁ハ陰囊ノ濕疹及痔疾等ニ沈澱藥トシテ有效。槐實ハス痔疾藥トシテ煎服ス、朝鮮ニテハ煎汁ヲ以テ濕痒ヲ治ヒ、花ヲ中風痙攣、腹熱血毒腫瘡、蛆虫驅除ニ内用煎服ス。〔藥理〕動物ニ食セシムレバ局所刺戟ノ結果胃腸炎ヲ起シ下痢・痙攣等ヲ惹起ス。〔處方例〕(1)止血藥...槐花8.0 水100.0...以上煎劑1日量3分服 (2)同...槐花30 黃芩2.0...以上粉末トシ3分服。(3)痔出血藥...槐花4.0 枳實2.0 薊苳2.0...以上煎劑1日量3分服。(4)痔藥...槐實30.0 水600.0...以上煎劑患部洗滌。〔備考〕材ヲ運葉用・器具用トシ又庭植ス。嫩葉ハ焔テ食用トシ或ハ晒乾シ茶ノ代用トシテ飲用ス。花萼(槐花米)ハ黄色ナリ、物ヲ染ムベシ染料トス、唐本ノ表紙ハ之ニテ染ム(日本ニテハカリヤサヲ用フ)、凡テ槐屬ハ大樹トナレバ心材紫色化シ美シク諸器ヲ作ルニ適ス。

○(27) パール・バルサム のき(ハルハルサム樹) *Myroxylon pereirae* Klotzsch. (*Toluifera pereirae* Baillon) 〔分布〕南米東岸サンサルバドル(バルサム山)中。  $K_{10}C_{15}A_{(15)}G_1$ 。〔生薬〕局方・パール・バルサム *Balsamum peruvianum* ハ樹脂ニシテ先ツ樹皮敲打シ或剝離シ5日後炬火ニテ烘燥シ8日後多重蒸出スル *Balsam*ヲ布片ニテ覆ヒ吸收シ、更ニ蒸面ヲ煎ニシ2~3回及覆ス、其合脂布片ヨリ *Balsam*ヲ煮沸溶集



シ次 = 布片ヲ散リ採取シ共 = 燻中 = 靜置シ水分ヲ揮發シ去リ  
 清澄樹脂トシ販賣ス。暗褐色ノ濃油様液 = テ非粘着性非  
 毒縁性・非乾性・酸性反應・微苦味・ワニルヲ香・比重 1.15、くろろ  
 ぼるむ及酒精 = 溶ケ水 = 不溶。〔成分〕第一主成分ハ素体、  
<sup>チナメイン</sup>  
*Tinnamein* (56~64%) = テ主 = *Benzoesrebenzyl-*  
*ester* (安息香酸ベンチール  $C_6H_5COO-C_7H_7$ ) ト *Zimtsäure-*  
*benzylester* (桂皮酸ベンチール  $C_6H_4-COO-C_7H_7$ ) ヨリ  
 成ル。第二主成分ハ樹脂也。〔藥效〕局方・ハルバルサム<sup>7</sup>ハ防  
 腐藥 = テ又疥癬ノ特效藥也。酒精 = 溶シ塗布外用ス。又 5~10%  
 軟膏トス。粘膜炎症 = 用ヒ、肺癆 = 用フルモ稀也。〔處方例〕(1)  
 疥癬除除藥...ハルバルサム 15.0 酒精 60.0 以上混和塗布  
 (5.0~10.0 塗擦、翌日反覆、3日入浴洗除。尚慢性皮膚病 =  
 10%軟膏塗擦)。2) 全...ハルバルサム 15.0 硫黃 15.0 豚脂 90.0  
 以上ヲ調和(ハルバルサム硫黃軟膏)シ患部 = 塗布ス。

○(28) トルバルサムのき (トルバルサム樹) *M. toluiferum*  
 H. B. K. (*Toluifera Balsamum* L.). 〔分布〕南米ハネ  
 ズエヲ・コロンビヤ・ハル - 等 = 産シ、特 = 北部マグダレナ河下  
 流ノトル - 7 附近多産。〔生産〕局方・トルバルサム *Balsa-*  
*mum toluitanum* ハ樹幹 = 穿孔且溝ヲ窪リ下部 = 貯器ヲ  
 附加シ滲出液ヲ採集セル樹脂 = シテ幹上部 = 及ボス。初樹  
 黄色ノ粘稠液ナルモ後褐色堅硬脆性ノ結晶性塊トナル。佳  
 味ノ香気ト芳香性酸味ヲ有シ微 = 苦辣也。比重 1.2 = テ 30°  
 = 軟化 60°~65° = テ熔融ス。酒精・アセトン・水醋・クロロホ

ルム等 = 溶解ス。〔成分〕芳香性油様液 *Toluiferinotannol*  
 5%ヲ含有ス。之ハ安息香酸ベンチール<sup>7</sup>及桂皮酸ベンチール<sup>7</sup>  
 ヨリ成ル。此他遠藤ノ安息香酸・桂皮酸・わにりん脂ヲ含有  
 ス。〔藥效〕局方・トルバルサム<sup>7</sup>ハ慢性気管枝如管児(甚痰藥、  
 カプセル: 0.2~1), 結核等 = 0.15~1.0g.ヲ内用ス、外用 = ハ  
 鎮痛劑トス。局方 = テハとる。一はるさむ含利別ヲ製シ又沃  
 度鉄丸 = 衣ヲ附ス。又矯臭藥トス(外用塗布)。〔備考〕<sup>チルヒ</sup>  
 氏ハ本植物ヲ前種ノ生理的交配也ト主張セルモ別種ナルハ  
 シ。

*Tribus* (2) せんたい - はぎ族 *Podalyriaceae* 5 科 ④ 單葉又  
 掌狀複葉,  $K:5; C_5 A_{5+5} \bar{G}$ 。藥草ナシ。

*Tribus* (3) たぬきまめ 族 *Genistaceae* 5 又 ①~④ 單又掌  
 狀複葉 (小葉ハ全縁),  $K:5; C_5 A_{(5+5)} r. (9) \bar{G}$ 。概濠及河南ノ産  
 也。

(29) きはら-はらちまめ (きのぼりふじ) *Lupinus luteus*  
 L. 〔分布〕南歐洲原産、日本栽培。〔成分〕種子(或全草) = 心臟毒  
 ナル極基 *Lupinin*・*Lupinidin* ヲ含有スル毒草也。〔藥  
 效〕未詳。

(30) おほみつばたぬきまめ (きはら-はぎ) *Crotalaria*  
*trifoliastrum* Willd. 〔分布〕台 = 自生ス。〔生藥〕根ヲ藥  
 用トス。〔藥效〕根ヲ豚胃ト酒水各等量ヲ以テ 2 重燻トシ煎  
 液セバ手足ノ柔軟ナルヲ治シ、腫物ヲ散ズト云フ。

(31) えにしだ (金雀花) *Cytisus scoparius* L. 〔分布〕歐洲



原産、日本栽培。〔生薬〕元にしだ菘 *Columna Cytisi* の花穂ヲ採乾セルモノ也。金雀花ハ花ヲ採乾セルモノ也。〔成分〕葉及莖ニハ *Spartiumalkaloide* トシテ *Sparteïn*  $C_{13}H_{24}N_2$  <sup>サロフェミン</sup> *Sarothemin*  $C_{15}H_{27}N_2$  (以上結晶性) 及 *Genisteïn*  $C_{16}H_{29}N_2$  (揮發性) ヲ含ミ又中性物質 *Scoparin* ヲ含有ス。〔薬效〕花ヲ利尿劑トス。莖葉ヨリ硫酸すばるては *Sparteïne sulphate* (瑞・米局方) ヲ製シ強心藥トス、ちぎたりす莖ニ比シ奏效不確実ナルモ叙ノ奏效セザル場合ニ奇效ヲ奏スルコトアリ、用量 0.01 g. 1日 2~3回内服。又利尿藥・吐下藥トシテ内用ス、1回 0.03 g. 也。 *Sparteïn sulphat* ハ強心劑、1回 0.02~0.2 g. ヲ 1日 2~3回内服ス。 *Oxysparteïn* ハ強心劑、0.45~0.1 g. ヲ皮下注射ス。〔薬理〕 *Partein* ハ利尿劑トシテ心臟病患者並其他ノ水腫ニ用ヒラル、英國ニテハ此目的ニ本生藥ヲ用ス。是ハ本植物ハ利尿作用ヲ有スル *Scoparin* ナル苦味質ヲ含有スレバ也。〔藥方例〕心臟瓣膜病藥ニ硫酸スバルテイン 0.5 (日藥量 0.6) シロップ 20.0 溜水 300.0 以上調和、1日 3~4回、毎 1食匙。〔備考〕觀賞用トス。

(82) しろ-えにしだ (白金雀花) *C. albus* Link. 〔分布〕歐洲原産、日本栽培。生薬・成分薬效同前種。觀賞用トス。

(83) きんぎょざり (きんねんくわ、きばば-ふち、金蓮花) *Laburnum vulgare* J. Presl. 〔分布〕歐洲原産・日本栽培。元にしだ直似ノ大木。〔生薬〕金蓮花ハ全植物体各部ヲ採乾セルモノトス。〔成分〕根皮・樹皮・葉花芽・莢・種子中ニ *Cytisin*

$C_{11}H_{14}N_2O$  ヲ含有ス。種子ハ有毒ナリ。〔薬效〕農業殺虫劑トスズベキカ? 〔薬理〕 *Cytisin* ハ主ニ胃腸粘膜ヲ刺激シ且血管運動中枢及呼吸中枢ヲ刺激シタル後麻痺ス、而シテ其作用ハ *Nicotin* = 類似スルニ其毒性ハ其老ニ半強度也。〔備考〕觀賞用トス。

*Tribus* (4) しやばくさ (車軸草) 族 *Trifolieae* (3), 3~多出掌状複葉羽状複葉皆小葉ハ有細鋸齒縁、 $K_{(5)}C_5A_{(6)}T_{(5+5)}$ 。

(34) しろやう-あけぼのけし (メリロート-さる) *Melilotus officinalis* Lam. 〔分布〕歐洲及中央亞細亞原産、日本栽培。〔生薬〕全草ヲメリロート草 (メリカ-ツク草) *Herba Meliloti* ト称シシ出葉黃化繸状花序採乾シテ藥用トス。〔成分〕葉ニ揮發油ヲ含ミ中ニ *Cumarin* ヲ含有ス、種子ニ脂肪油ヲ含ミ *Cumarin* 芳香ヲ有シ、莖ニ *Cumarin*, *Melilotsäure*・*Cumarsäure*・*Melilotseures* *Cumarin*・*Melilotol* ヲ含有ス。〔薬效〕全草ヲ區布劑 (サウマチス・気管枝カルク等) トシ、花ハ煙草ニ香氣ヲ附スルニ用フ。

(35) れいりやうから (零陵香、草零陵香) *M. odorata* Anbl (*M. Coerubens* Lambe.) 〔分布〕支那原産。〔生薬〕全草又莖葉・花・花 (夏) 時刈取リ陰干シ藥用トス。全草特ニ花ハ從乾燥後佳香性アリ。〔薬效〕全草 (莖葉) ヲ煎用シテ清涼劑トシ又區布劑 (リウマチス・北漢便毒) トシ又熱性傳染病・胃病・鼻茸等ニ有效。花ハ有香氣故香料トス。又其極緩和劑區布劑トス。











甘草)ニ或剥皮(皮去甘草)乾燥トルモノナリ、長1m. 内外径3cm. 内外無分岐、赤褐色、断面木部黄色、質疎鬆也。日局方收載、特殊ノ甘味ヲ有ス。(2)西班牙甘草ハ *G. glabra* L.ノ根ヲ採乾トルモノ也、灰褐色〜灰色、長1m. 内外径4cm. 西・佛・伊ニ産ス、英・佛・意方ニ收載ス。(3)墨西哥甘草ハ *G. echinata* L.ノ主根ヲ採乾トルモノ也、長40cm. 径10cm. 質輕鬆也、南溪・カリシヤ・匈牙利産、日局方收載。〔成分〕根 = Glycyrrhizin (別名 Glycyrrhizinsäure)  $C_{42}H_{64}O_{19}$  ナル甘味質ヲ含ム、是ハ酸 = 依テ次式ノ如ク加水分解ス...  $C_{42}H_{64}O_{19} + 2H_2O = C_{32}H_{48}O_7 + 2C_6H_{10}O_5$  其他蔗糖 (Rarzgucker) 葡萄糖 (Glucose)・Mannit・林糖酸・Asparagin 等ヲ含有ス。〔兼效〕局方甘草ハ主ニ緩下・緩和・矯味薬トシ又賦形(丸散)薬トス、又鎮咳ノ效アリ。但多飲セバ、経頭痛・吐気ヲ起スコトモアリ。近時甘茶同様膏油甘味料トシテ多量ニ消費ス。又局方甘草賦形藥 Extractum *Liquiritiae* 及甘草煎 *Succus Liquiritiae* 製造原料トス、甲ハ丸散賦形薬又矯味アル合劑ノ矯味薬 = 3.0~5.0g ヲ用ヒ、祛痰薬トシテ 0.6~2.0g 内服ス、乙ハ甲同様ニ用ナルニ主ニ丸散賦形薬トス。此他数多ノ局方薬(複方甘草散・亞砒酸丸・薑蒼ヤラツバ丸・クレオソート丸・炭酸クレオソート丸・炭酸クアヤコール丸・ゴム散等)及準局方薬(複方センナ錠劑・亞細亞丸・硫酸アトロピン丸・サルチル酸水銀丸・イヒチオール丸・複方クレオソート丸・大風子丸)等ヲ製ス。〔新薬〕Glabin (東京品)ハ喉頭炎・喘息等ノ咳嗽諸病ノ鎮咳薬トシ又音聲ヲ清朗ナラシム、糖

水及錠劑アリ。漢：鎮咳・祛痰藥・咽喉諸病百藥ノ解毒ニ煎服。甘草ハ粘滑寒ノ效アリ、散・丸等ニ配伍ス。甘草賦形藥(局方)ハ水煎ニテ丸散製造又膏油甘味料トス。甘草煎(局方)ハ水煎沸後壓搾シ煎汁ヲ蒸發セシ賦形藥也、丸散製造又調味料トス。〔藥理〕ぐりぢりぢんナル甘味質ヲ有スル故ニ藥劑(丸散・浸漬劑等)ノ矯味藥トシテ貴重也、又気道ニ感ズルニ對シ液劑ノ效アル效譽應用セラル。〔處方例〕(1)甘草湯(咽喉痛及咽喉諸病)---甘草 3.0 水 100.0 --- 以上煎劑、1日3回温服。(2)排膿湯(膿血ヲ排シ祛痰ニ有效)---甘草 10.0 桔梗 5.0 生薑 5.0 大棗 12.0 --- 以上煎劑 200.0 1日3回分服。(3)甘草湯(鎮咳藥)---甘草 2.0 葛根 5.0 水 200.0 --- 以上1日量煎劑3分服。(4)甘草桔梗湯(咽喉加感)---甘草 3.0 桔梗 3.0 水 200.0 以上1日量煎劑分服。

(48) 藍 (いんどうあめ、三いはんこまつなき、らんぱんあめ、木藍、印度藍) *Indigofera tinctoria* L. (糸布) 印度原産、熱帯各地栽培(台湾)ノ互。〔生薬〕全株又葉ヲ木藍ト稱シ染料トス。〔成分〕全株 = Indican  $C_{14}H_{17}O_6N$  (配糖体)ヲ含ム。是ハ加水分解ニ依テ Indoxylト葡萄糖ヲ生ズ、甲ハ空氣酸化ニ依リ藍色ノ Indigotinヲ次式ノ如ク生ズ〔Indican (→ Indoxyl → Indigotin)〕。〔兼效〕葉ヨリ藍錠及藍泥ヲ製シ藍染料トス。

(49) 藍 (らんぱんこまつなき、木藍) *I. Anil* L. (糸布) 印度原産、日本歸化又栽培(台)生薬、成効凡同前種。〔備考〕前種ニ比シ大形、小葉少、莖反曲。台湾ニテハ本種ヲ蒼青前種ヲ水青前種ヲ水



藍ト總稱シ共ニ製藍料ニ栽培ス。

(50) みのほのこまのなま *J. tripartita* L. [分布] 琉・台・自  
生②。〔生薬〕全草ヲ三葉青ト稱シ薬用又食用トス。〔成分〕全草  
ニ *Indican*  $C_{17}H_{17}NO_6 + 3H_2O$  ヲ含有ス。〔薬效〕全草ヲ *Indigotin*  
(藍活) ヲ造ル原料トシ、又生ノニハ瀉瀉・瀉瀉等ニ塗ル、又地毒  
ヲ解テ。

(51) おらんだひ (破胡紙) *Psoralea corylifolia* L. [分布]  
印度原産、日本栽培ノ①。〔生薬〕種子ヲ破胡紙(茶目紙)ト称シ黒  
色・香気高ノ味酸シ。〔薬效〕種子ヲ強壯薬トシ衰弱者ニ又腸結  
核性下痢並腹痛遺精等ニ用テ有效、1回1.5~3g. 煎服ス。

(52) ふち (のたふち、むらさきふち、紫藤、藤) *Wistaria florifunda* DC. [分布] 本邦琉ノ山野ニ散生。しるばなふち *V.*  
*alba* Bailey 栽培。〔生薬〕藤根ハ根ヲ採老輪切セシモノ、藤  
瘤ハ木部ノ寄生菌茸、或根瘤也。〔薬物〕根ヲ煎服シテ利尿劑ト  
シ水腫病ヲ下シ、或筋骨ノ疼痛ヲ治ス。藤瘤(根瘤)ハ胃瘧ヲ治  
スト云、1回0.5~1g. 煎服ス。嫩葉ハ陸干シ茶ノ代用トス。風味  
佳也。藤花(半開花)ヲ煎服セバ酒醉ヲ解テ。藤實(藤子)ヲ炙リ  
敗酒ニ入レバ其味ヲ旧ニ復スト云。〔備考〕花ニ四季咲藤アリ。  
白藤ハ花白ク年2回開花ス、播津國野田藤ハ穂長1~1.7m. ア  
リ。老藤蔓ヲ横切シ土瓶敷トス、<sup>シクシ</sup> 藤梨ニ似タリ。嫩葉ヲ蔬菜  
トシ食シ又飯ニ雜テ食フ、山人茶ニ代フ。花亦可食、藤花菜ト  
称ス、熾テ酸リ醋味嗜和トシ食フ、支那ニテハ半開花ヲ塩湯ニ  
浸シ醃漬ニ入レ煎テ晒乾シ貯食ス。藤實ヲ煨キ食ハバ味略

乘ニ似タリ。發芽前採葉剥皮シ鹽ニ入レ木灰ヲ加ヘ一煎シ、  
取出シ再外皮ヲ去リ晒乾シ纖維ヲ採リ藤布・紫繩(藤繩)トシ又  
草履裏トシ又裁縫・土瓶敷・襪履・笑草ヲ編ム。本曾山島藤布ヲ  
たこぬの(方言)ト云フ、豊州ニテハふちだこト云フ農家用不少。  
古來觀賞用トシ花ヲ賞ス。

(53) やまふち (山藤) *W. brachybotrys* S. et Z. [分布] 本・四・九ノ  
山地ニ散生又散生群生ス、花穂ハ短小・苞ハ大葉裏密毛。し  
るふち *V. alba* Mill. [分布] 栽培、白花品也。以下同前藍。

(54) どくふち (きよとら、あつかはまめ、黒藤) *Millettia taiwa-*  
*niana* Hayata [分布] 台ノ山地ニ自生スル。〔生薬〕藤根  
*Radix Millettiae* ハ根ヲ採乾セルモノ也。多分成着根瘤。  
暗褐色。台湾多産。〔成分〕根ニ *Rotenon*  $C_{22}H_{22}O_6$  約1% 及  
*Anhydroderoid*  $C_{22}H_{22}O_6$  ナル2種ノ結晶性殺虫成分ヲ含  
有ス。〔薬效〕*Rotenon* 及樹脂狀物質(本植物含有)ハ殺虫力  
アル故根ノ搾汁又煎汁(又其殺菌)ヲ農用殺虫劑トシテリス<sup>1</sup>根  
代用トス、又疥癬治薬トス。台湾蕃人ハ魚獲用(鮮根搗碎汁  
液ヲ河水投入)トス。

(55) むらさきなつふち (紫豆藤、川藤) *M. reticulata* Benth.  
〔分布〕台ノ山野ニ自生スル、花初夏。〔薬效〕莖ヲ搗碎シ搾汁ヲ  
双橋・打撲劑ノ局所ニ貼布ス。

(56) はりゑんじゆ (にせあかし、針楸) *Robinia pseudaca-*  
*cia* L. [分布] 北米原産ノ落葉木、日本栽培。〔生薬〕樹皮ヲ薬用  
トス。〔成分〕はりゑんじゆ屬ノ成分ハ *Indican*・*Acacetin*



等ノ色素, Robinin (澱粉体)・Rodin (有毒成分)ヲ含有ス。荷皮 = Rodin (蛋白性色素 Erythrocyanin = Ricin・Quercin)ト同様体内 = 與レハ同次抗毒素 Antiricin ヲ生ズ)ナル植物性蛋白ヲ含有シ、其薬物学的依用ハ Ricin ト同様也。〔藥效〕  
〔備考〕杉路樹 = 埋藏 (札幌・東京多)シ材ハ取取無比耐久性大ナル良材、建築用 = 費用ス。

(57) のびさねむ (念んせい) *Sesbania aegyptiaca* pers. [分布] 台産ノ②。〔生薬〕葉ヲ薬用トス。〔藥效〕葉ヲ搗碎シ局部ニ貼付シテ瘻ヲ治ス。

*Tribus* (1) いはわらぎ (岩黄耆族 *Hedysaraceae* ②) 又互ニ葉ハ3出掌状又羽状複葉,  $K_{15}; C_6 A_{10}; T. (5+5) G_1$ , 節莖又莖葉。

(58) いはわらぎ (たてやまわらぎ, 岩黄耆, 立山黄耆, 和産黄耆) *Hedysarum japonicum* (Fedtsch.) H. *Koidzumii* nov. sp. (Syn. *H. alpinum* L. v. *japonicum* Fedtsch. subv. *glabrum* Otwi (*H. esculentum* Ledeb.)) [分布] 北・本 (中北部)・ノ寒地帯希有存寒地帯(北) = 散生〜群生ス。〔生薬〕根ハ長肥大, 果實ト共 = 薬用トス。〔成分〕未詳。〔藥效〕根ヲ煎用シテ緩和強壯藥 (元氣ヲ旺盛ニシ脾胃ヲ壯ニシ血ヲ増生ス) トシ又利尿・解熱・止汗(?) 藥トシ子実ヲ煎服シテ下痢止又赤痢ヲ治ス。又支那産黄耆ノ代用品トス。

(59) むらさきいはわらぎ (紫花岩黄耆) *H. alpinum* L. [分布] 欧亞ノ高山寒地帯 = 自生スル②, 結寒地植物。他ハ前産 =

要同様。

(60) くろせんのいはわらぎ (からふとけんげ) *H. obscurum* L. [分布] 朝鮮ノ山岳 (寒地帯) 産。 (ちしまげんげ v. *neglectum* Trautv. [分布] 樺・千・北ノ寒地帯産。他ハ(58) = 同様也。

(61) くまねむ (合前) *Aeschynomene indica* L. [分布] 北・西・元・朝・琉・台ノ原野・路傍 = 散生。〔生薬〕全草ヲ採乾セルニシテ。〔藥效〕全草ヲ陰干トシ炒リテ茶代用トシテ飲用ス。又利尿・消化ノ效アリ。前刻ハ諸病ヲ治シ強壯藥トス。

(62) ささはき *Alysicarpus vaginalis* DC. [分布] 琉・台ノ原野生ノ①。〔藥效〕全草ヲ煎服セバ小兒ノ食傷ヲ治シ消化ヲ助ケ發育ヲ旺盛ニス。根ハ肺病ヲ治ス。

○ (63) なんきんまめ (落花生, たうじんまめ) *Arachis hypogaea* L. [分布] 南米原産ノ①, 千葉・神奈川・埼玉・静岡・台湾多産。〔生薬〕種子ヲ落花生ト称シ局外落花生油採取ノ原料トス。〔成分〕種子粗肉(%)ハ水 5~8, 含N物 20~30, 脂肪油 40~50, 澱粉 8~21, 糖維素 2~5, 灰分 2~4 也。脂肪油即落花生油ハ主 = *Olein* (油酸・グリセリド)ヨリ成リ其他 *Linolsäure*  $C_{18}H_{32}O_2$ ・*Hypogaeasäure*  $C_{16}H_{30}O_2$ ・*Lignocerinsäure*, *Arachinsäure*  $C_{20}H_{40}O_2$  等, *Glycerid* (グリセリド) (グリセリンエステル)ヨリ成リ、種子中ノ塩基ハ *Arachin*  $C_5H_{14}ON_2$ ・*Cholin*・*Betain* 等也、其他 *Lecithin*・*Lipase*・蔗糖等ヲ含有ス。全草中 = 少量ノ *Glycyrrhizin* (グリチリチン)・蔗糖 (根 = 12%)ヲ含有ス。〔藥效〕種子ヨリ脂肪油 (落花生油)ヲ製シ食用トシ又人造はた製







莖葉ヲ莖干トシ藥用トス。〔藥效〕生藥ヲ煎服セバ眼病・利尿・解熱劑トシ又腎臟病ニ有效、1回2〜3g。煎用。〔備考〕莖ヲ取り莖トス、故此名アリ。

(12) やはづさう (おちやくさ、やはづはき、綿眼草) *Kummerowia striata* Schindl. [分生] 本・台ノ原野・路傍ニ散生〜群生。〔藥效〕莖葉又全草ヲ採乾シ煎服セバ腫物ニ有效。山民茶ノ代用トス。又優秀ナル殺菌劑也。〔備考〕葉ヲ採テ水浸シ調食ス。又種子ヲ磨キテホトシ水浸攪洗シ粥或飯トシ食ス。又密ヤ餅トシ餅ニ造リ食ス。

*Tribus* (8) はねのみかづら族 *Dalbergiaceae* 5〜5, 羽狀複葉,  $K_{15}:C_5A_{(5+5)}V_{(6)}G_1$ , 果実ハ不裂開也。

(14) みやま-とべら (やまにがき、山豆根) *Euchresta japonica* Benth. [分生] 本(中南部)四・九ノ山地樹叢生。花夏。〔生藥〕山豆根 *Radix Euchrestae* ハ根ヲ採乾セルモノ也。太ク岩筋維形・少ク岐長10cm 徑1.5cm。有纖維質堅硬暗褐色、有特異臭気、苦味甚。〔成分〕根ニ糖基ナル *Matrin* 及 *Cytisin* <sup>シチシン</sup> ヲ含ム如シ。〔藥效〕漢：專咽喉諸病ヲ治ス。即山豆根切片ヲ口中ニ含ミ其汁ヲ嚥下スルニ咽喉ノ腫脹ヲ治ス、射干ト共ニ咽喉諸症ヲ治スル要藥也、又煎服シテ解毒藥トシ諸毒(腫毒等)ヲ消ス。種子ハ扁桃腺肥大症及諸毒ノ疼痛ヲ緩和ス、1回1〜3g、又粉末ヲ煎服ス。日向ノ山民常食ノトキ根ヲ削リ煎服シテ吐劑トス。〔採取〕種子ハ秋或熟後、根ハ秋末採取ス。

△(15) ひょうりつ-ふち (ひりす、とば、苗栗藤) *Derris elliptica*

Benth. [分生] 台ノ山地生、此外馬來群島及マラッカ半島ニ自生シ小笠原島又ハ犬島及南洋ニ栽培ス。馬來語ニ *Toeba*, 英語 *Tuba plant*, 舊語ヲ *Toba* ト云。〔生藥〕ひりす根 *Radix Tuba* ハ根ヲ採乾セルモノ也。肥大主根ヨリ無副根ヲ分岐シ優著大ナル根瘤ヲ着生ス、外面暗褐色也、一種香氣アリ細切時鼻粘膜ヲ刺激ス、嚼ムハ麻痺様刺激アリ。〔成分〕根ハ主成分 *Rotenon* (結晶性)  $C_{23}H_{22}O_6$ 、副成分 *Tephrosin*  $C_{23}H_{22}O_6$ 、*Toxicarol*  $C_{23}H_{22}O_7$  (以上有效成分) 其他 *Anhydrotetrin*  $C_{23}H_{22}O_9$  (鮮黄色結晶)・樹脂・澱粉等ヲ含有ス。Rotenon 含量ハ概3〜8%也。初 *Tubotoxin* ト稱セシガ後ハくふじ(魚藤)成分ノ *Rotenon* ト同一物也ト決定(藥雜 no. 491 d 500, 大正12年, 川米・瀧美・島田氏)セリ。〔藥效〕根ノ根汁又其製劑ヲ以テ人体外寄生虫(蚤虱類)駆除用及農用殺虫劑又家庭用除虫劑トス。市販殺虫製劑如次。  
(1) デリス石鹼 (*Derris-seife*)... 有效成分ニ粉末石鹼ヲ混和ス、水注加後直ニ石鹼乳劑ヲ生ス(大阪日本農藥)。(2) *Neoton*... 有效成分ヲ脂肪油ニ溶解ス、甚長期貯藏(東京理研)。Rotenon ヲハルモノニ水液トシ疥癬ニ塗布シ著效アリ(皮膚病藥)。單品・ひりす根 (*Radix Derridis*) ハ植物ノ害虫駆除藥トス。即台湾及南洋土人ハ生根ヲ搗碎シ溪流ニ投入シ魚類ヲ捕獲スルニ用フ、蓋シ *Rotenon* ノ強麻痺作用ヲ利用セル也。  
〔注成分ノ特性〕毒物 *Rotenon* (= *Tubotoxin*) ハ元來昆虫及魚類ニ對シ強烈ナル毒殺力ヲ有スルモ高等動物及植物ニ對シ外用ハ殆ど無害ナル特性ヲ有スル故ニ殺虫劑トシテ理想劑也、是今



日製作物害虫及人畜外寄生虫(赤痢・陰毛虱・頭虱・蚤・家犬に寄生)に及乳類等家畜羽虫等)駆除薬トスル所以也。但毒性強烈故取扱上要注意ヲ、又不可内用。生皮ヨリ採取セル毒液汁ハ長ク貯藏セバ殺菌力ヲ失フ故、乾根ヲ煮-てる・油類等=依リ抽出セル前記製剤(1口)ヲ使用スルカ或ハ乾根粉末ヲ撒布セバ害虫撲滅ヲ行フ外肥料ヲ兼ホ一挙兩得也。Rotenonノ特性トシテ水=溶解シ進キト水分=依テ容易ク介染セラレ加水後12時間以上ヲ経過セバ自ラ溶解シ毒性ヲ失フ故、使用時=其程度加水スルヲ要ス、但熱湯ヲ加フベカラズ。〔新薬〕(1) <sup>スカビオン</sup> Sucabison (2) スカビオン軟膏(東京・津村)共 = Rotenonヲ原料トスル赤痢薬。 (3) Rotone(東京・三共)ハ Rotenon=硫黄・亜鉛等ヲ配合セル軟膏劑 = 疥癬・濕疹又頑固濕疹等 = 塗布シ著效アリ。〔藥理〕 Rotenon 及樹脂ハ殺虫效カアリ。Rotenonハ總テノ動物 = 對シ顯著ナル中毒症狀ヲ發セシム、呼吸吸及血管運動神經中樞ヲ麻痺セシメ且 = 全身運動及呼吸麻痺 = 依テ死ニ到ル。而テ心臟ハ呼吸停止後尚數時間搏動ス。温血動物ハ痙攣中樞ノ刺激 = 依テ屢間代性経路ヲ發シ、又内用時ハ激烈ナル嘔吐ヲ及ぼス。最少致死量ハ家兔ノ靜脈内注射 = 依テ体重1匹 = 對シ0.9匹也。然レドモ皮下注射又内服 = 依ル時ハ呼吸頗緩漫也。Rotenonハ水 = 不溶性故ハルモノヲ溶劑トシ尚刺激ヲ緩和スル高消炎藥ヲ配伍シ疥癬患者 = 試ル = 奏效確實也。其併發症タル膿疱疹及濕疹 = 確實 = 治癒ス。本劑ノ時長ハ止痒作用著ク概1~2回ノ塗布

= 痒感消失ス、尚本劑ハ不粘着性・無惡臭且塗布後尿中 = 蛋白質反應ヲ不認サレド皮膚陰部真菌 = 塗布セバ体質 = 依リ滅菌ヲ謀ハ湿疹ヲ癒癒スト云フ。〔備考〕苗葉素 (Derris elliptica)ハ葉木ナレド立とは中とは直とはノ3品種アリテ各 Rotenon 含量ノ異 = スル外年産 = 液ヲ差アリ、本現象ハ共立女子藥專教授清水貞ニ全助手阿部重子画氏 = 依テ實驗證明セシレタリ。即チ含量順ハ(1)栽培後2.5年ノ中とは根7.5232% (2) 3.5年ノ中とは根4.0124% (3) 3.5年ノ直とは根3.5156% ... (4) 3.5年ノ立とは根1.1552% (5) 在來野生葉根1.0950% = 栽培品量ハ野生種 = 比シテ著ク優秀ナルヲ認ムベク栽培品種ハ中とは直とは立とはノ順位ナルヲ知ル。本實驗 = 依テ是人ハ第一 = 葉草栽培ハ野生採取 = 比シ如何 = 有益ナルコトヲ知(全体 = 共價セザルモ)ルベク、第二 = 採取年輪適期如何ヲ知ルベク、第三 = 栽培品量ノ良品率増大 = 的確ナル指針ヲ與フルヲ知ルベシ、以テ藥品業經營 = 示唆スル處大也。とはハ熱帯野生種ナルモ其葉素ハ高價ナルNicotin = 代ル廉價殺虫劑トシテ認ムルニ至リ、熱帯・亞熱帯各地 = 經濟的栽培種込法ヲ行フ = 至レリ、我國 = テモハ大島・小笠原及南洋 = 栽培ス。

(46) したん(いんじんしたん、紫檀) *Pterocarpus indicus* Willd. [分布] 東印度南部日本栽培種(5)。〔生藥〕紫檀又紫檀木 *Lignum Santali rubrum* ハ材 = シテ呈鮮赤紫色、永ク空乾 = 鮮ハ呈暗紫色・線色光沢生大、質堅重緻密割斷易シ。〔成分〕材及根 = 樹脂様・赤色色素 <sup>Santalin (= Santalidin 紫檀酸)</sup>ヲ含有ス、本品素ハ酒精



えーくる・及あるかりノ水溶液=溶解=水=不溶。〔薬效〕紫堇色素ハ主=丁幾類ノ着色料又其他ノ赤色着色料トシ又収斂薬トス、又複方らへんてる丁幾ヲ製ス(旧第=局方)。〔備考〕材堅牢、建築(木柱)及器具用ノ唐木細工机箱等材トス。

(77) みつばしたん(三葉紫檀) *P. santalinus* L. f. 〔余附〕東印度南部特マトラス州。〔生薬〕三葉紫檀、一木。〔成分〕同前種。〔效用〕前種同様薬料トス。

(78) キノのき(吉納樹、きの、吉納) *P. Marsupium* Roxb. 〔余附〕東印度(マラバル海岸)産。〔生薬〕吉納 *Kino* ハ樹幹下部=截口ヲ附シ之ヨリ滲出スル樹液ノ凝固セシ後蒸乾セルモノ也、暗褐色〜黒色塊=テ質堅脆、破砕シ易ク、碎辺縁ハ赤色透映シ研磨=依リ赤色粉末トナル、僅=冷水=溶ケ強収斂味ヲ有ス。

〔成分〕樹液=ハきのの鞣酸 *Kinogerbsäure*、<sup>ブレンツカテヒン</sup>*Brenzkatechin*、きのの赤色素 *Kinain* 等ヲ含有ス。〔薬效〕吉納ハ主=収斂薬トシ口腔咽喉、尿道等ノ充血等=用ヒ、又出血面=用ヒ慢性下痢、腸出血、子宮出血、盗汗等=収斂薬トシテ用フ。又阿仙薬代用トス。5~10%きのの液(吉納樹液)ハ洗滌用又含嗽料トシ上記諸加治見ヲ治ス、又粉末ハ出血面=塗布ス。

○(79) ゴアのき(ゴア樹) *Andira axaroba* Aquian. 〔余附〕南米ブラジル産。〔生薬〕ゴア末ハ樹脂=シテ樹幹空箇中=析出蓄積スル粉末ヲゴア末ト称シ薬用トス。是ヲ更=精製セルハ精製ゴア粉 *Chrysarobin* 也。〔成分〕皮膚 剥蝕作用強キ *Chrysarobin* ヲ含有ス。〔薬效〕局方 *Chrysarobin* (精

製ゴア末)ハ 5~10%軟膏トシ外用ス、即種々ナル寄生性皮膚病薬又還元性皮膚病薬トシ疥癬、頑癬、白癬、圓形疹、就中乾癬=致奏效ス(之ハ *Chrysarobin*) 還元性ヲ應用セルモノ也、其他乾癬、慢性湿疹等ヲ治ス。〔薬効〕*Chrysarobin* ヲ内用セハ吐下、次々下痢ヲ起シ、多量時ハ腎臓ヲ刺激シ蛋白尿、血尿並劇痛ヲ起ス。又腎及泌尿=對シテハ之ヲ強ク刺激シ、尿酸ヲ發スルト共=紅斑或ハ膿疱ヲ生シ、眼=ハ炎症ヲ起シ角膜炎等ヲ惹起ス。

*Triebus* (9) せらまめ(蚕豆) 族 *Viciaceae* ②、羽状複葉、頂小葉ハ舌状〜卷鬚又上部数小葉卷鬚也、 $K_{57}C_{55}A_{10}n.C_{5+5}GL$ 、子葉多肉。

(80) たいらあづき(なんばんあづき、相思子) *Abrus precatorius* L. 〔余附〕印度<sup>南支</sup>、台其他旧熱帯ノ原野生ノ草、花秋。〔生薬〕相思子 *Semen jequiriti*、熟種子ヲ蒸乾セルモノ也、卵球形長 8mm、滑沢、赤色有黒斑、味豆様也。〔成分〕葉及根 = *Glycyrrhizin* (甘草甘味)ヲ含ム。種子成分未詳、但其水浸液=酒精ヲ加ハ生ハル沈澱ハ殆全部 <sup>アブリン</sup>*Abusin* ナル毒性蛋白質也。Warden 氏=液レハ種子中 = <sup>アブリン</sup>*Abusin*  $C_{21}H_{24}N_6O_4$  ヲ含有ス。〔薬效〕種子煎劑ヲ眼病ノ洗眼薬トシ<sup>128-4</sup> 睫又結膜炎=用ヒ、其冷水浸液ハ慢性顆粒状結膜炎=特效アリト云、然トモ往々強炎症ヲ惹起スルコトアルハ用量及用時ノ加減ナラン。民:台土人ハ煎劑ヲ眼病ノ洗滌薬トス。其他煎服シテ催吐、祛痰、解熱、鎮瀉(頭痛等)劑、駆虫劑トシ又中毒ノ解毒劑トシ、外用=ハ神経痛、皮膚



有葉(湖泥トシ塗抹)皮膚殺虫(亦兼其他薬トス。種子0.5%浸液ヲ慢性結膜炎同角膜炎角膜潰瘍=用ス。Fröhner氏ハ犬ノ遠視性結膜炎=用ヒ良結果ヲ得タリ、然レトモ眼炎症ヲ惹起スルコトアリト云フ。〔藥理〕Abrinハ Ricin 同様毒性強キニ之ヨリ稍弱シ、而テ動物性=免疫性ヲ與ス。然レトモ Ricin ニテ免疫セシ動物ハ Abrin = 對シ何等免疫性ヲ有スルコトナシ。〔新藥〕Abrinol (東京十村)ハ Abrinノ水溶液=テ眩暈又紅眼炎ノ点眼薬トス。〔備考〕舊名 Abrusハ希臘語ノ Aeos (美蘆)ヨリ來リ印度人ハ種子ヲ裝飾(主=襟飾)トス、種名 precatorius ハ珠數ノ義=テ種子ヲ珠數トス。根=モ種子ト同一成分ヲ含有スル故同效目的=用フト云フ。

(81) れんりさう(かまきりさう、山藜花)及其諸變種 *Lathyrus palustris* L. v. *linearifolius* Ser. [分生] 南千本・北朝ノ原野=点生又散生、花五六月稀七月。 かめれんりさう(ひめれんりさう) v. *pilosus* Ledeb. [分生] 樺・南千本・全上。〔生藥〕全草ヲ花時=採乾シ藥用トス。〔成分〕未詳。〔藥效〕全草ヲ煎取シ婦人血之通薬又利尿劑トス。

(82) かめれんりさう(かにざらざ) L. *ugoensis* Matsum. [分生] 北本(北中部)ノ原野・海辺等=自生ス。〔成分〕未詳。〔藥效〕同前種。

(83) はまゑんどう(濱豌豆) L. *maritimus* Bigel. [分生] 樺・千本・北朝・琉ノ海濱生。〔效用〕種子ヲ煮食ス又莢共=可食、又磨キ粉トシ餅トシ可食、觀賞用トシ栽培ス。

(84) ゑんどう(しろ、さや、あゑんどう、ぶんどう、豌豆、大豆)。

*Pisum sativum* L. [分生] 地中海沿岸原産ノ①~③、各國栽培。〔生藥〕豌豆ハ熟種子ヲ採乾セルモノ也。〔藥效〕種子ノ生粉ハ痘毒ヲ惹キ浮腫ヲ去ル效アリ、又和漢藥物凡(動植・鉱物性)ヲノ中蓋ノ毒性ヲ解毒セシムル作用アリ(用量適宜)。〔備考〕あかゑんどう(のらまめ) *P. arvense* L. = 同様= 同トバシ。

(85) そらまめ(たらまめ、蚕豆、空豆) *Vicia Faba* L. [分生] 中亞東海沿岸原産、各地栽培ノ①、花3~5月。〔生藥〕蚕豆ハ熟種子=テ藥用及食用トス。〔成分〕種子= 蛋白質・澱粉・糖類・色素(vicin, Convicin)・及 Trigonellin・Vitamin B等ヲ含有ス。〔藥效〕種子ヲ食テ滋養・營養劑トス。民生薬ノ採汁ヲ害虫ノ刺傷=塗布ス。又黒炒=シ粉末トシ飯粒ト練リ乳膠=貼付シ有效。〔備考〕種子ヲ煨テ食用トス、油揚げ豆ハ味佳也、又餡ヲ依リ味噌・醤油ノ原料トシ、菓子(甘納豆)トシ、嫩葉ハ燻テ食用トス。植物ヲ水田ノ肥料又飼料(牧草)トス。

(86) やはすゑんどう(からすのゑんどう、矢筈豌豆) *V. sativa* L. [分生] 本・四・北朝・琉台ノ原野・路傍=散生へ群生。 はそば・やはすゑんどう v. *angustifolia* (Flork.) DC. [分生] 本・四・北朝・台・全上。〔生藥〕大葉菜ハ熟種子ヲ採乾セシモノ=テ藥用トス。〔成分〕種子= 配糖体 Vicianin (→青酸)ヲ含ム。〔藥效〕種子ヲ煎取シテ鎮咳祛痰薬トス、1回2g、粉末トシテモ使用ス、又尿道疾患(膀胱病)薬=煎取ス。

Tribus (10) あがま(小豆)族 *Phaseoleae* ①~④又⑤、⑤



稀。3出葉又掌狀複葉,  $K_{(5)}C_5A_{(6)}r_{(5+5)}Gl$ , 概莢果, 子葉ハ  
多肉。

○(87) だいづ(まめ, みそまめ, 大豆) *Glycine Max Merr.*  
〔分布〕滿洲原産, 日・滿・支・朝栽培。〔生薬〕大豆ハ熟種子ヲ採乾セル  
モノ也。〔成分〕種子ハ蛋白質・脂肪油・Urease 等ヲ含有ス。黒大  
豆ノ色素 *Kuromamin Cyanidinchlorid* ト *Glucose*  
ヨリ成ル *Glycosid* 也。〔薬效〕大豆ハ緩和・滋養薬・利尿薬トシ、  
大豆油原料トシ、豆乳ハ滋養強壯薬トシテ牛乳ノ代用トス。豆  
葉ヲ生ノ極擦漬シ紙ニ延バ丹毒ニ貼付シ奏效ス。局方大豆油  
クレゾール石鹼液、カリ石鹼等ノ製造原料トス。漢：頭痛・寒  
熱・煩燥ヲ治ス。煎汁ヲ服用シテ中風・身体麻痺・脚氣・疝氣・水腫  
食傷・魚類中毒ヲ治ス。病後衰弱・腺病質・神經衰弱ニ黒大豆・煮  
菘仁・昆布以上ヲ味ヲ炒リ茶劑トシ服用シ有效。胃熱ヲ去ル  
ニ黒豆ノ萌芽ヲ煮食ス、長ハ大豆・黄耆・皮・豆葉等ト裁スル漢  
藥ニテ黒大豆ヲ水浸乾手セル時種皮ヲ去リ陰干シ、或黒大豆  
ヲ一昼夜水浸葉裏ニ包置キ萌芽セバ之ヲ日干トシ皮ト芽ト  
ヲ去リ豆ヲ炒リシモノヲ云フ、胃中ノ積滯ヲ除キ、水疝・痰喘ヲ  
治スルニ用フ。音聲ノ損セラル者又良クスルニハ黒豆ノ砂糖  
煎汁ヲ飲メバ大效アリ。油脂ヲ去ルニハ黒豆ヲ酢ニテ出  
汁ヲ造リ頭ヲ洗フバシ、暫時後水洗ス。〔備考〕大豆ハ食用ニ供  
シ、又味噌・醬油・豆腐・納豆・湯葉等ヲ造リ、菓子・きなこ等ヲ造リ食  
用トシ人生一日ニ不可缺、又決物ノ料トス。莖葉ハ牛馬ノ飼  
料トナリ、大豆粕(油粕)ハ水田ノ良好肥料トス。色ニ黒豆・白豆

茶豆・青豆：斑入莢ノ諸品種アリ、成熟期ニワセ・中手・裏手ノ3別  
アリ。斑入ヲくらかけト称シ、黒質白斑ヲ鶏豆、斑掛豆、奴豆、ト  
云ヒ茶褐色質ニ黒斑アルヲ茶粉掛豆ト云ヒ、綠質黒斑ヲ青斑  
掛豆ト云ヒ扁大ナルヲ雁首豆ト云フ。

(88) ほとほといも, つちぐり, 土蘭兒 *Apios Fortunei Max.*  
〔分布〕北・本・四・七・白ノ原野・山藪ノ空地ニ点生又散生スル表。5小  
葉北地特異種ニ多産ス。〔生薬〕地下ニ塊根アリ球塊状也、之ヲ  
土蘭兒ト云フ。又全草ヲ採乾シテ藥用トス。〔成分〕塊根ニ  
*Aekaloid* ヲ含ムト云モ未詳。〔薬效〕塊根ヲ灰乳ニテ煮食ス  
或煎湯ニシテ食ス、味山芋ニ似タリ。之ヲ食用トセバ滋養強  
壯・解熱劑トナリ殊ニ肺結核ニ奏效ス。又全草ヲ煎服セバ咽喉  
炎ヲ治シ且強壯藥トナル。

(89) はたまため(豆, 刀豆) *Canavalia ensiformis DC.* 〔分布〕熱  
帯亞・原産, 各地栽培。花ニ紅白ニ品種, 実色亦種々、老莢長25~  
27cm 以テ及。〔生薬〕莢及種子又葉ヲ藥用トス。〔成分〕豆ニ *Can-*  
*valin* 及 *Concanavalin* ナル *Globulin*・*Albumin*・  
*Cystin*・*Phytosin*・*Pentosan*・*Tryptophan* 等ヲ含有  
ス。〔薬效〕健胃強壯ノ目的ニテ胃弱者ニ常食セシム。種子ヲ  
煎服シテ滋養強壯薬トシ又杜疾藥トス、又血便ヲ治ス。葉ノ  
生煎汁ヲ塗布シテ毒虫刺傷ヲ治ス。〔備考〕嫩莢ヲ日ニ曝シ燥  
味噌漬トシ、又片切シ乾テ煎湯ニ浸メ茹ス。子粒ヲ肉類ニ交  
ヘ煮食セバ美味也。漢刀豆ハ暖地海濱生、其ハ有毒也。

(90) ふかまめ(せんごくまめ, あかまめ, しやくじまめ, うまめ, 鵲豆,







汁ハ藍炭<sup>炭</sup>ニ有<sup>効</sup> (肉眼) 花ヲ揉ミセハカサ(雀班)ニ塗ルセバ  
 殆ス。〔藥理〕本 Saponinハ溶血作用弱ク、小豆ノ浸下劑的効果  
 アルハ Saponinノ腸内刺激作用ニ原因ス、又 Vitamin B  
 ノ含ムト云モ抗神經炎<sup>症</sup> Vitaminヲ殆不<sup>効</sup>、從テ脚氣ニ有<sup>効</sup>  
 ナリトハ Vitamin Bノ作用ニ非<sup>ズ</sup>シテ Saponin類<sup>類</sup>ニ有<sup>効</sup>  
 物質ノ一<sup>部</sup>ニテラント。〔藥効〕麻痺<sup>症</sup> 癩<sup>癬</sup> 赤小豆湯(全身  
 癢<sup>症</sup> 疥<sup>癬</sup>アリ、發熱喘<sup>嗽</sup>ヲ<sup>テ</sup>咳嗽アル者、皮膚癢<sup>症</sup> 内<sup>性</sup>腎炎ニ有<sup>効</sup>)  
 麻黃<sup>湯</sup> 薑<sup>湯</sup> 生薑<sup>湯</sup> 杏仁<sup>湯</sup> 各30 赤小豆 240 甘草 15 生<sup>白</sup>皮(又桑<sup>白</sup>  
 皮) 6.0...以上、煎劑 200、1日3回煎服。〔藥効〕莢ニ黒白ノ2種  
 子<sup>実</sup>ニ赤白2種アリ、赤色ヲ上品トス。大粒深紅色者ヲ大  
 言小豆(宿<sup>肝</sup>赤)ト云、赤銀ヲ炊キ汁<sup>粉</sup>ヲ造ル又湯<sup>子</sup>餡。此地  
 夏小豆・秋小豆・黒小豆・白小豆・蔓小豆・ほこり・あぐき・黃<sup>花</sup>蔓小豆  
 等アリ。白小豆一名シヤ<sup>ん</sup>まめハ味<sup>赤</sup>小豆ニ不及<sup>ズ</sup>シテ粉  
 末トシ洗粉ヲ製ス、能<sup>脂</sup>垢ヲ去ル。

(97) やへばり (豆<sup>ソウ</sup>、大豆) *P. radiatus* L. v. *typi-*  
*cus* Prain. [分布] 印度産、各地栽培 [生藥] 種子ヲ<sup>豆</sup>ト<sup>球</sup>シ  
 藥用及食用トス。〔成分〕種子ニ澱粉・脂肪・蛋白質・Dextrin・  
 Hemicellulose等ノ外 Saponinヲ含<sup>ミ</sup>シテ Phaseo-  
 saponin  $C_{50}H_{97}O_{20}$ ト云。〔藥效〕利尿・解毒・止痢劑トナル。霍亂ニ用  
 ス。又酸<sup>性</sup>壯劑(炒<sup>リ</sup>ヲ煎用ス)トス、以上3-9g、粉末。雀班ヲ去  
 ルニハ文豆・小豆各5勺ヲ焙<sup>リ</sup>粉末トシ糖<sup>3</sup>合<sup>糖</sup>ヲ<sup>炭</sup>ニ入<sup>レ</sup>  
 煎湯ニ浸<sup>シ</sup>全<sup>糖</sup>ス。赤<sup>豆</sup>胡椒等<sup>余</sup>ヲ煎服シ霍亂ヲ治ス。可  
 豚中毒・番椒胡椒・其他諸中毒ニ解毒劑兼<sup>淨</sup>血劑トシテ<sup>赤</sup>豆粉

末ヲ飲用ス、砒<sup>素</sup>中毒ニハ<sup>赤</sup>豆黃泥ト<sup>鷄</sup>子清ト共ニ<sup>黒</sup>豆煮汁  
 ニテ服用ス。〔藥効〕種子ハ小豆ヨリ小粒ニテ綠色也、煮<sup>テ</sup>蒸  
 子<sup>餡</sup>トシ、炒粉ハ餅用ノ<sup>モ</sup>な粉トシ、生粉末ハ能<sup>ク</sup>脂垢ヲ洗去  
 ル故洗粉ヲ製ス、又<sup>豆</sup>芽トシ食ス(東京多用ス)。

(96) あぶひまめ (い<sup>ち</sup>こ<sup>く</sup>まめ、ご<sup>も</sup>ん<sup>まめ</sup>、<sup>豆</sup>、<sup>皇帝</sup>豆) *P. luna-*  
*tus* L. v. *fleucosus* Matsum. [分布] 印度原産、  
 各地栽培 [效用] 同上。〔藥効〕種子ハ細長<sup>豆</sup>ニ似<sup>タ</sup>リ、子粒  
 淡紫色又淡黃色ノ2品種アリ、空<sup>ハ</sup>蔓<sup>性</sup>也。

(96) あぶひまめ (い<sup>ち</sup>こ<sup>く</sup>まめ、ご<sup>も</sup>ん<sup>まめ</sup>、<sup>豆</sup>、<sup>皇帝</sup>豆) *P. luna-*  
*tus* L. [分布] 原産地未詳、各地栽培 [成分] 100gノ豆ニ青<sup>酸</sup>性  
 糖<sup>糖</sup>体 Phaseolatinヲ約 46~58mg、含有スルコトアリ。  
 〔效用〕種子ヲ食用トス、頗<sup>美</sup>味也。

(97) たんまりまめ (き<sup>ん</sup>ち<sup>や</sup>ぐ<sup>まめ</sup>、<sup>ま</sup>の<sup>ね</sup>まめ、<sup>鹿</sup>豆) *Rhyn-*  
*chosia volubilis* Lour. [分布] 本(中南部)・四<sup>九</sup>龍<sup>嶺</sup>・<sup>白</sup>ノ  
 山野ニ散生、初夏。〔藥効〕葉：全草ヲ女子ノ腹<sup>痛</sup>・腰<sup>痛</sup>・頭<sup>痛</sup>ニ煎  
 服シテ有<sup>効</sup>。民：種子(又全草或<sup>果</sup>ヲ)ヲ煎服シテ枯<sup>癩</sup>・癬<sup>癬</sup>  
 ヲ去<sup>リ</sup>喘<sup>息</sup>ヲ治ス)及<sup>癩</sup>・癬<sup>癬</sup>トス、又<sup>癩</sup>・癬<sup>癬</sup>及<sup>癩</sup>・癬<sup>癬</sup>ヲ治ス。1回  
 1~2.5g、煎服又粉末トシテ煎用ス。

(98) ささげ (紅豆) *Vigna sinensis* Endl. [分布] 支那  
 原産、各地栽培。〔成分〕種子ニ澱粉・蛋白(Vignin・Phaseolin)  
 ヲ含有ス。〔生藥〕種子(紅豆)食用及藥用トス。〔藥効〕食用トシ  
 テ滋<sup>養</sup>強<sup>壯</sup>藥トナル。民：種子ヲ<sup>黒</sup>燒トシ飲用セバ<sup>胎</sup>量ニ有<sup>効</sup>  
 又<sup>黒</sup>燒粉ヲ<sup>は</sup>こ<sup>ハ</sup>汁ニテ<sup>溶</sup>キ小兒<sup>禿</sup>瘡ニ貼付ス、又生粉ヲ



ヲ皮膚諸病 = 撒布藥トシ又塗沫ス。〔備考〕<sup>マカササガ</sup>蔓豆ハ莢長ク種子ト共ニ食フ、<sup>ハマササガ</sup>烟豆ハ特生無莢・莢短ク実取豆又<sup>マカササガ</sup>粒豆ト称シ專ニ種子ヲ食ス。蔓豆(又カキササガ)數品種アリ。(イ)十六豆ハ子粒16許粒ニ紫黒ノ2品アリ。(ロ)十八豆ハ粒18許、九州ニテ不老ト云常十八ニテ不老ノ意也、莢色ニ紫赤紅紫アリニテアカササガト云。(ハ)紫紅豆ハ莢殼紅色。(ニ)白不老ハ莢長1m内外、後白変ス。(ホ)双豆ハ子実ニ黒白ノ斑點アリ。(ヘ)眼鏡豆ハ一名車豆莢弯曲螺旋シ端環狀。豆ノ嫩莢ヲ和飯食フ、俗ニギボト云フ。

○(99) カラバルまめ(からはるづ。加利拔兒豆) *Physostigma venenosum* Balfour f. [余部] 西垂弗ノ中央特カラバル地方多産。長12m内外ノ莢3出、紅花、莢ハ披針形〔生藥〕 からはる豆 *Semen Physostigmatidis* (*Faba Calabarica*)ハ種子ヲ搦乾セルモノ也。長3.5cm腎形・黒褐色、質堅脆、有毒ニ不、拘味如大豆。〔成分〕 種子ニ毒成分 *Physostigmin* (=E. <sup>エゼリン</sup> *Eserin*)  $C_{15}H_{21}N_3O_2$ ヲ含ム、之ハ縮瞳力大也、他ニ副極基數種 *Geneserin*  $C_{15}H_{21}N_2O_3$ ・*Eseridin*  $C_{15}H_{23}N_2O_3$ ・*Eseramin*  $C_{16}H_{25}N_2O_3$ ・*Isophysostigmin*  $C_{15}H_{21}N_3O_3$ ・*Physovenin*  $C_{24}H_{18}N_3O_3$ 等アリ。〔藥效〕 津局からはる豆ハ *Physostigmin* 及其塩類製造原料トシ又からはる豆越幾斯ヲ製ス。瞳孔收縮藥及鎮痙藥トス。 *Physostigmin* (*Eserin*)ハ縮瞳藥也、線内障ニ際シ眼内圧ヲ下降セシメル爲ニ用ヒ、又角膜潰瘍ニテハ虹彩ノ癒着又脫失ヲ防キ、或虹彩癒着後着症ニ

ハ *Atropin* ト交互ニ使用シテ之ヲ防キ、又調節麻痺ニ用フ。局方・サリチル酸ヒソスチグミン(エゼリン) *Physostigmium* (*Eserinum*) *Salicylicum*ハ副交感神経ノ末梢ヲ興奮セシムルニヨリ縮瞳及諸種分泌腺ノ亢進ニ用フ。外用ニハ0.25~0.5%溶液3~4滴ヲ点眼ス。手術後ノ腸麻痺ニハ1日3回0.0005宛皮下注射ス。極量1回0.001, 1日0.003。点眼用ニハサリチル酸ヒソスチグミン 0.02~0.1 蒸溜水10.0...以上褐色變ニ容ル。局方・硫酸ヒソスチグミン(硫酸エゼリン) *Physostigminum* (*Eserinum*) *Sulfuricum*ハ前者同様ニ用フルモ實質ノ易キ故現今歐西術ニ馬ノ痙攣及痲痺ニ注射液トス。極量1回0.001, 1回0.003。局方・カラバル豆越幾斯ハ鼓腸・腸弛緩症等ニ催下藥トシテ0.15gヲ1日3~4回用フ。極量1回0.02, 1日0.06。〔藥理〕 (1) *Physostigmin*ハ副交感神経ノ末端ノ興奮性ヲ亢進シ中枢神経系ノ諸中枢部ハハ脳皮質ノ運動中枢・呼吸中枢等ヲ一時興奮セル後之ヲ麻痺シ、末梢運動神経末端ヲ刺激スル性質ヲ有ス。瞳孔散大性ハ *Physostigmin*ハ強ク、*Eseridin*ハ弱ク、*Eseramin*ハ皮下注射スルニ該作用ナク、*Isophysostigmin*ハ其作用 *Physostigmin*ニ類似ス、*Geneserin*ノ作用ハ *Physostigmin*ヨリ弱キモ之ハ恐ク体内ニテ *Physostigmin*ニ變化セシ後作用スルナリ。 (2) *Physostigmin*ハ蛙ノ露出心臟ニ対シ0.1%溶液1滴ヲ直接心臟ニ滴下セバ迷走神経ヲ刺激シテ心動緩慢トナリ、別出ノ蛙眼ニ



對シテハ縮瞳ハモテチカミん1%濃度ヲ作用セシムルニ能  
 瞳ス。表表又縮=1%濃度ヲ點眼セバ瞳孔縮少ヲ表シ、縮ハ12  
 時間以上持續ス。Physostigminハ副交感神経毒也。而  
 テ其作用ハ末期性反中起性也。今大量ヲ與ハレバ中起神経  
 系ニ對シテハ其初期ニ於テ一時興奮性ヲ増大シ、後之ヲ麻  
 痺セシム。末梢器官中眼球ニ對シテハ特ニ其作用著シク、点  
 眼後5~15分後ニ縮瞳シ、初メ30分後ニハ其極点ニ達シ、縮少  
 状態ハ12~14時間持續シ、數日後ニ至リ漸ク常態ニ恢復ス。

(100) くす(まぐさ、葛)及其諸變種 *Pueraria Thunbergiana*  
*Benth.* (*P. hirsuta* Matsum) (分生) 北・本・四・九諸島・  
 台・ノ山野ニ叢生ニ群生ス。たいわん・くす *V. formosana*  
*Hosok.* 台。(生藥)葛根 *Radix Puerariae* 根ヲ乾燥セル  
 モノ也。之ヲ板葛根(縱切)ト方切葛根(方3cmニ細切)ニ製ス。  
 奈良(吉野葛)・熊本・岐阜(老葛)・福岡・長野・島根・多産シ。甲産最  
 良品也。〔成分〕根ニ多量ノ澱粉ヲ含有ス。葉ニ *Adenin*・*Aspa-*  
*ragin*・*Glutaminsäure*・*酪酸 Buttersäure* 及融点185°  
 ノ黄色結晶性物質 *Kämpferolglucosid* ヲ含有ス。〔藥效〕  
 根ヲ澱粉(葛粉)製造原料トス。藥：根ヲ煎服シテ發汗解熱ノ  
 良藥トス、又熱性病ニ用テ口渴ヲ除シ、吐氣及頭痛ヲ去ル。又  
 根粉末ヲ冷水ニテ服用セバ頭痛ヲ治ス。1回4g。煎用。葛  
 湯(葛粉ニ砂糖・食塩少量ヲ混ジ、熱湯ヲ注ケカ又煮ル)ハ健  
 胃腸藥トナリ酒毒ヲ解シ又滋養・止嘔・止瀉(下痢止)藥トス。  
 汗疱ヲ治スルニ葛粉ニ甘草末ヲ混ジ撒布ス。 準百・葛根ハ葛

方葛澱粉ノ原料トス。葛澱粉ハ錠劑・丸劑ノ賦形藥トシテ結  
 合及崩解共ニ良好ナルヲ特徴トス。大和吉野葛ハ古來有名  
 ニテ製菓用トス、此他本山葛(京都府)・熊川葛(福井)・櫻川葛(高知)  
 秋月葛(福岡)等有名也。本品ハ優良無比ナルモ産額少キト  
 高價ナルトニ依リ需用少シ、世俗葛粉ト稱シ販賣スルハ概馬  
 鈴葛澱粉ニテ藥用上不可比較即劣也。世人勿取。〔採取〕  
 秋彼岸ヨリ翌年3月迄ノ間ニ根ヲ掘リ水洗陰干シ、押切ニテ  
 輪切シ晒日乾燥ス。〔備考〕葛藤ハ綿ニ代用シ製取也。又反  
 部ヨリ葛布ヲ製シ上着襖トシ洋服地トシかたがらトシ製服  
 トス、古來ノ麻衣ニテ葛ヲ織ト取セリ、故河州ノふかぬ寺ヲ葛  
 井寺ト稱ス。葉ハ秋採集シ冬期飼料トス、生葉ニ与フ。冬  
 期葛根(長サ1~數丈)ヲ掘取リ澱粉ヲ取ス。其法ハ生根ヲ搗  
 碎又搗碎シ或鐵打シ水浸シ澱粉ヲ抽出シ更ニ是ヲ布袋ニ入  
 シ攪リ葛屑ヲ除去シ汚褐色ノ粗葛ヲ得、之ヲ十數回清水ニテ  
 攪拌洗滌セシメ水ヲ捨テ天日ニ曝シテ精製ス、原料ヨリ10~  
 14%ヲ得。特ニ寒熱ヲ良品トス。〔藥方例〕(1)葛根湯(解熱  
 發汗良藥、感冒發熱、汗無ク反テ惡寒アル者)---葛根0.5 麻黃  
 生姜大棗各6.5 桂枝芍藥甘草各5.0... 以上ヲ味煎劑(水200.0)  
 トシ1日3回温服。(2)葛根黃蘗黃芩湯(急性胃腸加酸見・吐  
 瀉・痙攣等ニ用フ)---葛根20.0 黃蘗・黃芩各7.0 甘草5.0... 以上  
 煎劑(水200.0) 1日3回分服。(3)汗疹温疹藥(外用)---葛粉  
 天花粉各5.0 ナリチル酸0.5... 以上混和シ撒布。

○まめ科ノ補遺:-



① たいりきはほろき (唐裏花黄香) *Astragalus membranaceus* Fischer. v. *manshuricus* Nakai (分布) 滿洲ノ山岳地方又高山寒地帯 = 散生又群生。朝鮮 = 栽培又北地 = 野生ス。〔生薬〕根ヲ黄蘗ト称シ薬用トス。〔薬效〕根ヲ煎服シテ虚勞、勞瘵 = 内用ス、又熱熱、補腎ノ效アリ。

② たいりつりわうき (網紋黄香) *A. membranaceus* Fisch. v. *obtusus* Mak. (分生) 北・本(北中部)。寒地帯生。凡テ全前種。

第十六目 牻牛兒苗目 Geraniales

特徴——H x D, 單葉又複葉。花ハ $\odot$ ,  $\odot$ 又 $\ominus$ 稀, 萼5数。性花, 概 F. f. = K<sub>5</sub> C<sub>5</sub> A<sub>5+5</sub>; G<sub>(2)</sub> ナルモ變 A 群 = 変化アリ, G (5~2) n (20), 蒴時果反側分離, 各子室 2~1 稀 $\infty$  倒生卵子; 卵子ハ懸垂性, 卵孔ハ上向又下向。本目中藥學關係ハ次ノ 2 科也。

花ハ傘, 稀 $\ominus$ , ( ) 場合ハ $\ominus$  =  $\div$  A  $\times$   $\ominus$  =  $\div$  G  $\times$  有ス,  $\ominus$  x  $\Phi$  ..... 1

花ハ皆 $\ominus$ , (  $\ominus$  ) 又 $\ominus$ , 花ハ概退化シ A ハ概減数ス。  
花ハ $\Phi$ , 概 G<sub>(2)</sub>, 各心皮 = 卵子 1~2 稀 ..... Fam. (XII) <sup>カウキ</sup> 大戟科 Euphorbiaceae

1 花ハ傘,  $\Phi$ , A: 8x5~4; G<sub>(2~5)</sub>, 蒴ハ孔開, 柱頭ハ通常分裂ス ..... Fam. (XI) <sup>ヒメハキ</sup> 遠志科 Polygalaceae

花ハ傘又 $\ominus$ , 概 $\ominus$ 稀 $\odot$ , 心皮ハ C  $\times$  同数, 蒴ハ縱裂 ..... 2

2 植物体各部 = 穴ヲ分泌細胞又分泌間隙ヲ有セズ, 花ハ $\ominus$  ..... 3  
植物体各部 = 分泌細胞又分泌間隙 (透明点) ヲ有ス, 花ハ傘又 $\ominus$  ..... 8

3 葉ハ既單葉或掌狀複葉, 花 = 固有ノ花盤ナシ ..... 4  
葉ハ羽状複葉, 花 = 概花盤アリ ..... Fam. (VII) <sup>ハフビシ</sup> 蕨葉科

zygophyllaceae  
4 果実 $\ominus$ ハ5個ノ分果トナル ..... Fam. (I) <sup>フツソツ</sup> 鼠蹩草科 Geraniaceae  
果実 $\ominus$ スルモ分果トナラズ ..... 5

5 花ハ $\Phi$ , A $\infty$  ..... Fam. (II) <sup>ナツメハレン</sup> 金盞花科 Tropaeolaceae  
花ハ $\Phi$ , A(n) ..... 6

6 葉ハ $\ominus$  3~4 出掌状複葉 (稀 2 出又羽状) ..... Fam. (III) <sup>カガビソツ</sup> 酢醬草科 Oxalidaceae  
葉ハ單一 即單葉ナリ ..... 7

7 G<sub>(2)</sub> n (2~5), 5 子室稀 2~3 室 ..... Fam. (IV) <sup>アマ</sup> 苧麻科 Linaceae  
G<sub>(3~4)</sub>, 1 子室 (除蒴時) ..... Fam. (V) <sup>コカ</sup> 古柯科 Erythroxylaceae

8 葉 = 透明点ヲ有ス ..... Fam. (XIII) <sup>ハンルツグ</sup> 芸香科 Rutaceae  
葉 = 透明点ナシ ..... 9